

1 行財政改革計画について

計画全般に対する意見（381件）

意見要旨
市の未来のため、しっかり改革を進めてほしい。
頑張ってもらいたい。
市民サービスがどうなるのかを最初に述べた方がわかりやすい構成となるのではないかな。
「VI改革の推進体制」が概要版に記載されていないのはなぜか。
概要版をもっと簡素にしても良いのではないかな。
市役所として最低限やるべきことだけをしておけば良いのではないかな。
計画の最初に「京都のまちの魅力」を記載する必要性が分からない。
当たり前のことが記載されている。
頑張ってください
無責任な計画に市民を巻き込まないでほしい
計画策定・パブコメ自体が無駄
名ばかりな改革。
頑張ってください
内容がわかりやすい
京都を愛することが大事
担当の職員には敬意を要する
背景は別紙にしたほうが読みやすい。
計画的に頑張ってもらいたい。
電話をしたら丁寧に対応いただきありがとうございました。改革頑張ってください。
計画の記載順がおかしい。成長戦略が最初にあり、これを達成するための改革を述べるべき。
次の選挙につながる政策ではなく、真に京都市の未来を見据えた政策を実行してほしい。

意見要旨

給与カットなどの身を切る改革を記載すべき。

将来的なリスクに言及した危機感を感じる計画書だと思う。

正すべきは正すといった強く正しい改革を推進してほしい。

「行政経営の大綱」に掲げる基本理念は、地域住民やステークホルダーが、地域課題や変更議決権を有し、行政は法的根拠や制度を踏まえて、それを追認するということか。

計画を何度読んでもしっくりこない。共汗していく誠意を感じない。

既得権益を守ろうとしている人たちには負けないよう頑張ってください。

「京都のまちの魅力」という文章はどのような意図で掲載しているのか。理解できない。

記載は妥当である。

記載は妥当である。

行財政改革計画案、反対

計画案について、明るい未来を示しながら、今は頑張ろうという姿勢を示すことが必要だ

市政を自分事として考えるきっかけになった

厳しい改革提案も受け入れる覚悟を市民はしているはずなので、頑張って取り組んでほしい。

全職員に副業をさせ、他都市に住む職員には京都市にふるさと納税させるなど、まず役所自身でできることをやってほしい。

具体的なことが書かれておらず、真剣味がない。

これだけ危うい危うい！！と言っている事業体に希望を持った優秀な人材が集まってくるだろうか？
本計画は、有望・有能な人材を京都市から遠ざける効果を持つ希望をくじく計画である。

良く分かった。

具体的に示されており、ショッキングだが分かりやすい。

大変な改革だが実行してほしい。

今回の計画は、市の失政を市民に肩代わりさせるものである。

定員の削減。人件費の削減など、成長とは反対のベクトルでしか語れない計画に意味はない。

この改革案に京都市の未来はなく、根本的な変更を求めたい。

計画の根拠があいまい。何をもちて作成したのか疑問

計画は自己満

意見要旨

計画を1から検討し直すべき。

京都市に未来はない

市民として先を見据えた財政改革には大賛成

市民にとってはこれまでの市政から受ける印象は「暮らしに関係あるの？」と感じざるを得ない

全て見直しするのは良いと思う。

計画を全体として見ると、具体的な内容に全く言及されておらず、評価に値しない。

腹が立つことばかりである。

京都市財政がここまで苦しいとは思わず、頑張ってくれていたんだと思う。

町並みを壊してまで観光に力を入れないといけない施策が本来の誤りである。

すぐさま改革を実施しているところは良い。

コロナが終息するための策を優先して収入（歳出？）削減してしまうのは仕方のないことだ。

大型汎用コンピューターに使ったお金は無駄になっているのではないか。誰かが責任を取るべき。

高橋洋一が言っている「京都市は資産が負債よりも多いから財政破綻しない優良自治体」というのは本当なのでしょうか。

このようになるまで本気で改革してこなかったのは問題がある。

削減案それぞれに効果と削減によるデメリット、削減する必要性（優先順位）の明示がなく、納得感がない。生産人口向けの施策に振り切った形で、計画を進め、その中で頻繁に成果を報告していくことで、未来に責任を持つ市民の理解が広まれば、京都が未来にわたって維持発展していくことも可能と思われる。

保健所の数を元に戻す。

今こそ市民を助けるときです。それができないならそんな市長はいりません。

即刻中止して、コロナ対策に集中してください。

能力の無い市長が中途半端に市政を立て直すよりも、財政再生団体に転落し、国の力も借りて再建した方が、長いスパンで考えれば京都のためになる。

早急に目に見える改革をすべき。令和4年度予算で思い切った具体策が見えるようにしてほしい。

何の対策も打ってこなかったことが問題。

「最小の経費で最大の効果」をできていなかった

京都駅東南部の市有地をアートミュージアムにするそうだが、スーパーを併設してくれないか。

今の京都市の財政状況で脱炭素に力を入れることは、これから企業を京都に誘致していく中で、ブレーキになっていく可能性がある。

意見要旨

脱炭素型ライフスタイルが、仮に京都市経済にマイナスの影響を与えているとしたら、その費用対効果を検証し、市民に周知する必要がある。

中国本土では土地所有が認められていないため、富裕層は外国（日本）に土地を買いたがるという話をよく聞く。このままでは日本はチャイナタウンのようになるのではないか。外国籍の人が日本の土地を購入する際、10倍高くする、10年間しか所有権を認めない等、何か条件を付すことで対応できないか。

赤字を理由に市民生活に必要な行政サービスをカットするのは言語道断。

世界遺産、仁和寺のバッファゾーンのホテル建設計画は市は認可すべきではありません。

二条城の西北側のバスプール設置後、全然使用された気配はなくバスプールとして稼働していません。これこそ究極の税金の無駄遣いではありませんか

責任を示すべし

市長の責任も相当あるのではないですか

計画を読んでも魅力も未来も感じない

給料を減らすべき

市長は辞任すべき

移住するのに魅力を感じるような街にするための予算分配をしてください

市長が国民の意見を聞くようであれば財政難にはならないと思う

喫煙監視員の人がサボっているのをよく見かける。喫煙監視員の削減を期待している。

京都の文化・伝統が醸し出す魅力を根本に据えた計画が必要である。

サービスを切り捨てるのはやめてほしい

聖域化している部分をなくしてほしい

市民サービスの切下げ切捨てはやめて欲しい

計画の内容が期待外れだ。

ここはカットしない、ここは手厚くするというようなプラスの点も記載して欲しい。

行財政改革計画は具体性がなく反省していないことが見て取れる。回覧板の回覧方法、ごみの夜間回収など本当に市民が喜ぶことを市長は考えていない。

京都市には魅力がない。

観光で得た収入を貯蓄するべき。

「これは誤りであった」、「将来を見据えればこれだけの福祉とこれだけの給与は削らざるを得ない」等、それなりに納得できる案を出していただきたい。

市民の暮らしを守ることに尽力し、市民サービスの削減は止めてほしい。

意見要旨

きれい事ばかり

市民がコロナ禍で困窮する中、生活、福祉、暮らしの施策の廃止が目立つがいかがなものか。

審議会では「働いている職員のモチベーションをどう担保するかも大きな課題だ」、「新型コロナウイルス禍が収束するまではセーフティネットの役割を担う市民サービスに配慮すべき」など指摘があった。こうした声に十分応えた計画になっているのか疑問。

財政赤字は地下鉄東西線が始まって以来ずっと問題であり、今に始まったことではない。市が行ってきたホテルやゼネコンへの税金を使った優遇措置をやめず、今更住民福祉サービスを絞るような改革案を出すこと自体おかしい。

福祉予算を充実していることが市の予算を圧迫しているような報道は間違い。

全国的に質が高い施策を平均まで下げたり、不要不急な施策を中止したり、固定費を見直したりするのは、反対意見も出るかと思うが必要なステップ。

現行の水準を下げるような改革には反対。

すべてのマイナスを京都市民だけが払わないといけないのはおかしい

冒頭のメッセージを「京都の新しい文化を作る」という気概に満ちたものにしてほしい

全体について、現状を把握したうえでの改革をしてほしい

実家が山科区で津市在住、今後実家に戻ることもあると思い、とても気にしている

他の多くの自治体と比べて、財政状況は悪くないと感じるが、そこまで悪いのか

集中改革期間中に十分な改革の達成が見込めない場合、計画期間の見直しを検討しているか。また、評価がいつ行う予定か。常に評価を盛り込み、リカバリーができる状態にしておくべき。

徹底的に支出を削るべき

対策の具体的なスケジュールもなく、絵に描いた餅になることが明白

どのような施策を打ち出すにせよ、予算組みの時点で収入の枠内で策を考えていないだけ。

収入を増やす戦略よりも無駄な支出を削減することに注力すべき

活用、必要とされている市民がたくさんいることは承知しているが、利用対象者の精査が必要

改革は非常に大変であるが、何とか乗り切って、京都市を守ってほしい。

市民サービスを低下させるような行財政改革は困る。

働く者の犠牲の上に立つ財政健全化には反対。

お金が出ていくところをふさぐ計画を推進する体制、という風にしか聞こえない。

市民への行政サービスを低下させる計画には反対。

各種市民サービスの引き上げはやめるべき

意見要旨

若い世代からお年寄りまで又、内外の観光客も含めて、思いやりのある政策こそが求められていると思う。

他都市にはない世界の京都ならではの優しい街づくりに努めてほしい。

住民目線のサービスを提供すべき。

コロナ禍の最中で、財政が苦しいのは国も地方自治体も同じであり、それを前提にして考える必要がある。

市民サービスを縮小させるのは最後にし、それ以外にできることがあるはず。

弱者に全て負担がのしかかっている。

初心に戻って京都市をよりよく住みやすい環境にしてほしい。

市民サービスが特別良いわけでもないし、見直すべきでない

良く見せようと言葉を上手に並べているだけで進められるとは思えない。

コロナで大変な状況ですが、世界中から京都を応援してもらえるような仕組みができないか。引き続き、頑張ってください。

色々言い訳を並べられても結局市民に負担をかけるという点では夕張市の件を見ても市から逃げ出したくなる。

私ら世代のものは減らしてもらって良いが、孫や孫達に関わる仕事をする人の未来や意欲を削ぐような政策はやめてほしい。

現在の計画では、削減しやすいところから削減したという印象を与え、市民の協力は得られない。

京都市には他都市にはない文化財が多くある。他都市は新しいものを作っても歴史を作り出すことはできない。文化財は守るほど価値が高まる。文化財を守るための独自債権の発行などを寺社仏閣と協力して進めるなど、文化財を守りながら、財政対策をすることで、イメージも高まるのでは。

交通機関等の決算状況については、コロナの影響による問題とコロナ以前からの問題に分けて考える必要がある。ただし、コロナのような状況においても持続可能な経営について検討する必要がある。これらの事業は市民サービスというよりも、インフラの問題であり、中長期的視点をもって、取り組むべき。

市民の問題意識を喚起するためのタウンミーティングなど全地区で行われるべき。行動する市政を求める。

民間活力、民営化などの言葉は聞き飽きた。通常業務に加えて総点検などをしていると職員を疲弊させる。全て悪手。

改革と言っておけばいいという姿勢に見える。削減、最適化、効率化は諸悪の根源。コンサルに使い古されたワードではなくちゃんと考えたものを示すべき。

曖昧で具体性に欠ける

持続可能な取り組みを実施してほしい。

適宜、経過を開示発表してほしい。

市議員もボーナスに関して一切論じない・意見も言わず、当然のごとく受け取っている。本当に市政改革に命をかけている議員はいるのか疑問。

税金の滞納者に対して。外部委託により徴税を促進させ、委託金額の他に、改修金額の数%を支払う、という取り立て屋のようなことをされている。

意見要旨

市会議員の報酬の大幅な削減が早急になされるべき。

より厳しい予算組みをし、徹底遵守し、支出予算をプールせず、余れば返納する、そういった市政であり続けて欲しい。

議員の人件費・政調費は1人あたり2000万円としても、10人定数を減らせば、2億円が浮くはず。まずは実態を明らかにして欲しい。

職員の負担を軽減するため、庁内分権を進めるべき。庁内の意思決定や事業実施に当たり、トップへの報告資料の作成・調整など、市民の目に見えないところに多大な職員の労力が使われていると聞く。本庁の中核ではなく、各局や区役所、事業所等現場で意思決定・マネジメントが出来るよう職場の文化を変え、若い職員が意欲を持って仕事ができるようにすべき。

自分達の身を一切斬ろうとしない政治家や、一部の利権絡みの高額収入を得ている人たちのために、税金を納めようとは思えないし、そのために使ってほしくない。

京都市はどこに無駄なお金を使っているのか。無駄遣いは即刻辞めて欲しい。

今すぐ計画を見直してください

これからの担う世代のために、バランスの取れた予算配分をお願いする

単純に収入以上に税金を投入（支出）をしなければよい。
役所が収入を上げようとする、経済が縮む恐れがあるので、ほどほどにしてほしい。

観光客でなくて、市民を大切に市政にしてほしい

令和8年後以降の計画も必要

分かりにくい言葉使うのをやめましょう。財政破綻寸前っておおごとですよ

国基準以上にしてほしいと市民が言いましたか。意見を求めるタイミングが逆です。

こんなことはカット、こんなところは充実させ、そのトータルでマイナスにしますという記載にすべき。

全ての世代が暮らしやすい街づくりをお願いします

本気で変えようとしているように見えない

市民のための市政を

改革により格差の拡大、社会の分断という現在の社会的な問題をますます深刻化させる危険性が高い。

「国基準を上回る事業」はすべて一般市民生活に深くかかわるものであり、これらを廃止すればその影響は深刻。

総花的かつ抽象的であり、他の諸都市に勝る具体性のあるオリジナルな提言に乏しい。

京都市の行財政改革計画案には断固として反対。

税金や健保料を上げますでは、確実に若い世帯は逃げていき、出生率も激減するでしょう。

現実味のない戦略よりも歳出の抑制が必要ではないか。

意見要旨

新型コロナの感染拡大により、市民生活が困難に瀕する状況において、市民生活にかかわる歳出の見直しや受益者負担の増は、命と暮らしにかかわる状況をさらに悪化させる。計画の変更が必要である。

京都市民の生活に直結する見直しが多く上がっているが、それ以外には検討されていないか。道路整備・新幹線誘致など、取止めは検討していないのか。それらも総合的な行うべき。

「最小の経費で最大の効果」が得られるよう効率的な運営に努めることが大前提。市民が受けるサービスの水準と市民負担の水準（市税などの一般財源収入）を均衡させていただきたい

歳出削減で取り上げられている事業の廃止の項目は、生活に密着したものばかり。コロナ禍で弱り困っているまじめな市民を更に追い詰めている。これらの道筋は間違い。

市民負担ばかりの改革計画案で落胆した。考え直せ。

市民を裏切ることのないような改革をしてほしい

計画策定の前に赤字に落ちた要因（京都市の失政）を認め、教訓を引き出して計画を立ててほしい

理想的な理念、計画は進めておくべき。

市民の生活を犠牲にせず、他に削るところがあるのではないか。

市民の立場になり、安心して暮らせる京都市にする市政をハッキリさせること。

財政課効果の大きな見直しを明記すべき

改革の推進体制について、概要版に記載がなく、不親切

改革の推進体制はなぜ概要版にないのか。余白もページも余っているのに。

コロナ対策費は国が負担しているはずだが、それを知らない市民も多いはず。国が負担していて見直す必要がないものと、そうじゃないものをホームページなどで分かるようにしてほしい。

計画の策定に当たっては、京都市政に付度のない第三者機関のチェックのもとに策定いただきたい。

財政危機を脱出するためには、個人の家計も同じで、昔からのことわざ通り、「入りを量りて出るを為す」しかない。

令和4年度からすぐにでも収支が均衡した市政運営が必要

市民いじめの「京都市行財政改革（案）2021」には反対です。

コロナ禍の中、暮らしが大変です。市民サービスの切り捨てはやめてください。

京都市の収益は努力が足りない。

よく吟味された計画と判断している。5W1H方式で早く行動することが肝要。

コロナ禍で疲弊している中、さらなるダメージを与えないよう慎重に進めてほしい。

行政改革計画については大賛成

行財政改革（案）の概要版に「VI改革の推進体制」の項目がないのは不親切。

意見要旨

少子化が進行している現状、業界から反発を受けるような削減をしなくとも、予算は自然減となるのではないか。

京都に魅力を感じ、京都市への転居を検討していたが、そこまで財政状況が悪いと報道で知り、躊躇している。

この行財政改革案の内容では、企業の社員など、若い人の京都への転居を阻害しないか。

5年もの長期計画であれば、単年ごとのマイルストーンを設定すべき。現状の計画では、未だに先送り感のある「逃げ」を強く感じる。

京都市はあなたの考えで終わってしまいます

話にならない

限られた財源は、新たな災害につながる開発よりも、ひとの生命、生活を支えるのに使ってください

長期的なビジョンが明示されていないため、市民レベルでも事業所レベルでも長中期計画が立てられない

無駄を削減したり、行政として収入（税収以外）を増やすことは考えられないか

基本的に同意する

行財政改革計画案に反対

覚悟のほどが感じられない

全職員が危機意識を共有し、早急に改革に取り組むべき

聖域を設けず、収支の安定化を図るべき

思い切った支出削減を行うべき

伝統と革新をどのように両立させるか、本気で取り組んでほしい

財政が厳しい状況にあるにしろ市民生活に直結する各種行政サービスを「槍玉にあげる」かのような広報は行政の資質さえ疑わせる手法として問題だと感じました。

若い世代が虐げられないような改革にしてほしい。

コロナ禍であるから集中改革期間を先送りにしたり、限局的に実施する選択肢もあるのではないか。

大型公共事業の見直しやコストのチェック体制を厳格にする方が先ではないか。

公債償還基金の枯渇の回避を強調しているが、市民生活を守る視点を添えるできではないか。

財政収支はそう簡単には改善できない。単なる先延ばしの計画だ。

赤字事業は廃止するべき

突然、行財政改革計画が出てきて驚いている。もっと長期的な視点で考えられなかったのか疑問である。

意見要旨

真剣に財政危機を少しも感ずることが出来ない

原案ではギリ貧計画に見える。(案として、)5年満期の市債を利率0.5%で1.2兆円分新規発行。その資金で配当利回り4%以上のメガバンク3行に限定して株式を購入。それで年間3.5%の利息、毎年420億円が収入になる。

公に言っている事、やっている事と現状が矛盾だらけ。まずは、身を削るべき。

朝鮮学校にお金を垂れ流すのはやめるべき。京都は拉致に関わった組織を優遇する左翼なのか。

文字だらけで見にくい。読む気が薄れる。もっと分かりやすくしてほしい。

ゲストハウスより新築物件の建築許可を出し、家を購入して住んでもらった方が、市民税の収入ができるのではないかと考える。

真言宗御室派総本山の仁和寺の前に、空き地がありそこにホテル建築を考えているようだが、景観が壊れる。ホテル建築計画を凍結し、「災害避難場所」として整備計画を出す方が市民からの理解を得やすいのでは。

赤字だからと改革するところが間違い過ぎ

行政が個人や地域が引き受けられない分野を担い専門性を追求して持続可能な財政を構築するのは必要なことだと思う

駐車料金を上げ、市内の車の走行量を減らしてほしい。

コロナで国民全体が苦勞している中、これだけ大きな負担をこんな時期に行うのはいかがなものか。一気に回復を見込むのではなくできることから少しずつしてはどうか。

もっと削れることがたくさんあるはず。無駄が多すぎる。

他の自治体の真似をして税金の無駄遣いばかりの市政に激しい憤りを感じる。

もっと世代間が等しく享受できる施策を充実するべき。

市のどのような取り組みが改革になるのか分からない。

地味で揺らぐことのない市政運営に腐心するべき

以前にあった移動販売や巡回医療などの検討も必要

集中的に実施すべき

市民への負担が増えないようにはできないのか。

市政のバランスが悪い。

交響楽団は市民生活に何の役にも立たない。

改革は必要最低限度にし、特に若い世代の人たちの暮らしを守ってほしい。

市民サービスを手厚くし、現役世代を増やしてこそ未来を創ることができる。行財政改革案は見直すべき。

老人医療費の削減のため、健康になってもらうべき

意見要旨

市運営の新たな宝くじを作してほしい

街中にマイボトルを持参すれば無料で水が入手できるスポットを増やし、飲料水のペットボトルでの販売を禁止すべき

交付税目当てで病院を減らすべきではない

財政がひっ迫しても、福祉・教育・文化や、民間でできない公共交通、図書館、病院、市営住宅などには、市税を投入していくべき

集中改革期間となり不安

住みやすいまちと聞いていたが、これから負担がかかると聞いて残念

計画について、市民として実現に向けて協力していきたい。

市の厳しい財政状況を理解できた。頑張っていて欲しい。

日本を代表する京都という都市のポテンシャルをフルに活かし、コロナ禍や厳しい財政状況という困難を乗り越えてほしい

若い働き盛りの方々に還元されるような税金の使い方をお願いしたい

はばたけ未来へ京プランは何年も続くもので、もっと抜本的なものを絞った新しい名称のプランが必要ではないか。

若い世代に負担を押し付けるのではなく、若い世代が住みやすいまちづくりを進めてほしい

国籍条項の復活、雇用するなら日本国籍を持つ日本人からにすべきで外国人の雇用は観光案内のアルバイト程度にすべきで、勤務実態は公表

財政破綻になりかけた大阪に指導をお願いしてはどうか。

もっと細分化した数字の資料を出してもらわないと判断できない。

市民サービスをこれ以上下げるのではなく、生活保護受給者のチェックや非課税者への課税など考えるべき。

資料が長すぎる。簡易に感想や案を書く場所を用意してほしい。

決定事項ではなく、検討最初の段階から案を集めないと意味がない。

「地域介護予防推進事業」について、例えばデイサービスの価格など、時間単価で考えれば高額と考えるため、再検討いただきたい。

市民参加型の子算形成を実施してほしい。

概要版が見つからなかった。

財政難だから市民サービスを削るとするのは乱暴。

増税を増やすためには人が動くことが必要で、市に移住したくなるような行政がある所は実際人口の流入が進んでいる（明石市など）。表向きにも今回の改正案は魅力を感じられるかはどうか疑問である

小手先の対処になってしまい、長期的な利益が損なわれることがないようにしてほしい。

意見要旨

目に見える支出を抑える

今まで積み上げてしまった負債を減らすには多大な改革が必要なのは。

見直しする中で削減だけでなく良い方向への改善をお願いします。

京都市は土地代、家賃が高い。暮らしにしわ寄せがいくと、ますます人口流出し、市税収入も減るのでは。

現状はゆゆしき事態であり、行財政改革計画に記載されていることは全て、即刻実行すべきと考える

市民生活への負担増で財政難を改革することに反対。

もっとシンプルに考え、分かりやすく簡潔であるべき。

京都市にお金がないとしても、市民が生活していくうえで大切な費用を削るのは間違っている。

儲けることだけを考えるのはやめてほしい。

もっとシンプルに考え、分かりやすく簡潔であるべき。

きれいな言葉が並んでいるが、何も伝わってこない。

新型コロナウイルス感染症の影響が今後も続くことを視野に入れた計画にしてほしい。

地域に住む者がその意思と責任でまちづくりを進める時代とは。そのようなことを行政に一方的に言われるのは違和感。

不退転の覚悟で改革を断行してほしい。

特定の収入と特定の支出を結び付けてはいけない。

これまでの失政の尻ぬぐいを「このままでは持続可能な制度が保てない」と脅し、自助ですと言っているにすぎない。大反対。

行財政改革計画に反対

多くの補助金をいただいている認識だが、ほとんどが人件費であり、十分とは言えない。法令の制約に縛られ、行政からも求められることが多い中、行財政改革案でこれ以上の財政面や時間的負担は責任を負いきれない。

表紙ページの「万全の体制を持って」は誤字で、正しくは「以て」ではないか。

日本の未来につながる子どもたちを想うのであればこのような計画には至らないはず。未来を捨てるということか。

再生団体から健全な状態へと戻るのは多くの苦労がかかると思うので、なんとしても回避すべく財政構造の改革を多少大胆にでもやるべき。

厳しい財政状況というフレーズは何年も前から聞いており、今回も大丈夫な雰囲気しか出ていない。

少しでも目標に近づけるようにと願います。

行政がやろうとしていることは国民を苦しめる施策ばかりだ。

意見要旨

頑張ってください

用語が難しく、意味が分からない

財政再生団体転落を避けるには歳出を減らし、歳入を増やす以外にない。

危機的な状況を脱するには、ドラスティックな改革、パラダイムシフトが不可欠。シルバー民主主義を廃し、子育て世代や若者のための政治を推進すべき。

この先、京都市が住みやすいまちであるために、大変な努力で現状の分析をいただき、ご苦労様。ここまで押し詰まっていることに驚きつつ、考えてみたい。

いつも京都市行政の努力、尽力に感謝している。コロナを乗り越えた暁には更に魅力ある京都市になっていることを祈っている。そのために市と共汗していく。

行き過ぎたインバウンドは住民生活に支障をきたしている。

サービス水準を上げれば魅力が上がるわけではない。誇りとプライドを持ってこのプランを全うしてほしい。

行財政改革自体が目的化しないようにお願いしたい。

今回の提案こそが、コロナ禍で苦しんでいる市民に対して「急激かつ大幅な市民サービスの低下」を押し付けるものです。「計画（案）」は住民福祉の向上という自治体本来の役割を投げ捨てるものであり、許せません

この改革が地域の発展を願うものであるというなら、まず計画ア「市民に力を与えるもの」ではなくてはならないはずです

財政難になった責任の追及はしっかりなされているのか

この改革に未来が見えない。確実に破綻するでしょう

非常に危機感が感じられず、残念です。そもそも財政赤字の本質的な原因が何かを考えていない。

歳出からの削減対象をはじめから市民サービスでの市独自施策や市職員の人件費などに限定し、これらに対する削減があたかも「不可避」であるかのような議論を展開している

経営努力の足りない企業ほど、経費削減要請が出ると真っ先に人件費削減から手を付けようとする

今回の行財政改革審議会自体が現市長に親和的で市民サービス削減を一方的に押し付けるような偏った見解を持つ人のみで構成されたものだという印象が強い

今回の改革案は撤回し、市民参加のボトムアップ型財政改革計画立案に早急に取り組むべきである

年々、市政に対する信頼が揺らぐことが増えているように思います

安心して暮らせる京都と自信をもって主張するのであれば市民の暮らしの保障は現状維持で行ってほしい

弱い立場の人を大事にする社会を作っていけるような改革をお願いしたいです

みんなで頑張って乗り越えましょう

市民のための改革ではないように感じる

計画を全力で進めてほしい

意見要旨

頑張してほしい

市民サービスばかりを削減する改革という名の改悪案に反対。

見栄を張るためにお金を使う余裕があるなら、そこを削って充実させてください。

市税収入を含め、市として収入をどう増やすかをもう少し具体的に示していただきたい。

職員数は、どの事業・部門・部署に何人いて、どのような業務を行っているか明確にしてください。

予算が500億円足りないといっていたのに、実際は半分以下になっている。正しい説明をしてやり直せ。

行財政を支えるのは、市民生活の向上が第一義だと考えます。集中改革の基本軸を生活当事者目線で形成してください。

これまでの検証もなく、具体的な案もない。これではかわらない

市民のための政治をしてほしい

市民、観光客双方が満足できる市政を

この計画案に書いてあることは何一つ信用できなくなった。市民サービス負担増を強いるのは見当違いだと思います。

京都の自然や良さを守り、持続可能な住みよい、心通い合う京都にしてください。

京都市は財政破綻をしたら良いと思います。

今回の行政改革は、市民への負担が多くなっているように思います。

「京都市独自の施策」が現在の財政難を招いた、とは言い難い。

容認できません

財政危機状況であるにも関わらず、全体的に特別感のない内容であるため、危機感をもって本当に取り組むことをしっかりと示し市民に意見を求めるべきである。

東京のように、あらゆる場所で買い物や食事、遊ぶことができるまちをつかってほしい。

この計画は、絵に描いた餅

財政状況を正しく分析できているのか。できていなければ意味がない。

京都の価値を本当に理解できているのか。

コロナの影響が踏まえられた計画となっているのか疑問

一体どんな視点でこの案を検討したのか。福祉分野のみで無駄な公共事業について触れていないのは違和感を覚える。

「お金がないから将来のために我慢していただきたい」と負担増及び行政サービスの低下を受け入れるよう求めているようにしか見えない

意見要旨

大多数である「普通」の若者の暮らしと学びと成長を支えることができる仕組みこそが行政が担う部分ではないか

この計画に反対。市民への犠牲のみの負担で京都衰退案反対で即刻廃止するべき。

直ちにこんなひどい案を平気で出す組織は廃止

環境を守り，人間を守る政策に切り替えていただきたい

形骸化せず持続可能な内容で進める必要がある

正しく「行政」改革も入れて財政改革にも繋げなければ成功しない

過去20年の基本計画の目標と政策評価の結果を踏まえた上で，新たな基本計画と行財政改革をセットで考える必要がある。

私腹を肥やしている部分からの絞り出しをまず提案してほしい。逆に，財政難が続いている間も，少ない資金でいい仕事を頑張ってくれた部分からの絞り出しはやめてほしい。

見直す必要があるのは底辺の市民ではないところではないか。

このような事態になった責任を明確にするため，スピードを持った目に見える改革と実施が必要。

民間で会社の業績が悪ければ身を削るのは当たり前。保身ではなく，雇用を守りながら責任ある行動をしてほしい

今後数年間の実質的な予算編成を議決なしに決定することは，手続上ありえない。単なる決意表明か？

災害時を想定したうえで見直しのプランを描くべき

観光客誘致一辺倒の方法から改めるべき。

市民にツケを回し，格差を広げる政策としか思えない。

将来が不安でならない。

改革の実施報告や見直しを毎年実施してほしい。

市民サービスのカットに反対

災害の時代に，公務員や行政サービスのカットは不効率

市民に負担を押し付ける形になり，若者の流出，子育て世代の京都離れが起こってもおかしくない計画案だと思った。

前提となる京プラン2025自体がコロナ感染拡大前に着手されたものであり，統計などの情報が古いので，行財政改革計画を再考すべき。

1～2ページの京都のまちの魅力の記載について，根拠不明な希望を書きしており，市民を馬鹿にしているように感じる。

市の財政が赤字なのに税収を増やそうという真剣さが足りない

民間が苦しい時に公的機関が財政出動するべき。

意見要旨

政令市間の比較を踏まえ分析されており分かりやすい。失敗を認めることは難しいことだが、それだけ後に引けない状況にあるということ。しっかり改革を進めてほしい。

社会教育，市民教育，福祉教育などの教育・市民活動は効率化という観点では測れない。経済状況問わず平等に機会を得られることが社会に必要なのではないか。そういう「経験」のための費用は無償化すべきではないか。

報道で指摘されているにもかかわらず，寺社仏閣に関することは一言も記載がないのはなぜか。

市民サービスに直結する事業を切り捨てる前に，不要不急の事業がたくさんあるはず。システム開発に失敗してどぶに捨てた100億円，その他あまり注目されなかった数々の無駄をしっかりと反省し，慎重に私たちの税金を使ってほしい

おそらく書いている人間も理解していないであろう，それらしい用語を並び立てるだけで大丈夫か京都市

京都市は「京都宣言」の都市としてごみ排出量日本最小を目指していたと思うが，それでもごみの量の多さに驚く

具体的内容ではないので方針としてだけだが，もっともだと思う

このような危機にあっては，より一層，現場の声を真摯に受け止めていただきたいと思います

特別な財源対策を行わない場合の見直し規模の記載はあまりにも安直である。

観光客向けでなく，住民にとってよりよい街にしてほしい

特権階級に奉仕する下心が透ける計画は撤回すべき

改革を成就させるためには、愛というか情熱というか思い入れというか、情念の部分が必要だろう。

「1 行財政改革推進本部の設置」本文二行目「市長をトップする」となっている。「と」が抜けている。

住民のニーズに合った計画を作ってください

計画には反対だ

複雑な文章を読み，反対する理由を考え，意見を主張する余裕を多くの人が持っていないのが現状

改革案に到底納得できない。

計画案は，市民の分断を図り対立を煽ろうとしているように見える。

計画は連結会計ベースで行うべき

改革と挑戦を続けてほしい

計画全体に反対である

計画は撤回すべき

適正な計画を希望する

本当に効果のある取組にお金を注いでほしい。

意見要旨

高齢者へのサービスを減らし、若者にもっと楽させるべき。

サービスを削減していくことも必要。

1 行財政改革計画について

計画期間に対する意見（16件）

意見要旨
短期集中改革には賛成
行財政改革期間5年に対し集中改革期間を過半の3年間としている点が中途半端に感じる。
長期計画にすべきではないか。短期で無理をしている。
5年間では何も変わらないので、もっと長い期間で取り組むべき。
5年間の計画だが、まずは最初の3年間の改革に注力してほしい。
改革案が長すぎるし、まずは現状を市民に広く周知させ、しっかり認識してもらう方策に力を入れるべき。
規定した期間での財政健全化にとらわれない長期間を見据えた改革を目指してほしい
集中改革が3年なのは良いと思うが、計画期間が5年なのはよく分からない。中期計画、長期計画をそれぞれ検討してはどうか。
5年で完了するのか疑問。
計画について詳しくない市民の意見でも丁寧に取り上げてほしい。
期間をもう少し長い方がいい
この漠然とした計画を3年間集中的に行っても改善するとは到底思えない。
計画期間が5年間ですが、もう少し長期的かつ前向きな計画（財政的な目標設定だけでなく抽象的でない都市としてもビジョン。例えば子育てにやさしい古都など）の中で削減など行わないとつけ焼き場であったり場当たりの政策になってしまわないか懸念があります
公債償還基金の枯渇を回避するための計画期間について、この問題は市全体の問題であるのに、この数年間で改善させようという意味がわからない。
「集中改革期間」というネーミングはセンスが悪い。
期間設定の妥当性が分からない。

2 本市財政の現状と今後の財政収支の試算について

これまでの財政運営や責任を問う意見（373件）

意見要旨
ただ使いすぎただけの話。現市長の失政。
市長が今までのやり方が間違っていたとまず謝罪しないと市民は納得できない。
民間企業で行われているガバナンスができていない
これまでの財政運営を真摯に反省すべき。
まず市長が市民に対してしっかり謝罪，説明を行うべき。
公債償還基金を禁じ手と評価している点が良いと思う。
3～5年の計画が作れるなら，今までの門川市政はなんだったのか。
市民しんぶんでは，あたかも市は悪くないような他人事のような記事に感じた。
収支不均衡を許してきた市長，議会，役所はおかしい。長期的な税收増を図るために公債償還基金を取り崩しても良いという雰囲気になっていたのではないか。
市長はこれまでの市政を反省し，退職金を返上して退任すべき。
旧市電の域外・域内で文化，歴史，生活。交通について長期計画を立てるべきだった。
現状に至った責任を明確にし，公表すべき。
デジタル化の失敗による100億円の損害等については職員が処分されるべき。
その場限りの先送りをし，この10年対策ができなかった責任を明確にして責任を取るべき。
市長の市政運営の責任はどうなっているのか。
市長は信任を問うべき。
市長が，これまでのやり方が間違っていたことを認め，市民に我慢をお願いすべき。
まず市長が謝罪すべき
現市長は12年間も問題を先送りにしただけ。まず市長が失政を謝罪すべき。

意見要旨

現市長が負担の先送りをしてきたのに市長の反省の弁がない。

これまで行ってきた事業に関する振り返りが無い。

市民サービスが他都市と比べて良いと記載されているが、実感がない。

京都市より貧しい自治体はたくさんある。京都市は色々と欲張りだったのではないかと。

市長が無能だ。まず市民に謝って、心を改めてから橋下さんを見習って改革を進めるべき。

市長自らが失政を認めて、市民に事業見直しへの協力を求めなければならない。

公債償還基金の残高がこれまで横ばいしないし増加傾向だったのが一気にゼロに向かう理屈が分からない。

令和3年度から本当に財政が悪化し、財政破綻に向かうのであれば、市長の責任。計画の最初に謝罪の言葉があるべき。

コロナ禍とは言え、感覚的に今年から一気に悪くなる意味・理由が分からない。ただ単に不安を煽ろうという意図が見えなくもない。

市長の責任は重いですが、それを止められなかった（加担した）議会・議員の罪も重い。特定支援者の御用聞きに成り下がっている議員は即刻去るべき。そうでないなら、サービスを削らないといけないことを支援者に説明して回るべき。

市長だけでなく議員も非難されるべき。

財政悪化の責任が誰なのか資料上、明確になっていない。

高橋洋一氏は、財政危機ではないといわれています。同氏の見解に対する反論をお願いします。

職員に負担を強いる前に、市長と議員が責任を取り、全員辞職

間違いを間違いと認められなければ改革などできない

京都市とほかの市町村との違いを教えてください。

「集中改革期間」に早期に財政効果の発言が見込める歳出の見直しや受益者負担の適正化をなぜ今まで実施してこなかったのか説明がない

使いすぎました、これから減らします、でいいのではないですか

市長のせいで財政難になった。市長を外すべき。

結局、責任はだれにあるのか

財政難は、市長・議会のせい。陳謝せよ。

事業効果の総括やまとめをコロナを理由に行わないのはおかしい。

意見要旨

市長の謝罪文を掲載すべき

言い訳がましい

まず門川市長が謝罪会見すべき

今まで莫大な費用を伴う事業をガンガン邁進させておいて、市民としては納得がいかない。

公債償還基金の計画外の取崩しを今まで公然と続けてきてることに不信感しか抱かない

京都市は何故今までこの状況であり続けることができたのでしょうか。

他都市は京都市以上に市税収入が増えているのではないか

行政がお金をばら撒くことで経済が回ります

市長と議員が謝罪してください

批判されにくいことから、将来世代に負担させるという選択が常態化してしまったことを明記すべき

梅小路公園や四条の歩道拡大も結局採算が取れていないと思う。無駄遣いしたお金を返して欲しいし、まずは市長が身を切るなど、姿勢を示してくれないと誰も納得できない。

これまでの無駄な公共事業のツケである

市長がしっかりと行動しないから駄目

議員が自分の首が危ないから言い出さないのではないか

市長は早く辞職すべき

財政健全化団体になると市民にどのような不便がかかるのかわかりにくい

あまり危機感を感じない

財政危機をあり、不安を抱かせているが、なぜそうなったのか、市長の責任はどうかなどの説明がない。

「負担を先送りして不足するお金を補填する」というやり方をずっと容認してきた市長・議員はその責任をとるべき。市長・議員こそ大幅給与カット、退職金返上で身を切るべき。

市民サービスを充実させるには、他の誰かが負担しなければならないという本質的な市政運営の理を勘違いしている市民の方に教えてあげるべき。

市長と議員の反省と、強い痛みを受忍するという宣言が最初に必要。

予算削減によるデメリットの分析・認識が必要。事業の個別的な削減内容は不要でないか。

意見要旨

これまでどのようなことに取り組んできたのか伝わらない。

政治家に責任があるので、まず人件費の削減が最初にあるべき

門川市長が責任を取るべき

市議会が責任を取るべき

市長の行政施策に問題があった

地方交付税の問題は全国的な問題であり、京都市の財政悪化の理由ではない

市長が自身の誤りを認め、市民に演説すべき

以前から厳しい財政状況だったのなら、なぜこれまでそれを公表してこなかったのか。市長の責任は大きいと思う。

市長の謝罪会見をやってほしい。

読み応えのある計画。負担を先送りしている、実質的に赤字、これまでやりすぎていたなどをここまで書くのは一見、簡単そうに見えて、なかなかできることではない。

計画全体として危機感や反省が伝わってこない。

厳しい状況になったのは長い間市長をしている現市長の責任では。

計画を開けた瞬間、京都の力を信じてるなどと書くぐらいなら、市長の反省分を書いてもらいたい。

京都市の財政状況を市職員や議員は分かっていたはずで、放置してきた罪は重くもうどうしようもない。一度財政破綻したらよい。

これまで「財政破綻」の話は無く、唐突に感じる。

市長副市長ら行政幹部の他、市会議長・副議長とともに、影響を被る市民・団体・事業者、また部下の職員に対して頭を下げよ。

まずはこれまでの財政運営に対する反省を。

今の事態を引き起こした張本人である市長は10年以上何をしてきたのか。

禁じ手である公債償還基金の取崩しをする前に財政健全化に取り組むべきであった。財政当局の安易な財政運営に腹立たしい。

目先のことばかりで、本当にこの計画で京都市の財政が立て直せると思えない。もっと早くからやっていたら、傷はもう少し浅かったのでは。

議員の責任も大きい

なぜ赤字になったかの分析が弱い。

意見要旨

市長は退職金を辞退し、今すぐやめるべき。

国や府のお金で実施しているものもあるはず。それらを横並びに比較できない。市民の税金だけでやっているものは何なのか。

確か毎年黒字だったように記憶しているが、どういうことか。偽りか。

今までの政策が間違っていたわけではない。そうでなければ今の京都市の発展はなかったはず。

禁じ手である基金を使ってまでやり続けてしまったことは反省すべきである。

財政破綻しかけているというのに、市長の反省が書かれていませんがなぜですか。

いったい本当にどこにお金を使っておられるのか、もっと市民に見えるようにしてください。そのうえでしか、本当に仕方のない削減なのかはわかりません。

何十年前から赤字になるのがわかっていながら無策の首長は交代すべきではないか。

なぜ京都市だけが財政難であるのか知りたい

市債抑制をできなかった理由に地下鉄の経営危機救済のためとあるが、なぜそのような状況で東西線を延長したのか。その原因分析はできているのか。

言い訳と見栄ばかりのように感じた。理想論が過ぎる。

一番肝心の「こんな事態になるまで放置し続けた要因（おそらく人的災害）」を分析できていない。

一体なぜ財政が悪化したのかよく分からない。何に使っているのか分からないので、減らしてだけでも問題ない。

危機的な状況だと認識した

もっと前から財政破綻の危機に気づくべき。無駄な事業はやめて、コロナ禍でも儲かっている企業から税金を集めるべき

市長の責任追及と賠償を

市議会の責任追及と賠償を

今までなにしてたんですか

高水準の市民サービスをしてきたと京都市民をだますのは止めてください

市の財政破綻の責任は、4期市長を努めている門川市長並びに市会議員にある。まずは市長自らが血を流し範を示すことである

市長をはじめ、市幹部の給与カット、一時金カットなど今までの無策の責任を取ること

市長の失政のツケを市民に押し付けない

意見要旨

財政危機の負担を市民に押しつけるのはまちがい

なぜ急に財政破綻という話になっているのかわからない。本当のことをちゃんと言ってもらいたい。市長の誠実さが一切感じられない。

赤字の原因をもっと分かりやすくまとめたバランスシートやインカムステートメントなどの資料はないのか。

他都市よりも上回る水準の公的サービスとは具体的に何を指すのか。

ここまで悪化する前に広報すべきだった。

危機感が感じられない

これまで選挙に勝てるように好き勝手やってきた結果、財政悪化が進行し、サービス水準を大きく下げるとするのは身勝手。市長も議員も、全員辞職してはいかがか。

現状は意図的に赤字にしている。机上ではどのようにでも操作できる。

赤字の原因を市民にきちんと説明すべき

財政赤字は市長の責任である

財政状況がひどい。役所は何をやってきたのか。見直しを図るのに何年かけているのか。すぐに実行に移せ。

市民・納税者として、門川市長が許せない。

地方交付税の削減も問題だが、コロナ禍の影響と京都市の無駄遣いが大きな財源不足に及んでいる。

まだまだ無駄な事業と課税の不備がり、財源不足に及んでいる。

厳しい内容だが現実と見通しを明らかにすることは正しい。

基本計画は素晴らしいが財政は最低。財政がひっ迫することは30年前からわかっていたこと。

市長と議員は責任を取って辞職。

門川市長はこれまで何をしていたのか。ただの失政だ。

市民しんぶんを使って住民に財源不足などと不安をあおる宣伝はやめるべき。なぜ赤字になったのかきちんと理由を書いてください。

市長と議会の責任に触れていないのはおかしい。

財政難は、今に始まったことではない。行政のあり方について問題があった。

市長の辞任要求

意見要旨

なぜこの状態になったかを検証し、小手先の人員削減やサービスの削減ではない根本的な考えを

まず、市長の責任の話

市長を変えないと無理

市長は、市民の目がないところでは横行な態度のようですね。市長を辞めてください。

大型汎用コンピュータへの長期的且つ大規模な投資失敗に触れていない辺り、市民への誤魔化しを感じざるを得ない。

財政健全化に向けて何も対策をしなかったのではないか。また、過去の放漫経営とそれに与した市長及び議会の反省が全く見られない。

行動、計画が10年遅い。危機的状況に陥ることは以前からわかっていたはず

市長は、京都市内外の企業や個人を自ら訪ね、寄付をかき集めてみるべき。やらないなら、軽々しく責任などと口にしないでもらいたい

京都市ほどのスペックがある都市が持続可能できない事態になることが信じられない

きちんと計画して、すぐに公債償還基金の取崩から脱却していたら、行財政改革なんてしなくて済んだはずではないか。

市長職を辞任して責任を取るべき

過去の財政問題や今後の在り方を一台争点にした市長選挙を実施

運営がうまくできていなかったという財政悪化の原因を、別の要因のせいにしてしている印象。今後はしっかりと先を見据えたマネジメントが必要。

予算や決算を承認してきた議会にも責任がある。

まるで徐々に悪化していったかのように書かれているが、未来予測能力がなさすぎ。

こうした状況の把握と市民への公表が遅かった。

前から分かっているがなぜ早く手を打たなかったのか。

市長は辞職すべき。

他人事のような説明はやめてほしい。

知事も責任を取るべき。

水準の高いサービスや収支悪化の原因など、京都市の現状がどうなっているのか分かりにくい

市長は責任を取り、辞任か無給とすべき

意見要旨

市長は辞職すべき

危機感だけの強調されて、なぜそうなったのか、市の責任はどう感じているのかが不明。

門川市長は辞職するべき

謝罪・説明・責任を取ってほしい

失政の責任は誰がとるのか。

赤字の原因は何なのか。

なぜ財政危機が起きたのか説明されていないように感じる。失政のためにできた危機ではないのか。

財政の悪化は行政だけのせいではないので、市民と乗り越えるという姿勢を見せてほしい

コロナによって財政危機になったように見える説明はすべきでない

市政運営のどこに失敗があったのかを計画に明記した上で改革の取組に着手すべき

地下鉄の話が出た際、「収益をあげるには人口200万人以上の都市でないと無理」ということが新聞等に載っていた。観光客に助けられ、そのようなことを忘れてしまったのか。

前文が終わっている。これまでの反省もなく、まち自慢をしている場合でない。もはや京都市に可能性はない。

収支バランスの不均衡は市の怠慢

お金がない、破綻するというのであれば、早々にもっと手荒な手法をもって財政の再建をするべきではないだろうか。リーダーシップの不在、責任をとりたくない気持ちの表れ、自分の任期の間は適当にやり過ごす感があってとても不安。

京都市のダメっぷりには正直うんざりしています。このままこの街に住み続ける、納税することに疑問を感じています。

歳出上限の設定の取り組みを説明されていますが、補正予算は含まなくても必達目標は達成できるということなのか気になります。

財政危機に陥った原因は何だったのか。市長は4期務めているが責任はないのか。しっかりと総括し、市民に説明することが必要だ。

平成初期の大規模投資事業の市債返済が始まることによる負担増が財政を圧迫するとあるが、そもそも必要な事業だったのか。実施したことによる市債返済は予定済みではないのか。

歴代の責任者の退職金は今からでも返してもらいべき

しっかりと反省してやり直してください。

コロナ禍において市民に対して何のメッセージもない現市長では到底期待できない。

まずは市政・市長の過ちを正すべき

意見要旨

こどもの育ちに責任をもって計画を検証してほしい

観光一極に偏った政策への反省を

地下鉄の負債、元本返済が一般会計に現れていないのでは。この計画案では一般の方の誤解を招かないか。

総額117億円を投じたシステム刷新の失敗について、どう評価しているのか。

門川市長の市政を問う機会が欲しい。パブリックコメントでいかにも「市民の声を聞きました」と改革を進められるのは嫌。情報を開示してほしい。

このようなことになる前に、支出が収入を上回らないようにすべきだった

市長は、長期にわたって何をしてきたのか。まず自分たちで考え、実行してから市民に問うべき。

今まで放置し、今更改革といえるのか？

府市民税を納入してきた市民に財政弱体の責任を押し付けようとする考えには反対。

コロナで厳しくなったのは分かるが、舵取りをしていた京都市が市民に責任を負わせるのはいかがなものか。

市長が辞任することで財政はよくなると思う。

市政の失敗を市民に押し付けないでほしい。

これまで黒字と見せかけていたのは市民軽視に他ならない。特に新規採用職員に対する詐称行為でしかない。

赤字の原因追及の視点が足りないと思う。

行政は無責任なので、ビジネスを行ってもいいことはない。

成果と報酬、責任と権限、責任の取り方の明確化。民間では当たり前だが必要。

財政対策としてこれからのビジョンも大切ですが、なぜ政令都市で初めてこのような事態になったのか原因究明が先決かと思えます。

財政の状況がよく分かったが、原因の分析が十分ではない。財政戦略の失敗について説明すべき。

他都市よりも充実した市民サービスが原因であるかのような表現があったが、住居費や生活費は高い状況にあり、これらの比較は科学的ではない。

今後の財政改革に具体的な数値がない。改革後の具体的な目標を立てて、その目標が達成されたかどうか、後から見直し安いような試算がないと全容が掴めない。

門川市長の取組みが悪かったからこのような事態を招いたのだ。

一般市民には分かりづらい。高齢化も学生の多さも市の特徴として皆知っていたこと。それ以上に、威勢の良いことばかり並べて、不確実な民営化や投資ばかりしてきた失敗について反省をしたうえで予算の提案をして欲しい。

意見要旨

世界でも名の知れた観光都市なのに、一体どういう行政をしたら財政破綻するのか。恥ずかしいの一言。

今回の財政危機の責任をどなたがとられるのか

市民に謝罪すべき

門川大作の責任は重い

市長の責任でしかない。謝罪の弁を冒頭に記載すべき。

市長が反省すべき

情報発信してこなかったトップの責任

前から財政難なのは明らかなのに、今更である。

今までの怠慢の責任を市民に押し付けるのはおかしい

努力を怠ってきた結果が現在の状況を招いているのではないか。

今回の計画に対する市民的理解を得ることは極めて困難

門川市長が就任してから、京都市が暮らしにくいまちになっている。

市長がまともに観光や暮らしの市政を動かせるとは到底思えない。こんなことに金使ってどうするんだよ、と思うことばかり増えている。

京都市長の見ている方向には何があるのか。市民からは、経済界にだけ視点が向いているように見える。もっと市民に寄り添った市政を行ってほしい。

財政難と騒ぐだけでなく、プラスになるようなことを考えるべき。やれないなら、門川市長は一日でも早く市長をやめるべき。

不足財源236億円は正しいのか。財政大変というのが「市長は一体今まで何をしてたんや」と怒っている人がいる。同感である。

新川にいるカモにエサをやっている人がいるが、マナーを喚起する看板が必要ではないか。

これまでの財政運営が失敗であると認め、市民に対する説明責任を計画に明記すべき

今の結果は、門川市政の失策である

市長、市職員は責任を感じるべき

今日の状況に至ったのは長年にわたる市長の姿勢が最大の要因ではないか。

市長にいい顔をさせる市政から脱却し、脂肪をそぎ落とした市政運営が必要

意見要旨

人員削減，給与減額の前に現状の借金財政に陥った責任の所在を明らかにする。

財務状況を表すバランスシートの右側の借金だけ取り上げて，財政破綻を訴えるのはいかなものか。

京都市の財政難は歴代自民党と市長たちの政策責任。これに触れず社会福祉が原因かのような表現は不穏当。

京都市決算を黒字と公表していたのは嘘なのか。粉飾なら，市長・幹部職員・予算担当職員は責任を取るべき。

地下鉄工事費の負担が財政難に拍車をかけたとよく聞くが，その件に触れていないのはなぜか。

現在の財政難は10年前にわかっていたはずなのに，改善するために身を切る努力をしてこなかったのではないか。市長は今すぐトップの座を降りて，後進に改革を委ねるべき。

まるでコロナ前は健全であったかのような記載があるが，実情は2019年までに既に破綻している。もし正しい財政運営が成されていれば，コロナ禍にも十二分に対策が打てたはず。

門川さん，あなたは12年間何をしてきましたか

門川さん，あなたは財政について12年間何か検討しましたか

あほか

このような状態は市民の責任じゃありません。役所を統一する門川さんの責任です。

令和3年の単年度を黒字にするぐらいの目標がなければ最悪の状況を先送りしているだけと思う

市長の責任は大きい

「国基準を上回る」に特別交付税が反映されていない。市民に誤解が生まれる書き方であり，修正すべき

収入に似合った支出をすべき

今まで何をしていたのか

市長・市幹部の責任

財政再建に向け，どんな努力をしたのか説明されていない。観光は人々に余裕があるとき行うもので，観光観光と言っていた市長に責任がある

内容について一般市民が読解し，評価して意見を述べることは元々無理があります。この内容をもって説明責任を果たしていると認識されるのは間違いではないでしょうか。

どのような基準で試算を出されているのか明らかにしていただきたい。

「国の制度改正により地方交付税が大幅に削減」とあるが，以前から赤字財政であることに変わらず，市行政の責任を国に転嫁しようとする意図が見え隠れする。

新型コロナウイルスの影響で市税収入が悪化したことは事実かと思われませんが，なぜ，ここに至るまで改善に向けて動かなかったのかは正直に申し上げまして失策と感じます。

意見要旨

なぜもっと早く改革を行わなかったのか。

これまで長期的な視点で対策を講じなかった理由を説明してほしい。

財政規律を遵守する基本を守れていなかったこと、今後も基金の取崩しを続けることについて、どれぐらいの重みをもって受け止めているのか。

財政状況は厳しいと言いつつ、その実態が明るみになったのが、どうしようもない状況になってからというのも、市の姿勢を疑う。

財政危機を招いた原因は、三位一体改革による地方交付税の削減ではないか。また、大型公共事業、それに伴う市債発行が公債償還として市財政に重くのしかかっているのではないか。

橋下元大阪市長、知事を見習うべき

無責任に独自施策を増やしてきたことについてどのような説明を果たすのか。

市長には辞めていただきたい。

生活保護や母子手当など生活するに最低限の保証をするのは賛成だが、本当に必要でない家庭の見直しが先ではないか。

4期目の市長は一体何をしてきたのか。反省の弁を語るべき。

インバウンド頼り、ゼネコンとの癒着という京都市運営は間違っている。

他都市がどこの団体かをはっきり表示して。政令指定と比較する必要はないのか。

2025年に充実した力強い街にするために、市民と共に活動する趣旨は賛同できるが、今までの赤字財政を放置してきた市に責任がある。それを市民にも押し付けるのはおかしい。

若い世代は低賃金で今までのつげを支払っている現状があり当事者としてとても苦しい。なぜこれまで改革をしなかったのか。将来世代への負担の先送りとなる禁じ手をとっていて恥ずかしくないのか

このような事態になった経緯を市長が説明し謝罪すべき。4期も任期を受けた市長の責任は重い。

行革債や調整債の発行が意味すること、また現在・将来の市民への負担について、適切な情報発信を望む。

財政がひっ迫した責任を市長はどうとるのか。

施策を削減することは景気回復の足を引っ張ることであり、やめるべき。

市長は辞職し再選挙すべき。

少なくともそのことを支持してきた市民がいたからこそその独自の施策だったかと思うので、伸ばすところは伸ばしてほかに削れるところを再検討してほしい

法人住民税が地方法人税として国税化され市税収入が減少したことが触れられていない。

人件費の退職手当について、定年引上げの法案が成立したことから影響を加味すべき。

意見要旨

財政を悪化させた責任を明らかにできないなら、トップが全責任を負うべき。普通なら辞任

長年の無理な財政は年配者である市政・市長の責任である。

見直しは必要であるが、サービスを低下させると、他県への人の流出や、サービス低下によるマイナスな部分が多く出るのではないか。

財源対策で将来へ先送りした所で、少子化も進んでいるので、財源不足額が増えていだけで、改善しないと思う。

聖域なきと言われているが、市長に近い部局、市長肝いりの政策は全く遡上に上がっていないのではないか？市長が1番の元凶と言うのを分かっているのか？

資産を公表してくれたことに敬意。市民も現状を知り、危機感を感じていると思う。

支出削減はもっと大胆に実行するとともに、収入増加の実行力ある具体案を策定・実行すべき

長年、財政難と市民に訴えるばかりで市は必死に取り組まない。やる気のない人はやめてほしい、門川市長。

現市長の責任をどうとるのか教えてほしい。わずかな給与カットで済む問題ではない。

財政危機といわれるが、それを招いた理由は何で、責任は誰にあるのか、もっと議論すべき

学生や観光客が多いため、ごみ処理に係る支出が多いといったことはないのか。

削減するところを見誤らないようにしてほしい。

なぜ、誰がこの禁じ手に手を付けたのか、はっきり説明しないと今後の見通しも立たない。

市長が責任をとるべき。改革を任せようとは思わない。

待ったなしの状況になった原因がコロナ以外によくわからない。

こうなった原因をきちんと書いてほしい。

市長はホテルの建築を進めてきたことを反省しない限り、同じ失敗を繰り返すはず

これまで常套手段として、財源不足額を市民新聞等でこれでもか宣伝し、年度末には努力してここまで縮小しましたとしてきた。オオカミ少年と同じで全く信用できない。

財政状況の実情は説明されているが、実際に痛みを伴う市民が納得するためには、京都市の財政状況が他都市より悪い原因を詳らかにする必要がある。

市長の覚悟が必要。

前市政現市政をあげて、まずは懺悔から始める話ではないか。

責任者は責任を取るべき。

意見要旨

なぜこのような事態陥ったのか、過去を遡り市政、首長のありようを今一度検証し、ありのまま市民に語ってください。

現状は確かに厳しいが、今後の試算も厳しい。

財政難はコロナ禍によるものではなく長年の放漫経営を続けてきた市長の責任。

このような事態に陥った原因を分かりやすく説明してほしい。

今の財政がなぜこんなにひっ迫しているのか、だれに責任があるのか明らかにしたうえで、他市区町村にも警鐘を鳴らすような改革の断行を。

京都市自らの責任や当事者意識が伝わってこない。これでは市民理解を得ることができないのではないか。

システム導入に失敗して多額投入したことが記載されていない。

2001年に発出した財政非常事態宣言から、なぜこうなかったかが明確でない。

今回提案されている「計画（案）」は、昨年11月時点での財政収支試算を前提としており、その資産を根拠に財政が破綻するかのように市民に説明することは、行政としてあまりに不誠実です

財政危機を演出し、市民サービスや職員を削減しようとしているように見える

危機的財政を招いた市長の責任は重大

2800億円という巨額の財源不足が発生する。そのために対策を講じなければとあるが、そのために市民が犠牲になるのはおかしい

どうして財政がこんな状況になったのか具体的な説明がなく、何にどれだけの額を支出してきたのかをまず知りたい

将来への閉そく感（及び破綻への道筋）を何としても打破せねばという前向きな意思も感じられたのである意味安心しました

こうなったのは市政の責任である

これまでの市政を担ってきた市長と職員は辞職すべき

これまで福祉の恩恵を感じたことはない

これまでの市政を担ってきた市長と職員は辞職すべき

赤字原因を社会福祉ばかりにしている。社会福祉費用を赤字の原因と強調するのは、市長の無能をさらけだしている。

財政赤字を生み出した原因は、放漫な市政運営にあったのではないのでしょうか。

市長としてしっかり働いてください。何やってはるか全くわかりません。

無駄な支出が多すぎる。

意見要旨

収入増の取組にどんな問題があったのか。もう少し知りたかった

財政状況についてはコロナ前にわかっていたのではないか。選挙の争点にすべきであった

市政の失態を市民に押し付けるべきでない

市政への反省が見られない

市長は辞任すべし

反省が感じられない

市役所内の組織構造、意思決定プロセス、意思決定基準などに根本的な問題があるのではないか？

京都市長はこれまでの責任をとって辞職すべきです。

市民に責任があるかのように負担を押し付ける内容に怒り心頭。市長として能力がないということで、早々に退職願いたい。

(P. 6及びP. 11の記載について) 社会福祉関連経費の「増加を抑える」のか「現状維持をしない」のかが曖昧に感じる

これまでの市政によって今日のような状況に陥っているのだから、市長は即責任を取って辞任するのが筋ではないか

「サービス水準を守り続けた「ため」」が悪化の一因としているが、可能な限り守るための「見直しが不十分」が悪化につながったはず

そもそも、京都市が赤字になるのは、歳入に関して市の努力が足りないからではないか。法人市民税の観点では、京都の会社が京都以外の土地に出て行ってしまうのは、経営上京都に魅力がないからで、観光ばかりに力を入れた市政運営に問題があるのではないか。

冒頭から、全く危機感緊張感が感じられない。こうなったことへの市長の責任についてどこにも記載されていない。市長が「私が間違っていた」と明記すべき。市民として全く協力する気は起きない。

これまでを反省しろ

これまで何をしていたのか

市長が責任を取るべき

市民に苦痛を押し付けるのがひどい。

市民に失敗を押し付けているようにしか捉えられない。この12年間何をやってきたのか。

地方交付税を減らした自公政権が悪の根源

老朽化した小中を放置してきた市長は最悪。まずは辞任から。

数年前は黒字決算で借金は確実に減らしていると説明していたが、公債償還基金の取崩しによりさも財政改革が進んでいるように発信していたことを総括してほしい。

意見要旨

シルバー民主主義に陥らない市政改革も必要。多様性を欠いた未来像に基づく財政計画は失敗であった。

北陸新幹線は京都市の負担を生じさせることになる。地下鉄も市長選に間に合わせてしゅん工させた。梶本市政を引き継ぐ現市長の責任は大きい。

必要性や効果が明確でない、センスのない打ち上げ予算が多く見受けられた。市長ははじめを付けた方が良い。

禁じ手である基金から補填しようと思ったのは誰か。市長をはじめ、局長部長級は責任を全うすべき。

問題を放置してきた門川行政の責任。

観光公害ともいえる状況に至ったことに対する言及がなく反省の弁もない。

そもそも何故財政難になったかの説明がない。

原因を突き止め、責任の所在を明らかにしないと同じ過ちを繰り返す。

持続可能でなくなった原因を作った人に責任を取らせるのが先。もしくは原因となった組織の仕組みを改革するのが先。

施策への見直しや改革への踏み込みが足りなかった理由が触れられておらず、そこを改善しないと今後も支出を増やすことになる。

借金前提で大盤振る舞いしてきたことのツケがきていることをほとんど省みしていない。

市長は辞職するべき

これまでの計画性のなさがわかる

このような財政状況になるまで、もう少し前から対策ができなかったので、市民に説明が必要だと思う。

これほど大幅に市民サービスを低下させる改革を行うならば、市長は即刻辞職し、選挙で市民の信を問うべき。

高水準の保育環境だと思ったことは一度もない。元々下げられてきた基準により保育現場は疲弊している。今までお金を出しすぎたから財政破綻したかのような説明では納得できない。門川市政は4期目、この事態を招いた責任があり、説明が必要。

財政問題を引き起こしたのは市長と市会。市長は辞任し、新市長の元で改革を行うべき。

市長の責任を明らかにすべき。

必要な支出は理解できますが、これまでの施策で、必要以上に費用をかけてしまったものも多額にあるのではないのでしょうか。そこもしっかり見直していただきたいです

市長が責任を取るべき

市長は公約を守ってください

改革の実施が遅きに失している

意見要旨

住民サービスは削るのに大型開発を聖域化するなど、反省が感じられない

現状と現状のままの場合の危機的な状況についてはよく理解できた。

市債を償還するために基金を積み立てているのであれば、なぜ市債が貯まることになるのか。

地方交付税の削減が決まった段階で、財源不足に気付けなかったのか。R元年度の税収が過去最高であるのに、財政が赤字になるのはなぜか。観光業による減収額はどれほどか。

トップを変える必要がある。

負担を先送りした現状を作ったのは市民ではない。

税金の使われ方は正しいものなのか知りたい

市長が責任を取るべき

市長が責任を取るべき

市長が責任を取るべき

景観規制がすべての元凶である

これまで何をしていたのか

これまで何をしていたのか

これまで何をしていたのか

これまで何をしていたのか

これまでの責任を取るべき

市長は辞任するべき

市長が責任を取るべき

今までなにをしていたのか

今までなにをしていたのか

これまで何をしていたのか

国民保険料の見直しは反対

意見要旨

まず支出が超過していることについての謝罪が必要ではないか。

禁じ手に手を付けざるを得ない状況であることに危機感を感じた。

2 本市財政の現状と今後の財政収支の試算について

地下鉄事業への財政支援に対する意見（13件）

意見要旨
地下鉄建設は失敗だ。
財政難の根本には無定見な契約変更で工事費が膨れ上がった地下鉄東西線などの開発事業があるのではないか。
地下鉄東西線の大幅な建設費増の原因と責任を明確にすべき
地下鉄東西線は失敗。採算が取れないならやめる（民営化？）勇気も必要。
平成初期の大規模投資事業や地下鉄東西線の建設費については、注で触れているだけで失政を認めていない
市自身が認めているように、市の「財政危機」の最大の原因が地方交付税の削減以外に平成初期の大規模投資事業や地下鉄東西線の建設費の2倍化などにあることがはっきりしている
地下鉄に膨大な予算をかけておきながら、その赤字を市民負担増で乗り越えるのはやめてほしい。
財政問題でも、過去の地下鉄東西線の負の遺産への総括がない。
地下鉄の建設費高騰と需要予測（特に東西線）の計算が合わなかった反省をすべきではないですか
地下鉄東西線の経営失敗の責任をとるべき。
地下鉄事業の返済がかかりすぎである
地下鉄事業の返済がかかりすぎである
地下鉄の赤字を市民に押し付けるな

2 本市財政の現状と今後の財政収支の試算について

収支の試算についての意見（23件）

意見要旨
市債を大量に発行すればよい。
今の歳入の範囲内で行政運営する場合、どのような事業ができるのか、できないのかという収支シミュレーションを見たい。
歳入が上がらないのに歳出が増える計画はそもそもおかしい。財政再生団体に陥ったら独自事業ができないというのに「新規充実事業」を行おうするのは矛盾している。
これまでの一つ一つの政策の試算と見直しに甘さがあったのではないのでしょうか。
市債の発行で資金調達をおこなえばよい
歳入において今後、名目経済成長率ベースでの増加を見込むなどと記載されているが、これだけ危機感を煽っておいて何も言っていないようにしか見えない。
財政試算では不足するとあるが、正確なのか。不足額が変わっているなど、不確かな部分が多い。
来年頃からは観光業も復活し、インバウンドも元に戻っていき、収入も回復していくと予想する。
赤字の見通しが正確さを欠いており、もっとしっかりした見通しを立てるべき。
試算の詳細が分からない。
地方交付税が増えない限り、住民サービスはそもそも低下することになる。
政令市平均では、十分な情報ではない。 大阪市と比較するべき。
南海トラフ地震が発生することも予想されるが、その際の費用は計画されているのか。
地下鉄事業のR7歳出が前年度までと比較して+20億となっている。なぜか。
慎重、正確な試算をした上で具体的な立案を
長期的な展望も示してほしい。
金額提示での開示に少し信頼がもてたが、開示内容に不足があるように感じる。500億円の不足はどのような原因が考えられるのか知りたい。
収支を合わせるべき
将来の継続的な収入に重点を置かないと先がない。
収支を合わせることに先決である
収支試算等について、机上の計算に終始している
昨年の決算報告では10年連続の黒字決算と公表していたはず。捏造か。
京都市はお金がないのか

3 持続可能な行財政への道筋について

公債償還基金の取崩しから脱却し早期の財政健全化を求める意見（59件）

意見要旨
公債償還基金の計画外の取崩しはやめた方がよい。
支出を削ればいいだけ。早く健全化すべき。
集中改革期間内に、公債償還基金の取崩しから脱却できる目処を立てられるような計画にするべき
行財政改革を迅速かつ早急に進めてほしい
令和15年度までは公債償還基金の計画外の取崩しから脱却できないような見通しなら財政再建などできない。
直ちに特別の財源対策から脱却すべき。
公債償還基金の計画外の取崩しはゼロにすべき。
市債の発行はやむをえないが、公債償還基金の取り崩しは禁じ手である。
不十分である。
なぜ来年度以降も公債償還基金を取り崩すことが前提なのか。公債発行を控えるべき。
甘い
収支均衡は支出の抑制のみで達成すべき
基金を取り崩さず、歳入の範囲で毎年度の予算編成を行うことを条例化してはどうか
公債償還基金の取り崩しからの脱却の道筋を示すための計画に対して、令和4～7年度までの間、毎年160億円以下を取り崩すのはおかしいのではないかと。
改革が遅すぎる
公債償還基金の計画外の取り崩しは直ちにやめるべき
計画案どおりの改革では遅すぎる
公債償還基金の取り崩しによる負担の先送りではなく赤字にすべき
負担の先送りをせずとも、赤字決算を出せばよいのではないかと
特別の財源対策に頼らなくてはいけない意味がわからない。ただちにやめるべきではないかと。
これ以上将来への負担の先送りには反対
素直に赤字決算を打って、素直に財政再建すればいい。

意見要旨

全体的に、目先のことしか見ていない。財政支援団体になる期限を数年延ばすだけで、財政支援団体になることは決定です。

特別の財源対策はすべきでない。実質収支を赤字にして市民へ情報を開示すべき。

ここに書かれているだけの見直しでは甘い。折衷案ではなく、本気の見直し姿勢を示してほしい

夕張市並みの財政にすべし。

将来の子供につけを回してまで今のサービス水準を維持したいという気持ちが理解できない。すぐに是正し、真つ当な市政運営をすべき。

公債償還基金の取崩しを前提とした改革は、改革ではない。

削減したお金は全額公債償還基金の補てんとしてほしい。

今の京都には「改革」では足りず、明治維新のように「革命」に近い発想で取り組むべき。

公債償還基金の取り崩しは避けるべき

取り崩し分を積み立てる計画まで立てるべき

公債償還基金の取崩しはR15年度よりも早いタイミングで脱却する経営を希望する。

平成17年に公債償還基金に手を付けた時から改革すべきものです

公債償還基金の取崩し脱却までの期間が長すぎる。

オープン化システム100億円の検証はしているのか。

財政当局は基金等資産の運用のまずさを反省し、戦略的な運用をすべき。

基金の取り崩しは今すぐにでもやめるべし。

公債償還基金の計画外の取崩しは今後しないと明記すべき。同じ過ちを繰り返さないような仕組み作りが必要

これまでも下方修正の繰り返しだったため、本気度が見えないし、信頼が置けない。

公債償還を凍結してほしい。

必要最低限を算出し、特別財源なしでどこまでできるのかを提示してほしい。

消費的経費にも京都市独自の特徴的なものもあり一律に削減は早計と考える。まずもっと収入を生む道筋を

財政の健全化へは基本的に収入を増やし、支出を減らすものだと思うのだが、この改革案には後者の削減のパートが多くてINを増やす提案が少なく感じ持続可能性があるのだろうか、という感じている

公債償還基金の取崩しについては、異なる対策を講じできる限りと取り崩さないようにしなければならない。

財政再生団体に陥る寸前の今こそ、本気で取り組んでもらいたい。

令和3～7年の市税収入の見込みからして、甘い。

意見要旨

市長は、これまで分不相応の恩恵を受けてきた層に、京都市を支える世帯のための費用を捻出するために、どうか涙を吞んでくれと訴えるべき。

頭を丸めて、裸一貫で出直す気概が必要ではないか。

公債償還基金の取崩しは今に始まったことではなく、いずれ問題になるのは分かっていたのに、今頃慌てているのはおかしく、今まで対策を打てたのに放置していただけにしか見えなく、職務怠慢としか言えない

公債償還基金残高の目標値を決めることは良いが、必ずそれを達成するのだという意気込みで進めること

特別な財源対策を行う前に、十分に市民に説明するべきではなかったか

今現在どれくらいの財源不足があるのかが分かった

将来を担う世代への先送りは回避するべき

公債償還基金取り崩し取り崩しを令和4年度予算編成からやめて、収入に見合う予算を作成して欲しい

財源がないと言いながら、そのツケを市民に押し付けしようと感じる

歳入額内で運営できる体制に変えるべき。

公債償還基金を取り崩すことは問題。枯渇しなければ使って良いという考え方をしているのではないか。

収入の範囲で予算編成すべき。

3 持続可能な行財政への道筋について

必達目標に対する意見（8件）

意見要旨
公債償還基金の残額の設定が巨額すぎる。
令和7年度に基金残高1,000億円を確保できなければどうなるのかを記載すべき
必達目標を定めた覚悟は良い。
必達目標を達成できなかった場合のペナルティがあるとなお良い。
試算通りに実現できれば辛うじて息がつけるという意味で適当な目標と言える
予算のキャップは5か年平均と言わず、もっと厳しく設定すべき
一般財源がなぜR7までほとんど変わらないのか。
必達目標については、数値目標が具体的に示されている点分かりやすかった。もっと大きくアピールすべき。

3 持続可能な行財政への道筋について

歳出上限・財源捻出額に対する意見（25件）

意見要旨
理想ではなく、現実的な数字での計算をするべき
現状の分析と今後の試算が甘すぎる。
歳出上限について、もう少し分かりやすく解説してほしい。
まずは歳出の抑制を図るべき。
歳出上限の表について、令和元年度の状態に戻すことは困難なのか。無駄に悪く見せている気がする。
試算が甘い
財政収支の試算について、コロナ禍における歳入への影響はもっと大きいのではないか
国と大企業に負担を求め、歳入増を図るべき
産学官連携による技術革新にどれほどの予算を使っていくつもりか。
歳出上限の設定は、改革期間だけでなく、常時取り入れるべき。
メリハリをつけ、非生産的な経費を削減し、今後の税収につながる戦略的な経費はしっかりと確保しなければならない。
改革案の作成前に、示された数値に合わせるだけなら誰でもできる。いかに財政を立て直すか、京都市政としての覚悟がない。
京都市の特徴をしっかりと見極めたうえで、博打のような都市計画に頼らず、京都市で充実した経済基盤を作れるよう、しっかりと考えて欲しい。
歳入の範囲で歳出することは基本中の基本。早く正常な状態に戻せるよう痛みの伴う改革をして欲しい。
歳出削減を徹底するべき
消費的経費77億円削減の方法が書かれていない。トップの意向としてある程度の事業の取捨選択をし、不用事業をやめやすいようにすべき。
観光客からより収入を得る方法の検討が必要になると思う。
歳入の増加についても踏み込んで記載してほしい。
予算に上限を設けた点に危機感の高さがうかがえる。改革には外圧が強まるものだが、負けずに頑張してほしい。

意見要旨

市民生活・福祉に関係するもの以外は予算を削るべき

支出を抑えるべき

予算の使い方を考えてほしい

予算の使い方を考えてほしい

予算の使い方を考えてほしい

財政破綻しないように支出を抑えるべき。

3 持続可能な行財政への道筋について

改革を進めるにあたっての意見（122件）

意見要旨
給与カット以外の改革についても、それぞれ何億円捻出するのかを記載してほしい。
収支バランスが大切。
財政構造の抜本的な改革のため努力してほしい。
大阪府の行財政改革や夕張市の実際について分析し、見習うべき。
自分たちの生活を支えるためなら負担が増えるのは仕方ない。
お金がないなら、根本的に見直すしかない。
市民にとってのメリットを示すべき。
事業効果を公にすべき
税金が安くなるなら応援する
事業を全部廃止して、一から全て作り直した方がいいんじゃないでしょうか。
税金のむだづかひやめて
全国水準からは随分と上回ってますので、今後は廃止します みたいな話になるのであれば、随分と短絡的な感じを受ける。
一戸建てに住むのではなく、四畳半一間に引っ越すべき
収入を支出が上回っていたら支出を減らすのが当たり前
少ない予算で最大限の成果が上げられる施策を研究すべき
一旦、余計なことを全部やめて財政を立て直しなさい。
一部の団体・市民だけを特別扱いせず、市全体で負担を背負い、財政破綻させない施策を行ってほしい。
成長戦略に頼るのではなく地に足付けた財政運営を行うべき
公債償還基金の計画外の取り崩しが禁じ手であるなら、その手段をとらない改革計画を策定すべき
特別の財源対策等の負担の先送りをせず、真つ当な財政運営をするべき。
市役所前で座り込みやビラまきをしている団体の中に職員団体がいる。市の存亡が危ぶまれているのに一体感が感じられない。
市役所の方に金額は気にしないで下さいとよく言われます。本当に財政難なのか、節約しようとしているのか疑問

意見要旨

改革は、批判があっても、信念を持って削減すべきは削減し、進めてもらいたい。

財政再生団体になったつもりで、新規事業ゼロの覚悟で取り組むべき

公債償還基金の残高と毎年の収支という二つの視点で目標を設定することは今までにない取組であり、評価する。

公債費を圧縮すべき

達成できなかった場合の想定も記載すべき

全ての事業の見直しを行い、積極的に改革を行ってください

既得権益を徹底的に打破していかないといつまで経っても改革は進まない

新規事業行わない

公債償還基金の取崩をそのままにしているのは市民の信頼は得られない。

大阪市の行財政改革はそのまま京都市でも行える。

もっと大胆な改革が必要。頑張ってください。

行政改革は必要。

何を大切に守りながら見直しを進めたいのかわからない

業績が悪ければサービス内容も相応に見直すのが当然。

何を切り捨て何を守るのか明確にすべきである。

財政再建に成功している大阪の手法と比較してほしい。

計画に記載の内容は10年前に取り組むべき内容である。

ビジョンが乏しく、理想語りばかりで、危機に対する理解に乏しいただの机上の空論に感じた。

行政改革を行うには、遅すぎる。今年検討する場合ではなく、10年20年前から実施すべき問題である。

冷静に削減可能な不要不急のサービスを議論すること、負担の先送りをできるだけ早く止めること、このことが大事。

大学から発想をもらってはどうか

計画に削減による影響が示されていない。

財政破綻するならどうぞしてください。

歳出削減案について市民サービスのレベルダウンはやむなしと思う。

将来に負担を残さないためには、もっと高い目標が必要ではないか

意見要旨

市民に極端な重圧は厳しいと思うが、分散して負担していくのはどうか

市債発行を抑制すると謳いながら年間400億円もの市債を発行する計画に矛盾は感じないのか不思議

行財政改革を断行する姿勢を評価する。一方で、利益団体、しがらみ、感情論に支配され、実りのある改革につながらなかったという事態は是非とも回避しなければならない。

国内他の地方自治体に対するロールモデルとなる気概を是非示していただきたい。

利益団体、しがらみ、感情論、事なかれ主義、根拠なき楽観的見方にとらわれず、行財政改革を断行していただきたい。

民間企業であれば即クビのような状況を放置するようでは、自己の客観視（改革の実現）、市民の支持や理解、尊敬を得ることは難しい。

夕張のような悲惨な状況にならないように…との気持ちは分かるが、やり方が急すぎる。

今までできなかったのに、こんなコロナで大変な時期に3年や5年で本当に何とかできるのか不安。

ゼロベースで見直し、本当に必要な事業だけにすべき。本当に支払わなくていけない経費なら、市の収入の範囲内ですべき。

制度を見直してスリム化し、本当に必要なところにお金が行くようにしてほしい。

集中期間が短いように思うが、期間内にやり切ってほしい。

不足する分を市民にもお願いするというストーリー建てが弱い。

こういった改革は以前から当然にやっておくべきだった。

支出を抑えることより、収入を増やすことに力を入れたほうが良い。

言葉に頼って制度や現施策への実態への方向が示されていない。

金融政策も操れない市町村レベルの政策で、税収増加はできない。愚直に改革を進めてほしい

財政再生団体への転落は絶対ダメと書いているのはなぜか。色んな既得権益を国の指導で整理できる良い機会。

試算については、厳しい到達基準目標と、それに達しなかったときのプランBを同時進行で進め、危機管理をしっかりと行ってほしい。

大阪の例をとり、いいところと改善しなければならないところを、見習う時期に来ているのではないか。

未来へのことを考えるのも大切だが、今のこともしっかり考えるべき。

市長が頼りない。

誰かの赤字は誰かの黒字政府の赤字は国民の黒字何が問題なのかわかりません。プライマリーバランス黒字化あほか？

とにかくプライマリーバランス黒字化などという馬鹿げた事をやっている限り何も解決しません

世界に誇る京都を守るためにも、強い意志で再生をお願いしたい。大阪市で橋下さんの時代に行っていた改革方法を見習ってはいかかか。

アートがどうのとか、誰のための政策なのか。住んでいる人のための支出を削るような計画には断固反対。

意見要旨

強い政治的リーダーがいなければこういった改革は難しいと思います

外向けの行政を今すぐにでも辞めてください。

市民サービスを海外や民間企業に販売するような安易な対応をしないよう

総論賛成，各論反対は議論につきもの。論理的な反対かどうかを見極め，単なる感情論なら無視すること。

財源捻出策を提案するのであれば，もっと広範に提案していただきたい。

収支が改善すれば市民サービスをさらに充実させてほしい。

抜本的な見直しを求める。

長期的に解決すべき課題を経営課題に織り交ぜて進むのは大切。

改革を考える職員は大変だと思う。

市長・市幹部・市議員の財政再建に対する本気度が見えない。

計画に実現可能性があるのかどうかなど市民には判断がつかない。

支出の抑制は，経済を縮小させる。財政再建はできない。

支出の総額は維持し，経済成長や人口増加につながる施策を実施すべき

コロナのように感染症は繰り返し起こる

市民生活を何よりも優先する。

危機的な財政状況のなか歳出見直しは結構だが，京都市の将来を見据えた取組を重視すべき。進める取組は低下させないことが大事。

予算制度と言う考えをやめ，使った経費に対して支出するという制度に発想転換してはどうか。予算が余っているという考えがあるから，不必要な支出をして，無駄使いが発生しているのではないか。

生きていくために必要な根本的なところ，子育てや救命，消防などの財源・人員を削減すれば，いずれ様々なところに歪がやってくると思う。生活を支える，安全を守る基本的なところを大切にしたい。

話になっていない。夕張市になります。

寧ろ財政再建団体の基準を見直さないと，京都だけでなく大変な自治体が数多く出てこないか

単式簿記，現金主義，予算ありきの会計を改善すべき

持続可能な行財政を目指すのは当然である。

市民サービスを減らす対策では，住みたいと思う人が少なくなり，さらに状況が悪化するのではないか。

コロナ禍を理由に，これまでの京都市財政のつけを求めるのはおかしい

良いと思う。

意見要旨

良いと思う。

支出を抑えるのには限界があるから、税金を増やすことを考えないといけない。

今までだけでなく、将来も含め、どうすれば市民のためになるのかを一番に考えて財政再建を進めることが重要です

無駄にお金を使っている事業は削るべき

行政改革は新しい資金投入では帰らない。一度立ち止まってすべての無駄を省き、考えましょう。

あちらも削りこちらも削りでは単に行政の仕事放棄のように見えてしまわないでしょうか。

市民にも大きな責任はある。今までの考え方とは違う動きをしなければならない

支出削減より収入増加を図るべき

市民サービスを悪化させずに健全化を図るべき

超長期ビジョンが必要

今の現状のままでいてほしい。

来年度にも計画を実行に移していくスピード感が必要である。

サービスを減らしたり、税金の均衡化だけを言われても、大事なことを忘れていたような気がする

持続していくための点検は十分に行う必要がある

単に赤字が見えにくくなるだけに終わらないようにする必要がある

市民サービスの切捨ては止めてほしい。

サービスを低下させたら若者に敬遠される。

平成20年の財政危機の頃と同じことを言っていると思います。前回と今回はどう違うのでしょうか。

試算を見る限りコロナに関わらず必要な改革と考えるが、このコロナ禍からの立ち直りの時期に開始することで経済の回復を妨げないか。

市民の生活を守るべき

市民の生活を守るべき

令和7年度末までに基金1000億確保とあるが、財源不足からの脱却の時期はいつか。

市民サービスは全然減らして良いと思えた。

早急に改革を進めなければならない。

改革が多すぎる。集中して行うものを絞っては。

4 行財政改革の取組について（1）

民間委託の推進・民間との連携等に関する意見（118件）

意見要旨
民営化については営利企業を避け、市民への悪影響を避ける必要がある。
ごみ収集運搬は全部民間委託すべき
全て民間に任せてしまえばいい。職員がやる方が効果的・効率的な仕事なんかない。
市長の秘書を民営化してはどうか
民間活力導入については、費用対効果という観点を忘れずに議論いただきたい。
賃料等の削減にあたって、統合された学校を、PFIなどにより改修・活用してはどうか。
長期間同一法人が指定管理になっていないか、公募制と言いながら随意契約になっていないか、市内事業者への発注が出来ないかなど、適切な契約となっているか確認すべき
ごみ収集を直ちに民営化するべき
クリーンセンターを直ちに民営化するべき
民間委託をもっと進めるべき
ごみ収集は100%委託化すべき
自治会などの地域の取組を応援してほしい
町内会や自治会の活性化
未来まちづくり100人委員会を復活させてほしい
民間委託進めていく
市の職員が債権を回収するのでは無理がある専門の人に任せるべき
芸大も民営化すれば良い
科学センターは民営化
民間委託の取組が全く進んでいない。職員が多いのは全て直営でやっている証拠。ごみ収集、クリーンセンター運営は全て民営化すればよい。直営でやるべき施設はほとんどない。さっさと民営化を進めてほしい。

意見要旨

市職員でなければできないもの以外は全て民営化すべき。

ゴミ事業を株式会社として市から分離すべき。

京都市立病院を民間に売却すべき。

民間委託を進めるべき

民間の活用は必要だが、まともな民間企業か厳しく審査したうえで進めてほしい。

市営住宅は、八条住宅のように、民間を利用して、土地売却も視野に入れ、なるべく財政負担の少ない方式をとるべき。

ごみ収集は100%民間委託すべき。

委託事業を増やして人件費の削減に注力すること。

民間委託できる分野は思い切って進めるべき。

清掃部署は民営化。

市立病院を民営化。

小学校から大学まで全て民間企業や私立学校に事業譲渡。

民間活力の活用反対。

動物園とか美術館とか民営化すれば

民間委託により財源にどんな良い影響があるのかわかりにくい。

ごみ回収は民間業者委託すべき

幼稚園の民間移管を進めるべき。

ごみ収集の委託化をさらに進められないか

民間の活用は進めすぎて、公共性を失うことがないように注意すべき

ごみ収集、全部民間業者に委託すればいい。

民間事業者への委託料が上昇しない仕組みを考えているのか

市民サービスを削減するだけでなく、市民に市政の一部機能を代替するような協力を求めてもいいのでは。

意見要旨

市施設を保有せず民間に任せただけの場合、採算が取れなければ廃止が目に見えている。市施設は基本的に市民に必要なものであり、市が採算ベースに乗せる努力が必要。

民間委託後の管理や業者との連携を定期的に行うべきだと思います

古紙やアルミ缶、金属類、ペットボトルなどの回収について、民間業者委託で徹底して回収を進めるべき。

民間委託を進めるのであれば、それなりの補助とチェックする仕組みを作るべき

民間活力の活用に賛成。公務員削減、民間雇用促進を実現していただきたい。しかし、公務員の労働条件悪化を招かないように。

民間事業者の積極的な参画による地域の活性化を。

市政協力員制度を廃止し、委託化すべし

民間の力をというが、それなら民間のコンサルに相談すれば良いのでは。

民間でやれるところは役所は手を出さないでほしい。

民間との連携が拡大しすぎることは心配

委託でのコスト削減に反対

「民間活力の活用」は、京都市(民)の利益なのか事業者の利益なのか判然としないことがある。

民間活力の活用を言いながら、社会的弱者に負担増加を求めるのは矛盾している。SDGsの取組を市が率先して行うべきである。

近年築の集合住宅では、ごみ収集処理を当該集合住宅で民間業務委託して(させられて)おり、その費用を負担している。それ以外は、京都市の清掃車で回収されているが、ごみ処理費用を負担していない(ゴミ袋のみ)と思われる。不公平ではないか。

市のサービス事業を民間に移さないでほしい。「民間活力」という言葉は綺麗だが、これまで国を含め暮らしや生命を脅かされてきた例をこの紙には書ききれない。

民営化路線を突き進むことはやめてほしい。国水道事業の民営化などもってのほか。民営化路線、小さな政府・行政機構路線はコロナ禍への対応で失敗が明らか。保健所の縮小は誰がやったのか。

民間委託で経費を抑えられるなら、公営でも近い費用でできるのではないか。

民間活力を生かすにも、既に体力を使い果たし、出がらしで何も出てこない

民間委託する業務の対象は、直接作業だけでなく、企画等も必要

指定管理者や独法について、過大評価しすぎである。

企業・神社庁・仏教界に支援協力をお願いを

意見要旨

民間活力の活用について、未実行で可能なことを列挙すべき

年金検討員を見直すべき

年金検討員を廃止し、就労支援を外部委託すべき

社会保障、公的財産については、民間への委託推進ではなく、公的事業として存続すべきである。

民間委託によるサービスの低下が心配

適正化を進めると混乱がありそう

民間の活用は、企業や団体の利益にならないようにすべき

民間活力の活用、民営化の更なる推進は必要であるが、直営が必要な場合も想定した取組が必要である。

PFIや指定管理者制度の推進は慎重に検討すべき。

民間委託は反対

観光業を民営化すべき

観光業は民営化すべき

崇仁地区の地域活性化について、京都駅至近に広大な面積を確保しているという点で極めて重要であり、安易に民間にゆだねるのではなく、京都市の産業構造と市全体の都市機能のあり方を検討したうえで用途を決めるべき。

民間活力の活用は大切だ

ごみ収集の民間委託化を進めるのなら、福岡市のように夜間収集を実現すべき。市会で年6億円と試算されていたが、有料化財源13億円で賄える。

民間委託は慎重に。市内事業者に仕事が行くように。公的な仕事であることからチェック機能が働くように。

委託の比率を上げれば職員の数を減らせるのではないか。

空き家対策事業における行政書士の活用などの、プロポーザル事業には無駄が多いと感じる。洗い直しを。

民間活力の活用はいいが、行政がすべきことを民間にやらしてもらおうというのはいかがなものか。

「民間活力の活用」を一切否定するものではないが、この推進は「魅力ある古都京都」を破壊し「儲かる京都」に転換させる触媒のようなものとして機能している

「民間活力の活用」やPFIなどの手法はもはや「時代遅れ」とする指摘もある

PFIなど民営化や民間活力の活用など国と一体化したお決まりの政策展開を行っている。これでは、ポストコロナで大資本の宿泊施設による乱開発を誘導する役割を果たすことになる

意見要旨

ごみ収集などの事業をこれ以上民間委託にするのは反対である

施設運営の民間委託は経費削減の有効な方法であるが、命やライフラインに関わる事業は民間委託にしてはいけない。

問題意識を持った市民が積極的に意見を出し合い、小さなレベルで行動が起こせる仕掛けを行政内に構築すべき。

民間委託をしすぎるのもどうかと思う

指定管理者制度の導入はサービス低下等に繋がる

芸大交付金の削減は本末転倒

ごみ収集は行政ですべき

人件費削減目的の安易な民間委託はするべきでない

文化施設は民間委託すべき

タイムズなど民間企業と手を組んで、各駅周辺の魅力を高めるべき。

民間活力の導入は原則賛成である。

民間は採算を重視することから、いろいろなサービスの値上げにつながります。

民間活力を活用するには、市職員のスキルアップが必要不可欠

コロナ禍で民間活力に期待するのは危険だと思う。

民間委託すれば、コストが下がる、サービスが向上するというのは単純な「思い込み」ではないか。一から考えるべきでは。

非正規雇用、民間委託に頼らずに市民サービスを維持して、市民の安心安全を守りつつ、真に持続可能な京都市となってほしい

文化、芸術、社会教育、スペース施設は直営が基本。

なんでも民間に委託することが本当に良いのか。

モラルの低い部署は民営化すべき。一方で、若い世代の住みやすさを考慮した行政サービスの質は向上させるべき。

人件費と事業費とを別に考える悪癖がある。経費に人件費を計上する視点を感じない。安いソフト事業にこそ、高い人件費がかかっているのか。

窓口サービスの低下が顕著。

図書館の民営化はしてはいけない

意見要旨

施設の民間移管は質低下につながるため反対

京都市は任意行政のことへも取り組む素敵な市という印象を持っていた。民間やNPO・公益財団などの力を借りこれからも素敵な市でいていただきたい。

民間委託は実施事業ごとに最適かどうか検討すべき

市営部分の効率化にもっと注力する姿勢を示すことも大事ではないか。

必要なサービスかどうかを市民と議論すべき

街の清掃等について、ボランティアに任せればよい

事業の民間委託するのえあれば、質が落ちないようにしてほしい

オーケストラを民間移管すべき

民間委託はサービスの質低下につながるので、反対

民間委託は進めてほしい

民間委託は減らすべき

民間委託の適正化バランスは時間をかけて議論すべき。

4 行財政改革の取組について（1）

保育所の民営化に対する意見（56件）

意見要旨
補助金を減らすべき。
保育所の民営化は、障害を持つ子供などにも配慮をしたうえで行ってほしい
保育所民間移管は反対。年度途中入所などの面で公営が果たすべき役割は大きい。
保育所の民間移管反対
公立の保育所を減らさず、増やしてほしい
市立の保育所全て私立か民間企業に売却し、売却益を財政再建に充てるべき。
公立の保育園は、吉祥院保育園のように順次民営化していくとよい。
保育所を民間にすることは反対
保育所の民営化や廃止は反対
保育所の民営化は反対
保育所の民間移管については反対
保育所の民営化や廃止は市内で充実を図ってほしい。
保育所の民間移管は困る。
保育所の民営化には基本的に賛成。 市営幼稚園も民営化の議論がなされるべき。
保育所の民間移管は行政が本来やるべき責務の放棄だ。
これまでに民間へ移管した保育所はノウハウに乏しく、サービスが低下しているところがある。
小規模保育を含め預け入れる場所は増えたが、質より量という感じが否めない。保育士の職場改善をするためには公の保育園は不可欠。
市が責任を持って保育所の運営をしてほしい
市営保育所の民間移管による相次ぐ閉所は間違っている。
公営保育所と民間保育所で保育内容に差を感じたことはない。公営保育所の廃止については賛成。
保育所の民間移管はやめてほしい。
保育所の民間移管については具体的にどのように行うのですか

意見要旨

民間保育園と同じ働き方を経験してみてください。

保育所の民営移管反対

保育所の民間移管の推進はすべきでない。

保育所の民間移管反対

保育所の民営化反対

保育所の民営化反対

保育所の民営化反対

保育所の民営化反対

保育所の民間移管に反対。京都で育つ子どもたちの様子を市職員が知るには市営の保育所が必要

聚楽保育所の廃止が決定したこと等で、京都市で子育てしていくことに不安しかない。

保育所を減らすのは言語道断。

保育園を一方向的に民間移管するのはやめてほしい。

公立保育園を残して、公務員職員の配置を拡充してください。

保育所の民間移管が納得得られないまま進めるのは許されない

公立の保育所を減らさないでください。

市営保育所を今以上に増やすべきではない。

保育園の民間委託には反対

保育所などは直営が基本である。

保育所の民間移管は反対

保育所の民間移管はしないでほしい。

ただでさえ少ない京都市の公立保育所を減らしている現状はおかしいと考える。

保育所の民間移管は反対

保育所の民間移管は反対

保育所の民間移管は反対

保育所の民間移管は反対

意見要旨

保育所の民間移管は反対

保育所の民間移管は反対

保育所の民間移管反対

保育所の民間移管反対

保育所の民間移管は反対

保育所の民間移管は反対

保育所の民間移管は反対

保育所の民間移管は反対

保育所の民間移管は反対

4 行財政改革の取組について（1）

補助金の見直しについての意見（94件）

意見要旨
集中的にしっかりと取り組んでほしい。
補助金は最低限以外は廃止すべき
市民負担を強いる前に、補助金やイベントの見直しが必要。
補助金やめるべき
市独自の補助金を全て白紙に戻すべき
補助金は一切なしでよいのでは
補助金は全部廃止にしてほしい。
企業への補助金が多い。市民生活の下支えを優先するためにも1から見直すべき
補助金は廃止・統合できるものは行い、総量を減らしていくとよい。
補助金は不公平。全て廃止すべき。
補助金やイベントは不必要とまでは言わないが、財政危機の今、やらなくていいものがたくさんあるのではないだろうか。
補助金多すぎるので、全廃でいい
企業立地促進事業補助金を見直しする
補償やセーフティーネット機能のある補助金は残すべき。その他は大胆に廃止してください
外郭団体や関連団体への職員派遣や補助金は減らすべき。
補助金は目的を明確化した市からの直接配賦に絞るのがよい
補助金の廃止
補助金をやめるべき
消防団や自主防災会への補助金について、団員や会員がきちんと活動していなければ意味がない。
各設備や補助金事業など恐れず切り捨てる判断が必要な場面に来ている。
一体何に補助金が使われてきたのか分からなかった。問題とするべき点があれば、明細にして欲しい。
補助金は規模の大きさに金額をかえる
市独自の補助金についてガイドラインではなく条例くらい制定しないと効果がない

意見要旨

補助金の見直しについて、目標も記載すべき。

もっと無駄な補助金をなくしましょう。

一度本気になり、補助金を見直すべき。

補助金見直しは難しいが、急いでやる必要がある。総点検の結果はオープンにしてほしい。

無駄な補助金をやめるべき。

地域の共同学童保育所への補助金カットを一律に行うのであれば反対

文化や伝統に補助しすぎではないか。

不必要・過剰な補助や支援を見直すべき

補助金詐欺のような団体の割出しは必要

反日教育の朝鮮人学校に補助や支援をすべきでない

老人クラブに市から支給するのはやめて。

多くの補助金をいただいている認識はあるが、ほとんどを人件費に充てており、それでも十分といえない。法令による制約や行政から求められるものも多い中、これ以上の財政面や時間的負担は責任を負いきれない。

補助金の見直しに関して、必要とされているところに回らず、受取過多になっていないかを洗い直すのは良いと思う。

補助金削減と老朽化対策費削減のためにも古い体育館・障害者スポーツセンターは廃止すべきだと思います

誘導的補助事業の見直しはやむを得ないが、福祉的補助は維持すべき

補助の見直しについて、良い点は残し、他を有料にするなどすべき

各種補助金については、既得権を全廃してもらいたい。例えば、社会福祉協議会への助成は不要。

補助金の総点検、ガイドライン作成はよいと思う

当然のことばかり述べているが、無駄な補助金が多い。

経済効果を証明できない補助金は廃止すべき

文化、観光、スポーツ振興事業等における補助金の総点検を。

神社仏閣・祭事などが途絶えることによって、大きく文化的価値を棄損するもの等を除いて、助成金の必要性の有無を検討す必要がある。

「吉本」など芸能プロへの補助金は即刻辞めるべき

補助金支給をしてる500件の名前を公表してみなさんから意見をもらう。

京都市民に直接関わるサービスを廃止しようとするくせに、朝鮮総連の補助金を廃止しないのはおかしい

朝鮮学校の補助金を止める気はないのか

意見要旨

補助金は有効活用されているのか。市議の圧力での支出はなかったのか。補助金を支出しなくてもできた案件はなかったのか。

補助金の見直しは重要だが、保育に関するものなど精査が必要

企業立地促進制度補助金を中小企業に限定する

朝鮮学校への補助金を完全廃止

補助金はすべて廃止してほしい。補助してでも維持させる必要があるならそれは他の枠組みにすべき。

補助金の見直し等は総点検と記載するだけで、目標値等が明らかにされていない。そもそも、これまで点検を毎年度行っていないのか。日頃から適切な評価が行われていなかったと読める。

補助金は、実力があるが資金力がない企業の砦であり、慎重に対応してほしい。

福祉を切り捨てることなく、必要な補助金については継続していただきたい。

補助金は毎年ゼロベースで議論すべき。

補助金の見直しは、上限設定ではなく、交付基準を厳しくすべき。

一企業・団体への補填等は見直すべき。

補助金やイベントを見直しても意味がない。

朝鮮学校への補助金こそ無駄な税金の垂れ流し。一民族への付度はやめるべき。

既得権益となっている補助金は、ぜひカットしていただきたい。

補助金見直しを徹底しろ

補助金の見直しについて、社会情勢の変化によって必要性が低下しているという判断は大変難しい。政治的な配慮が入れば、削減したすべての補助金について正当性が疑われることになることに留意すべき。

学生や子育て世代への支援を減らすべきではない。

補助金等の見直しに関しては、やはり対象を今一度考えなければならない。

(行財政改革5)について) とても良い策だと感じる。

既得権益となっている補助金や事業は厳しく見直していくべき。

全国水準以上の補助や手当の全廃など、大ナタを振るう必要がある。

地域包括支援センターへの補助金を削減するべき

以前あった施設機能強化対策補助金が廃止され、子育て環境充実補助金や地域共生サポート実現社会補助金が設けられたが、非現実的な制約や補助率が低いなど問題。現場の実情にあった補助金の復活を除く。

固定資産税の増税や観光客を対象にした税金の創設を。

健康診断費補助率の引き下げにまで踏み込むのは評価できる。

補助金受給団体の代表者と会計責任者の任期を5年と2年に限定して、癒着や不正を防ぐ。

意見要旨

補助金は申請金額以下しか認めないで。

無駄な補助金，助成金がないか見直してほしい。

町内会のスポーツ行事への補助金もなくしてほしい

補助金，イベント見直しは必須

無駄な補助金やイベント等を見直すよい機会である。

赤字の地下鉄を民営化したり，削減するなら幼稚園の補助金もカットすべき

子ども医療費や高齢者への補助金を手厚くすべき。

補助金については大胆な改革を期待する。

使い道がはっきりしない観光協会やコンベンションビューローなどへの補助金や委託料，緊急事態に使わなくてもいい予算がたくさんあると思います

商店街や自治会への補助金は廃止するべき

市営住宅の民営化を進めるとともに，補助金と減免を廃止するべき

補助金見直し賛成

補助金見直し反対

補助金見直し反対

補助金は適正にしてほしい

補助金の見直しは反対

補助金見直しは反対

企業立地促進制度補助金を中小企業に限定しては。

補助金は削減しないでほしい

4 行財政改革の取組について（1）

イベント開催を見直しへの意見（71件）

意見要旨
イベントはなるべく廃止した方が良い。
イベントは基本取りやめるべき
補助金やイベントを全て廃止すべき。
イベントの見直しは短期的には財源確保できるが、都市の活力が下がる。
イベントの見直しは必要。
イベントは点検でなく一旦ゼロベースにすべき
イベントはすべて廃止
京都マラソンも七夕もなぜオンラインでやるのか。そこまでしてやる価値があるのか。財政難というならきれいさっぱりイベントをやめてほしい。
イベントも、そこにいくらの税金がかかっているのか、教えてほしい
イベント等への補助金がザル状態で支給されており、早急に対応してもらいたい。
自己満足なだけのイベントをやめるべき。人件費の無駄
イベントをやめて職員を減らす
イベントの廃止
大きなイベント（祭り等）を取止め又は縮小すべき
民間委託や収支の見合わないイベントの削減を支持する。
イベントは一切不要
イベントは厳選するべき
イベントの見直しについて、行政が実施する必要のないものは恒久的に廃止すべき。
イベントは京都の若者に立案させる方が良い。
婚活イベントは民間でも実施されており、税金を投入する必要はない。
イベント、例えば消防の救助大会などは見直すべき
イベントの見直しには賛成

意見要旨

イベントを削減することで生み出される人員をコロナ対策や防災に配置することはよい。

市民のためのイベントやお祭りへの支援は削るべきではない

市が行っているイベントはやめるべき。

イベントの見直しについて、補助に頼り過ぎると堅苦しいつまらないイベントばかりになりそう。市としてコロナと向き合ったイベント運営方針を示せば、自由なイベント開催は良いと思う。

イベントも取捨選択が大切だと思います

イベントは廃止または休止

京都市自治記念式典は不要。市役所内で表彰式のみ行えばよい

市主催イベントは一切中止するべき

経済効果を証明できないイベントは廃止すべき

文化、観光、スポーツ振興事業等におけるイベントの総点検を。

イベントに力を入れる必要は無い。

イベントの見直しと掲げているが、上京区において、ふれあい祭と子ども祭を同時開催することが決定されている。言っていることとやっていることが乖離している。コロナが収束しないなか、リスクも多く、理解できない。

無駄な表彰式典もやめるべき。

行政主導のイベントは不要

京都市主催のイベントはなくせばよいと思う

京の七夕はいらない

イベントはすべて廃止するべき

イベント、竣工式のような少額なものもやめるべき

市が関連する行事は全て中止すべき

パンフレット、小冊子、ペン、クリアファイル、ティッシュ、イベント時の豪華なバスなど、税金がばらまかれているのをよく見かける。もっと無駄を省くべき。

イベントはやる必要なし。

コロナを契機に、本当に市で行うべきイベントなのか等しっかりと見直してほしい。

各区の祭りの見直し、全市レベルのみやこめっせ大事業の見直し

行政事務を合理化することやイベントの見直し等同じ改革としてまとめるのは難しい。

小さなエリアでもよいので、世界中の話題になるようなイベントを作ってほしい。

意見要旨

意味のない、税金のばらまきのような補助金やイベント、大量の印刷物の見直しは必要。

イベント見直しは賛成。

啓発活動は基本的に効果がないので廃止すべき。

イベントの見直し反対

イベントは見直すべき

イベントの開催中止は良いこと

イベントの見直しは極限まで行う。

イベントは不要。公的な移設以外のイベントも多く、そこに少々の補助金をつける程度で良い。

無駄なイベントは見直しをすべき。

地域の一部の人だけで盛り上がっているような祭りはいらぬ

イベントの縮小は賛成

イベントは入場料を検討してもよい

市役所はイベント屋ではない。独自の部署までつくって人件費と事業費を大量にかけてやるべきなのか？

イベント見直しなど、市民のいのちと暮らしを守る事業に重点であることに賛成。

イベントの見直しは必要だと思う。

イベントだけでなく、啓発活動もチェックすべき

観光客のことばかりで、市民への対応がいい加減だからイベントも中止せざるを得ない気がしてきた。

何とか功労賞とかいうイベントは無駄遣い

イベントに有名人を高額を払って呼ぶ必要はない

イベントは大幅に見直すべき

イベントはすべて中止するべき

イベントはすべて中止するべき

イベントについて、指定管理者や府主催のものも見直すべき

市のイベントは若者に伝わっていない。もっとアピールすべき。

4 行財政改革の取組について（1）

文化・スポーツ施策についての意見（22件）

意見要旨
京都マラソンを廃止
スポーツ振興事業は廃止すべき
京都マラソンは中止すべき。
イベントは廃止すべき。京都マラソンはいらない。
文化財は貴重であり、歴史を紐解く上で必要かつ大事にするべき。
動物園とか美術館とか税金を使ってやることではない
行政がイベントを行う必要があるのか。啓発イベントは理解できるが、京都マラソンなどは不要。
イベントは財政が厳しい中やるべきことではないのでやめて欲しい。特に京都マラソンは巨額の人件費がかかっていると思うので、赤字ならば一刻も早くやめてください。
文化に対するお金は財政が落ち着くまで廃止すべき。税金投入しなければ維持できない文化など必要ない。
観光などの魅力発信は、外部に委託するのではなく、市職員と寺が連携して実施するべき
京都マラソンを廃止すべき。
京都に文化庁がどの程度必要か不明だが、訪れる。（移転とは言えない）それに無駄なお金を使っている。
文化財保護に関する予算は何とか残してほしいし、民間保存の施設の存続が危なくなった際に備えて予備の費用は残してほしい。
京都マラソンは公費負担がないというが、人件費はかかっているはずであり、当然廃止すべき。計画において全イベントの廃止を断言すべき。
スポーツジムの乱立を生かし、理学療法士派遣等の充実による未病・予防医学観点からの健康増進事業の検討をしてみてもどうか。
京都マラソンはやめるべき
姉妹都市との交流事業等に予算を付けている場合ではない。
市民の文化活動を支える施設を充実。公共施設や用地を稼ぐ場に提供するな。
京都マラソンこそ考え直すべき
文化庁移転に伴う様々なサービスも不要。
文化庁移転のメリットを明確にしてほしい。
文化や観光や芸術などに税金をつぎ込むべきではない。

4 行財政改革の取組について（1）

受益者負担の見直し（使用料・手数料・減免）への意見（100件）

意見要旨
受益の低い事業見直しや高齢者向けの事業負担見直し
受益者負担の適正化を強く進めるべき。
受益者負担の適正化を進めるべき。
公平な受益者負担は当然である。
受益者負担の適正化に取り組んでほしい。
世代間・受益者の不公平な事業（敬老乗車証・国民健康保険への繰出金など）があり，来年度以降と言わず，今年度から実施を中止すべきである
減免やめるべき
手数料の減免は一切なしでよいのでは
適切な受益者負担の増額は一定理解するが，公共サービスを受けることに対する格差が広がらないように配慮してほしい
市営住宅家賃の減免は必要ない
市営住宅（千本北大路等）の家賃について公平性にする
放置自転車の撤去手数料を上げるべき
美術館などの施設の料金を上げるべき
マンガミュージアムなどの施設もしっかり適正な価格で入場させるべき。
市の運営施設の利用料を値上げすべき。
市営住宅の減免措置は不要。
放置自転車の管理料は値上げ必須。
施設利用料を上げるべき。
受益者負担は必要。
各地のいきいき活動センターの利用料を1時間100円のままにして欲しい。

意見要旨

使用料・手数料の値上げに反対。

家賃減免制度の見直し反対

減免の廃止

施設使用料の増額は反対

市営住宅家賃減免見直しは実施すべき。合わせて、市営住宅の入居要件から外れる世帯がないのか居住実態等を総点検すべき。

みやこめっせ、動物園、美術館は税金を使ってやることではない。

よくわからない●●センターの収支を適正化し、京都市の負担を減らすべき

使用料や手数料を見直すなら、平日の昼間に銀行に行けない人間の選択肢を広げてほしい。

いきいき活動センターの利用料の現状維持。

高齢者や地元向けの施設は使用料金等が異常に安い。

市営住宅の一律減免は反対

市民が生活していく中で必要な公共施設は大事な施設であり、単純に受給と負担をイコールにするという考え方でいいのか。

使用料・手数料など受益者負担の適正化について、見える化・お金の動きの透明化をしっかりと見せてもらえれば、協力は大きいに賛成。

学費や文化施設の使用料は負担能力に応じた受益者負担制度を導入すべき

放課後等デイサービスの利用料の値上げは避けるべき。

「歳出の見直しや受益者負担の適正化」は市民に向かって言わず、行政の任務として自覚していただきたい。

受益者負担の見直しとあるが、マンションやホテルは、京都の文化伝統の価値にただ乗りしている。

京都市は多様な施設を持っている。より一般市民の利用を促進できるよう、HP充実や市民利用の利便性を高め、受益者負担（利用料）収入を得る必要がある。

受益者負担は100%を徹底すべき。

学生からも利用に見合う金額を徴収して良いと思います

公共施設の使用料は適正価格に値上げしてもよい

「受益者負担」は経済的弱者をますます困窮に追いやりかねない。それは決して社会のためにならない。

市営住宅の家賃を正当な値段にあげてください。

意見要旨

公の施設の使用料の受益者負担増加は、市民の文化的活動や自治体活動、ボランティア活動の経費負担が増えることになる。継続困難になることも考えられる。公費負担継続をお願いしたい。

公の施設利用に公費負担は削ってはいけない。受益者負担適正化の名目による値上げは、市民は活発に動けなくなる。

敬老乗車証を持っていると無料で入場できる「二条城、美術館、動物園、植物園、無鄰菴等」は一定の入場料を徴収してはどうか。

小学校のグラウンドは、京都府・市町村共同公共施設案内予約システムなどで公平に募集して、使用料金を徴収すればいい。

動・植物園、二条城などの入場料等は、全市民・他府県民問わず有料化すべき。

文化会館などは、使用料をあげるべきである

適正な価格のものを、値上げなどはしないでほしい

ゴミ袋の値段を上げたら負担が増える層が述べられて不満は出にくいのでは。

受益者負担のしっかりした見直しを行う。特に縦割りを排し一貫した整備を願う。

使用料・手数料の見直しは反対

公共施設の使用料値上げ反対

旅行者のコロナ対策を含め旅行者優先より市民優先の料金改定を

サービス水準と負担水準を均衡させることは重要。ただし、一律に負担を増やす分野（交通料金等）と政策的配慮が必要な分野（福祉、教育等）は分けて考えるべき。

公共施設の利用料金値上げ後も使用してもらえるよう、サービスの向上などを図る必要がある。

施設使用料が民間に比べて格安。値上げし、運営団体から確実に収入を得る。

使用料などの値上げはある程度やむを得ない。

受益者負担は応分にすべき。

使用料手数料の改定を歳入のアテにしないでほしい。

身体障害はともかく、精神障害者手帳や療育手帳でバスや地下鉄が無料になるのは不当では

医療費が無料だから薬を余分にもらう、などの無駄をなくすためには、どんな制度も一部負担の必要な制度とすべき

給付についてはタダだからと際限なく利用する人への対策として、例え一部でも自己負担を求めるべき

減免制度を切り捨てることに反対します

受益者負担の見直しは賛成

意見要旨

体育館の利用料はもう少し上げてよいのでは。

放置自転車の保管手数料の値上げは致し方ない。

使用料や受益者負担の適正化は必要に応じてしたらよいが、メリハリは必要

過度な受益者負担とならないことを願う。

使用料は、サービスの質の低下を避けながら、適正化を図ってほしい。

使用料の減免は見直すべき

現状の見える化、稼働率を上げる取り組みなど、全体的な考え方は理解できるが、「あるべき受益者負担割合」の「あるべき」という基準が不明

バス等の費用も観光客は別扱いに。

高齢者の各施設の利用料金の無料を撤廃するべき。

負担と受けるサービスとのバランスが大切

子どもや学生が利用する施設については、値上げという適正化はふさわしくない。

利用料の見直しは賛成

使用料、手数料を上げることで、必要としている人が使用できなくなると思う。

事業の見直しや受益者負担の適正化とあるが、この計画案には反対。

100円/1hなど、著しく低額な使用料は逆に市民をバカにしている。

無料施設は全て有料になるのか。

市営住宅の減免見直し反対。

施設の受益者負担について、若者や学生は利用料を無料のままにしてほしい。大学のまちとして、若者の支援をしてもらいたい。

施設使用料について、観光客から多くとればよい

学生が利用する施設の使用料の見直しは反対

施設の利用料見直し反対

施設の利用料見直し反対

施設の利用料見直し反対

意見要旨

施設の利用料見直し反対

使用料引き上げ反対

使用料の適正化には賛成

使用料の見直しは反対

市営住宅減免制度見直しは賛成

使用料の値上げは反対

使用料見直しは反対

市営住宅家賃減免見直し反対

市営住宅減免制度見直しは反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

4 行財政改革の取組について（1）

国や他都市を上回るサービスの水準全般に対する意見（82件）

意見要旨
国の基準まで住民サービス水準を引き下げることについて賛成する
財政再生団体になった場合と同じレベルまでサービス水準を下げるべき
市民サービスを他都市水準並みのとすことが市民生活に影響があるはずない。
国や他都市の水準を上回っているものは、見直すことを強く打ち出した方がいい。
他の市町村レベルに行政サービスを引き下げるべき
国・他都市水準を上回る施策の標準レベルへの見直しは賛成
国や他都市を上回る施策をやっているらしいが、どこが優れているのか一切分からない。
水準を上回る教育や子育て支援をしなければ誰も京都市に家庭を築かない。
市民サービスをこれ以上低下させないこと
市民サービスを改善してほしい
市民サービスの水準をさげてはいけない
I IIにくらべて読み解きにくい。市民サービスカットが前提の案に見える
もう少し市民の住みやすい町にしてほしい
全ての事業を他都市並みにすればよいのでは。常識的な市民は、他都市以上のサービス、他都市以上の負担を求めていると思う
財政再生団体になった方がスッキリしてよいのでは。道路、学校、街路灯など不可欠なサービス以外、全廃してくれてもいいと思っている
国や他都市を上回る施策には理由があると思うので、格差拡大につながらないように配慮してほしい
国や他都市の水準を上回る施策の見直しは、子どもや子育て世帯への負担をなるべく増やさない方向で検討してほしい。
社会福祉にこれ以上お金を投資するのはやめて欲しい。お金がないのであれば、全国基準のサービスにすべき。福祉サービスは最低限に、若い世代が住みたいと思う街を作らないと、出費はかさむばかり
地方交付税の額が下がっているのであれば、それに比例してサービスを停止すべき。国基準以上、独自のものは全て廃止してください。
社会福祉関連経費については大幅にカットすべき。今まで甘い蜜を吸ってきた老人への施策は国基準以下にし、その分を未来の京都市のために投資して欲しい。
福祉事業は、国基準に見直すべき

国の基準まで住民サービス水準を引き下げることについて賛成する
税金が上がるくらいならサービスを見直したらいい
国や他都市の水準を上回っているのは結構なことである
都市開発費，議員報酬，設備投資など見直すべきところをしっかりと見直して欲しい
財政再生団体に転落してから急に負担額の引上げが行われるより，現段階である程度の引上げが行われるのは仕方がない。
市民サービスの切り捨てはやめてほしい。
国基準を上回る事業については，基準より低く設定すべき。高齢者医療費等の予算は，財政の緊急事態時には削減対象になるべき。
国や他都市の水準を上回って実施している施策等の見直しは全く認められない。これこそが市民が京都市に住むことを選んだ理由であり，住み続けている理由である。保育環境，教育環境の向上に関してはやり過ぎということはなく，向上を目指すことが都市の責務。
財政状況が戻るまでは，他市と比べて独自に行なっている施策は，一時凍結。
敬老乗車証の見直しなど“国や他都市の水準を上回る独自施策”の見直しはStopして更に充実すべき
国基準以上の施策の見直しは許せない
国等の水準を上回る事業の見直しについて，しっかりと見直すべき。
国や他都市の水準を上回っている施策の見直しはすべきでない
国や他都市を上回るサービスを続けてきたのがまずかったのなら，戻せばいい。
子どもたちに負担を先送りしてまで過大な市民サービス，他都市を上回るサービスをしてほしいなんて誰も言っていない。
国基準を上回る政策は即刻廃止すべき
他都市にはない良さの部分を，他都市平均からの乖離の解消といって廃止してしまうのであれば大反対。
国との単純比較ではなく，近隣他都市と比較し検証すべき。
30頁以下の見直し項目は，若年世帯への打撃が大きすぎる。また特にシングルマザーたちへのセーフティネットは大丈夫なのか，これらの点についての記載がなく不安が多い。
福祉が水準以上といますが，誰に手厚いのか。
まずは国の制度を補う施策を見直すべき
老人世代のサービス減少は仕方がない。
他都市の水準を上回るサービスは京都の魅力であり，出来る限り残してほしい。
「国や他都市の水準を上回る施策」という文言を盾に，今まで健全な財政政策であったとするのは言い訳。市民は過剰なサービスまでして財政破綻を容認する思いはなかった。
他都市に対して上回っているサービスを抑制しなくてはならない

国の基準まで住民サービス水準を引き下げることについて賛成する
国基準を上回るサービスは、余りに低い国基準を是正するため、長年にわたって行政、市民、関係団体の相互努力で作られてきたものです。安易にカット対象にあげることはおかしいと思います。
国や他都市のサービス水準を上回る施策を実施したというが、実感したことがない。市の自己満足で、市民は何も満足していなかった。
医療、育成の質を下げればよいというものではない。
「国基準や他都市水準を上回るものは聖域なく見直したい」とあるが、これでは「魅力あふれる京都」ではなくどこの都市とも同じになる。
障害児通所施設の利用者負担軽減は現状を維持して欲しい
国や他都市に合わせてサービス内容を見直すべき
妥当ではあるが、人件費では職員数が多いのではなく給与ベースが高いのではないか。他都市を上回る水準とあるが京都らしい独自性のあるものは下げるのではなく維持する必要がある。
国や他都市水準を上回って実施している福祉施策の充実によって市民生活が守られていたのに、これを削減するのは住みにくい街として存続するという。行政事務の徹底した合理化により削減できる箇所は他にあるはず。
国や他都市の水準を上回る施策の見直しは自殺行為。
「国や他都市の水準を上回る本市の施策」の意義をもう一度しっかりと検討いただきたい。一見もっともに聞こえるが、完全にお門違い
国や他都市のサービス水準を上回る施策を実施してきたからこそいい人材が集まり、より質の高いサービスを提供できた。サービス水準を下げるべきではない。
国基準や他都市を上回る歳出水準を算定するのに、全国平均は意味がない。政令市で比較すべき。
国や他都市の水準を上回って実施している施策は、京都を守る施策、市民の声を活かした施策なので見直す必要はない
保育園も学童も必要な人は高額でも支払う。低所得の方には別途救済を。
教育に関連する予算に関して未来を担う人材を育てる視点を持って検討していただきたいです
国基準を上回る政策を全てカットするべき
今回の改革は、国の基準よりも多く補助しているものが対象とありますが、そもそも国の基準が低すぎるのが問題です
国基準以上の事業はどの点で上回っているか分からない。
国や他都市水準を上回る施策は誇り
国を上回るサービス基準の適正化を目指すべき
今後の収支見通しをわかりやすく記載してほしい。
市民にもう少し分かりやすい計画にしていきたい。全国水準に合わせる意味は何か。京都市に合うモデルによるべきではないか。
平均値は必ずしも現実的であるとは限らない。自治体の規模等、モデルとなる自治体と比較したときにどうなのか。
国の水準を上回るものを切り下げることが市民満足度に繋がるのか。メリハリの利いた政策も残さないと魅力にならない。

国の基準まで住民サービス水準を引き下げることについて賛成する

国等の水準を上回る施策を実施することが財政を圧迫しているような表現は、世代間等との対立構造を生じさせる。

国や他都市の水準を上回っているかどうかを判断基準とすることに疑問。

国や他都市の水準を上回ることは、市として誇りに思うところであり、見直しはやめるべき。

国や他都市の水準を上回る施策を見直すことは当然。赤字になっても続けているのが間違い。

国基準以上だからといってカットするのはおかしい。

国基準のまま、他都市基準以下にすれば、京都市の独自性がなく住民に対する自治体独自の役割を放棄するに等しい

他都市を上回っているものを挙げるなら他都市より下回っているものも示すべき。

なぜ今全ての独自の施策をやめる、国基準以上のサービスをやめるという結論に至らないのか意味不明。

京都市の財政が危機的な状況に陥った理由が、あたかも国や他都市を上回る手厚い福祉施策だけにあるような書きぶりに腹が立ちます

市独自事業を廃止した場合、京都市の居住地としての魅力がなくなります。事業廃止ではなく、税収の増加で頑張してほしい。

なぜ借金をしてまで国の基準以上のサービスを提供していたのか。

国基準を上回る部分は京都市の財産。しっかり守ってほしい。

国基準以上が不要なら、自治体としての存在意義を放棄したということか。

4 行財政改革の取組について（1）

保育園の人件費をはじめとする本市独自補助金への意見（1299件）

意見要旨
保育士に対する人件費補助は廃止するべき
保育園の人件費への補助金に手を付けることは許されない。
保育所の公民格差是正制度は当然の仕組み。先輩たちが築いた仕組みを壊すのは反対。
保育士の処遇改善に寄与してきた補助金削減に反対
保育園への補助金の切り捨てはやめていただきたい
保育士への待遇を減らす
保育士の処遇改善等の保育所等への助成, 保育士の加配を継続すべき
保育園の先生の数を減らすことに反対。
市独自の保育士加配を廃止など, 未来を生きる子どもを育てることを考えてない。今後も子育てがしやすい都市であったほしい。
民間保育所への加配の縮小は行うべきではない。
これまで京都市が全国にほこってきた保育の水準を下げることは納得できない。保育士の確保がますます難しくなる。職を離れなければ生活が成り立たない職員も出てくるのではないかな。
プール制廃止反対
プール制補助金等が削減されれば, 保育園の人件費比率が大幅に増え, 職員の待遇が悪化する
保育士です。 京都市は他の自治体と違って、だんだん給与が上がっていく、そうではなくなると特に京都市で働く理由がなくなります。
保育力の増額や保育園への補助が軽視されるような計画では支持できない
保育士の処遇改善等の保育所等への助成, 市独自の保育士の加配は, 廃止に反対する。
保育園に対する支援継続は特に慎重に御検討いただきたい。
保育士への助成は削減すべきでない
保育園関連の人件費・補助金をカットするという趣旨が書かれている点について, 強く反対する。
これ以上保育士の負担が増え, 給与減給, 加配廃止となると, 保育業界が崩壊する。
保育士の給料がさらに下がると保育士を続けられない。
給与水準が低い保育士の処遇改善を廃止するなど人の心を忘れたのか。
保育士の処遇改善はこれまでどおり実施すべき。近隣市町村でも保育士確保にあらゆる手段を講じている中, 担い手が京都市から流出すると, 長期的な市税減少にもつながる。

意見要旨

保育士の処遇改善，保育士配置基準，加配の修正に反対。結果的に京都市の持続可能性を危うくする。

保育園への助成や保育士の加配が見直されると，結果として市外に住み，子育てすることを選ぶ人が増える。将来的に考えて，保育園への助成の削減は悪い結果に繋がるとしか考えられない。

保育士の処遇改善費がなくなれば，今よりも更に職員確保が難しくなり，そのことで子どもたちに十分な保育ができないことが納得できない。

保育園運営費の削減は反対。

保育所の職員削減には反対。

保育士の給料は上げてほしい。

保育園の運営補助金の見直しはやめて欲しい。もう少し職員がいれば，と常々思いながら保育している。そんな中，公立保育所を減らし，補助金も減らすかもしれないなんて，反対。

保育園の運営補助金の見直しは反対。京都市は「子育て環境日本一」と言っているが，プール制の予算を削減することは，子ども達の環境が悪くなることに繋がる。職員の人件費が減少すれば，離職も多くなり，成り手も少なくなる。

保育園の運営補助金の見直しは反対。なぜ削減という案が出るのか。「高い質」を謳うだけではなく，実行している現場を考えていただきたい。前向きに保育をし続けられるよう，人員の補充は絶対に必要。

保育園の運営補助金の見直しは反対。

保育園の運営補助金の見直しは反対。

京都市の財政難は私達（保育関係者）の責任ではない。これ以上，保育制度・保育条件を悪くさせるなんて考えられない。

保育園の運営補助金の見直しは反対。全ての子ども達の未来のために，質の高い保育を保障するためにも，削減ではなく，職員の処遇改善と大幅増員をして欲しい。

保育園の運営補助金の見直しは反対。私達（保育関係者）は毎日，人が足りない中，働いている。運営補助金が減らされれば，働くことができなくなる。今一度考えなおして欲しい。

保育園の運営補助金の見直しはやめてください。

保育園の運営補助金の見直しはやめてください。

子どもたちの健やかな未来のためにも保育士の人手不足や処遇を改悪することだけは絶対にやめてください。

保育園の運営補助金の見直しはやめてください。

保育士は国家資格なのに，行財政改革によってまた処遇が悪くなるのはどういうことなのか理解ができません。

保育園の運営補助金の見直しはやめてください。

保育士の処遇改善をしなければ，だれも保育園で働かなくなりますよ。

保育園の運営補助金の見直しはやめてください。

全ての人が保育園に安心して入所できるよう，保育園の運営補助金の見直し等はやめてほしい。

保育園の運営補助金の見直しはやめてください。

エッセンシャルワーカーとして，コロナ禍でも身の危険を感じながら保育を続けてきた私たちなのに，保育予算をこれ以上削るなんて，もううんざりします。

過去の無駄遣いを保育現場への負担とするのは間違い。処遇改善手当を廃止することになれば，保育士は更に減り，子どもたちの豊かな育成を守れない

意見要旨

保育士の処遇改善が少なくなれば、保育士を目指す者・続ける者がすくなくなってしまう。

京都市民間保育園等職員の給与等運用事業補助金等について見直しは不要。高い水準での保育を希望する。

計画案は、「はぐくみプラン」の「市独自負担による保育士の手厚い配置や処遇改善等による幼児教育・保育の質の向上に取り組みます」という記載に違反していないか。

保育士職員の給料について、何を見て多すぎると判断したのか。これで、どうやって自分の子どもを育てていけば良いのか。対価としてもらう給料が減るのは受け入れられない。他都市で働くことも考える。

「子育て環境日本一」をうたう以上、カットはあり得ない。1歳児加算がなくなると手厚い関わりができなくなる。障害児特別加算は、今の加算でも不足しているが職員の工夫・努力で何とかなっている。

1歳児加配対策費、障害児保育対策費が削減されれば、保育の質が下がるのは確実。子育て支援の充実は必須。子供に関わる分野は、危機的な財政状況でも行うべき。

保育所への補助金を削減すると、現場が回らなくなる。子育て世代が住みやすい街づくりをしない限り活性化はありえない

保育士の仕事をどう思っているのか。市長の給料を下げずに、下の人間の給料だけを下げるとしたら保育士を辞めたい。京都市からも出ていく。

保育士の給料が低すぎる。

保育園の先生の給料が減る案なんて信じられない。是非とも考え直していただきたい。

保育園への補助金を削減するという事は、保育園の質の低下に直結し、子育て世帯が離れてしまう。

保育園の先生方の給与を減らすことはやめてほしい。

一切の無駄を排除し、効率化したうえで、『子育て・「共育」環境日本一』は死守するという気概を持って、保育士の処遇改善は続けてほしい。

保育士の給料を下げないでほしい

保育園等に対する人件費等の補助の見直しは、勝利世代の利益を損なうものであり、すべきでない

保育園施設や保育士への補助の見直しを最低限におさえてほしい

国基準より多い保育士配置や保育士処遇等について削減することは反対。未来に対してお金を使うべきであり、子どもたちの環境が悪化することがないようにしてほしい。

京都市は日本一の保育を掲げているのに、なぜ、保育士の処遇改善費や職員加配が見直されなければならないのか。

保育士の給料やボーナスを減らすことは絶対にやめてほしい。

保育士の処遇改善の補助金等の削減に今後の京都の保育の危機を感じる。今なお改善点が沢山ある保育現場をこれ以上苦しめないでほしい。

保育園等に対する人件費補助の見直しを行うと、子どもにとってよい環境で安心して保育できる場が確保できない。

プール制見直し反対

プール制見直し反対

プール制見直し反対

市職員や施設を削減してきた弊害が明らかになっている中、子育て日本一と言いながら保育を削る意味が分からない。

保育士の給料を減らすのは反対。

意見要旨

保育園の人件費への補助金は見直しの対象とすべきではない。

保育士不足が深刻な中、職員配置の削減等行くと、さらなる負担増につながらないか。

保育士処遇改善の補助金削減には反対。

支出削減のために保育所への助成を削減するのはおかしい。幼児期の成長が一番大切といっても言い過ぎではないのに、その助成を削るとは、人を育てるということをどのように考えているのか疑問に思う。子どもを育てるなら、他の街の方が絶対に良い。

保育園等に対する人件費をはじめとした本市独自の補助金の見直しに関して、補助金の削減が子どもたちの保育環境悪化に繋がる恐れがあるため、反対。

今以上に保育士補助を削減するのはあり得ない。今でも保育士は足りていない。今の市の配置基準でも、国の基準よりは手厚いそうだが、そもそも国基準が少なすぎるので、比較すること自体がおかしい。

ただでさえ保育士の給料は低いのに、処遇改善が削減されると、就く人がもっと少なくなり、保育現場が回らなくなる。待機児童が増えたりと悪循環でしかない。

保育への補助金削除に断固反対です

保育所への助成を大胆に圧縮すべきではないでしょうか

保育の質を下げないため、保育士の処遇は守られるべきであり、決して削減される対象となるものではないと考えます

保育園の運営補助金の見直しはやめてください

保育士の給与・賞与の改善と増員を望む

保育園への補助金見直しは反対。現在のサービス基準を保つべき

保育園の職員数削減につながる補助金見直しは反対

保育園への補助金見直しは反対。

保育園への補助金見直しは反対。

保育園への補助金見直しは反対

保育園への補助金見直しは反対

保育園への補助金見直しは反対

京都市独自の処遇改善がなければ、保育士の確保が難しくなる

プール制、運営費加配、1歳児加配対策がなくなると人材確保に支障をきたす

障害児保育対策、1歳児加配対策がなくなると保育の質を後退させる

京都市独自の処遇改善がなければ、保育士の確保が難しくなる

プール制、運営費加配、1歳児加配対策がなくなると少子化に拍車をかける

京都市独自の処遇改善がなければ、待機児童も増える一方になる

意見要旨

京都市独自の処遇改善がなければ、保育士の確保が難しくなり、少子化対策にもマイナスとなる

プール制、運営費加配、1歳児加配対策がなくなると少子化に拍車をかける

保育士の賃金が減らされると人手不足になる

保育士の給料が安いいため保育士になる人が少ない。
給料上げてください。

1歳児加配対策費を減らされてしまうと、こどもの安全やよりよい保育が保障出来ません。

保育士待遇をよくしてください助けてください

保育士が不足している中、さらに賃金が低下したらもっと保育士が減り、京都市の未来の子どもたちがかわいそう。考え直してほしい

年齢や発達に応じた加配保育士や配置基準を壊さないでほしい。金銭面、仕事のやりがいにおいてこのまま保障されないのであればますます保育士不足が加速し、悪循環に陥る。

加配認定の子がクラスにいるのに、保育士が足りてないためにその子の要求に添えないことがあります。保育士を増やすためには、給料も上げることが必要です。

配置基準をこれ以上下げないで下さい。子どもたちを安全に保育するという保育園の必要な役割を果たすため、またより質の高い保育を目指すために、保育機関の予算は下げないでください。

保育園への助成金が減らされたり、配置基準をより厳しくされると、余計に保育士が不足してしまう。

保育士の配置基準を下げたり、障がい児の加配を削減するのはおかしい。

1歳児の配置基準を4対1にしてほしい。5対1は厳しすぎる。

給料が低いなか、求められることが多く、なり手が不足するのも無理はない。

保育の質が下がってしまうのは残念

保育士の人数を減らして、そこから予算を捻出するのはおかしいのではないか。今の基準を守ってほしい。

処遇が改悪されれば、保育士不足が加速してしまう。

現行の配置基準に一人足してもらえると、個別の対応がしやすくなり、子どもにとってもよい。もっと給料が高ければ保育士になろうとする人も増える。

保育士を断念する理由の一つが給料の低さである。考え直してほしい。

0歳児クラス3対1の配置基準で働いているが、子どもが泣いたら2人しか抱けないし、それに加えて担任が一人でも休むと回らなくなる。配置基準が増えて欲しいのに、減るなんて考えられない。

何年もかかってやっと上がった保育士の給与が下がることが決定した京都市のトップ達が信じられない。もっと他で削れるところはないのか。

保育士の給料カットに反対。それでなくても過酷な職場。安い給料、大変な職場では若いなりてがいなくなる。

保育園への補助金カットは避けてほしい。離職が増えると保育の質の低下が危ぶまれる。

保育士の処遇が現在より悪くなることはないように。

保育園に対する補助金削減は絶対反対。

保育士の処遇改善が無ければ離職が加速し、保育の質の低下や、待機児童対策にも影響を及ぼす。

意見要旨

保育士です。人件費を削減されては、保育園の子どもたちを守れません。もっと現場の声を聴いてください。

保育士削減を中止してほしい。

保育所へのお金は改悪すべきでない。

保育士の賃金低下や処遇改善の見直しによって、保育士が減ってしまい、待機児童の増につながる。保育士として働いている人たちをもっと大切にしてほしい。

保育分野の財源削減は保育の質を下げることになるのですべきでない

はぐくみプランに記載している保育の質向上の政策と行革計画が矛盾している

各学年に加配保育士をつけ寄り添う保育をしたいが現実には加配保育士がつけられず、補助金を削除されると保育にも影響が出るので経営が困難になる。

保育士として働いているが、これ以上賃金を下げないで欲しい。

保育士はギリギリの職員配置の中で精神的にも肉体的にも限界ギリギリで働いている。どうか予算を減らさないでください。保育士の数を減らさないでください。

市長は保育環境日本一と言っていたが、財政危機だからと言ってすぐに福祉財政を切り捨てるのはおかしい。保育士が足りないのにさらになりたい人がいなくなる。

保育士の給料を減らすのあんまりな対応だ。保育士の働く環境の改善を行っていくべき。

保育園に対する人件費補助は、子育て日本一と宣言されているに相応しい京都市にするため、不可欠な補助金であり、これ以上の切り捨てはしない。

保育園の人件費補助は必要であり、負担額を増やすべき。

保育制度の予算削減の提案では、今後の保育を持続し続けることができない。京都が国に合わせるのではなく、京都の保育に自信を持ち、国に基準を挙げるよう働きかけてほしい。

保育園の先生の処遇を悪くするようなことをやめて。もっと給与を高くし、休みも取りやすい人員配置にするべき。

保育園の先生の給料が下がることで、保育の質が下がることは子供たちのために良くない。

多めに保育士を配置することで、子どもの安全が守られ、保育士の負担も減らすことができる。残業を減らすことにもつながっているので、見直さないでほしい。

障害を持つ子どもが、みんなと同じ環境で過ごすことはいい刺激。これに伴い、保育士を多めに配置してもらいたい。

通勤手当がなくなると、今の園に来れなくなる方も多く、つまり保育士不足になる。

一歳児の保育は本当に難しく、加配対策費を無くさないでほしい。

保育士は年々減っており、仕事量の割に給料が伴っていないことが多い。現場を見て、実際に体験してから、何を見直すべきかもう一度考えてほしい。

仕事量と給与が見合わない中、これ以上見直しがあると、これから保育士の数も減るだろう。子どもも産みづらくなり、少子化も進む。

保育士の給料削減をやめていただきたい。

保育士の賃金は上げるべき。

保育園の先生の給与カットは人員不足を招くので削除対象にすべきではない。

意見要旨

今回の計画は、将来を担う子どもたちを保育する保育士の立場を脅かす計画だ。補助金を出さなければ、ますます保育士不足に追い打ちをかける。人不足で各園独自で努力し何とか乗り切っている園も沢山あるなか、今回の計画は将来の京都を脅かす事態に発展しかねない。

今でも保育士は不足しているのに、今後、市の処遇改善がなくなれば、保育士確保がもっと難しくなる。保育の質も下がり、待機児童も増えると思う。

保育士の現場は人数が不足しており、休みがないうえに給料も低く、厳しい労働環境にある。プール制補助金や加配対策費等の削減が行われれば、さらに厳しい環境となり、人材も減っていくことが懸念される。

人件費が削減されれば、さらに保育現場はひっ迫する

保護者の収入に見合った保育料を徴収し、保育士の待遇改善に充当すべきである。減額などはしないでほしい

プール制見直し反対

保育士への補助見直しは反対

保育士さんを苦しめないでほしい

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

ただでさえ保育士確保に困難を極めている中、京都市独自の処遇改善がなければ、待機児童対策にも貢献できない結果となってしまうのではないかと。

保育士に関する費用が見直し削減の対象とされておりますが、保育園に子供を預けている親として非常に困ります。

保育士の給料を下げないでほしい。

保育園の先生の数を減らすと危険のリスクがあがり、大切な子どもの命が危ぶまれるリスクが上がる

保育園は、ようやく最低限の環境が作れるようになった。この人件費を削減すると、子どもを取り巻く環境の悪化につながりかねないため不適。

保育園の先生の給料が安いのは問題。

1歳児加配対策費や障害児保育対策費などが削減されれば、保育の室や充実面を後退することにほかならない。

保育士の配置基準について、国の基準より上回っているからという視点で今回の基準見直しはすべきではない。

保育園に関する助成金等の見直しは行わないでほしい。

保育士の給料をカットしないでほしい。他に削減できるところがあるのではないかと。

保育士不足が進むと質の高い保育どころか、保育園自体が子どもを受け入れられなくなる。未来の子どもたちや保育士の人材確保のためにも処遇改善は必要。

保育環境が低下するような見直しはやめて。

保育予算を減らさないで。

保育士の待遇が今より悪くなることは絶対にやめてほしい。

保育士の給料カットには断固反対。

意見要旨

保育園の配置基準の変更には反対です。

保育園への補助金、保育料の見直しに反対。子育て世代、その子どもたちの世代、住みたいと思える京都にしてほしい。

保育士の処遇改善等の廃止に反対。税金を上げてでも維持もしくは上げる方が良い。

保育士の処遇改善が良い投資になっている。このために税金を上げる必要があるなら賛成したい。

保育に関わる補助金を減らすことはあり得ない。だだでさえ予算は低く、低賃金で高い質を求められ、まったく見合わない仕事。補助金が減れば働く人は減り、保育の質も更に低下する。市が補助金をしっかり出し、保育する人たちを支え、子どもにも未来を用意するべき。

保育にはより手厚いサポートが必要だから、保育士の待遇は悪化させるべきではない。

保育園等に対する人件費をはじめとした本市独自の補助金の見直しは行うべきではない。

保育士についてはむしろ処遇改善により、保育士増・待機児童対策につながる

保育士の京都市独自の処遇改善措置が無ければ、今以上に保育士確保が難しくなると思う。

保育園等への人件費補助の見直しについて、国制度において処遇改善の充実が図られてきた内容は、職員のキャリアアップに比して個々の職員の処遇を改善していくというものであり、本市の手厚く質の高い保育など保育環境の充実を図るための人件費補助を同じ俎上に乗せて議論することはおかしい。

ただでさえ保育士確保に困難を極めているなか、市独自の処遇改善がなければ、各保護者から園に入りたいと要望があっても、職員確保ができないため受入を拒否するケースが発生しかねず、待機児童対策にも影響を与える。京都市は危機的な財政状況にあっても、子育て環境日本一を目指し、保育環境は決して後退させないで欲しい。

市独自の保育士加配や保育料軽減があって安心して子どもを預けられていたのに、それが見直されるのはとても残念。

人材育成という観点からみても、保育士の重要性は高い。質の高い保育・安全性の高い保育を継続していくには、人件費その他の補助金はとても重要。子どもたちの未来のために、どうか善処いただきたい。

子どもの育成や命に関わる、保育士の給与水準を上げていただきたい。

一般的な労働者比で、保育士の処遇が悪いとの世論を受けて処遇を改善してきたはずなのに、逆行する取組を行うのか。

保育園への補助を減らすなど、この計画では京都市の成長の芽を摘んでしまうのではないかと危惧してしまう。

保育園の人件費補助金を減らすのではなく、保育園の統廃合を進めることで経費を節約できないか。

コロナ禍でも通常勤務に加え感染対策も並行しながら子供たちの成長と安全を見てくれている保育園に対して、保育士にとっても働きやすい環境づくりを第一に考え、処遇改善内容の見直しをお願いします

保育に関しての予算を削ることだけはやめていただきたく意見提出いたします

コロナ禍の今こそ保育所の充実が市民の願いです

保育園等への独自補助金の見直しは府の「子育て環境日本一」の政策と相反している。これまで通りの基準を維持すべき。

保育園のプール制補助金や加配対策費等が削減されれば、質の高い保育を継続できなくなってしまいます。

保育園の補助金を削減しないでください。

保育所等の助成、加配が削減されれば本当に困ります。見直していただきたいです。

意見要旨

保育士不足の昨今、処遇改善の廃止はあってはならない。

保育士加算、保育士への助成の廃止に反対

プール制があることで、60歳代でも給与は低い雇用を維持されている。

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

補助を減らされると保育士の給与や賞与も減る。やっつけられない人もいるだろう

プール制及び運営費加配、1歳児加配等が削減されると、保育環境を整えられない

これ以上保育士の給料が減るなら辞めようと思う

保育園等の職員の処遇改善等の助成金や障害児保育における職員の加配手当の見直しにより、保育の質の低下だけではなく、支援が必要な子どもへの様々な場面での対応が難しくなります。

加配保育士がつくことで支援が必要な児童の発達保障を担ってきました。加配保育士がつかないとすると、個人の発達保障だけではなく集団の保育運営が難しくなり、確実に保育の質は低下します。

これ以上保育予算を減らさないで下さい。

サービス残業している保育士の給料を下げるのはおかしい。保育士が今以上に減ると、保育が行き届かなくなる。

保育士の処遇を悪くしないでほしい。少子化対策の観点からもマイナスです。

保育士の処遇を悪くすると、保育の質が低下してしまう。

保育士の人数を減らさないでほしい。

保育士の処遇改善等の保育所等への助成、市独自の保育士の加配は削減しないでほしい

保育士の助成削減は反対。働く母親を苦しめる京都市がよく分からない。保育園の環境が整ってこそ、安心して預けられ、働ける。

保育士の処遇が悪くなれば、今以上に保育士不足となり、保育の質も当然落ち、安心して子どもを預けて仕事が出来ない環境になれば、益々経済が悪化するのには目に見えている。

保育士の配置基準を国基準に戻すのはおかしい

人数だけを見ての職員人員配置では保育が回らない。保育の現場を考えていただきたい。

保育士の処遇改善は必要。保育内容の査定を行い、一律ではなく、質の高い保育に補助金を出すべき。

保育士不足にならないため、保育職員が働き続けられるために、適切な財政改革の見直しをしてほしい。

身内が保育士。財政難を保育士の低待遇で補うのであれば、ストライキを実行する。

京都市の保育士は給料が良いと聞いて就職したが、他県と変わらなくなるのであれば地元に戻ろうかと考える。プール制は残してほしい。

保育園への補助金の削減案も酷い。

保育園の処遇改善費の補助金廃止に反対。

意見要旨

保育士の処遇改善助成の削減は保育士・子供への影響があるため不安

保育園に関する補助金は減らさないでほしい。

保育士補助金について、削減には絶対反対。

保育士配置基準の見直しは反対。

保育の質が落ちるような対策はすべきでない。

保育士に負担がかかりすぎ

保育園の人件費は現状を維持して欲しい

小規模保育園を増やしたからには、乳幼児が遊べる公園を整備して欲しい。保育士不足の上に、コロナ禍での感染症対策や保護者対応で保育士は疲弊している。若い職員が続けられるような安定した保証を続けてほしい

保育士の給与カットは反対。来年度から京都市で保育士をする予定だが、職員配置の充実さから選んだ。給料カットされると保育士不足が悪化する。保育士が働かなくなると保護者など、保育士以外も困るはず。高齢者を守るだけでなく、未来を支える若年層の思いに応えてほしい。

保育所への補助金の見直しに反対。子どもへの安全対策は保育士の気力体力があってこそであり、給料をあげろとは言わないが、せめて現状維持は必要。

保育園連盟への人件費分の補助金について、毎日命を預かる仕事に、決して高くない給料で汗をかいている職員の人件費を削減する理由はない

保育士の処遇は従来通り確保すべき。

保育士補助金の削減に強く強く反対する。

保育士の人件費を削減すると、京都市の保育士不足がさらに加速する。

保育士が足りなくなると子供のけがにつながる。保育士の業務が増える。

ようやく処遇改善されつつあったのに、それがまた減らされるとなるとやる気が無くなる。

保育士の加配や人件費補てんが無くなると、保育の質が落ちるのは避けられない。

公立保育園職員との給与格差是正がこの補助金の根底にあったはずではないのか。公立園の職員給与と比較した結果を市民に周知してから意見を求めればよい。

市議会議員の給与をゼロにしてボランティアを募っても京都のまちに悪影響はありませんが、保育士の給与を下げることは、未来の京都にとってとても悪影響があります。

保育士にしわ寄せが来るのならば、保育の質は低下し、事故につながりかねない。また、子育て世代にとって、京都市独自の政策はアピールポイントだったのでは。

保育士の報酬削減などはもってのほか

保育所への補助は削減していただきたい。保育士の給与が現在妥当ではないうえに、コロナ禍での買う役を考慮すると、待遇が悪化することは理不尽。

子育てや保育園に関する予算だけは減らしてはならない。子は宝。大人、社会が守らなければならない。そのために尽力している保育士の給与水準は一般の給与水準に未だ及んでいないと聞く。

保育所への補助金財源の削除を決定するのはまず今やるべきことなのか。コロナ禍の今、子育て世帯、子どもを産み育てようとする世帯を支援していかなければ、住民が減っていく。長い目で見れば、子育て環境を整えることは地域活性化に一番つながる。

保育士の処遇改善等の保育所への助成、市独自の保育士加配の削減はいかがなものか。安い給料で頑張る保育士を助成しないことは未来を担う子どもと共に歩むために苦心している職員への横暴。

意見要旨

保育士の給料カットは困る。

財政難であっても保育園等に対する人件費補助は削減すべきではない。

保育環境の悪化は子どもの未来、京都の未来をつぶすことに直結する。

財政難であっても保育士の給料削減はおかしい。

保育士を増やすために給料を上げてほしい。

保育制度を支えるプール制を国基準へ下げるのは反対。国基準がそもそも低すぎる。

子育て環境日本一を目指すのではなかったのか。保育園、保育士の充実は不可欠。

保育料への補助金の見直しは、人材の流出や子育て世代の流出にもつながるものであり、再考をお願いしたい。

保育士の給与引き下げに断固反対

保育士の賃金削減反対

毎年保育士の確保が大変です。人材確保には、京都市独自の処遇改善が必須であると考えます。

子育て支援を削ることに反対です。保育士さんが安心して働き続ける環境をお願いします。

保育士の数を減らさないください

公営の保育所が他都市と比べて少ない中、民間の保育所への市独自の補助は必要である。

経験豊富な保育士が、次世代の保育士を育てるといふ、京都市独自の保育環境の存続を強く願います

「全国的に」や「他市と比べて」ではなく人員増加や給与水準の向上こそ必要ではないでしょうか。人や資金を現場（各施設）に回してください

健全な子供の育ちの保証のため、処遇改善の補助金削減には反対します

保育士として勤めるとき、お給料などの待遇は決定するうえで、ウェイトは大きく占めていました。プール制の補助金の削減は保育士不足を絶対加速します

保育士の処遇に関していえば子育て中の我々としても今でもギリギリの状態です。保育士不足を何とかして欲しい。プール制の補助金の削減は保育士不足を絶対加速します。人ではできない、将来への貴重な投資を削るような施策には理解に苦しむ

障害児対策を削減されたら、きめ細やかな支援ができなくなる

プール制の見直し反対

プール制の見直し反対

プール制の見直し反対

プール制の見直し反対

プール制の見直し反対

意見要旨

プール制の見直し反対

プール制の見直し反対

子どもへの投資するのであれば、間近で保育する保育士にこそ力を入れるべきだと思います。

プール制を廃止することが持続可能な行政なのでしょうか。

国基準以上の配置が保護者が安心して子供を預ける指標になっているのを実感します。

保育士の処遇が減るのは耐えられない。

保育園への人件費補助を削減することは、保育や福祉の質を落とすことになる。子どもたちのために働いている職員に、もっと理解を示してほしい。

この先も保育士になりたいと思ってもらえるために考えてほしい。

処遇改善の削減は保育者の意欲低下に直結します。今までの京都の保育を守ってください。

保育士の処遇改善がなければ、保育士が減少し、質が落ちるのは目に見えている。

保育士補助金カットでさらに人件費が削られ、成り手も減ります。

保育環境は決して後退させない都市としての見本になってもらいたい。子育て世代の京都市離れに歯止めがかからなくなる

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

他の職業や公立の保育園より低水準である民間保育園への処遇を改善してきた流れを止めるのは困る

保育士の給料が減るのは保育士の減少につながる

保育園の定員増は不安しかない。現状でさえ、質の高い保育、安心できる保育のためには保育士の人数は足りていないと思う。保育所などの運営費を定員増ではなく、新規開設としてください。公立保育園が少ないのに民間保育園の補助金を削減したら公私の格差が広がると思います。保育園の職員への待遇改善希望します。削減なんてとんでもないと思います。

年々障害を持つ子どもが増える中、現状でも加配は足りていないのに、さらに減少させることは危険である。国基準に合わせるなんて浅はかなことをすれば、京都から保育士がいなくなり、結果待機児童が増えることになる。現状でも苦しいのが保育現場の現実。後退することはありえない。国基準に合わせるなんて浅はかなことをすれば、京都から保育士がいなくなり、結果待機児童が増えることになる。現状でも苦しいのが保育現場の現実。後退することはありえない。

保育園への補助金カットについて、利用する保護者として見直しを求めたい。

若い世代に選ばれる千年都市、働きやすい、住みたいなんて言うておいて保育園への補助金などを、国の水準を上回っているからとやめるのですか？

保育の予算を削ることは反対です。保育士不足の原因は、給料や休みが少ないことです。

意見要旨

プール制補助金の見直し反対。保育の質が守られない。保育士不足も加速してしまう。

保育士の給料を下げないでほしい。生活ができなくなる。意欲もなくなる。

保育士の配置を増やしてほしい。削減案が出ているのが残念

保育士に対する補助金を削減してしまうと、保育の質が下がってしまう。

保育園の運営費を削減すると、教育の質の低下を招くことは目に見えている。

保育園は定員に余裕があるくらいでないと意味がない。

保育園を対象とした補助金の見直し反対。もっと現状を知ってほしい。

保育士の人数削減，給与削減は，その先に繋がる子ども達の笑顔への投資を減らすことに繋がるのではないか

保育士の方々や福祉に携わる方々の給料が上がってほしいと切に願う

子育て，子どもに関する予算にしわ寄せがいくのは納得できない。特に保育士の給与削減，保育料の負担増は納得できない。

保育士の費用上乗せは必須

保育料の値上げ，保育士の給与減額，保育士の削減について強く反対する

保育士への補助金廃止を検討する前に無駄遣いをやめるべき

保育士の人件費補助がなくなると，1歳半の加配がなくなり，保育士の数が減る。遠い未来のためにも，今子どもの育ちを守るため，子ども重視で行財政改革を行ってほしい。

認可保育園でも，今でも給食中の窒息事故などが，保育士が目を離した少しの時間に起きている。これ以上保育士の数を減らすのは，不慮の事故が起こる確率を高めるものであり，賛成できない。給与を下げるのではなく，むしろ上げるべき。

保育士への報酬は減らさないでほしい。

保育士をはじめとした他県の水準を上回る給与等の補助金の見直しとあるが，他県の水準を全国的に上回っていることを周知して他県からの職員を希望する人材の流入を見込むという案はないのか。民間保育士の給与手当の見直しとあるが，他県の水準自体，他業種より著しく低いということがここ数年問題視されている。他業種の給与との水準で考えてほしい。

保育士の数が減り，環境が悪くなると，子どもにまで影響する。

保育士が今でも劣悪な条件で働いているのに，コロナ禍における削減は絶対に受け入れられない。

保育士を確保できても定着しない中，処遇改善がなくなれば他の仕事を求めて辞めてしまう。

「京都市の保育は全国トップクラス」を守り，他の都道府県の目標となるためにも，今の保育に支障をきたす補助金の削減は行うべきでない

「保育士の処遇改善，加配の廃止」は，何としても避けてほしい。むしろ，もっと予算を投入してほしい。国際的には非常に低い水準であり，国や他都市に安易に合わせるのは危険

京都市独自の処遇改善がなければ，ますます保育士確保が難しくなり，待機児童対策にも貢献できない結果となってしまう。

保育士ばかりが大変な思いをするのはおかしい。

保育士の給与削減についても同じ理由で反対

意見要旨

保育士の先生方への処遇改善を廃止することや、子供たちに係る政策を削ることは、削減しやすいところから削っているようにしか見えない。

保育士の給与が減る、またはパート保育士の解雇になれば収入面が大変

給与のカットは待機児童解消を求める中では相反する対策

保育士の給与削減につながるこの改革に断固反対

運営費、保育士の給料が削減されると、保育士離れが起きる。

保育士の給与補助金の削減には強く反対。

補助金を減らさず、保育に関わる人の処遇を守ってほしい。

保育士の給与削減につながるこの改革に断固反対なんて絶対にやめてほしい。

保育園に対する補助金削減はあってはならない。

プール制補助金等が削減されれば、保育士の確保がより一層厳しくなる。

保育士の給与を減らすのはやめてほしい。

保育士の給与はやすいので助成金などカットしないでほしい。

プール制をはじめとする京都市独自の処遇改善が、結果として保育士確保に繋がっている

処遇改善や市基準の加配等なくして、保育の質をどのように上げればいいのか。

賃金保障、障害児対策費の充実、子供たちを安全に保育ができるよう、予算削減しないでほしい。

保育士の処遇について、現状維持をお願いします。

保育士の処遇改善などの保育所などへの助成、保育士の加配について、助成金を少なくすることはやめてほしい。

今の現状でも十分と言えない中でさらに減額となるなんて考えられない。

プール制補助金及び運営費市加配分、1歳児加配対策費などが削減されることにより、保育の人材確保に支障をきたし、保育環境を維持していくことが困難になる。

保育士の給料減らさないでほしい。

保育士にとってこれ以上給料を低くされたらどう生活したらいいのか。

今以上に費用が削減されると保育の質は保たれません。

保育士の給料を減らしたら、保育士を増やさないといけない状況だというのに、むしろ減ってしまうので絶対に反対。

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

意見要旨

保育士への補助見直し反対

保育士にとっては、給料をさらに低くされたらどのように生活すればいいのか。

保育士が減らされたら楽しく安全な保育が出来なくなるのは目に見えている。

保育士の処遇改善等の保育所等への助成や費用の削減に反対。子どもを安全に安心して預けられなくなる。

保育士の人数配置削減など本当に考えられない。もっとお金を削減しないといけないところがあると思う。

保育士の処遇について、高水準だからと人件費を削減すれば今まで京都市が取り組んできたことが全部崩れてしまう。

保育園等に対する人件費をはじめとした本市独自の補助金の見直しは、公約に掲げる待機児童0の実現と矛盾する。

市長の選挙公約、待機児童0を継続するために、保育園運営費の削減には断固反対。

子どもの大切な命を預かっている保育士の給与が下がるような政策はやめてほしい。

プール制補助金削減反対！

プール制補助金削減反対

プール制補助金削減反対

プール制補助金削減反対

プール制補助金削減反対

保育園への人件費補助削減反対

保育園への人件費補助削減反対

保育園への人件費補助削減反対

意見要旨

配置基準の見直しまで行って、子供の安全が守れるとは思えない。

保育所への補助金カット反対

プール制補助金削減反対

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

意見要旨

保育士への補助見直しは反対

保育士補助金について、50年近くも続く施策を止める理由は何なのか。

保育士の処遇改善等の削減は、はぐくみプランに相反する内容であり、京都市で子育てをするメリットを感じられなくなる。

保育現場への補助金を削減する案に反対する。

保育園の補助金減額に反対。保育士をしているが、仕事量と給与が見合わず、辞めていく保育士も多い。保育士の転職は比較的容易で、補助金削減は人材流出につながる。

京都市の補助金があるから保育園に入社した。やっと処遇が見直されたのにまた元に戻るのか。

子育てをする環境を今以上に厳しくしないで欲しい。子どもを保育園に預けているが、できる限り先生の待遇を良くして挙げてほしい。

保育教諭として働いているが、処遇改善が廃止されると、保育士、保育教諭を辞める人が増え、保育士不足・待機児童問題が増えるのではないかと。処遇改善の廃止について再考して欲しい。

プール制補助金、運営費市加配分、1歳児加配対策費等が削減されれば、保育士確保がさらに困難になることが明らか。保育現場の訴えを真剣に聞くべき。

保育園で働いているが、過酷な状況でも続けられるのは、賞与や給与のおかげ。財政が厳しいからと言って給与が減らされるのは我慢できない。

意見要旨

保育園やこども園の補助金をカットすることで、保育の質が低下し、京都で子育てをしたいという気持ちも失われてしまうのでは。長い目で子育て環境日本一を貫いてほしい。

もともと給料が少ないのに、保育園の補助金までも削減されると、辞める人が増える一方だと思う。

保育士不足によって休みも十分にとれず、仕事を続けることに不安をもっている保育士が多数いる中、さらに補助金削減に伴う給与削減となつてはこれ以上保育士を続けるメリットを感じられない。削減が実現すれば、保育士をやめようと思う。

京都市はほとんどの保育園が民間で運営されており、それによりかなりの費用が削減されてきたはず。それなのに全国平均より上回っているという理由で補助金を削減されるのはおかしい。

市長は、京都の保育レベルは全国トップレベルと言ってきたが、補助金削減によってその水準が低下するには目に見えている。

民間の保育園で働いているが、私たちは京都市の公務員よりたくさんの給料をいただいているのか。そのあたりを明確にしたい。

保育園の補助金や保育士の給料を削減しないで欲しい。削減されると人材確保が出来ず、保育の質が低下し、子どもたちの未来に関わる。

民間保育園の補助金削減に断固反対。職員処遇の低下は保育士不足に拍車をかける。次世代を担う子供たちにとって一番大事な乳児期の保育環境が悪化することはあってはならない。近隣都市と比べても子供に優しくない街だ。

コロナ禍で開園し続けた保育園の職員に対し、慰労金を出す自治体が増えているのに、京都市では補助金の削減を発出したことに驚いた。

保育園では、最近外国籍の子どもも急激に増えている。言葉が通じず困っており、保育士が削減されれば対応できなくなる。

保育園の補助金減額に反対。変則勤務の上、薄給では保育士が定着せず、子どもたちが安心して過ごすことができない。保育料が多少が上がろうとも、保育園の補助金は減額しないでください。

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

たびたび保育士の処遇が悪いと取り上げられながら、結局保育士の給与を下げる。弱い者いじめだ。保育士の待遇が悪くなる→保育士不足が加速する→子供がしっかり育たない→京都市の将来に関わるの悪循環。

保育現場の予算削減に反対。子育て環境日本一を謳ってきた京都市が方針を覆すに等しい。保育士の給料を削ることは優秀な人材が保育分野から離れることを意味する。

保育士の給料を下げるのはあり得ない。

先日もニュースで保育園での窒息事故があった。これ以上保育園の人員を削減すると、命の危機に直面する事案が増えると想定される。保育園で子どもが安心して過ごせなくなると、親は安心して働くことができず、税金も納められなくなる。

今後の京都を担う子どもたちを育ててくれる保育園、保育士の処遇について削減すべきではないと思う。

行財政改革計画では保育士不足が取り上げられていない。削減されるともっと人材確保が難しくなる。

保育士がいるから自分も仕事ができる。命を預かる大切な仕事なのに削減するのはおかしい。

保育所への助成・独自加配の廃止は再検討して欲しい。保育士の労働環境や待遇が課題である中、全国の流れに逆行している。

保育士の処遇は改善されるべきであって、削るべきではない。

保育士の配置人数が減らすことは反対。

意見要旨

保育士の削減は非常に困る。

3年後の保育運営費の削減について大反対。

保育士に対する待遇が厳しすぎる。

保育士への補助金の廃止はあり得ない。本当に反対。

保育園等に対する人件費等補助金の見直しを行うと、保育士確保が難しくなり、待機児童対策に貢献できなくなる。また保育の質が後退する。

京都市の保育予算は決して多い額ではない。現状を見たうえで削減が必要と考えられているか疑問。

計画案の保育所職員の配置だと、園児の心身ケアができず、園児を常に危険にさらすことになる。

保育士の給与カットは残念で仕方ない。

保育園に対する補助金が減ると、保育に対する意欲が無くなり、保育の質が落ちる。

保育士確保に困難を極めている中、井独自の処遇改善がなければ、ますます保育士確保が難しくなる。

未来ある子どもたちを預かる保育園の経費を削減することで、京都市の未来はどうなるのか。しっかりと考えてもらえないか。

京都市はぐくみプランでは、保育士の職員加配や処遇改善について掲げられている。行財政改革計画では、はぐくみプランとの整合性を図っていく必要がある。

ただでさえ不足している保育士がさらに集まらなくなり、保育崩壊が始まる不安を感じる。

市として発展させたいならば、保育士に関する補助金削減を削減するな。

保育士の現状を知り、補助を継続していただきたい。

保育士の補助金削減は言語道断。

民間保育園への補助金削減ではなく、職員の処遇改善と大幅増員を期待する。

保育士の給料は一般企業に比べて低いので、今よりさがるとは考えられない。

保育士の給料をカットするとどんどん辞めていき、働いている人の子供を見る人がいないという本末転倒の事態になる。

これ以上民間保育園の補助金削減はしないでください。

保育の補助金カットには反対。同じ就学前なのになぜ幼稚園は補助金カットにはならないのか。

保育士の処遇改善廃止や加配の廃止は断固として反対。

保育施設の職員の給与は、普通の生活すら切り詰めないとできない現状。ほかの自治体と協力し、国政に訴えることはできないのか。

配置基準の改悪はじめ、補助金の削減には断固反対します。

保育園の人件費補助削減反対

保育園の人件費補助削減反対

意見要旨

保育園の人員費補助削減反対

1歳児加配対策費や障害児保育対策費などが削減されると、保育士の加配や障害児の受入が難しくなり、保育環境が悪化する。

プール制補助金が削減されると保育士の人材確保が難しくなり、待機児童の増加を招くのではないかと懸念されている。

保育園には様々な特性の子どもがいる。加配が無くなれば、一人ひとりの成長に寄り添うことが難しくなる。また、保育士の給料が減れば保育士数が減る。やめてほしい。

意見要旨

- 1歳児5人に保育者1人でも大変なのに6人になれば、安全確保が難しい。見合った待遇が無いとモチベーションも保育の質も下がる。安易に見直されるのは困る。
- 現状でも保育士の配置は少ないのにこれ以上減らせば辞める人が増え、求人しても集まらなくなる。減らしてはいけない。
- プール制補助金や運営費加配があることで子育ての質が守られてきた。削除されれば、子育て世帯。保育士の他都市流出、保育環境の低下を招く。
- 保育園の休演日は減り、開所時間は延び、コロナ禍による業務増で疲弊しているが、給料は他の職種と比べ多くはない。命を守る責任も。このままでは保育士不足が加速し、保育内容の低下も心配される。子育てしやすい京都市と言えるのか。
- コロナ禍で休暇もなく対応してきた保育士への補助金削減はやるせない。低賃金かつ保育士不足の状況でサポートどころか切られるのでは、労働条件の悪化と保育士の減少を招く。
- 保育士は精神的にも体力的にも大変な職業。さらに給料まで下げられるとやりがい無くす。もっと他に改革するところがあるはず。
- 保育士の補助金削減は保育士不足を生む。将来を担う子どもに関する削減に反対。
- 保育所の補助金削減により、保育士の確保が困難になり、人手が足りなくなる。削減に反対。
- プール制補助金によって保育士が安心して働ける配置基準を確保してもらい、保育の質を守ってきたが、補助金削減や配置基準の見直しは人材確保や保育の質、安全の確保に影響する。現行のままにしてほしい。
- プール制補助金や運営費、加配などが削減されれば、保育士確保が難しくなり、また保育の質が低下する。
- 子ども政策は国も重視しており、保育に対する補助金等削減は国政策と相反するのでは。
- 子どもたちの為に日々より良い保育を目指している中、保育園の補助金削減、給料減額、人員削減等はあまりにひどい。
- プール制補助金は50年近く、市と民間保育園の信頼関係により続いてきた。これまで予算削減や見直しを乗り越えてきたが、今回一方的に見直しが打ち出され、信頼関係が損なわれるとともに、市の保育の質と子育て環境の悪化が懸念される。園や職員と話し合う場を設けるべき。
- 保育士補助金の削減に反対。なぜ全国基準に引き下げるのか疑問。公立の保育士の給料は民間より倍近い。この差を埋めるための補助金ではないのか。削減は保育士不足に拍車がかかり、現保育士のモチベーション低下につながる。
- 質の高い保育には質の高い保育士が必要。プール制補助金が削減されれば、保育士数を確保できず、保育の質の低下に直結する。
- 運営費の市加配削減や一歳児加配の削減もプール制補助金同様、保育の質の低下につながる。
- 改定保育指針を率先する園にとっては、障害児保育対策費の見直しは大変厳しい。削減は障害児保育を見放すもの。
- 通勤手当助成金削減は他都市の優秀な保育士確保を妨げることになる。
- プール制補助金の改悪に反対。保育士が減り、子育て世帯の市外流出が増える。これは行財政改革以前から大きな社会課題であり、改革案は逆行。
- コロナ禍での努力が報われることを願っていた保育士に対し、助成金の削減はあり得ない。金銭面の待遇だけでなく加配もなくなれば、保育の質低下、待機児童増加、子育て世帯の市外流出につながる。
- 資格を持っているが、給料が安いので保育士をしない人も多い。補助金カットで保育士不足、残業増、子どもと向き合える時間も少なくなる。
- 保育園への補助金が減れば、子育て世代は市外に流出する。結果、税収減、保育士の離職率増、保育環境の後退につながる。
- コロナ禍で感染予防を徹底しながら保育をし、労力、精神的負担が増えているなか、補助金削減、人員配置基準改定は悪策。
- コロナ禍で感染予防を徹底しながら休まず保育をしてきた。低賃金、重労働のうえ、処遇改善や補助金削減は保育園で働く者の意欲を削ぐ行為。
- プール制補助金、運営市加配分、1歳児加配対策等の現状維持をお願いする。待機児童0を継続するには、他都市との保育職環境の差別化が必要。

意見要旨

運営費市加配分、1歳児加配対策費等が削減されれば、園児の定員割れが起きている現状で、ますます保育士確保も難しくなる。

保育園は離職率が高い。保育園の先生が困っている。

保育士の給料は平均が低すぎるのであり、その平均に下げるという案には反対する。

保育園は既に保育士不足。現状維持は最低限と考える。

なぜ保育士の給与カットなのか分からない。

保育園は人不足。労働環境も悪い。もっとお金をかけるべき。

保育園は人手不足。労働条件の改革、給与面の見直しを。

保育所への予算ばかり削減されており反対。

保育園は既に厳しい状態。補助金が減ればさらに保育の質は悪化する。

保育予算削減案に反対する。

障害児保育対策分が削減されれば、今働いている園での障害児保育はどうすればよいのか。長期を見通した判断を。

保育園はほかの自治体と合わせ、手厚く保育士を配置する必要は無い。

保育士の給料が下がると、保育士が辞めてしまわないか心配。

保育園で、今の状況のままで仕事をさせてほしい。

保育士補助金はむしろ増額してほしい。

障害児保育の大変さの中、補助金削減は事故やけがの元となる。見直すなら、利用者に対する見直しもセットである。

保育園への補助金の削減は、保育士の意欲がなくなり、保育の質が悪くなる。

懸命に働いている保育士から減給するなど信じがたく、腹立たしい。

保育予算の削減案に反対する。

今までわかりきっていた借金の補填をなぜ保育園への補助金でおこなおうとしているのか。

福祉職員、特に保育士の人員削減、賃金カットではさらなる人材不足を招く。

保育士になりたい人はだんだん少なくなっている。もとやりがいを感じられるような待遇を求める。

保育士確保のために、予算をきちんと取ってほしい。

今の京都が誇る保育の水準は、市独自の補助金制度あつてのものである。現在の処遇を守ってほしい。

保育士の処遇改善予算が減らされるのは保育士としてつらい。反対。

保育士の給与が下がれば保育士が減り、待機児童が増えるのでは。

意見要旨

コロナ禍でも休みなく頑張っている保育士の給料をこれ以上減らさないでください。

コロナ禍でも不安を抱えながら休みなく働く保育士の給料をこれ以上減らさないでください。

保育士の処遇改善費等の補助金の削減は止めてほしい。

保育士配置の加配を削減しようとする改革案に反対である。

保育園の人材が足りなくなると業務が増え、保育の質の低下につながる。

プール制解体のような行政改革は悪政である。

保育園の予算を削るのは優先順位が低いはずである。

保育園でこれ以上人員を削減されると確実に保育の質が下がると考える。

保育士の数も不足する中、保育予算削減に反対する。

保育の現場は10年前より求められるスキル・仕事が格段に増えている。予算削減に反対。

保育園への人件費補助削減反対

意見要旨

保育園への人件費補助削減反対

保育園への人件費補助削減反対

保育園への人件費補助削減反対

保育園への人件費補助削減反対

保育園への人件費補助削減反対

保育園への人件費補助削減反対

保育園への人件費補助削減反対

保育士にしわ寄せがいくのはどうなのか。

保育園への人件費補助削減反対

補助金が減れば、その分子どもたちへの十分な環境を整えてあげることができない

京都市加配分の補助金がどうなるのか、明記されていませんが、削減されるなら、反対です。

昨今、保育士確保に困難を極めている中、処遇改善がなければ保育士確保どころか現役保育士の退職も考えられます

コロナウイルスが流行し、財政が厳しいのは分かりますが、予算の見直しをするのが、福祉（保育園）が対象になっているのはおかしいです

子育てに関する投資は絶対に削減してはならない

意見要旨

処遇改善の改善もとなると保育園で働こうと思う方の減少にもつながってしまうのではないかと思います

職員の給与が減ることで、さらに保育士の離職率が高まり、人手不足に悩むことになる

京都市がほかの都市に先行して取り組んできた保育の質や充実面など維持していくためにも、軽減はしていただきたくありません

保育に関するお金を減らされると困る

ただでさえ、給与が高いわけでもないのに、これ以上下げられると、生活していきません

保育園の人権にかかる経費削減に反対

保育に関連する予算に関して未来を担う人材を育てる視点を持って検討していただきたいです

コロナ禍で財政難であることは理解できますが、なぜ保育業界の補助金削減が該当するのは理解できません

様々な問題を防ぐために保育士さんの確保は必要だと思うので、処遇改善が必要だと思った

補助金が削減されれば、子供だけでなく保護者にも影響が出る

補助金が削減されれば、子どもにとって必要な環境を整えてあげることができず、子供の育ちに影響を及ぼす

職員が少なくなり、障害児加配がいなくなると障害児に十分な対応をしてあげられないだけでなく、他の子どもも十分なかわりをしてあげられない

まちの誇りでもあった保育士・保育所への助成の取り組みをやめるとするのは、致命的だと思います

保育士給与カットをすることになれば全国的に水準の高い保育が行える京都市ではなくなる

補助金削減をすることになれば全国的に水準の高い保育が行える京都市ではなくなる

障害児の加配や配置基準の見直しなどすることになれば全国的に水準の高い保育が行える京都市ではなくなる

子供に関わる補助金の大幅な削減に、強く反対します

配置基準の見直しで職員の負担が増え、事故及び児童の安全性の維持が困難になる可能性が増加する

プール補助金及び運営費市加配分、1歳児加配対策費が削減されれば、保育の人材確保に支障をきたすとともに京都市が誇ってきた全国トップレベルの保育環境である保育士給与水準維持することができない

保育士の処遇を下げることは断固、反対である

国基準を上回る保育士の待遇改善などの政策を先にカットすべき

保育に関わる人件費を削ることが保育士不足の現状があるのに、さらにそのしわ寄せが子供につながるものが容易に想像されることに対してとても懸念を感じます

世界的にも保育の質が低いのに、なぜ真っ先に保育士の配置基準を検討されるのか理解ができません

処遇改善がなかった場合、職員の確保が困難になり、保育園に子供を預けたいと希望される方たちのお子様をお預かりすることが難しくなると考える

自分たちの生活を守りながら、かつ高い水準で保育をこれまで進めてこれたのもプール制があったからこそ

京都市の財政が非常に厳しいことは認識していますが、保育関係だけは予算を減らさないでいただけますでしょうか

意見要旨

ただですら保育士不足の中、処遇削減となると保育士の確保ができない、待機児童が増える

この改革計画をすることで保育の質が下がっても、安全性が下がってもいいのでしょうか

保育士の利殖にもつながると思いますので、行財政改革計画には反対します

保育士の確保が難しい中で、職員の処遇改善がなくなると、いっそう保育士になる魅力や意欲の喪失につながります

今回の行財政改革計画内において通勤手当女性も削減されると知り、それが決行されれば退職も考えないといけないと思っています

京都市独自の施策があり特に保育園・学童保育所へ相応に処遇改善を図ってこられたのは承知しておりますし、またそれが重い財政負担であることも理解しています。しかしながら、コスト削減の検討においては加味していただきたいです

これ以上にいろいろな面で大変になると続けたくても辞めざるを得ないかと考えます

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直しは反対

意見要旨

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

京都市は全国一の保育水準と宣伝しているが、公立保育所が全国一少ない。さらに保育士の賃金を下げるのはもってのほか。

保育士への補助金削減は給与カットにつながり、人手不足につながります。補助金削減に反対します。

市内の民間保育園の3分の1くらいはコロナ禍で何らかの休園を行っている。その中で子供達の命の保護者の就労を支えてきました。忘れないでください。

京都市の基準に国基準を合わせてもらいましょう。このままでは、保育士になりたい人が減る一方です。

民間保育園職員の給与補助金について、効果検証を行い、調査結果及び分析を踏まえてとあるが、どのような調査を行うのか。

子育て日本一なら保育園への援助を見直すな。

保育士の安定供給が先であるべき。保育現場からの補助金削減はひどすぎます。

子育て日本一を謳いながら、福祉を大幅に改悪するのはなぜか。さらに働く魅力を減らすような取組をするのか。

保育士の給料が減らされるとなれば、仕事を続けていくことは難しい。未来の日本を支えていくためには、必要な予算だと思ふ。

保育園への補助金の見直しにより現在の保育の質を維持することは難しくなる。

保育士の質の向上は子供たちの利益にもなり、将来の国を背負う子供たちの教育にこそ力を入れるべき。

保育士の処遇を下げないでほしいです。

子供の質を上げるために努力しているなか、私たちの人手不足をさらに加速するようなことになれば経済が低迷してしまいます。

保育士の給料を下げるべきではありません。減額に反対します。

保育士の給料を下げないでください。

保育士になりたい人がどんどん居なくなります。

保育への助成金削減があると、保育の質が低下し、こどもも親も安心して生活できない。削減はやめてほしい。

助成金の見直しが行われれば、保育士の現場離れが増加します。もっと現場の状況を把握し、考えていただきたい。

保育士の人数が変わることで、保育の水準が落ちないかと心配です。従来通りの職員配置基準で保育することを望みます。

意見要旨

- 保育士に関する予算削減の意味が分からない。ほかに削れるところはないですか。公務員の給与を保育士と同じにしてください。
- 保育士補助金の削減に反対します。
- 給料が下がるのは困る。保育士がいなくなったら大変なことになる
- 保育士の給料を下げないで
- 保育士に対する態度を改めるべき。京都市政よりまともな仕事をしている
- 保育士の給料を減らさないでください
- 保育、子育てに関する削減はやめてください
- 保育士に対する予算削減反対
- 保育園への財源を減らすことで高齢化社会が貧弱になる
- 保育士補助金を見直されると、言い保育ができない
- 保育士補助金を削減しないよう見直してほしい
- 保育士の気持ちを考えてください
- 保育士のやる気を損なわない改革を
- 保育士補助金削減には反対
- 保育士の処遇改善を
- 幼児保育の補助金の案で更に人手不足になる
- 保育に関する補助金削減はしないでほしい
- 保育士補助金の削減反対
- 保育士の処遇改善補助金の削減が今までの取組に与える影響が大きい
- 保育士の予算削減はやめてほしい
- これ以上保育予算を削減されるともっと厳しくなる
- 保育予算の削減は、保育の質低下を招く
- 保育園の補助金削減で子どもや子育てをしている人の環境が悪くならないようにしてほしい
- 保育園補助金の見直しはネガティブイメージを広げることになる
- 保育園への補助金削減はやめてほしい
- なぜ教育部門でも保育のみ予算削減されるのか

意見要旨

備品も足りない中さらに保育予算削減は考えられない

保育園補助金削減に反対

保育士の給与が下がるのは反対

保育士のモチベーションが下がらないようにしてほしい

保育士給与の補助金削減はやめてほしい

保育予算見直し反対

保育予算削減を考え直してほしい

はぐくみプランを否定することなく実行できるよう計画してほしい。保育士の処遇について、他都市のほうがいいところもある

子育てができない京都市としてレッテルを貼られてしまうのではないのでしょうか…

保育士削減については反対します。

保育士が足りていないのは給料が安いからである。補助金を削減する今回の計画については断固反対。

子供は国の宝で有り保育を今の水準より下げないで欲しいです。

保育園への支援を減らさないで下さい！！

保育士の人材不足の一因には、収入面の不満があると思う。

今回のプール制補助金の見直しにより、収入が低くなることになれば、更なる保育士のなり手が減ることになるのは間違いないと思います。

保育士の精神状態もしんどくなり、子どもたちにとってのいい保育、安心できる保育ができなくなると思います。

予算削減は、反対です。

保育士の給料を削減するのはおかしいです。

保育予算削減は現場で働く保育士子どもを預ける保護者の為にも、考え直してほしいです

今後も保育園、こども園を支えて頂きたいと、切に切に願うばかりです。

保育の予算の削減には反対です。

配置基準の改悪や補助金の削減には断固反対します。

保育園の人件費についての見直し反対致します。

子どもたちの将来のためにも予算削減を考えなおしていただきたいです。

今の仕事の量からして、これより給料が減らされるんだったら、辞めて違う仕事をしよう

一生懸命頑張っているのに減らさないで欲しいです。

意見要旨

保育士の給与がカットされるのはおかしいと思います。

京都市加配分の補助金がどうなるのか、この案には明記されていませんが、もし削減方向ならそれには反対です。

京都市独自で行っていた保育所、保育士への財源を廃止するのは、おかしいと思います。

京都を将来ダメにして行く物だと思います。

子育てや福祉に関する予算を削ることは本当にやめてもらいたいです。

今回の保育への予算削減は不安しか与えません。

未来ある子どもたちの為に保育の面を削減するのは違う。

子育て環境日本一にする気はありますか？

「保育士の処遇改善」は廃止してはならない。

保育予算減らさないでください

子どもの育ちに対する責任放棄に他なりません。

子供達の為に、どうか予算削減しないでください。

資金削減なんて馬鹿げたことやめてください。

子どもたちには可能性があります。
再度ご検討していただきたいです。

保育士の配置を見直すと、サービス残業が増えてしまう。

保育士の給料見直し反対。保育士が減り、待機児童が増える。

保育士の配置基準などを見直されると、保育の質が下がってしまう。

ただでさえ少ない保育士の配置を減らすべきではない。

保育に関する補助金を削除するなんて、ありえない。

保育士の給料が削除されれば、家族を支えるために仕事を辞めることになる。

保育に関する補助金が削減され、保育のサービスが低下するようなことは、あってはならない。

保育士の給料削減は非常に残念

保育に関する補助金は削減するべきではない

保育に関する補助金を削減してしまうと、保育士を目指す人が減ってしまう。

保育士の配置基準の見直し反対

保育士の給料見直し反対

意見要旨

保育士の処遇を見直さないでほしい。

保育に関する補助金は削減するべきではない

保育に関する補助金を削減してしまうと、保育士の負担が大きくなってしまう。

保育に関する補助金を削減してしまうと、保育士を目指す人が減ってしまう。

保育料や税金がきちんと保育園の先生方に支払われていると思えない。補助金削減などを行うなら、園に直接払いたい。上からしか物が見れない人達に生活を任せられない。

保育に関する補助金を削減してしまうと、保育士を目指す人が減ってしまう。

保育士の配置を見直すと、サービス残業が増えてしまう。

保育士の処遇を見直さないでほしい。保育の質が下がってしまう。

保育士の配置基準を見直すべきではない。

保育士の配置基準を充実させるべき

プール制を維持し。日本一の保育水準を目指してほしい。

保育や教育等に関する予算は削減するべきではない。

保育士の配置基準などを見直されると、保育の質が下がってしまう。

保育士の処遇の見直し反対

保育士は、今でもサービス残業や休憩のない日が多い。処遇が見直されれば、今以上に保育士が減ってしまう。

保育士の給料を見直すと、サービスの質が低下してしまう。

保育に関する予算の削減反対

保育士の給料が減ると、子育て環境が悪化してしまう。

保育士の処遇見直し反対

保育の仕事へのモチベーションが下がってしまう。見直し反対

子どもの命を預かり、一生懸命に育てている。ほかの無駄な予算を削減してほしい。

保育に関する予算が削減されることに不安と疑問を感じる。

保育所への補助金削減には反対

保育所への補助金削減には反対

保育所への補助金削減には反対

これ以上、保育士の配置を減らさないでほしい。

意見要旨

保育士の処遇見直し反対

保育士の配置基準などを見直されると、保育の質が下がってしまう。

保育士の人件費補助の削減はいかなものでしょうか。人材が不足しており、行く届く保育もできない。

保育に関する予算は維持するべき

保育士不足が叫ばれる中、これ以上保育士の処遇を下げて、保育士のなり手を確保できるわけがない。今の水準はあまりにも低すぎるという声が広がる中、それに逆行する計画は納得できない。

(保育園の人件費補助について) 削減対象にしているのはとても不安を感じる。保育士の離職率増加、成り手の減少に繋がると思う。

保育士の給料を減らさないで

保育士の低い待遇を一層悪化させる本業に反対

保育士の支援を減らすというなら、京都市外への転職や他県への転職を考える

国家資格である保育士という仕事に責任とプライドをもって働くためにも、給与が減る今回の改革には納得できない

国よりも良い基準である京都市条例の保育士配置基準を変えずに守ってほしい

子育て分野からまず削減することになった。家族が保育園に勤めているが、給料が削減されたら生活が苦しくなる。

保育士の給与が下がるなら京都市で働く意味がない。こんな最悪な改革には反対。

保育士補助金カットに反対。もっと現場で働く教育者のことも考えて欲しい。

子どもに関わる職業の減給に反対。子ども達の未来が国や京都の未来に繋がっているため、疎かにしてはいけない。

京都市の財政難というしわ寄せが保育士に来ることが悲しい

(保育士について) 全国トップクラスの給与水準と言えども、全業種と比べると差がある。減額となれば、家族のことを考えると保育士をやめざるを得ない。

民間保育園への補助金見直しに反対。そもそも市営保育所が少なく、民間保育園におんぶに抱っこなのになんという仕打ちか

人材カットすることで保育が回らないし、安全に見られない。また給与カットされることで意欲低下につながり保育の質が下がる。

保育士の給与カットされたら保育士を続けられない。断固して反対。

保育士の補助金削減となれば、これから保育士を目指す若者がされに減ると思う

保育予算のカットは絶対にやめてほしい。これ以上しんどい思いをしないといけないなら、保育士という仕事を続けられるか正直自信がない。

保育士は命を預から大事な仕事では。国家資格の仕事の給与が上がるのではなく、カットされるとは呆れる。

職員削減や京プランを過去10年以上実施しつつ、何故公債償還基金を取り崩すことになったのかが書かれていない

保育予算、保育士の数を減らす施策はしないでほしい。

保育所への人件費補助を削除しないでほしい。

意見要旨

プール制補助金削減反対。

プール制補助金削減反対。

保育士の補助金削減反対

保育士の補助金削減反対

保育士の補助金削減反対

プール制補助金削減反対。

加配をやめないでください。

プール制補助金削減反対。

プール制補助金削減反対。

京都市の子育て環境は劣悪。保育に関する助成削減や予防接種の自己負担引下げの見直しはしないでほしい。

1歳児加配対策費や障害児保育対策費が削減されれば、保育の質が後退していく。集団生活が難しい子どもが多くいる中、加配保育士がいないと担任の負担が大きくなり、保育の質の向上は望めなくなる。

民間の保育現場の状況も知らず、保育士の人件費補助金をカットすることに憤りを感じる。他の自治体より民間保育所が多いのに、なぜ補助金が多いというのか。特に、障害児保育や一歳児保育加算の補助金見直しはやめてほしい。

人件費補助の見直しは、保育士の質、保育の質の低下につながる。

保育予算の削除はやめてほしい。保育士の処遇改善をしてほしい。

保育士の処遇改善のための支援削減には失望している。

保育園の人件費補助がカットされたら子どもの受入にも影響する。今ですら働く人材は安定しない現状なのに、これ以上厳しくなることはありえない。

民間保育園職員の人件費補助について、京都市の支援によって給与水準が保たれている。保育士として働き続けるためにも、維持してほしい。

今回の行財政改革で、非常勤の保育士は職を失うのではないかと危惧している。非常勤の保育士は昇給もなく、他の職業に比べて給与も低い。非常勤保育士の給与も保証できるよう考えてほしい。

保育士の人数を減らさないでほしい。

保育士は、このコロナ禍で、体力的精神的に疲弊している。共働き世帯が増える中、保育士の確保は必須であることから、人件費補助の見直しには反対。

コロナ禍で感染対策を徹底して働いていたのに、給料を減額されるのはおかしい。

保育士の人件費補助の大幅な減額により、保育環境が悪化し、保育の質が下がってしまうのではないかと。

保育士の数や給料を削減することは、子どもに危険が及ぶ。現場経験がある人が判断できないのか。

コロナ禍で保育に神経を使う。また、事務仕事も多く、給与の削減は考え直してほしい。

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

意見要旨

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士の人員削減や補助金削減をしないでほしい。

保育士にしわ寄せがいくのはおかしい。

削減できるところは削減すべきであるが、保育の現場に負担がかかるような見直しはやめてほしい。

子ども、保護者、保育者たちにしわ寄せして、豊かな未来が育つのか疑問である。丁寧に対応するために、予算を削減しないでほしい。

保育士の処遇見直しは考えられない。

保育士への補助金削減は勝手すぎる。

保育士の処遇改善等をなくすことは絶対に止めてほしい。

保育士の処遇改善がなされなければ、子育て世代にとって魅力のない都市になりかねない。

現場の負担は増す一方で、保育士の人件費を削減されるとやるせない気持ちになる。

加配対策費等が削減されれば、子供たちに十分な保育ができなくなる。

保育士の給与低下は、質、人員確保の低下に直結するのでは。

保育園への補助金をなくすのは反対

保育士の給与や手当が削減対象になっており、愕然とした。

保育園への公的補助を削るべきでない。

保育にはお金を注ぐべきである。

補助金削減により、それ以外のことも徐々に減らされていく。子供たちに影響が出るような行財政改革には反対

持ち帰りの業務も多いので、家でおもちゃ等を作ってあげる労力はない。いろいろなことが負の連鎖をしている。

意見要旨

これ以上保障を削減されたら、働き続けられない。

休憩時間も確保できず、持ち帰りの仕事も多い中で減給になると、退職の文字が脳裏をかすめる。

保育士の給与が下がれば、生活のための副業も考える必要性が出て、保育の質が下がる。

保育士の給料が減らされたら、余計に成り手がなくなると思う。今働いている者も辞めたくなる。

保育士の給与改善のための補助金の削減は止めてほしい。

保育士の処遇を守ってほしい。

保育士の給料が下がらないようお願いしたい。

補助金は増やしてほしい。子供たちに影響が出る。

保育士の配置基準の改悪や、補助金の削減には断固反対

保育士の負担が更に大きくなるのであれば、仕事が続けられない。

保育士の給料面で響いてくるようであれば、転職を考えざるを得ない。

プール制の見直し反対

保育士の補助金削減だけは見合わせてほしい。

保育園の補助見直しに反対

保育園の補助が削減されると、給料が下がり、生活できなくなる

保育園の補助見直し反対

保育士の賃金補助削減は、市の税収を低下させる愚策。

保育園の補助見直し反対

保育園の補助見直し反対

保育園の補助見直し反対

保育園の補助見直し反対

保育園の補助見直し反対

保育園の補助見直し反対

保育園の補助見直し反対

保育園の補助見直し反対

保育園の補助見直し反対

意見要旨

保育園の補助見直し反対

保育園の処遇改善について再び見直しで減額となれば、手厚い保育の保障が難しくなるだけでなく長い目でみたら更なるマイナスとなる。

保育園の独自の補助金の見直しはやめてほしい。

保育士の配置基準及び補助金削減等には反対。

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士として沢山のことを頑張っていきたいと考えているが、色々な所で削減されると保育環境も厳しい状況になる。子どもの命を全力で守っていきたいと考えているのでどうか検討してほしい。

保育士をしているが、給料も少なくすぐに辞めてしまう人が多い。これ以上給料を減らされると割に合わない。給料が増えないと今後も辞める人数は増えるばかりだと思う。

1歳児加配対策費や障害児保育対策費等を削減されると、保育者の十分な配置ができず、子どもたちにしわ寄せがくる。保育士を確保し待機児童を減らすためにも保育士の人員配置が十分行える予算を確保してほしい。

安心安全な保育を心掛け、日々質の高い保育を目指して頑張っているのに補助金を削られては保育の質を維持することが不可能。

意見要旨

未来を担う子どもたちのために環境を維持していくためには補助が必要である。

保育園等に対する補助を削減することで、将来京都を担う可能性のある子どもたちへの保育の質の低下や京都で保育士を志す人の減少が危惧されます。

子育て環境日本一と言うが、他都市に比べ圧倒的に公立保育園は少ない。保育の質は民間保育園も一緒に支えており、この10年で補助金や処遇は切り下げられている。更に公立保育園を減らし、民間保育園への補助金を減らすことは許せない。

保育に関して様々なことを見直されようとしているが、子どもたちが安心安全、健やかに成長できる保育を行うため、今の体制を壊さないでほしい。

保育園に対する補助金削減に反対。保育士の離職者が増え、施設の何晏きょう整備もままならず、保育の質が低下する。

保育の予算を削減しないでほしい。子育てしやすい行政を。

保育士の給料は少し上げてほしい。

保育園に対する独自の処遇改善施策は有意義なものであり支えていくべき。

保育士の配置基準を基増やしてほしい。保育の予算は削るべきでない。

保育園への人件費補助削減反対。

保育園への人件費補助削減反対。

保育園への人件費補助削減反対。

「京都市民間保育園等職員の給与等運用事業補助金」などの見直しはコロナ禍で負担が増えている保育現場の現状に逆行するひどい仕打ちです

保育予算の削減には反対です

「保育士の処遇改善などの保育所等への助成，市独自の保育士の加配」の廃止に懸念を覚える

保育園や保育士に対する十分な支援を確保してほしい

補助金の削減，職員の給料削減などによる保育の質の低下などできるだけ内容にしてほしいと望みます

保育の質を今以上，劣悪にするのであれば，保育園は潰れます。そうなれば，子供を預けられず，働けなくなる保護者がいますよ

現場は保育という仕事に誇りを持っています。現状が悪化していても耐えて，給料以上の仕事をこなしています。そんな現場を見ず，知らない中で，財政難のしわ寄せを保育現場や子供たちに持ち込まないで下さい

保育士さんや学童の職員さんの質を保つために賃金を下げるのも絶対に避けてください。

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

保育予算の削減には反対です

保育士の配置人数を減らすならもう子供は産みません。

意見要旨

子育て環境日本一を掲げているのであれば、保育の質を下げないでほしい。

保育士の給与加算が国基準以上とあるが、市職員と比較しても給与水準は高いでしょうか。

保育士の処遇改善等の助成が廃止になると、近隣都市へ保育士が流出し、保育の質の低下につながる。廃止すべきでない。

保育園の人件費補助削減反対

保育園の人件費補助削減反対

保育園の人件費補助削減反対

保育園の人件費補助削減反対

保育園の人件費補助削減反対

加配対策費を削減されると保育環境が後退する

プール制、加配対策を削減すると京都の保育の質が低下する

近隣県の方が保育士の待遇がいい。政令市間の比較を

保育士の処遇改善への助成削減に反対

保育関連補助金削減はやめていただきたい

保育園への補助金削減はやめていただきたい。「はぐくみプラン」に保育の質の向上に取り組む等と書かれている。

保育所の職員は削減すべきでない。守るべき財産は子どもたち

保育士への予算を減らされるのは困る

これから保育士になる人が増えるよう待遇面を充実させてください。

保育園への影響、また働く子育て世代への影響が少なくなるよう再検討していただきたいです。

京都市独自の処遇改善がなくなれば、保育士が確保できず、保育の質がおちます。

保育所を廃止したり、保育士の処遇改善の補助金をカットしたり、そんな自治体に住んで子育てするメリットってありますか？まずは足元をしっかりと補修するべき時です。

まず保育士の給料が高いと言う根拠を示してください。

保育園人件費が他都市の水準を上回ることは悪い事なのか。

保育士の給料は安い。プール制は格差是正を目的としていたはずだ。

保育士の処遇が改善されなければ、人員確保も質の高い保育も維持できない。

保育士の処遇見直し反対

保育士の給料を減らすくらいなら、行政職の給料も減らすべき

意見要旨

保育士の給料見直し反対

保育士の給料見直し反対

保育園への人件費補助削減反対。

保育園への人件費補助削減反対。

保育園への人件費補助削減反対。

保育園への人件費補助削減反対。

保育園への人件費補助削減反対。

保育園への人件費補助削減反対。

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

保育園等に対する人件費等については、段階的に少額で実施した方が良い。

保育士の処遇改善を要望する。

保育士補助金削減は、近視眼的な指針か。

保育の現場がこれ以上人手不足になると、負担が大きくなり、子供の安全も十分に守れなくなる可能性がある。保育士を辞める人も多くなると思う。

質の高い保育を保障するために補助金カットはしないでほしい。

保育園の人件費補助見直し反対

保育園の人件費補助見直し反対

保育園の人件費補助見直し反対

保育園の人件費補助見直し反対

保育園の人件費補助見直し反対

保育園の人件費補助見直し反対

保育園の人件費補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

p30の「60億円」は記載誤りではないか

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

意見要旨

保育士への補助見直し反対

保育園の補助見直し反対

意見要旨

保育園の補助見直し反対

意見要旨

保育園の補助見直し反対

意見要旨

保育園の補助見直し反対

意見要旨

保育園の補助見直し反対

意見要旨

保育園の補助見直し反対

意見要旨

保育園の補助見直し反対

意見要旨

保育園の補助見直し反対

保育園の補助見直し反対

保育園の補助見直し反対

保育園の補助見直し反対

保育園の補助見直し反対

保育園の補助見直し反対

保育園の補助見直し反対

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

保育園への補助金を増額してほしい。

保育園への補助金を増額してほしい。

保育園への補助金を増額してほしい。

保育園への補助金を増額してほしい。

保育園への補助金を増額してほしい。

保育園への補助金を増額してほしい。

保育園への補助金を増額してほしい。

保育園への補助金を増額してほしい。

保育園への補助金は削ってはいけない。

保育園への人件費補助の見直し反対

保育園への人件費補助の見直し反対

保育園への人件費補助の見直し反対

保育園への人件費補助の見直し反対

保育園への人件費補助の見直し反対

保育園への人件費補助の見直し反対

保育園への人件費補助の見直し反対

保育園への人件費補助の見直し反対

意見要旨

保育園への人件費補助の見直し反対

保育園への人件費補助の見直し反対

保育士への補助見直しは反対

保育園の補助見直し反対

保育園の補助見直し反対

保育士への補助見直しは反対

意見要旨

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直しは反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育園への人件費補助見直し反対。

保育士への補助見直し反対

保育士への補助は廃止するべき

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

意見要旨

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助見直し反対

保育士への補助金見直し反対

保育士への補助金見直し反対

保育士への補助金見直し反対

保育士への補助見直し反対

意見要旨

保育士への補助見直し反対

4 行財政改革の取組について（1）

学童う歯の見直しに対する意見（59件）

意見要旨
う歯対策事業は廃止するべき
小学生の歯の治療が無料でなくなるのは、先進的な京都市の施策、また子育て支援の考えから逸脱している。
学童う歯をどのように見直すのか。見直しにより高くなると歯医者に行きづらくなる。
学童う歯事業の見直しとありますが、少なくとも事業の存続はお願いしたい。
う歯のみならず学童を含めた小児の口腔機能発達不全に対する対応を望む。
学童う歯対策事業の切り捨てはやめていただきたい
学童う歯対策事業は守って拡充を
「学童う歯対策事業」の見直しは、子どもたちの健康を守る、未来を守ることに反する
小学生は歯医者だけ無料にする必要はない。
学童う歯対策事業は継続して欲しい。
子どもの歯科無料を見直し、歯磨き指導に重点を置く
学童う歯対策もなくさないでほしい。経済的に困難な家庭は、治療開始がますます遅れる。
学童う歯対策事業の継続。
学童う歯対策は先進的な制度。子ども医療費の中で考えるとあるが、周辺都市は中学校まで無料（一部負担あり）など、制度が充実しており、同様の考え方で統合するなら市民の受入は良い。そうでなければ単なる医療支援の廃止だ。
う歯治療は必要であり、負担額を増やすべき。
学童う歯対策事業を、現状の京都市のこども医療制度に含めるということであれば反対。
コロナ禍の今こそ学童う歯の充実が市民の願いです
学童う歯対策事業は現状のまま続けて下さい。
児童のう歯もこれまでどおり無償とすべき。
虫歯治療費の補助削減も大変辛い。

意見要旨

学童う歯事業の廃止は賛成

小学生の虫歯治療見直し反対

学童う歯施策の見直しは反対

う歯治療費等の改定が、受益者負担の適正化だと、全く理解できない

「小学生の虫歯治療無料」も見直しの対象となっているが、これも予防医学の観点から見たポジティブな波及効果について全く検証が行われていない

学童う歯対策はいい事業

歯科治療費負担値上げは納得できない

学童う歯の見直し反対

虫歯の治療無料はありがたかったが、そこまで求めていなかった。

学童う歯治療の有料化は止めてほしい。

学童う歯制度の見直し反対

学童う歯の見直しは反対

学童う歯の見直し反対

学童う歯の見直し反対

学童う歯の見直し反対

学童う歯の見直し反対

学童う歯の見直し反対

学童う歯の見直し反対

学童う歯の見直し反対

学童う歯見直しは反対

学童う歯見直しは反対

学童う歯見直しは反対

学童う歯の改悪反対

学童う歯の有料化反対

意見要旨

学童う歯の見直し反対

学童う歯の見直し反対

学童う歯の見直し反対

学童う歯の見直し反対

学童う歯の見直し反対

学童う歯の見直し反対

学童う歯見直し反対

う歯補助はそのままにすべき。

小中学生の歯科治療費を無料にしてください。

歯科受診料無料は子供の将来のために必要な制度。

学童う歯の見直し反対

学童う歯の見直し反対

学童う歯の見直し反対

学童う歯の見直し反対

学童う歯の見直し反対

4 行財政改革の取組について（1）

保育料の新たな料金体系についての意見（504件）

意見要旨
保育制度の充実は若い世代の定住を促し、市税アップに貢献している。この点の評価がない。
保育料値上げの前に不必要なイベントや補助金を全部廃止か休止すべき。
保育料が上がるのはきついが、仕方ない。
京都が好きなので保育料が上がっても引っ越したりしないが、値上げするからにはしっかりと財政を立てなおしてほしい。
保育料の値上げはやむを得ない
これ以上保育料を上げないでほしい。
保育料の値上げは辛いですが、将来世代のことを思うとしかたがない。
保育料の値上げの影響は長くても3年間。仕方ないと思うが、そもそも国が0歳から無料にすればいい。
保育料が少々高くなるのは仕方ないが、無駄遣いはしないでほしい。
保育料が高くなるのは困る人もいる。
保育料は値上げすべきでない
保育料の値上げ反対
保育料を値上げすると税収が悪化する。
これ以上、保育料を上げないでほしい。
これ以上、保育料を上げないでほしい。
これ以上、保育料を上げないでほしい。
保育料の値上げはおかしい
保育所値上げは愚策。

意見要旨

小規模保育の保育料も上げるべき。

保育所の充実などは、利用者に還元される制度作りをお願いしたい。

保育料について、一般的な世帯年収（600～800万円）だと他都市より高い。これ以上になるなら転出を考える。

保育料をあげるべきではない

保育料はあげるべきではない

保育料がこれ以上高くなると京都で子育てができない

保育料は軽減すべき

保育料は既に高く、軽減されていると思えない。他都市より高いはず。

隣地の宇治市や大津市に比べて京都市の保育料は高い。保育料の値下げこそが必要。

受益と負担のバランスの観点から利用者負担の公平性を高めるため制度の見直しの保育料の見直しですが、なぜ保育料なんでしょう。利用している人たちだけに負担を与えると大きくなります。もっと公平性を考えて改革案を出してくださいお願いします。

財政が圧迫しているのであれば、なぜ、より高額な納税をしてくれる世代や人々が京都市に移住しようと思う政策をとらないのか。保育料の値上げを検討されているが、一方で、ひとり親世帯等へは値下げを検討されている。現役世代に京都市に定住してもらいたいという方向性が見えない計画である。他都市への引っ越しもやむなしと考える。

保育士の処遇引下げや、保育料の値上げは、少子化に拍車をかけることになる。

保育料の値上げ反対

保育料の値上げ反対

保育料の引き上げは最終手段の禁じ手

保育料値上げなどとんでもないこと、大幅値下げを求める

保育料値上げなど、保育予算は削らないでほしい。優先順位をつけるのが、市長・議員の仕事ではないのか。

他に削減するところはあると思うが、なぜ保育料を値上げするのか。勝手に負担を先送りされて、若い世代に押し付けられて、保育料も上げられて、京都市に住む若者は残念。

保育料の値上げ。

保育料の値上げ

保育料の値上げや保育士の処遇改悪は時代錯誤。保育料は3人目以降はぐくみ料金にすべき。

意見要旨

子どもに関わる補助金減額や、保育料の値上げについて、見直しを切実に願う。

保育料は現行でも他都市より高い水準であるが、保育料の値上げを検討しており、子育て世代に更に負担を強いるのは驚愕。

保育料を値上げではなく、値下げすべき

保育料軽減の撤廃など、未来を生きる子どもを育てることを考えてない。今後も子育てがしやすい都市であったほしい。

保育料を上げるぐらいなら職員の給料を下げる方がマシとは思わないのか。

保育料を上げるぐらいなら職員の給料を下げる方がマシとは思わないのか。京都市の給料は他都市よりもかなり高いと聞いている。他都市と同程度になれば、保育料を上げなくてすむのでは。

保育料を減免しすぎているところは多く、徴収が適当な世帯からは徴収すべき。

保育料の値上げで解決は反対。

これまでの反省なしに保育料の引上げは認められない。

保育料値上げ反対

保育料などが低い階層の方は安すぎると思います。

保育料高くて重荷。

保育料の値上げは内容によっては反対

保育料を値上げしないでください。

保育料の値上げはやめてほしい

高齢者対象事業を削減してでも、子育て世代の事業を残すべき。保育料は値下げすべき。

保育料について、本市独自の利用者負担軽減はやめるべき。

保育料の改定に当たっては、無償化の対象年齢引き上げなども視野に入れてほしい。

保育料の軽減はこれまでどおり実施すべき。軽減をやめることで、仕事をやめて子育てをする方がコストが安くなってしまい、市税収入の減につながる。

2,3人目子どもの保育料をあげるのは反対。

保育料の負担増はやめて欲しい。

意見要旨

保育料の負担増はやめて欲しい。

保育料の負担増はやめて欲しい。

保育料の負担増はやめて欲しい。

保育料の負担増はやめて欲しい。

保育料の負担増はやめて欲しい。

保育料の負担増はやめて欲しい。

保育料の見直しはやめてください。

保育料の見直しはやめてください。

保育料の見直しはやめてください。

保育料の見直しはやめてください。

保育料の見直しはやめてください。

保育料の見直しはやめてください。

保育料の値上げはしないでください

保育料値上げに反対

保育料をリバランスするのは良いが、全体的に上げることは反対

保育費はもっと上げていい

小規模保育も保育園と同じくらい熱心に保育に取り組んでいる。保育料が安いことで質が悪いかのように思われる

保育料の見直しがあるかもしれない、子を安心して預けられる保育所の環境が悪くなっていくなどは困ります。

京都市は子育てしやすすくない。納税している中間所得者層の保育料は安くない。

保育料は、今の30分刻みがなくなると、標準認定児が増加し、人件費が増える。なくさないでほしい。

保育料について、そもそも幼児だけを無償化しているのがおかしい。

意見要旨

保育料の値上げ反対

保育料が上がり、保育の質が下がりかねないというのは矛盾している。

保育料の改定は難しい。無償化をなくすのはダメ。

保育料は3歳以上は無料になっており、今回の値上げは0～2歳までの3年間の話なので我慢できるが、国に0～2歳も無料にするよう制度改革してもらいたい。

保育料の値上げは仕方ないが、国が無償化を拡大するべき。

共働きの我が家は保育園にかなりお世話になっている。京都は子育てしやすい環境だと思うので、保育料が上がってしまうのは仕方ないが、有効に活用してほしい。

保育士の配置基準、保育料の軽減をしてきたから子育て環境日本一と謳ってきたのに、それをなくしてどうしたいのか。市長選挙の公約はなんだったのか。

保育料は所得の低い人が安すぎるから値上げするべき。

京都市はそもそも他地域より保育料が高いと思う。更なる値上げは子どもを産むのを躊躇う。

保育料に関する予算は削減すべきでない。

保育料アップに断固反対です

保育料の負担増はやめてください

保育料の負担増は反対

保育料の負担増は反対

保育料の値上げとあるが、未来の子ども達を育てるために行った政策、子ども達の未来、若い世代の親の未来を潰すつもりか。

子どもを産み、育て、教育することへのお金は未来への投資である。子育てに関するお金を削り続ける都市に未来はない。保育料の値上げや、保育士の給料削減はしないでほしい。

保育料の値上げを撤廃し、はぐくみ応援額の継続。

保育料のきょうだい児同時利用2人目の料金を国基準に値上げは避けるべき。

所得によって保育料が変わるシステムに疑問。子どもを預けながら頑張って働けば働くほど助成が受けられなくなる。

保育料を上げないでほしい。保育士も減らさないでほしい。

子どもに関連する改悪（保育料や学童）はやめてほしい。京都市は子どもの医療負担が一部あったりと、周囲の他府県・市町村と比べて良い水準であるとは言い難い。このままでは若い世代がどんどん流出してしまう。

意見要旨

私自身は子どもは一人で、保育料も免除となり負担は少ないと感じている。しかし、今後保育に関わる予算削減などが進んだ場合、2人目以降を持ちたいという考えにはならず。将来の出生率にも影響があるのでは。

市長は保育環境日本一と言っていたが、財政危機だからと言ってすぐに福祉財政を切り捨てるのはおかしい。保育料が上がると本当に預けたい人が預けられない。

保育料の値上げには反対。

保育料の値上げには大反対。

保育料が上がれば生活できない。

保育料の値上げは生活に大きな負担になります。

これ以上の保育料値上げに断固反対する。

保育料改定をやめていただきたい。

保育料の高騰により第二子の懸念、出生率の低下を招くので、削除対象にすべきではない。

保育料を値上げして、これからの京都はどうなっていくのか。

保育料改定には反対

保育料値上げ反対

保育料を値上げするくらいなら、年寄の医療費負担を上げればいい。

今でも十分高い保育園料が更に上がると生活に支障がでる。未来ある子ども達に生活しやすい環境を守ってほしい。

京都市に移住して子育て中。今になって、保育料の値上げ・学童保育の値上げとは、詐欺のようだ。子育て世代に負担を増やさないでほしい。

二人目の保育料半額をやめたりし、益々市民が住みにくくなると思う。

保育料の負担増は働き盛り世代の流出を招きかねない。

保育料のこれ以上の値上げは生活に関わる。保育料の格差も気になる。

保育料を上げないでほしい。

保育料の増額等による、親の負担が増えるのは反対。

保育料が見直し対象とされていることに反対。

意見要旨

保育料が上がることは絶対にやめてほしい。

保育料の値上げには断固反対。

保育料は3歳から無料だが、1万円くらいなら払う。2歳までの保育料は上げないでほしい。

2人目の保育料が値上げされると預けることができなくなる。実施する場合は、所得に応じた対応を細かく整備してほしい。

保育にはより手厚いサポートが必要だから、保育料は無償化すべき。

保育料の改定は行うべきではない。

保育料の増額はあり得ない。

多少の保育料増額はやむを得ない

保育料に見直し反対

幼保無償化が財政を圧迫したのではないか

保育料の負担増加に反対

保育料改定は反対

保育料改定は反対

保育料改定は反対

保育料改定は反対

財政難をなぜ子育て世代が負担しなければならないのか。保育料を上げると少子化が進む。

保育料を高くしたり、保育士の給料を下げたり、これまで以上に子育て環境が悪化するのではないか。

保育料を上げないでほしい。子育て日本一の公約を守ってほしい。

2人目を保育園半額を廃止すると、みんな1人目で終わると思う

保育園、保育園料関係はそのままに。透析患者からお金をもらうとかにしてほしい

保育料を上げるのはおかしい

意見要旨

保育料の増額の即時撤回を求める。

保育料の値上げはしないでほしい。

収入の低い人たちの保育料は安過ぎる。共働きで頑張っている人に不公平ではないか。

保育料について、収入の低い人の保育料が安過ぎる。不公平だと感じる。

保育料の値上げは反対。

保育料を上げるのは反対。

保育料は現状を維持して欲しい

保育料の補助をやめないで

保育料の補填が無くなると家計の支出が増える。

保育料の値上げは、どうか避けてください。

保育料の減額がなくなると生活がリアルに困ることになります。

保育料が高くなると子を預けて時短で働いては育休延長したほうがましとなって就労されるお母さんが減ることが想定されます。すると納税者も減るので結果、市の財政に影響が出るのでは。

市独自の保育料の軽減の開始年度が不明なのはなぜか

長い先の税収増を見据えると、子育て世代を含む若い世代に、住みたいと思わせるまちであるべき。保育士への補助金の廃止や保育料の改定は実質的に子育てがしづらくなり、子育て世代に住みにくい印象を与えるため、計画から外すべき。

3歳児未満の保育料も無料にしてほしい。

保育料は収入が高い人と低い人とお差が激しすぎる。低い人の保育料が安すぎる。もっと取ればいい。同じように子どもを預けているのに不公平。一生懸命働いて税金も高いのに納得できない。

令和2年度の保育料は0～2歳児において、最大95,000円と東京都特別区や大阪市と比べても高く、国の基準額に近い水準。今次改革案において改正された場合、近隣市町村との保育料の差が顕著になり、かえって高所得者層の転出を招き、住民税の減収につながる。少なくとも世帯での保育料総額に上限を定めるなど配慮が必要。

保育料の見直し反対

保育料の値上げ反対。

保育園に関わる費用は増やさないでほしい。

保育料の引き上げに断固反対

意見要旨

保育料の改定についても疑問です、数年前の無償化は何だったのですか

保育料の値上げ反対

保育料の改定に反対。見直すべきでない

保育料を上げると、母親の就労が困難になり、マイナス面が多い

保育料や学童利用料をあげるなら、仕事をやめて専業主婦をやったほうが経済的に良い可能性も出てくる。あくせく働くのが馬鹿らしい。滋賀県の子育て世代への支援内容と比べると京都市の方が劣っているように感じる。保育料値上げなどがあれば引っ越します。

保育料等を上げるとより一層、少子化が増すのではないかと思う。

保育料の値上げ、絶対に反対です。共働き子育て世代、それを支える保育園や補助制度にしわ寄せしないで。

子育て、子どもに関する予算にしわ寄せがいくのは納得できない。特に保育士の給与削減、保育料の負担増は納得できない。

保育料の補助も現状のまま維持が必要

保育料の値上げ、保育士の給与減額、保育士の削減について強く反対する

保育料の補助を削除するのはやめてほしい。長期的見ても良い方法ではない。

今でも保育料が高額なのにさらに高くなるのが不安。

保育料が上がると、働かないといけないのに預けるお金がない。これからの未来を担う子どもたちの資金を削るのではなく、他に削るところがあるのではないか。

二人目保育料の補助削減を大変不安に思っている。保育園の先生の人数をこれ以上減らしたらますます負担は増し、保育の質が低下する。

保育料の値上げ以外で取れるところから取ってほしい。

これ以上保育料を上げられると生活できない。

保育料値上げ反対

保育料見直し反対

保育料値上げ反対

保育料をさらに上げられると生きていけない。

保育料の値上げは反対

意見要旨

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げはあり得ない。子育て世帯をこれ以上住みにくくしないで欲しい。

保育料値上げはあり得ない。本当に反対。

保育料を上げる計画だが、少子化の中子育て世帯にしわ寄せをすること自体が少子化を助長させるのではないか。

保育料の値上げ、良い加減にしてほしい。

保育料の値上げは働き盛りの子育て世代の首を絞める。

保育料の見直しは反対

保育料の見直しは反対

コロナ禍で子どもの出生数が減少している中、保育料の値上げを行うとより子どもの数が減る。

保育料を始めとする利用料の負担増は国基準なら納得。

保育料が見直しの対象とされていることに反対する。

配置基準を国基準にするのであれば、その分保育料を安くしてもらわないと困る。

保育料の値上げ反対

保育料の値上げ反対

保育料引き上げに反対

保育料の改定が受益者負担の適正化だと、理解できない

保育料の見直しで延長保育等がなくなれば保護者の就労も保証できなくなる

保育料値上げをすることになれば全国的に水準の高い保育が行える京都市ではなくなる

保育料値上げは反対

保育料値上げは反対

意見要旨

保育料値上げは反対

保育料値上げは反対

保育料の値上げは反対

京都市は全国一の保育水準と宣伝しているが、公立保育所が全国一少ない。さらに保育料の値上げはもってのほか。

これ以上保育料が上がるのは納得できない。

保育所に行くためのお金が増えたら、保育所に来れない子供が増えるかもしれない。

京都市独自の保育料の負担軽減措置は残してください。

保育料の無償化や見直しを行うのであれば、利用者の理解も得るべき。

保育料をあげないでください。

保育料が値上げれば新しい命を授かることも諦めてしまうのではないのでしょうか。

保育料上げるのはやめてください

保育料値上げは納得できない

「市独自の保育料の減免」は廃止してはならない。

保育料の値上げは仕方がない。

保育料を値上げするより、他に見直すべき部分があるのではないか

保育料の値上げはやめてほしい

保育料の負担の見直しはしないでいただきたい。

保育料の見直し反対

保育料の見直し反対

保育料無料はありがたかったが、そこまで求めていなかった。

本当に保育が必要な家庭が保育園に入れるように管理してほしい。施設保育料の滞納についても厳しく対処してほしい。保育料の無償化も見直すべき。

意見要旨

保育料の値上げは困る。

保育料の値上げは止めてほしい。

保育料の値上げ反対

子育て環境日本一と提唱しておきながら、保育料の改定を行うのは短絡的。

保育料増額反対

保育料の値上げ反対

保育料の値上げは反対

厚労省のHPでは保育料の市町村の利用者負担の中央値は国基準の62%だった。これを国基準にすると他都市水準を大幅に上回るのではないかと。国基準、今の京都市の負担割、他都市の保育料の中央値など、比較検討する必要があるのでは。

保育所に0歳児を預けているが、世帯収入が高いわけでも、特別支援が必要なわけでもなく、普通の共働き家庭である。これ以上保育料が高くなれば京都市で子育てはできない。

保育園の利用者負担増については強く反対します

保育園の保育料の値上げに反対します

保育料の値上げは反対

保育料の引き上げをして何の意味があるのでしょうか。お金のある人しか子供を産むなということでしょうか。

子育て環境日本一を掲げているのであれば、保育料の値上げをしないでほしい。

保育料の値上げはしないでください。

保育料の見直しは反対

保育料の見直しは反対

保育料の見直しは反対

保育をターゲットにした大幅な予算削減で、子どもの未来を豊かにできるか

保育士への補助金削減反対

保育料軽減の廃止に反対

意見要旨

保育料値上げ等により親が安心して仕事できなくなる。教育・福祉分野は市を支える基盤であり、影響を最小限に留めるべき。

保育料の値上げ反対。子育て世代向けの支援を期待する。

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げはしないでほしい。

保育料の見直しは反対

保育料の見直しは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げ反対

保育料の値上げ反対

保育料の値上げ反対

保育料の値上げ反対

保育料の値上げ反対

保育料の値上げ反対

意見要旨

保育料の値上げ反対

意見要旨

保育料の値上げ反対

意見要旨

保育料の値上げ反対

意見要旨

保育料の値上げ反対

意見要旨

保育料の値上げ反対

意見要旨

保育料の値上げ反対

意見要旨

保育料の値上げ反対

意見要旨

保育料の値上げ反対

意見要旨

保育料の値上げ反対

保育料の値上げ反対

保育料の値上げ反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料を安くしてほしい。

保育料をこれ以上上げないでほしい。

保育料をこれ以上上げないでほしい。

保育料をこれ以上上げないでほしい。

保育料をこれ以上上げないでほしい。

保育料をこれ以上上げないでほしい。

保育料をこれ以上上げないでほしい。

保育料をこれ以上上げないでほしい。

保育料をこれ以上上げないでほしい。

保育料を上げないでほしい。

保育料を上げないでほしい。

保育料を上げないでほしい。

意見要旨

保育料を上げないでほしい。

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

意見要旨

保育料の値上げは反対

保育料の値上げ反対

保育料の値上げ反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料値上げ反対。

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料について、2人目は無料にしてほしい

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

意見要旨

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは反対

保育料の値上げは、今後若者に住んでもらう街づくりに当たって不利になるため、見直すべき。

4 行財政改革の取組について（1）

学童クラブ事業の料金体系の改定についての意見（274件）

意見要旨
学童保育の値上げには反対
学童費の引き上げは最終手段の禁じ手
学童保育料の値上げはやめてほしい
学童クラブ利用料の負担増はやめて欲しい。
学童クラブ利用料の負担増はやめてください。
学童クラブの値上げはしないでください
学童クラブ利用料の改定はすべきでない
学童利用料アップに断固反対です

意見要旨

学童クラブ利用料の負担増はやめてください。

学童クラブ利用料の増額は反対

学童クラブ利用料の増額は反対

学童クラブの補助金一律カットを検討しているならそれには反対。事業整理の際には、子どもの育ちを大切に考えることができる専門家がいる施設を残し、多様な形の児童が共存できるよう配慮してほしい。

学童クラブの利用料の値上げは避けるべき。

学童クラブのお金は改悪すべきでない。

学童保育について、サービス利用量に応じた応益負担への転換は反対。

学童保育の値上げに反対。

学童クラブ値上げ反対

学童クラブ事業に対しては、無償化を勧めて下さりたくらいなので、この提案には反対致します。

京都市に移住して子育て中。今になって、保育料の値上げ・学童保育の値上げとは、詐欺のようだ。子育て世代に負担を増やさないでほしい。

学童に関する助成削減は働き盛り世代の流出を招きかねない。

学童保育の利用料は利用回数によるものではなく、収入や必要に応じたものにしてほしい。

学童クラブが、営利目的の民間学童と同等とみなされ、不利益を被ることがないよう善処してください。

学童クラブ事業に関する利用料の改定は行うべきではない。

学童の利用料増額はあり得ない。

学童クラブ利用料について、現在の応能負担を求める。

学童クラブの値上げは反対。

学童クラブ利用料は現状を維持して欲しい

学童の応益負担への転換は働く子育て世代にとってますます首を絞めることになるのではないかと。

学童クラブの見直し反対

学童クラブ事業についても守っていくのが市の仕事ではないでしょうか

意見要旨

学童クラブの利用料も見直すべきでない

学童保育の利用料見直しを大変心配している。必死で共働きで働く気がそがれる。

学童クラブのサービス利用料に応じた負担への転換には反対。

額度クラブ利用料の値上げ反対

学童クラブの値上げはあり得ない。本当に反対。

学童クラブ利用量の値上げは働き盛りの子育て世代の首を絞める。

学童クラブへの補助金見直しは反対

学童クラブへの補助金見直しは反対

学童クラブへの補助金見直しは反対

学童保育の利用料改定を細分化するのは子どもへの悪影響が大きい。

学童の利用料値上げ反対

学童クラブ事業利用料の改定などを見ていると、とても子育てがしやすくなるとは思えません

学童量の改定が受益者負担の適正化だと、全く理解できない

学童保育に関連する予算に関して未来を担う人材を育てる視点を持って検討していただきたいです

本当に学童保育が必要な利用者に最善の利益が受けられる状態にしてほしい

学童の利用料ももっと増額してほしい

学童保育所に関して、時間（および日数）制での従量課金には反対です

学童クラブの補助見直し反対

学童クラブの補助見直し反対

学童保育は応益負担ではなく、応能負担にしてください。

学童保育はサービスではない。応益負担への転換反対

学童利用料上げるのはやめてください

意見要旨

学童クラブ値上げは納得できない

利用料金の算定は、誰が行うのでしょうか？
学童児童館の業務が増えるのではないかと危惧しております。

学童の利用料値上げはやめてほしい

学童の利用料値上げはやめてほしい

学童の見直しについて、発達障害のため高学年になっても利用したいなどのニーズには対応できるようにしてほしい。

学童利用料の値上げは止めてほしい。

学童の値上げ反対

学童クラブの見直し反対

児童館などの利用に関しての利用料負担が明記されていたが、若い人たちが住むための暮らしやすさと相反している。

「学童クラブ」利用料改定の検討の際、事業形態の整理の中で多様な学童を考慮せず一律に補助金カットを行うのであれば反対する。

学童保育の利用者負担増については、強く反対します

学童クラブの利用料値上げに反対します

学童クラブの利用料値上げに反対します

学童クラブの利用料値上げに反対します

学童クラブへの補助金見直しは反対

学童クラブの利用料値上げに反対します

学童利用料の値上げはしないでほしい。

学童クラブの利用料値上げ反対

学童クラブの見直し反対

学童クラブの見直し反対

学童クラブの見直し反対

学童クラブの利用料見直し反対

意見要旨

学童クラブの利用料見直し反対

意見要旨

学童クラブの利用料見直し反対

意見要旨

学童クラブの利用料見直し反対

意見要旨

学童クラブの利用料見直し反対

意見要旨

学童クラブの利用料見直し反対

意見要旨

学童クラブの利用料見直し反対

意見要旨

学童クラブの利用料見直し反対

意見要旨

学童クラブの利用料見直し反対

意見要旨

学童クラブ利用料見直しは反対

学童クラブの見直し反対

学童クラブの見直し反対

学童クラブの見直し反対

学童クラブの利用料見直し反対

学童クラブの利用料見直し反対

学童クラブの見直し反対

学童クラブの見直し反対

学童クラブの見直し反対

学童クラブの見直し反対

学童クラブの見直し反対

学童クラブの見直し反対

学童クラブの見直し反対

4 行財政改革の取組について（1）

敬老乗車証についての意見（537件）

意見要旨
敬老乗車証は必要ない。
敬老乗車証について、年齢を引き上げるのではなく、年齢に応じて負担額を調節するなどの見直しをするべき
敬老乗車証について、年齢引き上げはせず、敬老乗車証利用者の負担額を増やせばよい
敬老乗車証について、年齢を引き上げるのではなく、年齢に応じて負担額を調節するなどの見直しをするべき
敬老乗車証を見直すべき。
敬老乗車証を存続させた方が、利用者がお金を落としてくれる。
敬老乗車証の自己負担額引き上げについて賛成する
敬老乗車証は即刻廃止すべき
敬老乗車証を廃止
敬老乗車証は即刻廃止すべき
敬老乗車証は即刻廃止すべき
敬老乗車証の交付対象の見直しをするべき
敬老乗車証の対象年齢引き上げ反対
敬老乗車証はセーフティーネットではないので見直すべき。敬老乗車証が無い自治体の高齢者が不健康というわけではないと思う。
敬老乗車証を廃止すべき。
現在敬老乗車証を交付されているが、75歳未満。制度見直しにより返却したくない。
マイナンバーカードに敬老乗車証を紐づけ、1日の利用上限を設定すれば、利用の乱発などを避けられる。
敬老乗車証について、利用者の負担金を上げてでも70歳から利用できるよう継続してほしい。
敬老乗車証は無料ではないことを説明すべき。
敬老乗車証は廃止すべき
敬老乗車証を見直すべきではないという意見を聞くが、既得権益を守ろうとするもので気持ち悪い。

意見要旨

敬老乗車証について、これまでの過程も含めてもっと丁寧に説明すべき。

敬老乗車証はいつでもよい。

敬老乗車証は廃止すべきである

敬老乗車証は今のままで

敬老乗車証やめるべき

敬老乗車証廃止

敬老乗車証の負担額の引上げを実施しないでください

敬老乗車証について、負担の少ない自己負担からお願いしてはどうか

敬老乗車証の改悪は困る。

敬老乗車証はもっと早く値上げすべき。最低額の3,000円は、5,000円とそれに準じてあげられるとともに、年収500万以上の方は実費負担でいいのでは。

敬老乗車証制度は現状のままにしてほしい。

敬老乗車証で京都の端から端まで行ける現状はおかしい。

敬老乗車証は年齢は変えずに、負担額の最低額を上げるべき。

大型工事よりも敬老乗車証の制度存続をとるべき

敬老乗車証の制度改正の必要性は理解できる。ただ、毎日利用と月一回の利用が同じ負担なのは納得できない。

敬老乗車証は廃止すべき

敬老乗車証を廃止してもらいたい。

敬老乗車証は廃止してほしい。

敬老乗車証もフリーパス状態の放置はやめてほしい。将来的にはなくした方がいいのでは

敬老乗車証は必要ない。

敬老パスはいらない

敬老乗車券は廃止で良い。なぜここは受益者負担の話をしてしないのか。残すことありきで論理を組み立てているとしか思えない。

敬老乗車証については、確かに平均寿命が延びている中、自己負担が少なすぎると思う。

敬老乗車証の見直し反対

意見要旨

敬老乗車証は見直すべき

敬老乗車証は見直すべき

敬老乗車証の使用料を引き上げればよい。

敬老乗車証は廃止してしまってよいのではないか。贅沢すぎる制度だと思う。

敬老乗車証の適応年齢縮小してもよい

敬老乗車証を守り、経済を潤わせるべき。市民サービスの切下げ反対

敬老乗車証を現行のまま維持してほしい。

敬老乗車証を現行のまま維持してほしい。

敬老乗車証の配布年齢が段階的に上がることを知った。高齢者がお金を使う機会を増やすためには、現状通りが必要

敬老乗車証は守って拡充を

(敬老乗車証について) 値上げ4,500円から5,000円にして、一般バスの乗車賃を210円に値下げしてもと思う

敬老乗車証の廃止は社会的弱者への苦しみ。もう少し市民目線に立った考えを持ってもらいたい。

敬老乗車証の見直しは市政の過ちが原因なのか。

敬老乗車証を廃止、もしくは定額制に変えるべき。市民の足ではあるが、乗車証を利用する人がこれだけ増えれば仕方ない。

敬老の見直しは絶対やめてほしい。

敬老乗車証は廃止すべき。

敬老乗車証は廃止が望ましいが、せめて利用回数に応じた利用料負担を請求すべき。

敬老乗車証を廃止したらいい。

敬老乗車証を守るために、若者が負担を押し付けられるのは納得がいかない。若い世代、子供を社会で育てる意識が今の世の中は希薄すぎる。高齢者受けする施策を重視することは選挙制度の中では効率的であっても、世の中は絶対に良くならない。それを現状が示している。

敬老乗車証は見直すべき。

敬老乗車証は経済効果が大きい。

敬老乗車証で老人に犠牲を強いて、どのような経費が削減できるのか。バスのダイヤを間引くなど、ほかの方法を考えてみてはどうか。

敬老乗車証は廃止で良いが、どうしても必要であれば回数券を半額で購入できるようにしてはどうか。

敬老乗車証の見直しをやめてほしい。

意見要旨

敬老乗車証は世代間で不公平な制度であるため廃止すべき。地下鉄まで無料で乗車できるとは、政令市を除く普通の自治体では考えられない。

敬老乗車証を値上げすべき。

敬老パスは現役世代並み（500万円以上）の収入がある人を対象外にしてはどうか。

敬老パスは廃止すべき。高齢者の方も、子ども世代に迷惑をかけてまで欲しいとは思っていないと思う。

敬老乗車証の負担増はやむを得ないが、都度払いではなく、年齢による負担格差を設けるようにしてほしい。

敬老乗車証は廃止すべき

敬老乗車証は全面廃止すべき

敬老乗車証は継続して欲しい。

敬老乗車証の交付開始年齢の段階的引上げ、利用者負担額の引上げは論外。

敬老パス年間費徴収

敬老乗車証は高齢者を優遇しすぎ。

敬老乗車証を無料としていることが理解できない

敬老乗車も必要ない。

敬老乗車証の見直しストップ

敬老乗車証制度を改悪しないでください。

敬老パスは70歳からを守ってください。金額を上げないでください。

敬老乗車証パスを続ける

敬老乗車証の年齢引き上げ反対

敬老乗車証の年齢引き上げ反対

敬老乗車証の年齢引き上げ反対

敬老乗車証の年齢引き上げ反対

敬老乗車証の年齢引き上げ反対

敬老乗車証の年齢引き上げ反対

敬老乗車証の年齢・負担額引き上げ、所得制限には反対

意見要旨

敬老乗車証の改悪反対

敬老乗車証の値段を上げるか、割引運賃とする

敬老パスを、若者に苦勞をかけてまでほしいと思わない。みんなで歩いて健康を目指す取り組みを

敬老乗車証について試算やり直してください。

敬老乗車証の70才の基準は引き上げない、高収入者への配慮はいりません

敬老パスは不要

敬老乗車証の受給資格により制限をかけ、代わりに、美術館などの無料招待券を交付してはどうか。

敬老乗車証については、至急見直すべきである。高齢者に対するの優遇支援は、世代間格差を考えた場合、認めるべきではない。

市バスの高齢乗車券は無くさず500円ずつあげる

敬老乗車券を値上げすべき

敬老乗車証について、対象年齢を75歳以上に引き上げるのは反対。

敬老乗車証の対象について、年間所得200～300万円以下の高齢者に限定すべき。

敬老乗車証の見直しを支持する。

敬老乗車証の対象年齢を維持し、又は引き下げるとともに、年収により支給対象を絞った方が運賃収入が返って増加すると考える。

75歳以上に「一律3,000円」で敬老乗車証を交付することは、市財政・地下鉄営業的に経営をかえって圧迫すると予想する。

敬老乗車証の廃止

高齢者の地下鉄・市バスの優待をなくすか、値上げをすればいい。

敬老乗車証の所得制限又は3割負担

敬老乗車証は、使った人が割引してもらえるなど、負担ありきの仕組みにした方が良い。

敬老乗車証は見直しではなく廃止でいい。

敬老乗車証は廃止すべき。

敬老乗車証は値段を引き上げ、負担金を統一し、更新期間を短くするのが良いのではないかと。また、廃止するのも一つの手だと思う。

敬老乗車証の開始年齢引き上げは取止め、支払額を値上げし対応すべき

敬老乗車証について、対象年齢は70歳以上を維持する代わりに、70～75歳の負担額を3倍に、75歳以上の負担額を2倍以上とすることを提案する。

意見要旨

敬老乗車証の利用者負担は兵庫県、大阪府に比べて優遇されている。見直すべき時期にきている。

敬老乗車証の75歳以上への対象年齢引き上げには賛成。さらに、郵送代も税金であるため、敬老乗車証更新手続きのお知らせも廃止すべき。

一度本気になり、敬老乗車証を見直すべき。

敬老乗車証は全廃した方が良い。その予算を子育て世代に回すことで若い世代が京都市に住みたいと思うような環境を作らないと将来はもっと暗くなる。

敬老バスの改悪が予定されているとのことですが、改悪は強く反対します。

敬老乗車証は現行を維持すること

敬老乗車証の改定はやめてください

敬老乗車証の見直しに反対

敬老乗車証の見直しに反対

敬老乗車証の見直しに反対

敬老乗車証の見直しに反対

敬老乗車証の見直しに反対

敬老乗車証の見直しに反対

敬老乗車証は廃止してよい

若い世代への負担が大きい。敬老乗車証は交付年齢引き上げだけでなく交付に際し徴収すべき

敬老パスの見直しはやむを得ないと考えます。

75歳へ敬老パスを引き上げること絶対に反対。年齢制限して選択の自由を奪うと、良い結果は出ない。

敬老パスは市の負担が重いため、堂々と値上げしてほしい。

敬老乗車証をもっと見直すか廃止してほしい。

敬老乗車証は見直すべき。

敬老乗車証即時撤廃

敬老乗車証は半額の回数券で。

敬老パスは定額制。

敬老乗車証の継続。

意見要旨

敬老乗車証の継続。

敬老乗車証は絶対なくさないでほしい。

敬老乗車証をなくさないでください。健康・生きがい・人とのつながりを保つために必要です。

敬老乗車証は今まで通りで。

敬老乗車証はやはり利用者が負担を負うべき。これ以上若い世代へ負担を負わせないでください。

敬老乗車証は必要ないのではないか。

敬老乗車証を廃止し、運賃に敬老者価格を新設すべき。

敬老乗車証があって助かっている。この小さな楽しみを残してほしい。

敬老乗車証は今のままで残してほしい。

敬老乗車証があれば出かけた先でお金を使う経済効果があり、足腰のためにもなって健康保険使用の回数も減るのではないか。

敬老乗車証を使った外出先での経済効果もある。考えがなさすぎる。

敬老乗車証を廃止し、150円程の敬老運賃新設すべき。

敬老乗車証を現行のまま続けてほしい。

敬老乗車証を利用しているが、6,000円になっても構わないと思っている。

敬老乗車証廃止に賛成。

敬老乗車証は利用者負担をあげるべき。

敬老乗車証の交付開始年齢の段階的引き上げに賛成です

敬老乗車証は大胆に圧縮すべきではないでしょうか

敬老乗車証ですが、75歳以上はともかく合計所得金額700万円は高すぎませんか

敬老乗車証は今の制度を維持してほしい。健康や、経済を回すことにもつながる。

敬老乗車証の改悪はするべきでない。

敬老乗車証の無料化などもっと一人一人を大事にする政治をおこなってください。

敬老乗車証は制度を維持し、所得に応じた負担額に見直すべき

敬老乗車証について、無料ではなく、毎回いくらか徴収するべき

意見要旨

敬老乗車証を廃止し、代わりに共通回数券を安く買えるようにすればよい

敬老乗車証は高齢者の外出に役立つが、廃止か補助金削減がよいと思う

敬老乗車証は見直した方がよい

敬老乗車証は必要なのか。生活保護受給者のみで良いのでは。大幅な値上げは必須。

敬老乗車証を廃止し、シニア料金を代わりに導入

敬老乗車証の見直しは賛成。高齢者はこれまで京都市の恩恵を受けていたので、受益者負担は仕方ない

敬老乗車証の段階的な対象年齢の引き上げ

敬老乗車証の交付開始年齢を75歳に引き上げは困る。

敬老乗車証交付改悪。

敬老乗車証は私たち高齢者にとって有難いツール。持続できるように受益者負担を引き上げてもいいと思う。

敬老乗車証の見直しは賛成

敬老乗車証の対象年齢引き上げはしないでほしい

敬老乗車証負担を1.3倍に。

敬老乗車証は必要であり、負担額を増やすべき。

敬老乗車証は高齢者全員に交付すべきではないか。乗車証を全廃なり縮小しても、市の事業費負担が、それらへの補助金額増額への振り替わりにならないか、さらに高齢者の消費減退につながり経済縮小に向かわせないかなど、よく検討すべき。

敬老乗車証の見直しは賛成

敬老乗車証は対象年齢の引き上げや所得制限の導入ではなく、全面的な廃止を検討するべきである。

敬老乗車証をいつになったら見直すのか。非常識な割引率で対象人数は多くなるばかり。財源を圧迫すると自認するならすぐ取り組むべき。

敬老乗車証は、地域によってバスがないと生活ができないところと、そうではない地域がある。一律に見直すことで生活に支障をきたしたり、医療費が嵩む場合もある。見直しには慎重になるべき。

敬老乗車証は廃止してもらって構わない。

敬老乗車証は、年収250万円以下に限ればよい。

敬老乗車証は廃止にならないよう、負担金を少し増やせば良いのではないかと。負担の方法はこれまでのように市民税に合わせて考えて欲しい。

敬老乗車証見直し反対

敬老乗車証は見直しすべき

意見要旨

敬老乗車証の廃止に賛成

敬老乗車証の値上げやめて

敬老乗車証は今まであった人が無くなると不便さを強調して問題になる。

敬老乗車証について、乗車した回数や距離に応じて料金を徴収する仕組みが必要

敬老乗車証の交付対象を年収700万円未満とすることは反対

敬老乗車証の見直し、特に年齢引き上げは絶対にやめてほしい

敬老乗車証を利用する場合は一回につき100円支払うとかにすれば良い。

敬老乗車証を見直すべき

敬老乗車証を見直すべき

敬老乗車証は、お年寄りが元気で動き続けられるための環境整備であり、生きがいつくりにもなっている。現状維持すべき。

京都市は公共交通機関の利用を呼び掛けているにも関わらず、高齢者の敬老乗車証の交付年齢を引き上げるとは残念でならない。

(敬老乗車証について) 所得金額500万円以上ある人は、負担能力があるはずなため、交付する必要はないと感じる。200万円程度であれば、残すべきと感じている。

敬老乗車証の負担金について、年収700万超は廃止することに反対。負担額を年収700～1,000万円は30,000円、年収1,000万円超は50,000円などとし、乗るたびに料金を払うのではなく値上げにしてほしい。また、現在負担額0円の方たちには、3,000円ずつ負担してもらうべき。

敬老乗車証の交付対象の所得を高齢者の平均所得以下にする。

敬老乗車証は廃止すべき。

敬老乗車証の廃止は反対。

敬老見直しへの反対意見が多いと思うが、自己中心的な老人が反対しているだけであり、方針撤回などしないように

敬老乗車証について、現行制度は廃止の上、市バス・地下鉄に一度乗るごとに100円を支払う制度としてはどうか。

敬老乗車証の交付開始年齢の段階的引上げ、利用者負担額の引き上げは行うべきではない。

敬老乗車証の発行年齢を段階的に引き上げるとあるが、即時発行を停止し、既に発行している分は返納すべき。

敬老乗車証は見直さないでください

敬老乗車証の対象年齢を75歳に引き上げるのは絶対に反対です

高齢者の敬老パスは70歳からを維持してください。料金は上げないでください

敬老乗車証は廃止すべき

意見要旨

敬老乗車証値上げ反対

敬老乗車証年齢引き上げ反対

敬老乗車証の廃止に反対

敬老乗車証があることで気軽に外出する気持ちになれる。

敬老乗車証の年齢を変えず、料金体系を変えるべき

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証は廃止するべき

敬老乗車証の改革反対

敬老乗車証の廃止ではなく、シニアパスを制度を導入し年齢引き上げを

敬老乗車証年齢引き上げやめて

敬老乗車証の見直しをしないで下さい。

敬老乗車証の廃止や交付条件悪化に反対

敬老乗車証の生活保護世帯の無料扱い継続には反対

敬老乗車証の年齢引上げはひどすぎる。高齢者が買い物や散策に出ることの経済効果を見くびらないでほしい。

敬老乗車証の年齢引上げは止めてほしい。

敬老乗車証は廃止すべき。身体が不自由でバスや地下鉄に乗れない人が多く、敬老乗車証よりもほかの使い方があるのでないか。

敬老パスの見直しは当然。

市バスの敬老乗車証の廃止。

福祉乗車証の配布基準見直しは反対。

敬老乗車証の改悪に反対

敬老乗車証の廃止は遅すぎる。すぐにでもやめるべき。

敬老乗車証は議論するまでもなくやめていいと思う。

敬老乗車証はありがたく使っているが、財政をこんなに圧迫しているとはしらなかった

敬老乗車券は即刻廃止でも誰も文句を言わない。

意見要旨

所得がない人でも資産が何十億とある人にも与えるのは違うと思います。

敬老乗車証の負担を少し上げる程度では生易しく不公平。

敬老乗車証の見直し反対

敬老乗車証はいらない。

敬老乗車証の所得制限は賛成。

敬老乗車証の交付開始年齢の引き上げは反対。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証も高齢者にとって活力となる制度である。

敬老乗車証制度の改革案は全面廃止を検討すべきです。

高齢者市バス廃止を検討する前に無駄遣いをやめるべき

敬老乗車証は廃止もしくは定期券の割引販売で良いのではないか。

敬老乗車証の廃止は賛成

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直し反対

敬老乗車証の見直し反対

70歳になったら敬老乗車証がもらえることを楽しみにしていた。

敬老乗車証は免許を返納した人にもみ配布してはどうか

敬老乗車証は廃止すべき。廃止できなくても、要介護3以上を対象とするなど、要件を厳格にすべき。

敬老乗車証は確実に不要。

敬老乗車証は年収所得の条件をさらに厳しくすべき。

敬老乗車証は廃止にするか、利用者負担額を大幅に引き上げるべき。

敬老乗車証の交付対象の年収をもっと引き下げられないか。

敬老パスは廃止

敬老パスは廃止

意見要旨

敬老パスの見直し賛成

敬老パスは廃止

敬老パスは廃止

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証は廃止で良い。高齢者は年金や医療で十分優遇されている。

敬老乗車証はIC化し、利用実態をガラス張りにし、交通事業者への補充金を利用実費とすれば、乗車証のための政治系統を整理できる。

敬老乗車証は、高齢者の活動や商店などの活性化に寄与する点も多い。廃止ではなく、値上げ程度にしてほしい。

敬老乗車証の改定の計画は、敬老という趣旨に反している。

敬老乗車証など身近なサービスを削減しないでください。

敬老乗車証は必要ない。

敬老乗車証の見直しは利用実態とあっているのか。

敬老乗車証廃止。タクシーに乗るなり、歩くなり、遠出しないなり経済力に見合った生活をすれば良い

敬老乗車証を切り捨てることに反対します

保育などの市民の生活を支える福祉サービスを削減、切り捨てることに反対します

敬老乗車証についていえば、この制度のポジティブな波及効果については全く言及がない

敬老乗車証制度についても、弱者から切り捨てていく財政の考え方に、まったく納得できません

敬老乗車証や福祉乗車証などの配布基準をみなおしてはどうか

国基準を上回る敬老乗車証などの政策を先にカットすべき

敬老乗車証は不要

敬老乗車証は不要

敬老乗車証の見直し賛成

敬老乗車証は本当に必要な人以外交付しなくてよい

敬老乗車証は必要である

敬老乗車証は5,000円/年程度の負担でもよいのではないか。

意見要旨

敬老乗車証は今まで通りの制度を守れ。

福祉乗車証や敬老乗車証を見直してはどうか

敬老見直し賛成だが、免許返納が進まなくならないか心配

敬老乗車証の完全廃止

敬老乗車証は即時廃止すべき

敬老乗車証の廃止

敬老乗車証は継続。高齢者が家に閉じこまると医療費が増える。

敬老乗車証はすぐに廃止すべき。

高齢者への福祉関連費用の抑制は賛成だが、バス代は無料のままにするべき。

敬老乗車証は廃止したほうが良い。

敬老乗車証の負担額は安くサービス過剰になっているが、年齢の引上げには賛成できない。

敬老乗車証を改悪しないでほしい。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の改悪に反対

居住地区によりサービスに差が出るという意味では敬老乗車証の見直しは有り得るが、交付年齢の引上げは疑問

敬老乗車証の交付開始年齢よりも、利用者負担額は調整の余地があるのではないか。

敬老乗車証の負担金値上げは止めてほしい。

敬老バスの見直しは、メリットを損なうものであり、なぜ見直すのかわからない。

敬老乗車証は廃止

敬老乗車証の見直し反対

敬老乗車証の見直しを推進してください

敬老乗車証の見直し反対

敬老バスは即刻廃止すべき。段階的にや緩和措置とか生ぬるいことを言っている場合ではない。

意見要旨

敬老乗車証をやめるという結論に至らないのか意味不明。

敬老乗車証にこれだけ予算がかかっていることに驚いた。「あれば良い制度」だが、若者世代に比べれば高齢者にこれだけの予算を割く必要はない。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の負担増はやむを得ないが、年齢の引き上げはすべきでない

代わりに敬老乗車証の利用者負担を増やすべき

敬老乗車証を今のまま継続して下さい。

集中改革期間中に敬老乗車証などいらない。

敬老乗車証の見直しは優先的に行った方が良い。

サービスの水準と負担の水準を均衡させるのは大賛成。敬老乗車証など、高齢者が安価でサービスを受けられているのが現状でないか。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証を廃止されると困る。

敬老乗車証は今のまま続けてほしい。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の交付開始年齢引き上げはしないでください。

敬老乗車証の改悪反対

敬老乗車証の改悪を絶対やめてください。

敬老乗車証は高齢者の外出になくてはならないもの。年齢や負担金の引き上げはやめてください。

敬老乗車証制度を改悪しないでください。高齢者いじめになります。

敬老乗車証制度は今のままで守ってください。

敬老乗車証は今の制度を守ってほしい。

敬老乗車証の見直しは反対。外に出る機会を奪わないでください。

敬老乗車証の見直しは反対。外に出る機会を奪わないでください。

敬老乗車証の制度を従来どおりとしてほしい。

意見要旨

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の改悪反対

敬老乗車証は京都市の誇るべき制度。現行のまま継続してください。

敬老乗車証の存続をお願いします。

敬老乗車証の見直しは介護保険受給者の増加や医療費の増額が予想される。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対。他に儉約するところはあるはず。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証制度の趣旨を守り、改悪しないでほしい。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証は歩くまち京都の看板ではなかったのか。現状を維持してください。

敬老乗車証制度を改悪しないことを強く要望します。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の対象年齢引き上げ反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

年金が下がり物価が上がる中、敬老乗車証の改悪は絶対反対。

敬老乗車証制度の改悪を止めて現行制度を維持してください。

敬老乗車証の見直しは反対。京都経済に影響がある。

意見要旨

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対。外へ出る楽しみを奪わないでください。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の値上げは絶対反対。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証は高齢者が暮らしていく上で大切なもの。見直し反対。

敬老乗車証の見直しは反対。75歳からでは老化防止、健康維持の意義がなくなった年代となる。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対。楽しみにしていたが悲しい。

敬老乗車証の交付年齢は70歳のままでお願いします。

敬老乗車証制度の改悪はやめてください。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対。健康のため必要。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対。元気に出かけるためにも必要。

敬老乗車証の年齢引き上げは、医療介護費用の増大につながり、制度維持以上の財政負担が危惧されるので、現状のまま存続し、フレイル予防効果としての研究を進めてもらいたい。

敬老乗車証の見直しは反対

意見要旨

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証は今のままにしてください。

敬老乗車証の改悪は絶対反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の年齢引き上げは言語道断。

敬老乗車証の改悪・負担金の値上げは反対。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証は暮らしに直結する京都市が誇る制度であり、年齢引き上げは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老パスの年齢引き上げや料金値上げに強く反対します。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対。健康や経済にも悪い影響となる。

75歳まで敬老乗車証を待たなければならぬのは酷い。値上げもされるなんてがっかり。

敬老乗車証の見直しは、市民の負担を増やし、健康効果、経済効果を縮小するため、やめるべき。

敬老乗車証は高齢者にとって大切なものであり、現行を維持してほしい。

敬老乗車証の制度目的がなぜ今日の高齢者には適用されないのか。

あと4年で敬老乗車証を頂けると思っていた。改悪は絶対反対。

意見要旨

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証は今のままで。老人の切り捨てはやめてください。

敬老パスを取り上げないでください。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の改革案に反対します。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の対象年齢を引き上げないでください。

敬老乗車証の廃止反対。低額で乗車できるようにしてはどうか。

敬老乗車証を是非継続してください。

敬老乗車証の見直しは反対。現行制度を守り、さらに充実を求めます。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証は年金生活者にかかせないもの。今まで通り続けてください。

敬老パスの改悪などとんでもないこと。

敬老乗車証の見直しは反対。生きがいを取り上げるようなことはやめてください。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証はとても助かっている。ぜひこのままで残してください。

敬老乗車証を利用することで健康を保っています。廃止しないでください。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証を今まで通りにしてください。もらえるのを楽しみにしている。

敬老乗車証を切り捨てないで下さい。

意見要旨

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の改悪はやめてください。

敬老乗車証の見直しは許せない

敬老乗車証を70歳から使えるように続けてください。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の改悪には絶対反対。

敬老乗車証の見直しは反対。市バスが今まで通り使えるよう負担を増やさないでください。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の年齢引き上げは反対

敬老乗車証を値上げしないでください。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

高齢者は人との接触が大事なので、健康保持のためにも、敬老乗車証をなくさないでほしい。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しをやめなさい

意見要旨

敬老乗車証は今まで通りに

敬老乗車証をなくさないでほしい

敬老乗車証はせめて今のまま続けてほしい。

敬老乗車証の見直しは反対。経済効果等のプラス面も見てほしい。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証は現行のままでお願いします。

敬老乗車証の見直しは反対。高齢者の生活や健康を支える欠かせないもの。

敬老乗車証の見直しは承認できない。

敬老乗車証の見直しは反対

足となる敬老乗車証は何としても守ってほしい。

敬老乗車証の見直しは反対。常に役立っている。

敬老乗車証は優れた制度。是非今のまま続けてください。

敬老乗車証は現行制度を守ってこそ意義がある。改悪しないでください。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証は現行制度を守ってほしい。これ以上の利用者負担をやめてください。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対。健康維持にもつながり役立っている。

敬老乗車証の見直しは反対。交付開始は70歳継続を強く求める。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対。現行の継続を願います。

敬老乗車証の見直しは反対。健康長寿や経済の活性につながる。

敬老乗車証の見直しは反対

意見要旨

敬老乗車証の年齢引き上げは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の条件等を厳しくして財政を立て直そうとすることは許されない。

敬老乗車証の見直し反対。健康維持や地域経済活性化のためにも大切。

敬老乗車証の負担が増えれば外出を控え、医療費や経済効果にも影響するのではないかと見直しはやめてください。

敬老乗車証の75歳への引き上げはやめてください。

敬老乗車証があるから気軽に出かけられる。せめて今のままで継続してください。

敬老乗車証の見直しは反対。交通費は大きな負担。外出を控えると健康的にもマイナス。

敬老乗車証を使い楽しく暮らしている。現行の制度を変えないでください。

敬老乗車証の見直しは反対。むしろ年齢を65歳に引き下げてはどうか。

敬老乗車証は現行のまま続けてください。

敬老乗車証は現行のまま続けてください。

敬老乗車証は現行のまま続けてください。

敬老乗車証は不要

敬老乗車証の見直し反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証を定期的ように使っている人は少ないと思うので見直すべき。

敬老乗車証の見直しはやむを得ない。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しはやむを得ない。

敬老乗車証は現行制度を維持すべき。

敬老乗車証は健康を守ることができ経済も潤う。改悪反対。

敬老乗車証は健康増進と消費に大きな役割があるのでなくさないでほしい。

敬老乗車証の見直しは反対。

意見要旨

敬老乗車証は今のままが良い。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証は絶対に継続させてください。

敬老乗車証は私の命。見直しには反対。

敬老乗車証の制度変更をやめてほしい。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証制度を現状維持してほしい

敬老乗車証は絶対今のままにしてほしい。

敬老乗車証は京都市民の宝。なんとしても残すべき。

敬老乗車証は値上げすべきでない。

敬老乗車証の存続を。

敬老乗車証の見直し反対

敬老乗車証を今まで通りとしてほしい。

敬老乗車証の見直しはやめてください。

敬老乗車証は今までどおりにしてください。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証制度の見直しは、変更する根拠も利点も分からないので反対。

敬老乗車証の値上げ反対

敬老乗車証の改悪はせず現行制度を守るべき。

敬老乗車証制度は改悪せずにいってもらいたい。

意見要旨

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証は現状を維持すべき。

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証は廃止にするべき

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の見直しは反対

敬老乗車証の対象年齢は引き上げてよい。

敬老乗車証について、撤廃することを望む。

敬老乗車証は不要。

敬老乗車証の見直しを進めるべき。

4 行財政改革の取組について（1）

子育て支援全般についての意見（442件）

意見要旨
市からの支援金や生活補助の不正受給者について、一早く精査できるよう整備すべき。
児童福祉をはじめとする福祉施策を削減しないでほしい。
ひとり親助成事業は残すべき
子ども医療の限度額が半額になった今でも、他都市より医療費が高いと感じる。子育て関連の負担を増やさないでほしい。
市で子育てしやすいと思ったことはない。待機児童ゼロというが、あきらめざるを得ない人もたくさんいる。
子ども福祉の水準を上げるべき。
子ども医療，保育，教育にかかる経費削減は断固反対。
保育関連施策を縮小すると若者・子育て世代が流出するのですべきでない
子育て関連施策をより手厚くしてほしい。
保育制度の充実若くは若い世代の定住を促し，市税アップに貢献している。この点の評価がない。
子育て支援についても他都市よりも手厚い部分は見直すべき。
若年層含む福祉施策の見直しは，若年層の市外転出を加速させるだけである。
財政難のしわ寄せがこれからを担う子どもたちに直撃しないよう，子どもに関わる改革は慎重に
子育て教育支出を削減することはあってはならない
保育園等の人件費への補助，学童う歯対策事業などは，このコロナ禍では特に強く求められる
育児への手当を減らす等は絶対にしてはならない。
子どもの環境はどのような状況であっても等しく充実した環境をつくるべき。
子どもが利用する施設は予算をつけるべき。
母子家庭への支援基準について，不正受給している例を見受ける。必要とされる家庭への支援を継続する一方で，不正なケースを厳しく取り締まっていただきたい。

意見要旨

保育所は絶対に減らすべきでない。

子育て施策を見直すと子育て世代の市街移転が加速する

未来を担う世代への支援・投資を改革の名のもとに一律で見直すべきでない

市の厳しい財政状況は理解するが、子育て関連の施策を見直すことには反対である。

住民（特に子育て世代）のことは後回しにする姿勢はいい加減やめてほしい。

財政危機でも次世代の芽を摘むようなことだけはしてはならない。

市立中学校で全員給食を実施して欲しい。

子どもが関わる補助金を削ることはあってはならないと思います。

これからの未来を担う子供に関わる補助金の大幅な削減や条例の改定、制度の廃止などは全くもって必要ないと考えます。

子育てに関する改悪をするのであれば京都市から出ていかざるを得ません。ご再考ください。

子育て支援セクターへの補助金は聖域ではない。改革を断行すべき。

保育、教育に対する削減を撤回ください。

子育てしたくなる街を全面に推し進めないと結果的に財源が厳しくなる

教育、子育てにもっと支援をしてほしい

保育所の数を減らさないでほしい

税の配分を若者・子どもに移してリバランスを図るべき

子どもたちへの政策を削るのは反対

子育て環境日本一を目指してきた、その環境を後退させないでいただきたい。

子育て支援に関する補助金を削減することは税金にとってもマイナスではないか。

子育て世代を京都市に留めるために、保育所関係の整備、学童保育の詰め込み解消、全員制の中学校給食実施などは負担でも行うべきだと思う

子ども関連の補助金の手厚すぎる。共働きを推奨し、もっと補助金対象を減らしていくべき。専業主婦には税金の負担額を増やすべき。

子どもが過ごす環境が悪化しないよう、子どもを育てにくくならないようにしてほしい

意見要旨

保育園の人件費や障害児童施設への補助金は削減せず、現在のレベルで継続してほしい。

子ども医療費助成などの子育て世代への助成は削減すべきでない。

若い子育て世帯にとって手厚い行政サービスだと感じたことはない。

財政難を理由に保育や子どもの安全、衛生を守るためのお金を減らさないでほしい。

子育て支援は、行財政改革の対象にするべきではない。充実した子育て支援こそが人口増加にもつながる。

子育て支援を充実させるべき。

子育て、教育などは減らすのではなく、むしろ拡充したほうが良い。

保育園、学童保育など子育て支援はもっと力を入れてもいいくらい。

子どもや保育に関わる助成の削減に反対する。

子ども医療、保育など、子どもに関する必要なものは無料化してほしい。

これからの京都市のためにも、現役（子育て）世帯が住みやすい、住みたいと思える街であることは重要なことと考える。予算の削減は必要だが、とりあえず全て削減ではなく、しっかりと議論を重ねて、京都の将来に希望が持てる再生計画にして欲しい。

行財政改革で見直すべき点に「子ども・子育てに関する項目」が挙がっていることには違和感しかない。

未来を担う子どもと保護者、共に子育てをする保育者を苦しめる政策は絶対にやめて欲しい。

子育てしやすい街にすることで、結果的に街のためになる先行投資であると思います。

保育事業費用を削減することで保育の行き届かない。保育や不妊治療の助成金の拡充が必要

子供の保育園、子供の医療費については絶対に値上がりはしてはいけません。

子育て世代への支援を手厚くするべき

若年者・子育て福祉への配分見直しを

保育予算、補助金削減に反対

子育て世代の気持ちが離れる改革案である

「共働き子育て世代」へのさらなる負担増に憤り

子育て世代への負担増は残念

意見要旨

子育てがしやすく、豊かな街に

子育て・保育関係の費用を削減してはいけない

子どもを減らしてしまうような部分から財源確保してはいけない

子育て世代への負担に偏っている

児童福祉，子育て支援施策の見直しは撤廃を

子育て世代に負担を強いてはいけない

子育て世代にお金と時間と環境を。市がお金を使うことです。

京都市の未来を担う子どもたちに必要な保育や教育の予算を削減することは、結果的に京都市の力を低下させることに繋がると思います。

京都市の未来を担う子どもたちに必要な保育や教育の予算を削減することは、結果的に京都市の力を低下させることに繋がると思います。

京都市の未来を担う子どもたちに必要な保育や教育の予算を削減することは、結果的に京都市の力を低下させることに繋がると思います。

子どもや子育てを支えるのはその都市や国の未来を決めることに他なりません。それほどのことであるということをお考えいただきたい。

保育，子育てに関して。「見直し」という名のもとに「改悪」することは、思いとどまってほしい。

若年層への手当を厚くするべき。

子供手当の廃止

子どもに関する歳出は削減せず，他でまかなえるように調整する方が良い。

将来世代の子ども達のためという視点で取り組んでもらいたい。

子育て支援が他都市と比較して良いとは思えない。

子育て関連の見直しはすべきでない

子育てNO.1を謳う京都市が，なぜ受益者負担等子育て世代を苦しめるような政策をとるのか。子どもを預かってくれるところがあって安心して仕事に行けるので，その門を狭くするのはやめて。

次世代を担う子供たちに関わる支出削減には反対

子供一人に毎月10万配れば小児化なんて一気に吹っ飛ぶ。

子育てしやすい京都市になることを求めます

意見要旨

子どもに関わる補助金の大幅な削減や条例改正、制度の廃止などは強く反対です。未来ある守るべき子どもたちの分野で改悪は不要。子育て世代に優しい未来を繋いで行ける京都市であってほしい。

子どもにしわ寄せがいかぬよう、工夫願いたい。子どもの発達保障、安全面、養護面を守りたいのが本音です。

市職員や施設を削減してきた弊害が明らかになっている中、子ども医療費を削る意味が分からない。

子育て日本一と言っていたのに、低所得者や子どもにかかわる施策まで削減していいのか。

子育て福祉サービスを削るのではなく、抜本的な改善をし、若い世代の住みたい都市に変えていく事が将来の税収増につながる。

子育て世代・子どもの住みやすい・育ちやすい環境づくり、財政支出が必要。

子どもに対する資金支援は手厚くするべき。

子どもの予算を削減するのはやめて欲しい。京都市は子どもを遊ばせられるところが少ない。地価も高く、子育てしづらい街だと思う。若い人が定住してくれる街を目指すなら、子育て施策の改悪は逆効果では。

学童保育・児童館等に関する予算は削減すべきでない。

聚楽保育園について、閉園が確実であるなら、確実に待機児童が出ないように、園児が増えることまで想定して考えていただきたい。幼児はただ日中預かってもらえれば良いと考えておられるように感じるし、そもそも園を減らし、保育の質が上がるなど、何の根拠もない。選択肢を狭くすることばかりに固執しないでいただきたい。

保育の水準を国に併せて下げるなんてありえません。

子育て環境改善に財源を回してほしいです

子育て世代の流出を防いで京都市を守ってください。

みんなが安心して預けられる、先生方も安心して保育ができる、社会にとって良い環境をつくってほしいと思います。

保育の予算を減らさないでください！

子どもを産みたい、育てたい、そして預けたいと思ってもらえるような制度を見直してください。そのためにも、福祉から資金を削減する考えが間違っています。

京都市の保育を取り巻く環境を今よりも悪くする方向にしていくのはいかがなものか。福祉の環境を良くすることは市民生活の質を上げるものになるため、考え直してほしい。

未来のための子ども向けの保険料などはなるべくそのままに

次世代に関わる保育はあまり削減しない方がよい

保育を他都市と比較する必要があるのか。現場の声などを調査できているのか。

福祉事業の削減をすることについて、「子育て環境日本一」は嘘だったのか。

これだけ市民サービスを切って、若い人が京都市で子育てしようと思えるのか疑問。

意見要旨

子育て世代のうち、住民税を十分納める世帯への還元が感じられない。非課税世帯、ひとり親世帯だけでなく、ここにも制度拡充してほしい

次世代を担う子供たちが不便を感じないように配慮した見直しが必要

今以上に保育、子育ての質が落ちないように財源を確保してほしい。

未来の京都市を支える子供たちの支援を充実させてほしい。そうでないと、京都市から若い世帯が転出してしまう。若い世帯、未来ある子供たちの施策を維持してほしい。

育児費用や子供への手当ては絶対に削減してはいけない。また、子供を事故や犯罪から守る諸施策も省かないこと。

子育て支援に負担をかけること以外の方法を模索してほしい。

子育て支援に負担をかける街に未来はない。

子育て支援に負担をかける街に未来はない。

子どもに関するお金の削減は必要なのか。

子育てが非常にしにくい。

子ども関係のサービス見直しは賛成

子どもの保育環境悪化につながることはしないでほしい

保育者負担をいわずに良質な保育を自分たちで作り上げようとしている共同学童保育所が、営利目的の民間学堂と同等とみなされて不利益を被ることのないよう善処してほしい。

現在、発達障害が疑われる子の検査・相談が半年以上待たされている。保育園や学童・学校での専門家の定期的な巡回や土日でも見てもらえる仕組みを作ってほしい。

障害児通所支援は必要であり、負担額を増やすべき。

理由をつけて子育て世代からこれ以上搾取しないで欲しい。保育や学童に関して、見直しどころか充実を考えないのはなぜか。国水準を上回っているというが、例えば待機児童0といっても実施0ではない。

子どもに関わる改革案は、とてもこれから若い世代を増やしていける内容ではない。財政が厳しい状況だからこそ、若い働き盛りの子育て世代が京都市に住みたいと思える内容でないと根本的な解決にならない。

子どもに関わる改革案の内容はあり得ない。見直すなら子育てしやすい環境への見直しをしてほしい。

保育サービスに係る部分について、若い世代の反発を招き、子育てサービス削減による市のイメージ低下は避けられない。生活者であり納税者である若年者を市から遠ざけるような事態は避けるべき。

子どもに対するサービス（保育、学童）は支出ではなく投資。子どもへのサービスは親の余裕につながり、親は更なる消費と稼業による納税をすることができる。保育サービスの低下は絶対反対。

教職員などの給与引き下げは、教育の質に直結しますし、子育て世代にとっては重要課題です。

保育料や保育園職員の人件費補助などを削減せず、子ども福祉に税金を回してほしい。

意見要旨

保育に関しては削減すべきではない。

子育て支援への負担は避けるべき。

子育てに否定的な予算カットに反対。

子育て世代が我慢することばかりの改革案はひどすぎる。

子育て世代への支援をお願いする。

子育て世代から搾取しないで

少子化の現代で、子育てしにくい街にわざわざ住みたいと思うのか。支出が多いから削減というのは、安易すぎる。

子育て施策の見直し反対

子育て施策の見直し反対

子育て支援の見直し反対

教員等の公務員の病気休暇の見直し

子育て支援の見直し反対

子育て支援の見直し反対

保育分野の削減規模が大きすぎる。改革案をいま一度考え直してくださると信じたい。

子供たちの保育環境や教育環境を低下させるような財政方針は断固反対

子どもは宝です。保育予算の削減は反対

子供への補助削減は反対

待機児童の数字を国基準ではなくニーズにどれだけ対応できているかで示すべき

保育に関することを削減するのは納得いかない

京都はますます暮らしにくい。子どもにかかるお金が少ない

行政サービスの低下等の削減は、子育て世代の生活水準の低下や市外転出を促すこと等につながる。

保育環境の整備、質の向上をお願いしたい。

意見要旨

子育てサービスが高水準と言っているが、子育てをして歳を取りたいと思える街づくりから年々かけ離れている

これからの京都を背負って立つべき子ども達の育つ環境を補償して欲しい。もっと削減すべきところはある。弱者の味方にならない市政はいらない。

学校や学童保育、保育所等でのコロナ感染予防のための環境整備が必要。

子育ての応援や福祉など弱い者を大切にする京都であってほしい

保育環境の保持や保育所・学童保育の維持、教育関係の補助は聖域とし、削減しないなどの方策をとるべき

京都市は子育て環境日本一と言っていたが、財政が厳しくなると一番に保育にかかる財源を削除するのは理解に苦しむ。

保育に関しては、次世代への投資が大切であるため削減は考えられない

京都市が誇りとする、全国トップレベルの保育の充実を存続してほしい

子育てに関わる費用の削減には断固として反対

保育に関して未来を担う子どもたちへの予算を減らさないでほしい

子どもや若者、子育て若者世代に対するサービスはカットすることなく維持できるようにしてほしい。

「将来世代への負担を先送り」を改善するために改革するなら、将来を担う子供たちにかかわる削減は再検討してほしい。

保育や教育に関することを見直すべきではない。

子どもたちによりよい保育ができるように、保育予算を増やしてほしい。

子育て・保育園関連の予算を削るべきではない

子どもたちがいきいきしていない都市に成長はない

子育てサービスの変更はやめてほしい

保育施策の削減はすべきでない

地域の役員の話ばかりでなく、子育て世代が考えていることに聞く耳を持つべき。

何故未来を支える子供の財源から削り取ろうとするのか。このまま進めれば未来の芽を摘み取るどころか根絶やしにする勢いになる。

借金で手厚いサービスを提供し、将来の子供世代に負担を強いるのは論外。

子どもに関わる補助金の大幅な削減や、保育サービスの量・質低下につながる条例・法令の改正や廃止は見直してもらいたい。

意見要旨

子どもに関する見直しに反対。保育所があるからこそ働くことができ、働くことで経済が回る。

未来を担う子供たちがしっかり育つためには、ゆったりした環境と教育が必要です。

子どもは地域の宝、子どもの教育福祉の予算は減らすべきではない。

保育料は家計の負担なく捻出レベルとするなど、子どもが安心して安全に過ごせるような体制を期待する。

子どもに関する財源にまで手を付けなければならないほど財政悪化していることに唖然としている。

コロナ禍の今こそ学童保育の充実が市民の願いです

ちゃんと働く世帯に正しく保育サービスを提供すべき。

子育てに対する支援がこれまで以上に大切。子供たちにしわ寄せが来ないようにお願いします。

障害児を抱えても前向きに子育てできるように感じる。

子育て支援に関する見直しが行われれば、出生率減少や児童虐待、財政破綻に繋がると考えます。

福祉を切り捨てることで、子育て世代がますます市外へ流出していくことに繋がると思います。

保育の質の向上。子どもたちの環境の安定のためにお願いしたい

安心して子育てできる環境にしてほしい

子育て環境日本一を掲げている京都市なのに、何一つ日本一を感じたことがない。

これ以上子育てしにくい京都にしないでほしい。

これからの未来をつくっていく子どもたちが安心して生活を送っていくために必要なことを考え直してほしい。

全部反対。子供を育てられない。

子どもは未来を担う存在であるのに、その予算を削るのは怒りを感じる。もっとほかに見直すべきことがあるはず。

子育てや教育に関する予算を縮小しないでほしい。自己負担がどうしても高くなり、家庭の経済を圧迫する。

子育て不安からくる虐待、産後うつへの施策を講じてほしい。

未来を考え、子育てしやすいようにすべき。

観光のためではなく、安心して子育てできる行政改革をお願いしたい。

意見要旨

福祉関連経費が上がると子育てしにくい

保育関係のコスト削減は「若い世代に選ばれる千年都市」と矛盾している

保育料値上げや学童クラブの利用料改定などをこれからも充実して、弱者にやさしい京都市になって欲しい。

子育て世帯だけ負担増になるのがどうしても許せない。

伏見は子どもが一番多いまち。子育て環境の安心安全を改善してほしい。

子育て環境，教育環境日本一と言うが，どこが優れているのか教えてください。

他都市に抜きんでて少子高齢化しているなら，住民税や固定資産税をこれからも長く払っていく子育て世帯を転入させる施策を打ち出す必要がある。

将来を考えると，子育てや教育にお金をかけたらいと思う。

障害児通所支援についても守っていくのが市の仕事ではないでしょうか

「保育所等待機児童ゼロ」と表記する際，その定義を都度明記してください

子どもたちにしわ寄せがいくような改革は再検討してください

自分も，子供も安心して，仕事と子育てができている今の状況が保証されないことに大変危機感を感じています。安心して子供を預けられ，あずかれる今の環境を保証してください

子育て支援施策の見直し反対

保育園や学童への補助見直しは反対

保育時間を守らない保護者が多すぎる。自治体が律すべき

子育て関連経費を削るのは未来を考えると本末転倒

子育て世代への負担を増やさないでほしい。

教育，保育には財源を

子育て支援の財源は確保すべき。

子どもが減る中、共働きの夫妻に対して子育てに魅力があり、安心して預けられなければ他のよりよい都市へ移ってしまう

子どもに関わるお金が減ることが心配。安心して子どもが過ごせる環境づくりをぜひお願いする

子育てなど市民の命と暮らしを守る施策の削減は弱い者いじめである

意見要旨

保育を必要とする世代，子育て世代が今の京都を支えているといっても過言ではない。これ以上の搾取，補償引下げは断固反対。

京都市で子育てする人や，子育て等に関わる人材を手厚くサポートする行政であってほしい。

次世代を担う子供たちを安心して育てられる環境を守らないと，将来的な税収はもっと絶望的なものになる。

安心して子育てできる環境を整えてほしい。

保育に関する予算削減はやめてほしい。

子育て世帯や若者など弱い立場にある人への我慢の強要は納得できない。他に削るところはないのか，見直していただきたい。

財政を立て直す見直しにより子どもたちへ大きなしわ寄せがいく。

京都で子育てしたいと思える施策を！

将来を担う子供たちにもっとお金を使ってください。

子育て支援を削減するのは理解できない。

子育て支援は充実させるべき

意見要旨

子育て支援は充実させるべき

子育て支援は充実させるべき

この改革案では、子どもや保育園の先生、子育て中の親に負担が大きい。未来を担う子どもの環境を守ってあげられるよう計画案の見直しを求める。

京都の保育を大事に守ってください。

政府が子育て支援と言っているのに保育料の値上げや保育士の待遇が悪くなるのはおかしい。

まじめに働いている保育士から削減するのではなく、虚偽の申告（自営業でウソの所得申告や事実婚で母子手当生活保護受給等）をしている保護者からきちんと保育料を徴収してほしい

他府県では幼児の副食費の無償化が進んでいる。子どもを大切にする自治体かそうでないかが見える。

保育士について全国並みの配置基準に落とすのではなく、京都市が全国の保育所をよくする！という思いを持ってほしい。

グローバル都市というが、外国籍の子どもの宗教食対応、排せつ、着替えの個別対応は職員が減らされたらできない。

医療従事者だが、コロナ禍で病院等補助金をザルのような審査で出しているが、子どもに対する未来を考えているのか。京都出身ではないが全く魅力を感じないし、住みたくない。

子どもへの投資を削減しないでいただきたい。

都市の成長戦略には子どもや若者の存在が不可欠であり、子育て事業の廃止や削減には断固反対

誰もが通った子どもの道。子どもの頃に経験したからこの現在、未来が続いている。なので、子どもたちにとって…と再度考え直していただきたい。

子どもの純粋な心、素直な心があったからこそこの今がある。それだけ子どもの頃の経験は大切。一度子どもたちと実際関わっていただけたらわかるはず。

待機児童ゼロの謳い文句に誘われて京都に引っ越した。将来を担う子供への投資を怠ってはいけない。今回の手のひらを返したような行政改革を知ってから二人目はあきらめることにした。こうして少子高齢化が進む。

主な納税者である子育て世代に見放されては税収低下につながるため、子育て関連サービスは低下させるべきではない。

歳児加配対策費、障害児保育対策費等が削減されると、個々に対して手厚い保育が難しくなり、「子育て共育環境日本一」を目指している姿にはなれない。少子化対策上の観点からもマイナスである。

子どもたちの生活環境を守るために補助金などの削減をしないでほしい。

子育て世代が子育てしやすい環境を作ってください。

少子化を加速させるような子育て世代により強い負担を強いるのは不信感しかない。

ひとり親のサポートもうらやましいくらい多い。少くくらい減らしてもいいのではないか。

保育士の給料を下げるのではなく、二人目以降の子供はぐくみ料の値上げで対応いただきたい。

意見要旨

子育て世帯への打撃が大きい。

保育の衰退につながるような改革は大反対。

1歳児加配対策費や障害児対策費などが削減されれば、京都市が他の都市に先行して取り組んできた保育の質や充実面を後退させることにつながる。

保育園から学童保育にかけての条件整備は、街の活力問題としてしっかり維持しなければならない。

子育て世帯が京都市に住んでいたら、損と思うようなやり方ばかりで本当に改革しようと思っているのか。

働き盛りの子育て世代の首を絞める政策ばかりだ。お金の使い方をもっと見直して。

保育の現場から改革するのは難しいと思う。

子育て環境日本一だと一ミリも感じたことがない。

子育て支援を進めてほしい

保育水準を低下させると、市内で働いていても市外に住む傾向に一層拍車がかかる。保育士の確保もできなくなり、待機児童対策に貢献できなくなる。

子育て世代、若者への支援施策は継続または拡充を求める。今子育て世代や若者への支援施策を廃止、縮小すれば、今後ますます歳入を減らすことになる。

財政状況が厳しく、改革が必要なことは理解したが、今後将来のある子どものために使う税金は削るべきではない。

保育室の壁紙が劣化してきて浮いた部分を子どもたちがめくって土が出てきて困っています。

今こそ未来につながる子どもたちを想って…と考えるべき。

子育て世帯に現状以上の成果があることを示してほしい。

財政難なのに税金で北陸新幹線を作り、京都の豊かな自然という宝まで壊さないでほしい。

椅子もセロテープだらけのものを使っているが子どもの誤飲が心配。

これまで子育て環境日本一を謳っており、はぐくみプランでもそのような論調だが、今回の改革案は今まで積み上げてきた保育を根底から崩すもの。納得できない。

未来を想うのなら、未来につながる子どもたちのことを想って考えるべき。再度検討してほしい。

子どもの時の経験があったからこそこの現在、未来なのでは、子どもたちの日々は未来につながっている。一度、実際に子どもたちと関われば分かる。

保育園の定員増ではなく新規開設が必要。子どもたちがのびのびできる環境で過ごし、親は安心して働き税金に貢献。子どもたちへの費用削減は財政難に効果があるのか。

保育園、学童クラブへの助成、子育てに関する予算は減らさないでほしい。

意見要旨

児童福祉センターは古く暗い建物で子どもが行くことを怖がる。子ども未来館も古く、おむつ換え台も少なく不便。梅小路公園の施設も費用が高い。他府県より子育て環境が悪い。

保育所、学童クラブ、障害児通所施設は、なるべく維持してほしい。

保育園・学童といった子供たちの成長のための費用は社会全体で担うべき。

子育てに関する水準を現行より下げるのは止めてほしい。

子どもたちに対する補助が一番優先して守られるべきサービスではないか。

子どもへの施策の削減はしないでください。

保育予算の削減は、成長戦略と相反している。

若い世代に選ばれる都市であるよう、子育て環境を守ってほしい。

保育の予算はさらに充実させなければならない。

保育環境を維持するための予算を削らないでほしい。

子育て環境を守ってほしい。むしろ手厚くしてもらいたい。

保育に関わる財源を削ることに反対です

京都は子育てしやすい環境を守ってくれないのでしょうか

厳しい状況なのは理解した。しかし子育てや保育に関するサービスは何としても継続すべき

子どもに対する施策は充実させてほしい

障害児保育対策費は削減しないでほしい

障害児保育対策費は削減しないでほしい

子供たちの教育補償は高いレベルに合わせてほしいです。

若い世代を増やすのは子育て政策であり、支えているのは保育園です。

子育てに関しての費用削減、負担増することは、京都市に住みたいという担税力のある若い子育て世代が少なくなる。

子育て支援をしっかりとすることで住民が増え、市税が増加している都市もある。子育て支援は未来への投資である。

子育てに関する支出の拡充をお願いします。

意見要旨

子育て世代に優しい制度をとることで、納税者世代の呼び込みができる。

京都市は暮らすための税金が高く、子どもの医療費も他都市と比べ高いので、決して子育てしやすい環境ではない。改革の見直しを望みます。

保育に関する経費を削減するのは反対です。

子供たちから削減というのは未来を切り捨てているということでしょうか。再度検討していただきたい。

子供のころの経験が今の大人の生活につながっていることばかりです。再度検討していただきたいです。

子どもの頃に大人たちが見守ってくれたから今があります。そのつながりを止めてほしくありません。

子どもたちの教育環境に対する投資を削っていくのは長期的にみると自爆行為である。

子どもたちの未来を想って、子どもたちにとって、未来にとって、と再検討をお願いします。

子どもたちから削減するのは納得できません。

行政が無駄遣いしたのに、そのしわ寄せが保育にくるのはおかしい。

保育無償化はありがたかったが、医療費も中学卒業までは200円にしてほしい。

保育サービスについては従来以上の手厚い支援が必要

はぐくみプランに反する改革は子どもの人権を無視している

子育て環境日本一を謳っていることと矛盾している

子どもへの支援を減らすことは、魅力ある未来に反する

京都の子育て文化を守るべき

保育現場の声をもっと聞いていただければと思います。

今の保育の現場において、保育園に預ける家庭も多く、1人親の家庭も多い中子どもの定員割れなどの状況を解決策を見出して欲しいと思います。

京都市政なら保育を守ってくれると信じています！

障がい児通所支援への負担軽減を続けてほしい。

子育てに係る費用負担の軽減、待機児童の解消など、安心できるまちづくりを進めてほしい。

子どもに関する社会福祉は減らさないでください。

意見要旨

保育を中心に社会福祉の国水準以上の部分を削減的着目しているよう見受けられるが、そこを中心に削ると「子育て共育環境日本一」という誇れる点が崩れる。

子ども若者関連事業の充実を保ってほしい。

保育に関連する費用の削減に反対。

財政難なのは分かるが、子育て環境を改悪しないでほしい。

障害児保育対策費の減額がやり玉にあがることを阻止したい。

障害児保育対策費の削減反対

保育分野で見直しが必要であれば、土曜保育の別枠化や地域的に定員割れが恒常化している園への定員削減勧告、無償化されている幼児の保育時間の精査をすればどうか。

保育や子どもたちの未来を考えたものにしてほしい。

質の良い保育には、それ相応のお金は必要だと思う。

子どもを安心して保育園に預けられるよう、保育士が安心して働ける環境が必要。

子育て支援は充実させてほしい

子育て支援は充実させてほしい

子育て支援は充実させてほしい

子育て支援は充実させてほしい

子育て支援は充実させてほしい

子育て支援は充実させてほしい

全ての子育てにかかわる事業をこれ以上改悪しないでほしい。

公立幼稚園を見直してほしい。楊梅などの新築は必要だったのか。学童保育に切り替えるなど対応してほしい。

保育所等運営費を定員増で見込むのではなく、新規開設で行ってほしい。

障害児通所施設の利用者負担の補助削減は止めてほしい。

子どもに対することへの色々な削減は、断固反対

未来を大事にするならば子育て支援は守るべき。

意見要旨

保育に対する見直しを考え直してほしい。

子どもの将来をもっと考えてほしい。

子育て日本一，待機児童0と言っているのに矛盾している。

これまでの過大な歳出で恩恵を受けてきた層への歳出を削り，これからの若者（子育て，出産，義務教育等）世代への支出は削らないこと。

京都の未来を背負う子供たちのための投資を減らすことは，京都の未来をつぶすことになる。

子どもに対する施策は充実させてほしい

子どもに対する施策は充実させてほしい

障害児通所支援の見直し反対

子どもに対する施策は充実させてほしい

保育予算の削減については，現役世代のさらなる流出につながる恐れがあり，強く反対する。

子ども・子育て支援に関する独自施策の廃止・縮小に反対。子育て世帯の流出を招くことになる。

保育士配置基準の拡充を強く要望する。先進諸国並みの3歳児で6対1くらい思い切った配置基準にしてほしい。

DVが原因で別居している。離婚が成立していないため，児童扶養手当の受給資格がない。児童手当と同様の手続きで，一部受給資格を認めてほしい。

保育所で使用する午睡用敷布団の貸与事業をしてほしい

公立保育所の比率が5%にも満たない京都市が「他都市サービス水準を上回る施策を実施」しているとは言えない。

「待機児童ゼロ」は当然のことで，自慢するようなことではない。

保育予算削減は反対。

保育園幼稚園従事者の労働環境の見直しと改善を求めます。

今の京都市の状況では八方美人な施策展開は不可能。メリハリが重要だが，中長期的な市政運営には，子どもに重点を置くべき。

子どもに関わることには投資すべき。

障害児通所支援の就学時利用者負担増については，強く反対します

魅力があり，人気のある京都だからこそ，住みやすさ，子育てのしやすさ1位といわれるぐらいの行政改革にしてほしい

意見要旨

子どもにとっても、保護者にとっても、現場の保育者にとっても過ごしやすい環境になれば、子育てしやすい京都になり、京都に住みたいと魅力ある古都、京都になると思います

放課後デイサービスの保護者負担率も上げないでください

障害児通所支援の就学時利用者負担増については、強く反対します

京都市では手厚い保育が子育て支援の要だと思っている。安心して子育てできる環境をなくさないでください。

待機児童ゼロを目指していたが、これからは待機児童を増やす計画でしょうか。

子どもに関する補助を削減しないでほしい

将来世代のために改革を行うのに、将来を担う子供の保育の質を削るのは矛盾している。

子どもに対する支援を削減するべきではない

子どもに対する支援を削減するべきではない

保育環境の充実を求める。

保育環境の充実を求める。

京都市の手厚い保育環境を維持してほしい。

京都市の手厚い保育環境を維持してほしい。

子育て世代に負担がかかることはしないでほしい。

放課後デイサービスの見直し反対

子どものために予算を使ってほしい。

子育てに関する負担を増やさないでほしい。

子育てに関する負担を増やさないでほしい。

子育てに関する負担を増やさないでほしい。

子育てに関する負担を増やさないでほしい。

子育てに関する負担を増やさないでほしい。

子育てに関する負担を増やさないでほしい。

意見要旨

保育環境を悪くしないでください。

子育てに関する負担を増やさないでほしい。

保育環境を悪くしないでください。

保育環境を悪くしないでください。

保育環境を悪くしないでください。

子育てに関する負担を増やさないでほしい。

子育てに関する負担を増やさないでほしい。

子育てに関する負担を増やさないでほしい。

子育てに関する負担を増やさないでほしい。

子育てに関する負担を増やさないでほしい。

子育てに関する負担を増やさないでほしい。

子育てに関する負担を増やさないでほしい。

子育てに関する負担を増やさないでほしい。

子育てに関する負担を増やさないでほしい。

保育に関する予算を削らないでほしい。

子育てに関する負担を増やさないでほしい。

子育てに関する負担を増やさないでほしい。

子育てに関する負担を増やさないでほしい。

子育てに関する負担を増やさないでほしい。

保育に関する予算を削らないでほしい。

保育関係の見直し反対

保育に関するお金を減らすべきではない。

意見要旨

子ども支援の予算削減反対

保育に関するお金を減らすべきではない。

子ども支援の予算削減反対

子ども支援の予算削減反対

子育て世代の負担を増やさないでほしい。

子ども支援の予算削減反対

子ども支援の予算削減反対

子ども支援の予算削減反対

子ども支援の予算削減反対

子ども支援の予算削減反対

子ども支援の予算削減反対

子育て世代の負担を増やさないでほしい。

子ども支援の予算削減反対

意見要旨

子ども支援の予算削減反対

子ども支援の予算削減反対

子ども支援の予算削減反対

子ども支援の予算削減反対

若者が住みやすい街を作るには、保育料等の子育て世代への支援が増えるべき。

4 行財政改革の取組について（1）

社会福祉全般に対する意見（246件）

意見要旨
自分の生活が苦しいなか、市に財政が厳しいと訴えられても困る。生活苦を支援してほしい。
不採算事業を民間に全て移管すべき。
年金高額所得者が多い。
高齢者向けの〇〇センターのような、高齢者への施策は基本廃止すべき
外国人の生活保護事業の見直し
社会福祉法人や町内会への支出を絞るべき。
生活保護費を削減できないのか。
手厚い施策は縮小すべき。
高齢者ばかりでなく、現役世代に対してもメリットのある街づくりを心掛けていただきたい。
高齢者を厚遇しすぎである。福祉施策はしっかり見直すべき
多くの人は福祉とかで住む場所を選んだりしない。データとエビデンスに基づいた政策を打つべき。
特定の市民だけでなく、広く多くの市民が有益となる事業構築にせよ
低所得者も中間所得者にもバランスの良い政策展開を。高齢者優遇の政策は控えめに
行政の最たるものは福祉。弱い立場の人を支援してあげてください。
貧しい人への支出は削減しないでほしい。
高齢者の健康長寿で介護予防は削減縮小、効率化は必要。優先すべき内容だからこそ、集約して効果ある税金活用が必要。
市民に負担を課すのは納得できない。
高齢者の負担を増やすのは間違い
本市独自事業は一例か。障害者の福祉乗車証、市政協力員の費用は含まれないか
福祉分野へのしわ寄せが目立つ。
もう少し安くて介護ができ共倒れにならないようにしてほしい。
健康で充実した市民生活維持の為にあらゆる施策を行う。
敬老乗車証などの老人福祉は徹底的に削減が必要
社会保障施策の削減反対

意見要旨

納税の多い世帯への支援を残し、少ない世帯への支援をきるべき

お年寄りの優遇政策はやめてほしい。

住民サービスを削るだけ削るようなことはしないでほしい。

高齢者のための政策や施設が多すぎる。福祉は行政が担うべきだが、あまりに度が過ぎている。

福祉にお金がかかりすぎているなら見直すべき

生活保護者の実情を把握

生活保護世帯の児童の修学旅行でのおこずかい2,000円などの切り捨てはやめていただきたい

生活保護を受けている人、不正受給している人が多い。

高齢者の医療費負担を増やすべき。

低所得者に対して甘すぎる。

改革計画は必要であるが、市民負担増、福祉切捨てが前提にあるため、今回の計画内容には反対。

福祉関係の削減は、市長の言う「安心・安全、魅力あふれる京都」に反しており、公約違反である

福祉を手厚くすべき

障害者に対して配慮すべきではあるが、現状は過剰な優遇になっており、逆差別である。

生活保護世帯で、生活に困窮していないことが判明した場合、不正受給させないようにすべき。

福祉への補助金を削らないでほしい。

障がい者の乗車券は減らせるのではないか。

生活保護者の全見直し

高齢者に関わる厳しい施策を。

高福祉高負担は望まない。

障害児通所支援に係る本市独自の利用者負担軽減の見直しは論外。

中福祉・中負担に改めればよいと思う。

高齢者福祉を重視すべきでない

若者世代への不安を煽り、高齢者福祉への踏み込みが甘い。

高齢者福祉を重視すべきでない

介護施設で働く人達の処遇をもっと改善してください。

福祉医療に積極的

意見要旨

もっと高齢者を大切にしてほしい

もっと高齢者を大切にしてほしい

高齢者の医療費を上げないでほしい

高齢者から子どもまで安心して暮らせる市政へ転換してほしい

高齢者の住民税，健康保険料が高すぎるのではないかと。

生活保護の医療費見直し。少しでも払うべき。

急に財政が大変だから福祉サービスを減らすと言われたら計画（生活）が成り立ちません。

まず福祉を削るという考え方を改めてください。

今すぐ社会保障，医療を拡充してほしい。

福祉予算が増大することは国全体の課題。他都市よりも福祉が充実しているという感覚はない。

福祉の支出を少なくしなければ運営していけないと分かりやすく説明した方が潔い。

保育や敬老証などどうやって維持していくかの検討もなく聖堂の交代ばかりとなっており，改革とは言えない

中学生まで医療費無料にすべき，学童う歯見直し反対，中学校給食すべき

地域包括支援センターは60以上も必要ない

市長の公約反故、はなはだしい。
不要不急の新規事業を見直し、福祉に回してください。

市内に多数ある社会福祉協議会や地域包括支援センターをまとめるべき。この財政難に維持する必要はないのでは。

コロナ禍で福祉を見直すべきでない

他府県から生活保護を受けるために京都市に来る人達がいると聞いた。生活保護受給者の見直しを徹底して行うべきではないか。

まずは大型開発こそ一旦凍結し，福祉から立て直す財政計画を立ててください。

働きやすい街，子育てしやすい街とは福祉や保育を真っ先に削る市政で実現できるものでしょうか

医療，高齢者福祉分野の歳出削減はしっかりと行うべきだと思います

福祉の現場からお金を削減するのはおかしい。

「無料」というのはやめて（生活保護世帯も含む），市民の行政サービスの無駄遣いを無くすために，いくらかは徴収するシステムにするべき

社会福祉関連経費の増加要因が何なのか検討し，市民サービス低下にならないようにしてほしい。

福祉を後退させることに反対。住民福祉の向上に財政を使ってほしい。

高齢者を優遇しないこと。

高齢者の医療費1割負担を2割増に。

意見要旨

生活保護の歳出を減らせないか。

なぜ、市民の福祉に関する経費について、経常的に必要と分かっているながら削るのか。これまでの市政の失敗（インバウンドやその他の民営化に関する失敗）を市民の福祉で賄おうとすることは許せない。

なぜコロナでこんなにも大変になるなかで市民の福祉を切り捨てるのですか

高齢者福祉の見直し賛成

社会福祉関連経費については、高齢者への負担増加が避けられないとはっきり表明するべきである。

高齢者の負担額の増加はありえない

コロナで市民の生活が困難なときこそ、社会福祉関連経費は大切であり、減額するべきでない

社会福祉分野の施策について、自治体として、市民生活を支える施策であり、削減はすべきでない。新型コロナの流行で、市民生活が困難になっている時であればなおさら。

老人医療費の無料化を実現すること。

高齢者が増える以上高齢者の負担を増やすべき

他都市との比較で手厚い福祉は改革案どおりの見直し。

障害児通所支援に係る本市独自の利用者負担軽減の見直しは行うべきではない。

財政難はよく理解できた。ただし、敬老乗車証や保育園補助金を減らすことと結びつかない。

市民の福祉の切捨てに反対します

生活保護受給者の生活をもっと調査してください。

生活保護や母子家庭の見直し

生活保護の見直し

医療体制の充実と保健所機能の回復

高齢者厚遇からこれから活躍する世代が暮らしやすい制度に

現在実施されている事業について、受益者となる対象の世代に偏りがないように適正化していただきたい。現在はどうしても高齢者をターゲットにした事業が中心になっているような実感がある。

福祉サービスの一律カットではなく、応能負担が望ましい。

医療費支給制度を小学校卒業まで無料にしてください。

福祉関係の予算はカットしないでほしい。

福祉や社会的弱者には、今まで通り、充実した予算をつけるようお願いしたい

福祉を削ることは本末転倒。発想の転換をはかること。

障害児通所支援に係る値上げは反対。

過剰な福祉関連経費は見直すべき

意見要旨

福祉施策を切り下げるこの計画の撤退と大幅な見直しを求める

V都市の成長戦略において「すべての世代が暮らしやすい魅力や活力あるまちづくり」を掲げるのであれば、福祉分野の安易な削減は反対する

社会保障関連経費を削減することが第一に選択されるべきである。高齢者の命と暮らしより現役世代の命と暮らしを優先してもらいたい。

高齢者関連費用に切り込むべき。

福祉施策の見直し反対

生活保護の不正受給防止

増加する高齢者への介護の在り方見直し

少子高齢化の福祉面をしっかりと向上できる内容を考えてほしい。

子どもからお年寄りのサービスを切り捨て、税金は値上げするのは、京都の住民が、京都に住めなくなって悪循環を及ぼすだけではないか。

福祉や保育を充実してきたから今の赤字が増えたかのように聞こえ、予算を削減しようとする理由に納得できない。

子育て世代や若者高齢者など弱い立場にある人への我慢の強要は納得できない。

福祉の見直し反対

高齢者など弱い立場にある人への我慢の強要は納得できない。他に削るところはないのか、見直していただきたい。

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

選挙で投票してくれる老人へのサービスのような行政は結構。未来に目を向けて、これから生きる若者が伸びる社会であってほしい。

生活保護の基準をもっと厳しくしてほしい。

福祉に金を使いすぎなので、削減すべき

福祉施策の見直しはやめるべき

高齢者の優遇はやめるべき

敬老乗車証をはじめ高齢者福祉に係る独自の施策廃止を求める。高齢者は医療や年金制度で将来世代より優遇されている。厳しい財政状況は過剰な福祉政策が原因

運転免許証自主返納者には市バス無料券を配布してほしい。高齢者の事故防止に有効。70歳になれば返納しようと思ったが、バス代を考えると高齢でも運転すると思う。頭を使った政策を考えてほしい。

補助金は福祉的要素の事業はなるべく継続を。

根本的に、社会福祉の財源を直接市民サービスの受け手に課すことが問題である。

意見要旨

福祉法人の「社会福祉充実残額」余剰分は京都市に返却させ、市の福祉財源として確保すべき。

高齢者への支援を小さくし、若い世代が入ってきやすいようにしたらよいのではないか。

老人医療の削減、老人が病気にならないよう健康になってもらう必要がある。

高齢者を優遇するのはやめてほしい。

福祉は他県より手厚くやってきたというが、多くの他県他市でやっている中学校の温かい学校給食の提供すらできていない

福祉や社会保障の切捨て削減はやめてほしい

療育センター利用料の改定が受益者負担の適正化だと、全く理解できない

老人医療の見直しから考えるべきでしょう

若者が住みたくなる街づくりが必要。保育、子育て、医療支援を行うべきである

信頼性を欠いた財政シミュレーションのもとに「財政危機」を強調し、高齢者から子育て世代までを対象とする多岐にわたる市民サービス施策に大鉈を振るうが如く削減を迫っており、常軌を逸していると言いたい

市民サービスの低下というのは、福祉をあきらめることと同義ではないかと思えます

少子高齢化社会に対応して福祉にかかるお金を真っ先に削っていく考え方がっても将来につながる改革とは思えません

福祉からの予算削減を真っ先にするのはとても納得できません

福祉の見直しは反対

福祉の見直しは反対

福祉の見直しは反対

これ以上保育や福祉から財政を削減しないでください。

年収額にかかわらない財政援助。また、婚活の後押しや不妊治療へのサポートが必要。

違法な外国人への生活保護費は直ちに中止すべきです。

コロナ禍で頑張ってる福祉関係者の給料減らされるのも納得いきません。

福祉に関する予算は削減するべきではない

政府の人は福祉に守られたことないのか。福祉を守れ。福祉を守ることは市民を守ること。

加配と障害児保育対策費の削減反対。

社会福祉事業の切り捨てや低下は反対です。

医療、教育、福祉、子育て支援の支出は必要なこと。そこでの従事者の人件費削減は市政の悪化につながると思えない。

保育、学童保育、医療の人員を減らさないでほしい。

福祉の見直しは反対

意見要旨

福祉を守るべき

高齢者福祉の予算を削るべき。

福祉に受益者負担は誤り。

福祉の切り捨ては反対

今現在税金を払うだけで何の恩恵も受けていない私たち世代が将来同じサービスを受けられる竹の体制を作ってください。

障害者にもかなり予算を割いているようだが、具体的な見直しで触れられていないのはなぜか。

同じ市内でありながら「福祉乗車証」が使えない地域がある。不平等である。

福祉予算の削減反対

福祉の水準は絶対に下げないでください

社会福祉関連予算削減はやめていただきたい

食や命に係わる事業は、公営を維持するべき

地下鉄沿線に高齢者の入所施設を作る。

福祉を削って未来ある社会ができるか？観光や不要な工事を止めるべき。

福祉に関する改悪や応益負担はしてはならない。

国の基準を上回る施策が京都市の長所であるため、見直すべきではない

福祉施策への見直し反対

生活保護費の削減をするべき

福祉施策への見直し反対

福祉施策への見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉予算を削らないでほしい。

福祉予算を削らないでほしい。

意見要旨

福祉予算を削らないでほしい。

福祉予算を削らないでほしい。

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

生活保護を見直すべき

生活保護を見直すべき

福祉の見直し反対

介護保険を見直すべき

意見要旨

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉はもっと手厚くすべき

福祉はもっと手厚くすべき

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の切り捨てはやめるべき。

むしろ福祉予算を増やしてほしい。

福祉を充実してください。

福祉の後退はやめてください

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉のカットは欠かせない

福祉の見直し反対

意見要旨

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

福祉の見直し反対

4 行財政改革の取組について（1）

市役所業務の効率化、事業量の縮減に対する意見(77件)

意見要旨
消防救助技術大会へ向けた訓練は、業務として実施するのではなく、勤務時間外に実施するべき。
非効率的なことや、一部の人だけが恩恵を受けているものを、徹底的に見直してほしい。
「職員の専門性」を大事にしてください。
抜本的に事業を減らすしかない。廃止すべきと思いながら担当業務をこなしている職員も少なくない。
従来 of 施策事業を軽量化する
結果が明確でない事業は、徹底した調査を行い、縮小廃止を検討すべき
民間ビルに居る外勤が少ない部署については、郊外の京都市所有物件へ集約したらよい。
各計画の実施状況などを公表しているが、その作成に関わった人数と労働時間を考えると、公表にないと困るもの以外は、向こう数年間、作業不用
職員数を無理矢理削っても市民サービスの低下につながる。事業の廃止を行うべき。
きちんと事業を廃止して出費を減らしてください。
必要な事業を見直し、人件費や経費を削減すべき
修学旅行のコールセンターと医療相談のコールセンターを統合するべき
具体的に本業務を行う職員に過度な負担がかからないように事前にエフォート率を設定し、業務分担にちゃんとチーム全体で把握できるような土壌が必要。
基本的にほとんど効率化できていない組織だと思う。
同じような照会回答に何百人もの職員の時間が浪費されているため改善すべき。
「はばたけ未来へ」というネーミングを考える人件費と電気代や企画会の運営費などが無駄。
事業の見直しはすべき。
財政の無駄遣いの見直しを直ちにすべき。
固定費の削減を強力に実施すべき。
農業振興センターの統廃合は賛成。京都市京北に一つ、京都市は一つで良い。
隔週配布のポスターの小型化、印刷グレードを落として経費節減を。
行政はもっと仕事をしろ

意見要旨

どれだけ仕事を減らせるかが重要。人命にかかわらないものはやめるべき

市民が知らない計画を作る必要があるのか。丁寧に仕事をするのは大切だが、もっと簡略化してはどうか。

市会業務で時間外勤務させるな。人件費の無駄。管理職の負担も大きくなるばかりである。

行政事務の徹底した合理化については、具体的内容が全くなく評価に値しない。

事業をすべて時限事業にし、関係者に期間を周知したうえで実施するのもいいのではないか。

チラシやポスター等、効果に見合ったものなのかしっかり検証して費用削減につなげるべき。

回覧板や市民新聞について、メールやダウンロードなど希望に合わせて選択できるようにして、予算削減すべき

スクラップアンドビルドについて、役所的な考えだと、事業をやめるために新たな代替案を作ることになってしまう。まずはスクラップありきにすべき。

電子決裁を行わなかった部署は、決裁数に応じて予算削減を行うべし。

市役所周辺の一等地を賃借して執務室を構える必要はない。ネットワークでつながっているのだから、郊外の安い場所を借りればよい。

誰も読んでいない広報紙の作成は不要。

交響楽団は不要。

ポスターやチラシを作りすぎ。広報の在り方を抜本的に見直してください。

各部署から電話料金や清掃費用を徴収するのではなく、一括して管理すればよい。

都市計画局では、他の部署が閲覧できない資料があると聞いたが、市全体で情報を共有できるような仕組みを考えるべき。

行政の業務と全く同じ内容を民間委託により実施するのでなく、業務の効率化をまず図るべき

災害現場でもないのに、会議するだけで防災服を着ているのはいかがなものか。そのような細かい出費を探せば、数多くあるのでないか。

スクラップ&ビルドに大賛成

市の業務のスリム化、業務効率化を実施して欲しい

とにかく無駄を省き、知恵を絞り、年寄りの意見は無視し、未来に生きる若者の意見を重視すること。

徹底して組織にメスを入れて、資源再配分と効率化を行えば、優良自治体になれる。

行政事業のスクラップ&ビルド、サンセット化について、行政事業が基本3年で廃止、新規立ち上げという意義が分かりません。事業によっては継続性が必要なものもあり、廃止、新規立ち上げが無駄を生じさせるのでは。

土木事務所とみどり事務所の統合反対

医療体制の充実、保健所機能の従前への回復をしてほしい

市役所の開庁時間を平日（月・水・金のみ開庁）12時～3時、土日9時～3時にしてはどうか。トータルの勤務時間を減らして、市民の利便性の向上にもつながる。

意見要旨

区毎の基本計画は不要。こんな縦割りをやめることから始めてほしい。

重複事務の併合

リーフレット類の発行が多い

職員の仕事の効率化を目指しているが、もっとペーパーレス化を進めるなど、無駄を無くすべき。業務を見直し、絞り込むことで、本当に必要な業務、人手が足りていない業務に人を回し、雇用を守るべき。

ペーパーレスにして、無駄使いをなくしていく。

学校配布の土曜塾やPTAニュース等々の全庁単位の印刷物の見直し、一元化、又は廃止。

行政事務の合理化は、システム化より、事務のやり方の見直しが必要。

デジタル化などで業務を効率化して、人件費を削減してほしい。

本市運営に無駄はないのか。

行政区を統合する

事業削減は徹底してほしい。

京都市は意思決定が遅い。つまりそれだけ人件費がかかっている。完璧を求めすぎず、時期を逃がさず挑戦改革できるかが重要。

縦割りから脱却し、少しばかり行政のスピードを落としてでも連携して物事を進めたほうが、良いものができ、行政の人数、費用も少なくて済む。

事業に見直しなど無駄の削減を実施すべき

机やいすが買えず危険。予算削減は考えられない

薄紙の複写用紙、重複報告書、多種類記入申込書用紙等の廃止と用紙の統一化

最新技術を取り入れる必要はなく、実績のあるサービスやパッケージ化された商品からニーズに合うものを使うスタンスを取ってほしい

市職員の仕事内容の見直しが必要

縦割り行政の見直しをしてほしい。

市職員の無駄な業務を減らすべき

市職員の無駄な業務を減らすべき

行政経費の削減などが改革の最後に位置付けられており、市民理解を得る事への配慮が欠けている。たとえ削減額が小さくても頑張る姿勢を見せるべき。

明石市ぐらい大胆に縦割りを廃止して、土木関連予算を福祉子育て予算に大幅にもっていくぐらいのことをして欲しい。

総花的で硬直的な計画は不要。計画ありきの行政をやめ、市民のニーズや世の中の状況に応じて臨機応変に物事を進めてほしい。

新規事業は原則3年を期限として終了（サンセット化）を徹底というのは、3年で一度成果に結論をつけるということで、継続も可能であってほしい

意見要旨

役所の意思決定のプロセスを見直すべき

無駄や不正が本当はないのか監査の徹底した対応を進めてもらいたい

収入につながらない事業は廃止するべき

市役所外に配置している部署を役所内に戻す

窓口職員の市民対応力を向上させてほしい

4 行財政改革の取組について（1）

デジタル化の推進に対する意見(49件)

意見要旨
マイナンバーカードの普及促進や職員のデジタル力向上がどう行財政改革につながるか見えない。職員のデジタル力向上と民間にできることは民間に任せることは真逆のように感じる
証明書などのオンライン化を進めてほしい。
市職員の事務デジタル化を早期に確立して頂きたい。
デジタルを積極的に導入するのは後々の節減のつながるかもしれないが、初期導入費用は膨らむのではないか。
デジタル化は必須だが、予算を確保できるのか
ペーパーレス化を推進し、押印廃止となった書類（補助金申請書類等）も紙提出でなく電子データ提出にしてほしい。
デジタル化の取組がお粗末。いちいち課税証明とか取らせないでほしい。早く便利な手続き方法を構築してほしい
手続きのオンライン化を進めてほしい
行政手続きのオンライン化を進めるべき
市民に寄り添えない心から寄り添う意識のない職員と対峙しストレスを感じるくらいなら、書類の発行や申請等はすべてオンラインと郵送のみでも十分
DXの推進について具体的内容が全くなく評価に値しない。
行政のデジタル化について、先進的な民間企業の事例等を取り入れ、積極的に取り組んでほしい。
行政コストの聖域なき見直し。 国府市連携のITシステムを構築し、紙ベースの事務を統一システムに移行せよ。
デジタル化を進めても意識がアナログだと意味がないのではないか。
デジタルも大切だが、その費用が負担になるのは大変。
DX推進というならば、市民が役所に行かなくていい仕組みを考えてほしい。
マイナンバー制度が財政再建に繋がるか疑問
デジタル対応にコンサルを雇うのは、職員の思考停止を招き、お金の無駄である
先端デジタル技術の活用による市民サービス向上と業務効率化の具体的なイメージが湧かない
国が進める自治体情報システムの標準化・共通化に合わせるために市民サービスを切り捨てることは困る。
サービスのオンライン化や機械を用いての利用サービスを増やすことで人件費は減らせるのではないか。

意見要旨

デジタル化による効率化はもう少し具体的な記載がないと意味が分からない。具体的にどのような省力化が実現され、どれだけ人件費が削減できるのか。

デジタル化の推進には、個人情報保護が必要。デジタル環境のない市民を取り残すことのないように対面による丁寧な行政対応の継続を望む。

DX改革はシステム刷新失敗の二の舞にならないよう努めてほしい。

AIを活用して、業務の効率化を図るべき

経費削減のため、土曜塾の冊子を廃止し、WEBで見られるようにしてほしい。

7.のDXの推進が一番重要だと思う。人件費削減には業務効率化が必須であるとともに、そこには働き方改革もかかわってくるのでシステムの再構築は必須だ

教育の場所を統合拡張して、電化で結びつける。

DXは本当に業務削減になるかを議論し推進してほしい。

デジタル化を推進するべき

地域の情報やイベント紹介の広報誌は紙媒体をやめてデジタル化すべし。

DXを十分理解できる職員の確保が重要。デジタルデバインド対策は、デジタル機器を使いこなしてきた人でも目の老化が進むと使えなくなることから、機器を使えなくても情報の入手や処理に不自由しない受皿を造ることが本来の対策である。

自治体情報システムの導入で多額の予算を使って、実力の無い業者に任せてしまい失敗している。無駄遣いの極致だ。

区役所に出向くことなく、自宅PCやスマホで行政手続きができるような環境を早急に整備するべき。

リモート会議の推進とあるが、現状に課題がある。せめて環境整備をしないと職員がかわいそうだ。

ICTやRPAなどは、民間では利益と相殺されるが、市ではコストの方が大きくなるのではないかな。

デジタル化のデメリットにどう対処するかも考える必要がある。

デジタル化に嫌悪感を抱く人も多いので、解消する必要がある。

マイナンバーカードのPRも不要

Society5.0や自治体デジタルトランスフォーメーション(DX)など横文字を並べて、「市民サービスの向上と行政の効率化等に向け」無批判的に国の施策を横流ししている

新データ処理システムで100億円近い損失を出しながら、まだ、懲りずにデジタル創造都市などと言っているのか

行政のデジタル化を推進しろ

行政はまだ紙が中心となっている。印刷費用を削減すべき。

オンライン化は推進

マイナンバーカード普及促進のPRは国がやることで、京都市が費用をかけてやる必要があるのか

意見要旨

マイナンバーを導入しないことで削減できる経費もあるのでは。

DXについて、基幹システム更新作業の失敗から京都市には荷が重いことを自覚すべき。

役所の事務機能はもっとAIを活用し、人を減らすとともに、便利で安く、かつ人間的なシステムにしてほしい。

世界の人達にオンライン上であっても京都に投資していただけるような、そんな取り組みを構築して行ってほしい。

4 行財政改革の取組について（1）

国への要望・府・周辺自治体との連携(72件)

意見要旨
近隣都市と連携し、京都経済の発展を目指してほしい。
京都都市圏内での連携を更に進めてほしい。
地方交付税の削減やふるさと納税制度による減収で全国の自治体が危機的な財政状況になっている。日銀に地方債を買い取ってもらうか地方交付税の増額をしてもらうべき。
府市協調を進めるべき。市の農業振興センターは不要。府の農業関係の普及センターだけで十分。
地方交付税の大幅な削減の問題は、市長会などを通じて政権に物申す必要がある。
国、府からの支援が模索できないか
国への要望や府市協調といった金にならない時間と労力だけかかることは手放して、自分にできることに注力するべきではないか。
国に対して、支援を要望するべき
京都府との関係は難しい問題。特別市制確立は無理としても二重行政がないよう点検してほしい。
府に相応の負担を求めるべき。
税源を国や府から市に移すよう努力すべき。
国に強く要望すべき。
国との連携強化、府市協調について具体的内容が全くなく評価に値しない。
財政難の原因がコロナウイルスではないことに改めて気付かされた。ぜひ大幅な回復を行うとともに、国からの交付金を制度改革前の水準に戻してもらえよう働きかけてほしい。
これまでの政権が、自治体を「地方創生」といいながら、予算は削ってきた。もっと国の責任を明らかにするべき。
京都は他府県から見て、観光や歴史のあこがれの町。財政支援をアピールして関心をもらうことが大切。
市長が国に支援を求めることは正攻法。コロナ禍で自治体が苦しい実情がある中、財政支援のみならず、政策的・制度的支援を求めても良い。
ことあるごとに府市協調と言っているが、現場の職員は全くその意識がない。

意見要旨

京都府と行財政を一部統合し、効率を上げるべき

京都府の支援について、好調な時には高い水準のサービスを行っておきながら、財政状況が悪化したから他市町村と同様の措置を求めるのは、理屈が合わないのではないかと。

京都市を中心とした近隣市の統合による運営の効率化を。

ふるさと納税について、今の返礼品競争では富裕層に有利な減税制度になってしまっているので、国に再考を求めるぐらいの気概で財政再建に取り組んでいただきたい。

国が色んな公的事業を集約しようとしていることをやめるよう提言しては。例として、社会保険診療報酬支払基金の支部が今までは47都道府県にあったものを東京や大阪だけに集約しようとしている。集約するとしてもむしろ東京や大阪以外に置くべき。

国に地方交付金の満額支給の要求を。

国に対し、予算措置を求めるべき

国からの地方交付税495億円減少について、元に戻すよう国に強く要求すべき。税金も取るべき法人からきちんと取っているか。

市民の福祉サービスの切り下げではなく、事業の性質（公共交通の確保）からして、国に強力な財政支援を求めるべき。

京都府は大阪、兵庫に比べて感染者数も少なかったのに、足並みそろえて休業要請する必要があったのか。休業補償金を精査し、不要な支出をなくすべき。

職員を削減しなければいけないのに、よそを助けている場合ではないと思います。市町村合併すればいいと思います。

府市連携はもっと図ってほしい。

市立高校を府立に移管すべき。

改革について、国と話をつけるしかない。京都市が頼るべきは市民ではなく国である。

国に交付税制度をやめるように要望すべき

財務省と総務省が協力し合って、地方交付税交付金を出すべき。

強力な国からの財政支援を求めるべき

府との二重行政解消を

コロナ追跡サービスなど、国や府との二重行政を解消すべき。

国に対する要望活動を重視するべき

国に地方交付税などの財政支援を求めてほしい。

意見要旨

何が二重行政なのかわからない。

国が地方交付税を拡充してコロナの中国民のくらしを守るよう、市から申し入れてほしい。

いつまでも京都府と仲悪くしているから無駄が多いんでしょう。

ふるさと納税は財政が黒字になるまで止めてもらうよう国に要望してはどうか。

地方交付税の減額等が問題。、国からの財源確保に全力を挙げて取り組むべき。

交付税の減にどのような態度をこれまでとってきたのか。

京都市の財政危機は京都府の問題でもあり、府市の壁を取り除いて、西脇知事と門川市長のリーダーシップで取り組んでいくことを期待する

二重行政を見直すべき

京都市は大学生が多いので税収が少ないと聞くが、年齢人口の地域差を税収に反映させる仕組みを国に要望してはどうか。

国は地方交付税を減額する一方、臨財債にすり替えている。本来は国から交付される公金が借金になり、自治体財政を苦しめている。この臨財債のあくどさを市民に周知するとともに、廃止を国に求めていくべき。

国への財政支援をきちんと行ってほしい。

府と市で二重行政はないと知事又は市長が発言していたと記憶しているが、二重行政は存在しているということか。

地方交付税を増やしてもらうべき

府市にあるサービスは大阪のように整理すべき

国に対して地方への予算増額を働きかけるべき

国に対して地方交付税の大幅増額を求めてください。

京都府と京都市の具体的な重複作業、事業の見直し

地方交付税をもっと要求すべき。

府との二重行政の見直しをするべき

京都府との連携を具体的にしてほしい。

二重行政が課題とあるが、詳しく示してほしい。

意見要旨

文化庁が移転してくることや、「100のレジリエントシティ」プロジェクトに参加する都市に選ばれていることは一定評価されるべき指標である。国からもっとサポートが得られるよう協議してほしい。

なるべく府に任せ、やってもらうねべき。市がする必要はない。もっと府が京都市に投資するべき。市民の払う府民税をもっと京都市に投下させるべき。

地方交付税の削減について、国に対してサポート要請できないのか。

国への要望をもっと言うべき

国に地方交付税を強く求めるべき

国に地方交付税を強く求めるべき

二重行政の廃止について、具体的な記載がない。

地方交付税を減らされないよう国に物申してください。

国へ要望を強めるべき

国への要望を強めるべき

府市協調を強めるべき

府市協調を強めるべき

4 行財政改革の取組について（1）

寺社への拝観料等に対する課税等を求める意見(242件)

意見要旨
寺社仏閣から拝観税を徴収すべき。
お寺から固定資産税を徴収するべき。
学校，寺などに対する「京都税」導入
古都税を導入するべき
古都税を導入するべき
寺院仏閣から税金を徴収すべき。
寺から税金を徴収すべき。
宗教法人の拝観料に対する課税を検討すべき。
社寺への古都税の導入
社寺の拝観料やイベント等の観光事業への課税導入
社寺仏閣の拝観料への課税導入
寺院に対する課税を導入するべき
神社，寺から税金を徴収するべき
お寺からは，収入に合わせて税金を取ればよいのではないか。
寺社仏閣から税金を徴収するべき。
寺社仏閣などの宗教法人に課税すべき。
神社仏閣から税を徴収すべき。
古都税を再検討すべき。
寺社から税金を徴収しても良いのでは。
古都税の再導入
神社仏閣の拝観料から，何パーセントを市税とする。

意見要旨

寺社仏閣から税金を取るべき

神社仏閣から税金を徴収すること

寺社仏閣に税金を課すべき

神社仏閣から税金を取る，観光客から取るなどして，市民を守ってほしい。

神社や仏閣などの固定資産税課税を徴収

国の重要文化財があり，それらに利用される土地が京都市内の多くを占めている。その全てにおいて固定資産税やその他税金がかかっていないのは変だ。

拝観料駐車料金は税金として納めるべき

寺や神社から観光税を取るべき

古都税を強力に押し進めるべき

寺社仏閣なども固定資産税を平等に負担するのが当然である。

寺社税の増大。

お寺が多く固定資産税が少ないのが問題。

古都税等，寺社の協力金をもって不足額を補充すべき。

各種宗教法人に課税すべき。

古都税についてしっかり議論すべき。

古都税の議論をもう一度しっかりすべき。

神社仏閣から徴税するべき

寺社の観閲料に税金を導入。

御寺から税金を取って収益とできないか。財政危機の今こそもう一度検討すべき

寺社仏閣の固定資産税，他の見直。

寺社仏閣から税をとるべき

神社，お寺から協力金のような形で市の財政に協力頂くのが一番

古都税の導入

拝観税は取れなくても，何か協力してもらえないか

意見要旨

寺社仏閣からも税金を取る

寺院の拝観料に課税

宗教法人から徴税

寺社に関して税を徴収する

寺社仏閣税金を掛けて

神社やお寺からの古都税を徴収することも必要なことの一つ

寺社仏閣に対数税金の課税，学校へ対する税金の課税

今後は寺社・仏閣にも固定資産税の徴収を行い，京都市の財政安定につなげていったほうがいい。

お寺などへの固定資産税の多少の課税

市民の意見は何も聞かず，観光ファーストでありながら，市民サービスを削る案がいくつも出されている。議員の削減や寺社仏閣からの徴税など，先に見直すことがあるはず。

寺社仏閣の拝観税などを再検討すべき

市民にばかり増税をちらつかせるのは違和感。寺社仏閣がもっと協力すべき。

古都税を全ての観光寺社から徴収すべき。

寺院などに対して厚遇しすぎを考え直さなくてはならない。

寺社等にも課税すべき。

神社仏閣や低所得者層にも聖域なく課税すべき。

拝観料に上乘せし，寺社仏閣が集めるべき。

寺社仏閣から税金を取るべき

神社仏閣，宗教法人への課税を実行すべき。

寺社仏閣から税金を取ればいいのか。

神社の固定資産税免除はおかしい。固定資産税をかけるのが正しい。

寺や神社に再課税すべき。

古都税は可能。

古都税を徴収すればよい。

意見要旨

寺院関係からの納税を考えてみてはいかがか。

寺社仏閣から税を納めてもらうべき。

神社仏閣から税金徴収

全お寺から、または利益が明確に出ているお寺から、税を徴収する。

京都は、神社、仏閣が多くあるのに、税金をとっていないので、京都をよくするために、とってもらいたいです。

古都税を導入すべき

観光寺院から税を徴収すべき

お寺からの税金を徴収するべき

観光寺院の入場料などは、課税していくべきだ。

寺社仏閣から税金を徴収するべき

寺社仏閣から税金を徴収するべき

神社仏閣からの歳入を見込む仕組みの導入や強気の交渉は急務だと思う。

かつてない財政危機には、これまでなしえなかった神社仏閣からの税収を見込むかつてない制度改革で対抗することを望む。

寺社仏閣から少しずつ協力してもらう。

神社・仏閣からの税金徴収、企業からの累進課税徴収をしてほしい

寺社仏閣の土地の有効活用を検討してほしい。

拝観料の数%は税金として納めていただいても良いのでないか。

支出削減も必要であるが、寺社仏閣に対する破格の優遇を見直すなど、収入面の不公平とも見える面の是正が必要でないか。

神社仏閣からも固定資産税を取ることができないなら、それに代わる協力金など形を変えて京都市に支払ってもらうようにしないといけない。

非課税法人である神社仏閣、学校法人等に対する新税を創出する。

お寺や神社は拝観料を取っているのだから税金を払うべき。

寺社仏閣の拝観料に100円の観光税を徴収することを考える時。

寺社仏閣から税金とりましょう。

寺社仏閣から期限付で税収を徴収し、基金の補てんとすべき。

意見要旨

古都税を再導入すべき

寺社仏閣への観光税を実施すべき

神社から徴税すべき。

神社仏閣から税金をとるべき。

寺の拝観料から税金をとってください。

広く浅く観光客から観光税をいただくために、拝観入場料に50~100円加算してもらい、税収確保の一部としてはどうか。

「古都税」も丁寧に説明すれば、受け入れてもらえると思う。

寺から税金を取る。

寺院から税をもらうべき

財政難なら神社仏閣からお金をとるべき。

寺院から税金を徴収するべき

お寺からの税金を徴収するべき

寺院がなぜ優遇されるのか

寺社仏閣から税金を徴収すべき

神社仏閣等の固定資産税が免除されているのはあまりに不平等です。

- ・一般的な古都税ではなく、富裕な観光寺社に「市政協力金」を支払ってもらう。あるいは、「一日拝観券」を作り、収入を市へ。
- ・宿泊税は宿泊する観光客に限られる。一般の観光客から何とかして観光料を払ってもらう。

神社仏閣に税を課せる

税率の引上げ、寺社仏閣からの税徴収を行うべき

寺社仏閣から税金を徴収するべき

観光寺社全ての宗教法人から観光税を徴収すれば良い。

観光寺社仏閣へ観光税を徴収すれば良い。

寺社・仏閣からも何らかの納税を。

寺社仏閣への課税に再挑戦してほしい。なんとか協力と理解を得て徴収してください。

大規模な新税を導入したり、寺社仏閣から大規模な寄付を募ったりしてはどうか。

意見要旨

古都税を復活し観光文化税として、自社仏閣から徴収すべき。

寺社仏閣に課税すべき

神社仏閣に課税を考えてはどうか。市民アンケートするべき。神社仏閣も大切だが、経費として認められるもの、課税するものを見直すべき。

神社仏閣の拝観料から税金を取るべき。

観光寺院に文化観光税を新設して徴収すべき。

観光寺院から古都税のように観光文化税を導入

寺院や観光客から税金を取って欲しい。いい加減、利権などにこだわっている状況ではない。京都を好きな方は多いので、観光客から少しずつでも協力金を集めることで、収入の足しになると思う。

取れるところから取る。ということではなく聖域なく税負担も求めるべきです。宿泊税のように、寺社仏閣にも負担してほしいと思います

お寺からの税金の徴収をこの際真剣に考えては。

寺からもっときっちり税金を取るべき。

寺社仏閣から税を徴収すべき

寺社仏閣からも税金を納めてもらえばいいと思います。

寺社仏閣から税金を取ればいい

古都税導入の再検討

古都税の検討をするべき

高所得者や資産家、非課税とされる寺社仏閣の脱税に目を光らせ、増収を狙うべき。公共事業で漁夫の利や棚ぼた利益を得たもの（団体）への課税強化は当然されるべき。土地資産に対する増税も視野に入れること。

寺社仏閣へ課税してほしい。

古都税を実施してはどうか。

古都税を導入すべき

古都税を導入すべき

寺社仏閣から税を徴収するべき

寺に課税を。コロナ禍でも寺は何もしてくれていない。

寺社に課税すべき。

宗教法人への非課税が大きすぎる。京都市は他都市と比べ、寺社仏閣の数が突出している。その数だけ固定資産税のかからない土地があり、課税すべき。

意見要旨

数ある寺社仏閣から税金を取るべき。

神社、仏閣から税金をいただくべき。

収益を得ている寺社仏閣からも税金を取るべき。最初は反対の意見も多いかもしれないが、粘り強く交渉すれば、理解してもらえらると思う。

宗教法人から法人税を、神社仏閣から固定資産税、所得税をとるべきではありませんか

寺社仏閣から税金を徴収してください

寺社から税をとるべき

お寺神社から一定期間を定めて税金をお願いしてはどうか。参拝料を取っている寺については、1人当たりの寄付をお願いしてはどうか。

税金を取る相手を考え直して欲しい。大企業や神社仏閣などからも税金を取らなければ京都市の財政は厳しいまま

寺社仏閣にも固定資産税を徴収すべき。なぜ宗教法人は支払わなくていいのか、これこそ差別である。

寺と喧嘩してでも恒久的な観光税を導入してほしい

社寺の税金を考えるべき

寺院から古都税をとればいいし、マスコミやネットの勢いを借りればよい

市民税、固定資産税を増やす前に、寺社にも何かしらの課税をすべき。

観光客や寺院にも課税負担を求めるため、新たな課税科目を作る必要があると考えます。

まず坊主から金をとること。

寺社仏閣も観光業で潤うのなら、税金を納めるべき。色々な免税をされる必要性は無い。

寺社仏閣、学校からも法人税をもらうべき。皆さん高い車に乗ったりしているので問題ない。

課税自主権を活用し、非課税で実質、収益事業を営んでいるような寺院へ徹底的に課税するほか、観光客への課税など徹底的に見直し、新設してほしい。

市民に負担を上乗せする前に寺社仏閣の拝観料から税を徴収いただきたい。

根強い交渉と法改正による古都税の復活。

神社仏閣にも財政改善に役立ってもらうような仕組みづくりをしてほしい。

古都税導入の再挑戦・固定資産税の徴収を実施すれば、一般市民は行政改革に全面協力すると思う。

税収を増やす目的で、寺社にお願いし、参拝税を導入すべき。

神社仏閣から税金を徴収する。

意見要旨

寺社仏閣から税金をとれ

寺社仏閣から税金を徴収するべき

寺社仏閣から税金を徴収するべき

寺から税金をとるべき

寺から税金を取るべき

古都税を導入し、固定資産や拝観料に課税すべき

持続可能な財源の確保として、古都税の導入が必要ではないか。

神社仏閣に課税できる新古都税などを本気で検討すべき。

多くある寺院からの税金を取れば良いのではないか。

寺の拝観料に古都税をかける。

お寺からの税収は見込めないのか。

寺院から税金を取ってほしい

神社仏閣から税金を納めてもらってほしい。これは、行財政改革の一丁目一番地のはず。

寺社仏閣の遊休設備を観光資源に変えて貸し出す。

市民だけでなく、京都に来ている方からも新税（古都税）といったものを創設できないか。

寺社仏閣から税金の代わりに協力金を徴収すべき。

お寺から税金を徴収すること。

お寺の収入や支出といった詳細を市民に知らせたうえで、お寺から税金を徴収するべき。

古都税を導入するべき

寺から金をとるべき

寺から金をとるべき

観光寺院から協力金をいただく代わりに、環境整備の規制を検討するべき

お寺さんからも税金を頂くわけにはいかないのか。寺院というだけで税金を免除されるのはおかしい。

寺社などからも新税を徴収してはどうか

意見要旨

京都市の財政構造の大きな問題は、大学や寺社といった固定資産税が賦課されない施設が多いことにある。そのような施設からも税金を取ることにも必要になってくるのでは。

寺、神社から税金を取るべき。

観光客からの入場料収入を得ている寺社から収入を得るべき。

大きな宗教団体からはしっかり税金を徴収するべき。

寺社仏閣からも財源のためのお金を払ってもらえるようにできないか。

寺から税金を取るべき

寺や神社から固定資産税的な税を設けては。

寺社仏閣から税を払ってもらってください。

観光寺院から、税を取るのが難しいなら、「協力金」をいただけるようにすべき。

古都税をもう一度議論すべき。

神社仏閣から税金をとること

寺から税金をとれ

寺から税金をとれ

神社仏閣からも税金をとるべき

お寺の拝観料の一部を市税収入にするべき。

寺社の拝観料に税金をかけてはどうか。

寺社などと話し合って新税を作れないか

観光寺院への優遇の撤廃を

神社仏閣から税金を取るべき

古都税を復活させ仏教界から徴収するのはいかがでしょう

古都税を導入するべき

古都税の不毛な争いを繰り返してはいけない。現在あるお金で運営すべき。

古都税を導入するべき

宗教法人に課税すべき。世論から盛り上げるべき。

意見要旨

観光税， 古都税を検討すべき。

非課税の寺社仏閣から税金を徴収するのはどうか。

寺から税金をとれ

寺や神社から固定資産税等を徴収できないか。

観光客からもうけている寺社から，何とか税収は得られないのか。無理なら寄付でも。

保育士補助金をカットするより，神社仏閣から税金を徴収すべき。

石にかじりついてでも古都税を導入すべき。

寺社から税金を取るべき

観光産業企業や寺社への課税を検討すべき

寺社への税金導入

寺から税金を取るべき

寺から税金を取るべき

寺から税金を取るべき

寺社仏閣からお金をとるべき

お寺から税金を取るべき

寺から税金を取るべき

寺から税金を取るべき

寺から税金を取るべき

寺から税金を取るべき

寺から税金を取るべき

寺から税金を取るべき

寺から税金を取るべき

寺から税金を取るべき

寺から税金を取るべき

意見要旨

寺から税金を取るべき

寺から税金を取るべき

寺から税金を取るべき

寺から税金を取るべき

大企業や寺から税金を取るべき

4 行財政改革の取組について（1）

その他の課税自主権への意見(200件)

意見要旨
観光税，宿泊税を導入すべき
課税率の引き上げ検討すべき
市民への課税額を上げることは反対
ホテル税を新設してはどうか。
市内の田の字地区や主要観光地周辺は車に対して通行料金を徴収すべき。
固定資産税，市民税，保険料の値上げを行えば，若い世代は京都市から出ていく。
新税の検討，税収増に取り組んでほしい。
お金がないことの打開策に妙案などない。さらに税金を払ってでも維持してほしいサービスばかりではなく，負担の増加，税金の増加は受け入れられない。
儲けている企業の税金はもう少し負担を増やしてもいいと思う。
炭素排出税，エネルギー抑制のための税制のようなものを新税として検討してほしい。
洛中への自動車乗り入れには高額の料金を取ることも大事。
何の恩恵も受けていない私たちの税金が，市にお金がないと理由で上がるのは納得いかない。払う理由がない。
私立学校への課税率増加
駐車場税や炭素税など新しい税の導入や，高さ規制の緩和により税収増に取り組んでほしい。
観光税の適用要件
歴史的建物の固定資産税の課税
社会通念上，適正に利用できていないと判断されるものには有償化するのも税収アップのひとつと考える。
観光客から莫大な税金をとること
固定資産税の増額は直ちにできそう
宗教法人，学校法人に対して，少なくとも固定資産税は課税すべき。
インターネット関係で大きな利益を上げている企業や個人から確実に税金を取れているのか。
観光客から観光税を取っても良いのでは。
観光税の徴収方法の研究を大学に委託してはどうか。

意見要旨

宗教税として考えられる収入税を法人にも課税できる事業収入税・農業収入税・金融収入税として創ってはどうか。また、歳入にも収入として課税するので、歳入逆税としてポイントカードを毎年作って配ってみては。

観光税の導入拡大。

新税の具体的内容が示されないと実現可能か判断できない

超過課税しても良いが、先に見直しと給与削減。またそこまでして行う施策はあるのか。

低所得者層を優遇しすぎており、高所得者層の税金が高すぎる。

大企業に負担を強いるべき

宿泊税を値上げすべき

京都市に入ってくる車に対して税金を徴収する

宿泊税も入浴税ももっと沢山とって

大学に新税制を導入

駐車場などの人が住んでいない土地の固定資産税を上げるべき

宗教法人や外資系ホテルなどからもっと税金を徴収するべき

大企業法人、市民税は他の政令市と同じ水準8.4%に引き上げる

観光客にも課税する制度も考えるべき

大企業から税金をとるなど、もっと他に見直しすべきところがあるのでは

観光客が戻れば宿泊税の値上げは検討すれば良いと思う。

複雑な税制は反対。

固定資産税の超過課税。

大企業優遇の税制は見直してほしい。

固定資産税を増やす方法を考えるべき。

学生税を導入すればいい。

観光客から税を取るべき。

法人税をあげるべき

歳出削減の徹底したうえで、全国的にみても高給な職員給与を削減し、それでもどうしようもない場合においてのみ税金の値上げを考えるのが筋だ。

固定資産税は0.1%、法人税は0.4%上げるべき。観光客が減少しているので宿泊税はほぼあてにできない。

空き家が続いている場合、固定資産税を上げるペナルティを課すべき。

意見要旨

税金滞納者から確実に徴収すべき。

債権回収の効率化はぜひしてほしい。

別荘税等の課税アップは賛成。

増税は市民や企業の流出を招く。

高額所得者の市民税率を引き上げるべき。

乱立している東京資本や海外資本のホテルから「京都税」などで搾取をして欲しい。

持続可能な税の収入は、京都市に在籍している収入のあるところから、平等に税をいただく。

外国人居住者への課税徴収

学生の町京都市は、学校法人が多い。学校法人から税金を納めていただきたい。

所有者の住民票が市外にある土地や建物の税金を高くするべき

観光客に対し、景観保全税など負担していただくのはどうか。企業からの税収は適正なのか。京都には大企業もあり、もう少し協力してもらえないか。

「宿泊税」の値上げ

「ふるさと納税」の競争に勝ち抜けるような制度設計

市民サービスは低下しても税金を上げるべきではない。

新税、超過課税の導入をはじめとする課税自主権の活用はすべきでない

増税するよりも過剰な市民サービスを停止することが先決である

ふるさと納税増加のため、京都に来ている学生の親に働きかけてはどうか。実現可能性は不明だが、ふるさと納税分の家賃を実質無料にするなどしてはどうか。

大企業の負担を増やす。

大企業に対して法人税を上げてください

大企業に有利な税制の見直しに関する記載がないのはおかしい

課税内容を吟味し、透明な権利の行使を

日帰り客などからも税の徴収はできないものか。寺社仏閣の支払時、飲食時、駐車場、タクシーでの支払時と一緒に一定金額の入京税のようなものを徴収できないものか。

市外、海外から京都観光事業に投資する企業には、高額な法人市民税を払ってもらおう。

税の取り方が不公平である為、低所得者は働ける場所が必要

観光税を徴収して欲しい

空き家問題についても住民が住んでいないところに固定資産税を上乗せするとか形式ばった設問ではなく、まずできることからする

意見要旨

固定資産税の税収アップ

企業、法人税など、お金のあるところから税を取れと声を大にして言いたい。

税率の引き上げを検討すべき。固定資産税や法人税など。

固定資産税の値上げ等あれば、市外に出たい。

市内でホテル等を経営する市外企業や、外国人に課税すべき

市民以外から税収を確保する取り組みを考えてほしい

観光に税金を投入しすぎ。

京都市に住んでいない人の別荘（土地・建物）に通常の10倍の固定資産税を導入

大企業への税金の応能負担

大企業、ホテル業界から法人税をきちんと徴収する。

観光客への入浴税や、中国富裕層の購入マンションへの高率課税など検討すべき。

固定資産税の大幅累進

税収を増やすべき

新税の導入はできるのか。本当に実行できるのか。その中身は何か。

散々儲けてきた宗教法人から特別税を納めていただくことを筆頭に、取れるところから遠慮なく税金を納めていただくべき

入場料を取っている宗教法人から、その数%を税収にできないのか。

大企業（法人）に対する課税率の引き上げ

宿泊税は安いので、宿泊費の1割は徴収すべき。

別荘税をもっと高くすべき。

大企業の法人市民税超過課税をもっと引き上げるべき。

宿泊税を定額にせず、宿泊料金の1%などとした方がいいのではないか。

宿泊税は低すぎる

別荘に対する課税は賛成

新税の前に、現存する税制の中で、効果的な方法を考えてはどうでしょうか。

多くの入館料等をとっている宗教法人への課税

宿泊税やごみ袋の売り上げなど、特定の事業にしか使わないお金があり、聖域のようになっている。

意見要旨

固定資産税が上がると、家賃の値上がりで京都に住みづらくなる。

若年層が住みやすくなる施策は必要不可欠。市内のファミリー向け物件は賃貸でも非常に高く、住みたくても手が届かない場合が多い。一方、高級マンションが立ち並び、セカンドハウスや海外の投資家に人気だと聞いている。こうした投機目的の不動産取引に課税強化する必要がある。

宿泊税をもっと取ればいい

空き家税（別荘税）のように一から新しい税を作ることは、人件費も含めた創設コストや徴税コストが高い割には、必ずしも税収は多くない。総額として市民に同じ負担を求めるなら、法人市民税や固定資産税等の超過課税を行う方が、はるかに効率的かつ合意を得やすい。

大企業等にお金を負担してほしい

住民票が京都以外の学生からも市民税???代わる税金を支払ってもらおう。

入湯税を新設するべき

住んでいない土地の固定資産税を上げるべき

市民税や固定資産税等の値上げや、高額所得者や優良企業への税率引き上げを検討するべき

デフレ下で増税は行うべきでない。

高額所得者の税額を低くするのか当時理由が分からなかった。高額所得者から、もっと徴収すればよいと思っていた。

担税力、税を負担できる力がある者から税額を増やすことを検討してはどうか

税収増のため、大企業の法人市民税の課税を適正なものに改めるべき。

法人市民税超過課税の引き上げ

税金を上げないでほしい。

国に働きかけて富裕税を取るべき。

国に働きかけて消費税を5%に戻し景気を回復させること。

観光関係者から観光税を負担いただくことを切に望む。

財政改革のために、市民税の増税等、観光とは関係ない市民の負担が増加しないように要望する。

市民税について、京都市内に居住している人は全員が支払い義務を負う。収入のある人は全員が支払い義務を負う。

外国人のしない不動産購入には追加税するべき。

収入を上げる取組として、法定外税の設定はどうか。観光税のようなものとして、観光客からお金を少しずついただく、もしくは観光地の値上げなど。

大資本を優遇し、敬老パスが財政を圧迫しているなど、あなたのカラクリはばれている。金持ちにもっと負担してもらいなさい。

宿泊税の拡充など、観光客に京都の財政に貢献してもらおう仕組みづくりが必要。

税収を改善する具体的提案に欠ける

意見要旨

更地を利用した商売への重税をやめてほしい

学校や病院から税金をとれ

高額所得者から税金をとれ

大企業の超過課税を8.2%~8.4%にするべき

大企業の法人税率をあげればよい

税負担増で対応するのが良いと思う

大企業などへの課税強化

大企業の法人税の引き上げなど、お金を持っている人から公平にとってほしい。

宿泊税をさらにとるべき

外国人や投資目的の不動産購入には高い税率をかけるべき

法人税の上げ幅が狭すぎる

法人税を引き上げる根拠はあるのか。京都には大企業がたくさんあるのでもっと法人税を上げたらよい。

観光客も含めた税検討をしてください。

法人税はもっと上げていい。固定資産税ももう少し上げられるかも。

外貨を獲得するため、京都に営業所を持たない企業に売上の20%を納税させたり、法人税を納められない外資系の固定資産税を2倍にしたり画策すべき。

税の納付に関する税を増やす

宿泊税を値上げすべき

法人税値上げすべき

増税策は何も実施できず、社会福祉関連経費のために、他の費目が削減される展望しか見えてこない。

課税自主権の活用には大賛成だが、具体的にどのような「新税」があるえるのかを計画に盛り込むべき。

四条通りを市バス、タクシー以外乗り入れ制限する施策を導入していただきたい。入浴する車に対して入浴税を課してはいいかがか。

新税の導入を積極的に検討いただきたい。

即効性の高い既存税目の税率引き上げを実施すべき。

法人市民税の法人税割の超過税率を0.2%程度の引上げは速やかに行うべき

お金持ちの企業から税金を徴収するべき

開発より歴史都市としての魅力を公的に発信し、それを守るための負担を観光客、業者、大企業から求める。

意見要旨

収入の多いところからは多く税金を徴収すべき。

収入の多いところから多く税金を徴収し、不公平をなくすことが税金の原点である。

観光客や外資系ホテルから徴税してはどうか

学生から少しくらい税金を取ったらどうか。

非課税世帯の増加，若者の不就労，若年層の生活保護世帯の問題を解決し，少しでも税収を増やしていく手立てが必要。

店舗や商業施設や商品に，納税作が京都市かどうか分かる表示をしてもらえると，買い物やリフォーム工事の発注の際，できるだけ選びたい。

宗教法人や学校法人への固定資産税課税の漏れがないか精査していただきたい。

京都市から外部に発注している公共事業や仕事や商品など，できる限り京都市に納税している事業者を選んでほしい。

子育て世代，若者の市外流出を防ぐため，セカンドハウス課税の早期実施を求める。

道路に負担をかけるマイカー通勤・観光に対する負担を適正化すべき。他府県ナンバーを受け入れるほど，道路は傷み，バスも遅れ，歩行者は危険に晒される。

お金に余裕のある層からの税収や安い電気自動車税の見直しなどをしてはどうか。

大企業への公平な税負担が課題になっている。聖域扱いせず見直しを。

宿泊税を強化しては。ヨーロッパではクラス別に宿泊税に差がある。

財源は，大企業の法人市民税超過課税を，現在の8.2%から上限の8.4%にすれば年間4.5億円の税収増になります。

法人市民税8.2%から8.4%に上げる程度のことで回避できるはずである

大企業からの税金を増やすこと，お金がある所から徴収することから始まりではないですか

市の土地や学校跡地などを民間や外資に売り渡しているが，京都市に税金が入るように工夫できないのか。

コロナ禍で利益があった大企業から法人税をたくさん取ってください。大企業のお子様も民間保育園にはたくさんおり，就労を支えています。

もっと観光客から収入を得てほしいといつも感じている（新税の導入）。

放置自転車撤去保管料の受益者は観光客。寺社の拝観料に課税すべしなど，観光客に負担を求めるべき

観光客から税収を得て，それを観光施策に生かすべき

「京都」の名前を使って商売をする個人や団体に「京都ブランドの使用料」を請求すべきだと考える

今以上に税金を上げるとは，死ねということでしょうか。

お金をもっている人ほど，多く税金をとってほしい。

宗教法人から税金をとるべき

大学はもっと京都市へ貢献するべき

意見要旨

高所得者の税率を引き上げてほしい。

「インフラ利用」に関して課税することはできないか

観光客からもっとお金を取る。

高所得者から税金をとれ

宿泊税を上げるべき。

地方交付税の増加を当然のこととして国に訴えてください。

企業に、正当に法人税を支払わせれば財政は正常化にぐんと近づくはず。

観光客から税金を取るべき

法人税の引き上げについての記載がない。

固定資産税率の引き上げは実施する方向で進めた方が良い。

新税の導入を進めてほしい。

宿泊税を10パーセントに変更しては。

税金をもっと取るべき

税金引き上げは反対

税金引き上げは反対

税金引き上げは反対

金持ちから税金をとれ

法人市民税を引き上げては。

法人税を上げることは反対

外国人観光客から税をとる。

観光客からもっとお金をとるべき。

外国人から税をとる観光税を始めればよい。

4 行財政改革の取組について（1）

議会に対する意見(203件)

意見要旨
議員数を減らすべき。
議員の給料20%程度は当然。身を切る行動をせずに市民に負担を強いることは間違い。
議員の報酬，議員数を削減すべき。
市会議員の減給をするべき
市会議員の数削減，給与削減すべき
市会議員の減給をするべき
議員数と議員報酬の削減が必要。
議会の組織，人員，人件費の削減を第一に掲げるべき。
議員は給与を5割カット，退職金も全額か5割カットすべき。
市会議員定数の削減と議員特権の撤廃，交通費の削減をすべき。
議員の定数を削減すべき。
議員の報酬や定数を減らすべき。
議員は退職金を返納し，報酬を70%カットすべき。
議員が反省し，報酬の大幅カット，議員数の削減をすべき。
議員の給料は下げるべき。
議員定数を減らすべき
今まで全国でも最低レベルだった市民サービスをこれ以上低下させないこと。市役所改装など無駄な事業をやめ，議員・公務員の給料を減らし，観光客から莫大な税を取ればいい。
高齢者が多く議員は皆，高齢者に向けた施策しかマニフェストに挙げていない。
議員数の削減をすべき
職員の削減・給与カットをするなら議員数の削減・給与カットも行うべき。

意見要旨

議員の報酬を削減すべき。

議員の資質が低く、報酬に見合っていない。

公債償還基金の計画外の取崩しが始まった平成17年度以降の議員が報酬の自主返還をすべき。

市会議員の報酬を大幅に下げるべき

財政再生団体になる前に議員の給与カットで調整するべき

市会議員の給与・退職金は大幅カットすべき

議員が先頭に立って改革するというメッセージを発信するため、改革案に議員の報酬削減を明記すべき。議員定数の削減は反対。

市会議員の数の削減・報酬削減をすべき。

議員も削減すべき。多過ぎる。

市長や議員について、最小限で結構。人数も報酬も半分にして欲しい。なぜ市長や議員のことに触れないのか。政務活動費や他都市の視察の実績、と都市と比べるところはいくらでもあるはず。職員や市長が給料を削るなか、なぜ議員は削らないのか。議員の報酬も市民の平均給与と同じにして欲しい。

議員の数と報酬を半分にすべき

市会議員を減らすべき。議員報酬を減らすべき。

市議等削減減給

議員大幅給料カット

議員数を減らす

議員の責任も明確にすべき

議員数及び人件費の削減

議員が総辞職し、行財政に真剣に取り組む方を選挙で選んで、危機を乗り越えるしかない。

市会議員の報酬を最低賃金で計算した月給にすべき。

議員の給与を下げればよい

市民・市職員・市長は、市民サービスの低下、人員削減・給与カットにより、身を削っている。市民の代表である市会議員も数や給料を削減すべき。

市会議員の削減・給与削減を考えてほしい。

市会議員報酬は半額に。

市民も職員も市会議員を「先生」と呼ぶべきではない。市民として議員に対しこれを指摘してこなかったことを反省している。

議員報酬の50%削減

議員報酬や政務活動費は高すぎるので削減すべき。

意見要旨

市会議員はほぼボランティア精神で活動してほしい。報酬を廃止，議会開催時のみ時給制（最低賃金）。

議員数を削減すべき。

議員給料報酬削減

議員報酬が高すぎる。

議員定数を減らすべき

議員も給料を落とし，退職金もなしに

議員の人件費を削減すること。

議員定数を減らすべき

議会のボーナスの見直しを図るべき。これまで問題を対処しなかったツケを市民が支払う前にすべきことがあるはず。

議員のボーナス，給料を見直すべき

行政のことばかりが改革項目となっているが，2週に1度の委員会，本会議の代表質問や総括質疑など，市会に関する業務も見直すべき。職域の負担が大きすぎる。

財政当局が市会から責められてばかりであるが，それをチェックできていなかった市会議員が責められるべきでないのか。

議員の給料をもっと減らせないか。

議員の報酬のカット

市会議員の報酬カット，人員カットを求む。

議員の給与だけでなく政務調査費などの経費も削減すべき

市議会をリモートにすれば交通費が不要になる。

議員がが身を切る思いをせず市民に負担を強いるのは責任放棄。

議員数の削減など，議会も本気で改革すべき。

議員の報酬や政務活動費をカットし，ボーナスも半分にすべき。

市会議員は辞職すべき。

議会の議論のレベルが低すぎる。
早急に議員の少数精鋭化を希望。

議会のためにどれだけ人件費がかかっているか分かっているのか。職員が残業してまで運営する必要は全くない。

財政危機に陥ったことに対する市会の責任は大きい，議員の給与カット，定数削減などを行うべき。

議会が身を切る改革を。

議員の給料を下げれば簡単な話

議員の人数が多すぎもっと減らせばいい

意見要旨

議員が身を切るべきだと思います

職員だけでなく、市会議員の定数も削減すべき。福岡市と同様規模にはできるはず。今回の計画期間において、「5人」削減を強く求める。

議員報酬が日本一高額の理由は何か。日本でも極めて物価が高い千代田区議員の1.5倍。議員自らが己を律していただきたい。

議員の人件費を大幅カットしてほしい。

議員定数を減らすべき

市長、議員、地元役員の自己満足的な催しに公費をかけるべきではない。催しを開催して笑顔を振りまく市長の危機感のなさに驚く。

議員の給与を最低賃金で計算した時給制もしくは、議会開催期間のみ日当1万円別に交通費のみ支給で良い。

市会議員の報酬も議会開催中のみ日当1万円交通費支給又は最低賃金の時給制で退職金はなしにすればいい。

議員報酬を削減し、政務活動費を廃止、交通費のみ支給し、退職金制度を廃止すべき。

議員報酬は年収120万円にして退職金、政務活動費を廃止すべき。

財政危機の責任は市会及び各局長等にあるのであって、末端の公務員にはない。

先日の松井大阪市長の意見について、市長、議員の方は本気で考えてほしい。

市会議員の報酬+政治活動費を半減

議員定数半減

職員定数や人件費削減の記載はあるが、議員定数や議員報酬削減の記載はない。身を切る改革をするのであれば、議員とも痛みを分かち合わなければ改革ではない。議員報酬も市民の税金。

議員はもっと少なくてよい。

市議や特別職の給料削減や定数削減について言及されていないのはなぜか。市議は都合の良いことを言って利益誘導に精を出す一方で、財政が悪くなれば職員をたたきだけか。

議員数の削減と、議員報酬の削減をお願いしたい。

市会議員の定数削減

京都府議会委員の給与が全国第3位。収入が少ないのに、何故給与は高いのか。削るべき。

他都市と比較して職員数の話をするなら、市会議員の給料も他都市と比較してメスをいれるのは当然だと思う。

市会議員の人件費抑制、定数減を行うべき

議員の削減を行うべき

門川市長の任期内に立て直すことが政治責任である。市会議員、幹部職員を含め、責任逃れの計画

職員だけでなく市議会議員の給与と賞与とのカットを行わないと、市民は納得しない。

議員の給与が高すぎる。

議員のボーナスの廃止

意見要旨

議員数の削減と給与の削減を行ってほしい。

市長，議会，幹部は何をしてきたのか

市会議員の給与1割減らす

市職員の給与見直しのみならず，市議会議員の報酬も含めた恒久的な見直しを検討してはいかがでしょうか。

財政破綻の危機は市長や議員の責任。今後は市長や議員の意見を忖度せず，市民の方を向いて財政再建に取り組んでほしい。

議員の報酬・人数削減を先に行うべき。

先に京都市議会議員と呼ばれる方々の報酬を減らすことを実行していただきたいです

市会議員の報酬はカットしているのか。そもそも70名近くも議員が必要なのか。

市会議員の報酬カット，定数削減

地方議員は無償ボランティアという国は今どき珍しくありません。
京都市も全国に先駆け、副業前提で、議員報酬は交通費等経費のみにしましょう。

市会議員は多すぎる

市会議員に対する歳出が多すぎる。減らすべき。

市長，市会議員は選挙の票は気にせず，また，企業や宗教団体の顔色を見ないで，市民を見て市政の運営をしてほしい。

議員の給与カット

市会議員の給与が高すぎる。

委員会の中継を見ていると，偉そうに議員が行政側を責めているが，議員が一番責められる立場であることを分かっているのか。計画には市会としての今後の市政に対する責任を明確にすべき。

議員は何をしていたのか。議員も議会改革計画を出すべき。

間違った経営をしてきて市民の生活に痛みを与えるのはいかなものか。市会議員の給料カットが先。

議員数削減，議員報酬50%削減

市会議員も半数で十分。または他都市のように日当制か費用弁償制にでもすべき

議員報酬の50%以上の大幅なカットなど，責任の所在を明らかにすべき。議員の責任は非常に重い。

財政的に問題があるなら，議員がもっと負担するべき。

市会関係の業務による非効率もある。無理・無駄な業務削減につながるよう，各議員からの質問などを全て公開するなど，業務負担の削減に努めるべき。

給与見直し等はまず議員からはじめるべき。

議員が先頭に立って大胆な報酬や定数の削減をしないのに，現場で真面目に取り組む職員や子育て世代へ負担を強いるのは明らかにおかしい。

型破りの市会での推進体制づくり。市会議員は何をしているのか。

市議会議員の給与削減を盛り込むべき。

意見要旨

市会議員の無関心にも腹が立つ

市長と議会の責任は重い

議員報酬を削減しろ

議員数を見直すべき

市議会議員の定数を削除すべき

市長をはじめ市会議員の給与も一律10万円、交通費無しにする。議員定数も大幅削減。これぐらいのことをしないと、「改革する気ない」と認定せざる得ない。

市会議員を70人も必要ない。

市議会議員の定数、報酬も他都市や類似団体との比較から本気で見直してほしい。

市会議員数の削減は行わないのか。

市議会改革や議会経費の改革も真に必要ではないか

朝鮮学校への補助金を取りやめ、無駄な都市計画を中止、市長及び議員の報酬の一部返還をまずやるべきでは？

市職員だけでなく市議会議員との連携を強めていただきたい。

議員の報酬削減に取り組むべき。

何の監視機能も行使できなかった市会議員全員が責任を取り、半減するべき

市会委員会で議会が行政職員にパワハラをしている
市議会議員の給料を一律半減すべき

市会議員の定数を半減且つ市会議員の給与を半減。市会議員に対する市民代表からの評価制度を導入して、結果を広報で市民に周知する。

市会議員の定数減、報酬減が最適。

市会議員の定数減、報酬減が最適。

市会議員の削減が必要である。

議員の報酬をカットするべき

保育士補助金を見直すよりも先に市会議員の給料を削減すべき。

保育士の前に、市会議員の給与に手をつけた方がよいのではないか。

政治家の給料を下げたらどうか

京都市独自事業や人件費に焦点が当たっているが、これまでの財政運営を認めてきた議会にも責任はある。議員定数や報酬にも言及すべき。

職員の士気を下げないためにも、議員も自らの身を削っている姿を見せてほしい。

市会議員の数が多すぎる。議員定数の削減をすべき。

議員の給与や賞与を減らしてからにしてほしい。

意見要旨

議員の活動費削減するべき

議員数削減と給与の見直し

議員の退職金を見直すべき

議員定数削減も議論すべき。これまでの負債は議員にも責任がある。市民の意見を行政に伝える方法は議員を通す以外にも多様化しており、定数が適正か議員から提案があるべき。できない議員は市民に寄り添えていない。

財政難はコロナ禍によるものではなく長年の放漫経営を続けてきた議会の責任。

市会の在り方を見直すべき。議員のレベルが著しく低く、議論がかみ合っていない。職員は市会の無駄な議論やその準備に余計な時間がかかっているように思う。

議員年収が1~2千万と異常に高額。市民の反感を買っており、民間同様、5百万程度とし、議員パスやバッジも廃止。政務調査費や活動費は後日支給でいい。

議員の報酬は多すぎる。

市民の代表と言い切る市会議員の議員報酬を削減するべきである。

議員の削減、給与カットの議論が必要。

市議会議員を半分にするか、給料や手当を半分にすべき。

議員の報酬はカットしないのですか

労働者に当たる一般職員の給与や職員定数を減らす前に、まずは、議員報酬など、企業でいう役員に当たるものが率先して身を切るべき

議員削減するべき

市会議員が身を切ることを考えるべき。

仕事をしない議員給与の削減と議員定数を減らすべき。

市議会議員の給与もみなしてほしい。

職員より先に議員報酬を見直すべき

市会議員は辞任すべし

市会議員は辞任すべし

議員定数を減らすべき

議員の給料を減らすべき

市会議員の数を減らしてはどうか。

与党は細かい揚げ足を取って、行政が予算を削れなかった点はないか。自民党も反省を示したうえで進められたい。与党会派に継続してもらいたい。

議員の報酬をカットすべき。

議員の給与カット

改革推進体制について、議会の関与も明記すべき。

意見要旨

議員を減らせ

議員の海外行政調査という名の慰安旅行の永久凍結。

予算を認めてきた議会にも責任がある。

なぜ市会議員のことが書かれていないのか。市長は給料を3割カットしている。なぜ議員も同じことをしにののか。理解に苦しむ。

議員のボーナスもなくすべき

市政だよりに市の財源が使われているならばやめるべき。議員自らがネット配信などすればよい。

市会議員も率先して報酬カットを超党派で提案してほしい。

議員・議会の改革が一切記されていないのは問題。定数と報酬の削減も必ず行うべき。

議員の人数と給与は今の半分で十分。

まずは議員が身を切る改革を。

議員数，報酬削減するべき

議員数の削減するべき

議員報酬を削減しろ

議員報酬を削減しろ

議員報酬を削減するべき

議員報酬を削減するべき

議員数と報酬を削減しろ

議員の数を減らせ

4 行財政改革の取組について（1）

区役所についての意見(25件)

意見要旨
区役所を減らしてはどうか。
適正規模の行政区割を考えるべき。
任意団体の事務を区役所が行うことは不適切，事務の効率化を図っていただきたい。
区役所規模を縮小
区役所が多すぎる。
人口の少ない東山区は山科区と合併，洛西，醍醐支所を出張所にして職員数を減らせばよい
区役所の数を減らすべき。
区役所の住民票発行の窓口は不必要に人が多い。銀行のATM，証明書のコンビニ交付のように，区役所でも機械化をはかり，最低限の人員配置とすべき。経費を見直さず，市民負担を増やすようなことは，絶対にしないでください。
西京区に市民が安く集える施設を造ってほしい
西京区にもっと光を当ててほしい
区役所の空きスペースについて，企業への貸出，広告スペース・自動販売機の設置により，収入を得るべき。
区役所は不要。オンライン化と統合を進めるべき。
区役所等の空きスペースについては無駄
東山区，洛西支所は統合すべき。 上京，中京，下京も一つにできる。 もっと区を減らさないとダメだ。人件費がムダ
全ての区に区役所は必要ない。出張所の規模で良い。
区役所などの窓口は民間に任せてはどうか。
行政区による市民に対して差があるのは，どう考えているのか
行政区が多すぎる。
区役所に意見用紙を持参したが，市役所に出せと断られた。この程度の対応もできない区役所なら廃止にしてもらいたい。
区の統合を進めるべし
区役所は統合すればよい。

意見要旨

区役所は本当にサービス精神がない。

区役所の建物を統合しては。区の合併は住所表記にも影響するので別にしなくてもよい

そもそも末端の職員に予算に関する権限はなくこのような財政難になったのは権限を持つ市長，市会議員，局長等である

各区で実施している祭等を集約して実施するなど，11区それぞれに架かっているコストを少なくする及び各区の連携ができる事業に変えていってはどうか。

4 行財政改革の取組について（1）

市民しんぶんについての意見(27件)

意見要旨
前例踏襲，実施が目的化している事業，意味不明な広報など無駄な事業は徹底的に見直すべき。特に市民しんぶんは廃止すべき。
市民しんぶんは配布する市政協力員の負担が大きい。廃止しては。
市民新聞と区民新聞との紙質を比較したら，断然市民新聞の方がよい
区版の市民しんぶんは廃止でいい
市民しんぶんの区版は不要
市民新聞無駄
市民新聞を廃止するべき
市民しんぶんの紙配布をやめ，WEBだけにしてほしい。
広報(市民新聞)にいろいろ盛り込むのではなく、もっちわかりやすく絞った形で作ってほしい。今のは盛り込みすぎて内容が多く、毎月の一貫性が見られず読みにくい。住民を増やすためには子育ての充実をアピール、雇用創出ならジョブパークの仕組みをアピール、など、焦点を絞った方がよい。
市民しんぶんは月1回（全市版）だけでよい
市民しんぶんは不要
市民しんぶんの区版はカットすべき。
市民・区民しんぶんはどちらか一方でいい。
市民しんぶんの各家庭への配布不要
市民しんぶんを使った不安をあおる宣伝を辞めるべき。
市民しんぶんはくだけすぎ。吉本の芸人を高額ギャラで使ったり，これこそ大きな無駄。
市民しんぶんは，ネットで閲覧できれば，ほとんどの人はいらぬ。
市民しんぶんの「財政不安」の記事含め，基本理念が抽象的過ぎて違和感がある。一体何が言いたいのか。
市民しんぶんは月1回でいい

意見要旨

市民しんぶんでは何箇所も不安になるような記事があった。地方自治体の広報の仕方としておかしい。

町内会長をしているが、市民しんぶんはすぐに捨ててあったり、ごみになるから入れてほしくないなどの文句を言われることが多い。市民しんぶんは廃止すべき

市民しんぶんはモノクロ印刷でも構わない。配り方について検討してほしい。

改革中であることを示すべき。例えば市民しんぶんを白黒にするなど

市民しんぶんは非効率。SNSやテレビを活用した情報発信に切り替えるべき。

市民しんぶんは不要

広告・広報費も使いすぎ。市民新聞の発行数は半分でも多いくらいかと。

広報が無駄なので、削減すべき

4 行財政改革の取組について（1）

その他個別事業に対する意見や改革の方策等(182件)

意見要旨
職員の人件費を下げるより、予算を承認してきた議員の報酬削減を真っ先に行うべき。
税金を使用する事業を取りまとめて公表するべき
市長が教育長であった際、市長自らが学校にお越しになり掃除されていた。京都が再び活気ある街になるよう、10年ほど前の基礎に立ち返ることが大切であると思う。
いわゆる「大規模校」については学校分割を行うべき。
市民にとって本当に必要な事業のみに特化すべき。
新高校は廃止すべき。
公費負担で医療を受ける患者には、ジェネリック医薬品への変更を基本とすべき。
市政協力委員の廃止
ふるさと納税を全国から募ること
同和事業を全て廃止したらゆとりが出ると思う
寄附を募ってはどうか。
犬だけ登録料を取るの是不公平。猫などのペットも登録料を負担すべきである。
交響楽団は市民にとって無意味なのでやめるべき。
区の基本計画の意見募集は無意味なこと。
援助されたり、貸付された金銭を踏み倒されなく完璧に返納するように指導をしてほしい。また、高額所得者には出せるところは頑張ってほしい。
市民に負担を求めるべきではない
小学校に対しても指定校とそうでない校の一人当たりの金額が違う
ふるさと納税一般の人にアイデアをもらえ
行政区によって学校のサービスに差がある
政府の施策に追随してきただけの姿勢を改めるべき
建設局が実施している「あなたもまちの樹ペアレント制度」の募集チラシを改善するべき
市民生活に影響が少ないやりすぎの事業はやめていくべき
ふるさと納税に力を入れてみては。
私学補助金や被災者支援廃止
ふるさと納税を充実させるべき。

意見要旨

寺社仏閣に協力していただき、厄除札やお守札をセットでふるさと納税の返礼品にしても良いと思う。

学生は学問中心な生活へ

各信号すべて変わる時間を一定にするべき。

収入増の取組みが必要ではないか。

ふるさと納税をPR

ふるさと納税を活用すべき

同和政策の脱却、インバウンド頼りの政策からの方針変更、生活保護者が適正化第三者委員会の設定。

京都市在住にも関わらず、他府県に住民票を置いている人はどのくらいいるのか

公園のトイレをきれいにしてほしい

公園のトイレをきれいにしてほしい

町内会長を承ったときの謝礼は必要ない

ふるさと納税について、もっと魅力のある返礼品を増やしてほしい。

必要なのか、そうすることでどうなるのかのシュミレーションした方がいいと思う。

泉佐野市のようにふるさと納税で復興に力を入れる。京都の場合、神社の御朱印帳が人気のため、コロナで観光に来られない方が興味を持つと思う

住民サービスの水準を低下させると、京都市から住民が流出するきっかけとなる。むしろ、住民サービスを充実させ、京都市に住みたいと思うような施策を実施、広報すべき。

この財政難の中、舞妓などに特別給付金10万円を追加で支給した理由を説明するべき。

社会福祉関連経費や公共部門経費については、身を切る見直しが不可避

岡崎公園の市電を交野の霊園業者に譲るとは、普通は有り得ない。市電の資料を文化財登録しながら逆さまのことをするのが信じられない。

京都市の高額なゴミ袋の収入の行方を知りたい。

市民生活に直結しない無駄なことは取り下げてください。

地域の地図が毎年配布されているが、必要ないと思う。

中心部ばかりに税金を使わず、周辺の人口増加地区にも公平に税金を使うべき。

一番の行政改革はお手盛り市民サービスをやめること。

人口減少は明らかであり、税収が増える想定での計画立案ではなく、市政のダウンサイジングをすべき。

現在、京都市が施行している任意行政にかかる経費の対税収効果を全て分析、公開して初めて建設的な議論ができるのではないか。

行政が身を切る改革を行い、既得権益を放棄したのちに市民への負担を説くべき。有事体制も常に視野に入れた行政改革を望む。市長在任中の負の遺産を清算せよ。

消防団について、京都市としては定員の4,970名まで増やす方針で活動されているが、方針の変更が必要ではないか。例えば学区単位の消防団を広域化し、分団数を減少させ、人件費を抑えられないか。あるいは、機甲分団という形にして、必要な時にだけ要請する等、検討の余地があると思う。

市民に納税義務があるのに、使い道を選ぶ権利がないのはおかしい

意見要旨

市内の各消防署では共産党機関紙を公費で定期購読している。支出予算を削減すべき。

8ヵ月検診（4ヵ月検診？）のノベルティを見直してほしい。

世代間の不公平をなくしてほしい。一個人でできる市への支援についての情報を集約してほしい

大企業に資金を出してもらうべき

公共交通機関を（観光客と）住民とで分けて欲しい

観光公害で大変な思いをしてきた。生活を脅かされるような毎日だったため、できれば観光客、特に海外の入国する人を制限してほしい。

地球温暖化防止のための街路樹増加のため、寄付・クラウドファンディングを募る、募金箱を設置するなどすればどうか。また、学生などにボランティアで植えてもらうのはどうか。

市民から無駄と思うことの見解を募ってください。

市政協力委員いません。

私立中学校での給食の実施。

北陸新幹線京都延伸や堀川地下バイパスなど大型公共事業を辞めるべき。

コロナで緊急事態なので、市債の発行で資金不足を解消すべき

民生委員の報酬はなんとかならないのか。活動にそんなにお金がかかっているとは思わない。

外国人への生活保護(憲法違反)、国費留学制度、外国人への健康保険支出これらをやめれば予算は生まれる。日本人に投資しろ。

自転車を年間100円くらい取って免許制にせよ。

家の前に工事車両がよく止まるのをやめてほしい

海外からのふるさと納税を受け付けられるようにしてはいかがでしょうか。

国公立以外の大学図書館を一般人にも使えるようにしてほしい

ふるさと納税の活用（返礼品の多様化）

市債について利率の値引きなどを真剣にお願いするなどの対応から始めるべき

家賃更新費用の廃止，禁止を不動産業者に命べき

公園は遊具が古く、通学路に目立つサインもなく、危険。教育費補助も年齢の離れた弟妹にもしてほしい

図書館について。レファレンスに対応できる司書を配置する館を減らし、ネット予約の本の受け渡しのみを行うブースを作る。コンビニや駅の協力を募り、スタッフはボランティアを多用することでサービスの継続と経費削減が両立できないか。

シール葉書で「京都市保育所からのお知らせ」が届いたが不要。市民新聞や回覧板でよい。

ふるさと納税に力を入れるべき。

ふるさと納税について、努力した地方に税金が流出している。

京都市職員の京都市に対するふるさと納税を半強制的に進めてほしい。

放置自転車の対応について、すぐ撤去するのではなく、駐輪場を増やすべき。

意見要旨

仁和寺門前ホテル建設計画は反対。

虐待を含む裁判は、欧州司法裁判所もしくはプロに判決してもら環境と整え、米国の法律または国際法に準拠し判決を行ってほしい。

新しい建物を建てるのではなく京都市の魅力である町屋の保存、活用を積極的にしてほしい。

納税額の3分の1の額をコンサートチケット等の返品など、ふるさと納税の有効活用を。

消防団を撤廃を。消防団に係る費用を中身のある意義ある使い方に変更するべき。

ホテルラッシュによる地価高騰や保育所環境の切り捨て、公営保育所の廃止等、暮らす街ではなく稼ぐ街になっており、都市の成長ばかりで安定した街ではなくなってしまっている。安定した暮らしからは遠ざかっている計画ではないか。

拝観料で儲けている観光寺院には、ふるさと納税の返礼品で協力してもらうこと。

京都市だけでなく他都市でも間違っただけの方策を進めて国民を苦しめている。国の方針がそもそも間違っており、コンサルの言うことを受け入れていてはこの国は良くならない。見捨て続けてきた就職氷河期世代を救い、現在見捨てられている若者を救い、男女の役割分担を昔に戻すべき。

京都市にはこれだけ名産品があるのだから、コロナで甚大な影響を受けた地場産業を盛り上げるために、ふるさと納税制度をフル活用してはいかか。全国一の寄付額を集めている市町村を見習うべき。

消防音楽隊を廃止して、これからの京都はどうなっていくのか。

市内の小店舗をつぶさないでほしい

寄付やふるさと納税により収入アップを推進すればよい

ゴミ袋の値段を上げて、ゴミを戸別収集してほしい

動物園のエサ代が減額されて困っていると知りました。エサ代は重要です。京都市がエサの提供を情報発信してほしい。

京都市交響楽団なんかやめるべき

市民と相談しながら有効に活用され、身近に老若問わず集える「家集会所」ができることを望む

ふるさと納税の更なる活用に賛成

ふるさと納税の返礼品の見直しをしてはどうか。

新川にコイ釣り禁止の立て看板を設置してもらえないか。

伝統を守ることは大事。外国資本にならないような保護策を取るべき。

同和への支出は徹底的に見直すべき。

西京住民として京都市立芸術大学の移転は裏切り。地下鉄もない西京区に更なるダメージ。洛西ニュータウンから阪急桂へのバス代はなぜ高いのか。西京、洛西の住民をバカにしないでほしい。

ふるさと納税はなりふり構わず獲得増を図るべき。

無駄な職員が多くいることは否定しないが、バランスが悪い。非正規職員を最前線に立たせ、正規職員は奥で暇そうにしているシーンが多い。

全員制の中学校給食等、コロナ禍の今こそ充実が市民の願いです

私立大学が京都市外へ流出している、そこに改革のヒントがあるのではないか

収入ある市民に対し、ふるさと納税を京都市にと求めてはどうか。

コロナによる休業飲食店への協力金見直しをするべき

意見要旨

無利息の京都債券を大企業に頼め

職員がふるさと納税すべき

景観条例は、市の財政面も含めたビジョンを以て策定したのか

ふるさと納税に他都市並みに取り組むべき

動物園の餌代等のクラウドファンディング募集

新型コロナ感染から市民の命を守る施策を無条件に行うこと

民生委員の活動を見ていると、老人福祉員の活動を兼ねており、2倍、3倍の活動費をもらっている。老人福祉員は廃止すべき

市長が任天堂、日本電産、オムロンなどに頭を下げて行って寄付をもらったかどうか。

4ヵ月健診の時の医師と助産師の対応にストレスを感じた。改善してほしい

事件につながる恐れのあるゲームなどを京都市から排除する条例を考えてほしい。

(行財政改革1について)全て実施すべき

国有地の活用、山を住宅地に改造

海外からの観光客を富裕層にする。

四条通はなぜ歩道を拡幅しなければならないのか。

全体に均等な負担をお願いすべし。一部だけに改革を求めるのはおかしい。

必ずインバウンド等の収入があがってくるので、それをよりよく財政につなげていく方法がよい

行財政改革って結局は何なのか。どんな看板をかけても市民負担増しかない。

障害児通所支援については「京都方式」を設計し、児童施設と障害者施設との整合性を図るよう慎重に設計されている。これを崩すか維持するか判断の分かれ目である。

福祉ばかり削られているが市長が出身の教育には切り込まないのか。岬の家、山の家、青少年科学センター、スチューデントシティは全国を上回る取組ではないのか。

青少年科学センターについて、市内各地の学校が交通費を払って、同センターに勉強に行っている。青少年科学センターが各学校を回る方が効率的だ。全国調査の理科の成績も悪く、意味がない証拠ではないか。

ふるさと納税の他府県への流出を防ぐために、市民が市に収めた住民税額に応じて商品券などを配布し、使える店舗は市の納税事業者に限定するのが良い。

京都は自然があつての町並み。
今回奥山の景観を壊しての計画は、大事な観光資源を壊すものだと思います。

費用対効果の悪い事業はやめるべき

予算が余ることは不要な支出を削減できたという側面がある。不要な支出を抑制したことも挑戦改革として評価すべき。

違法駐車、景観条例違反、違法道路占用、違法建築・増築などから確実に罰金、使用料を徴収し、税収増に繋げるべき。

御室仁和寺前のホテルなども許可しない方が長い目で見てずっと世界遺産にとっても、観光にとっても良いことでは。

観光業以外にもう一つ、柱となるべき収入源を構築する必要がある。

イベントは集中改革期間と言っている3年間は原則全面休止にするくらいでいいと思う。特に京まふ。指定管理者主催イベントもしっかり見直すよう。

意見要旨

安定した税収と変動する税収を分け、後者は時限的な行政サービスに充てるようにしては。

宝くじを市営で作っては。

無料の飲料水場を作り、ミネラルウォーターはペットボトルでの販売禁止。

学生が市民サービスのいいところ取りをしている。

プレママ・プレパパへ布おむつを推奨してはどうか。紙おむつの処分費用がかなりかかると聞いた。

豊かな自然を壊す行為はやめるべき。

京都駅前の車の流れを改善できないか。

消防の方が訪問して火の用心の話をしに来て、個人情報色々聞かれましたが、このコロナのご時世に感染リスクや個人情報保護の観点からも時代錯誤かと思えます

消防隊の音楽隊なんて、消防士の負担でしかない。必要ない。

ふるさと納税者はキックバックなしの制度に切り替えるよう発信していくべき。

無駄遣いがないか洗い出し、ふるさと納税に力を入れるべき

同和行政の見直しを

市長は和服で執務にあたるのは納得できない

市民負担を強いる前に、観光しに来る人への負担を求めてください。

SCが週1, 2回の非常勤的な勤務ではなく、週3~4の活動が保証され、一つの職業として成立することが必要だと思います。

コロナのワクチン供給確保に強く国にあたってください。

洛西地域もバス定額区間にする

再生可能エネルギー公社の設置を求めます。

観光一辺倒の市政を改め、先進企業が活動しやすい環境を作り改善するべき。観光を優先したために車がまともに走れなくなった市内中心部の交通を改める等、できることからしてほしい。

減らすところが間違っていないか。

補助金を減らしたり、利用料金を値上げしたり、ほかに努力すべきところがあるのではないか。

資器材等がぼろぼろな状態で、消防士の削減が進められていく。せめて消防現場活動を第一に考えた予算の使用方法にすべき。

調理室のエアコンを新しく変えてほしい。

グリストラップを掃除する設備が整っていない

自治連合会の見直し廃止を検討してほしい。

環境教育を拡充してほしい。

景観を台無しにする鉄柵の設置はやめてほしい。

企業の誘致のためには芸術文化と教育の充実が底力となるので、この分野の予算カットは首を絞めることになる。

意見要旨

支出について、多すぎる部分の削減は必要かと思うが、過度な削減は市民サービスの低下につながるのではないかと。

コロナ禍以前、多くの方が観光で京都に来ていた時に京都市にはどのような収益があったのか。市民に聞かせてほしい。

町屋の保存基準が明確でない。近所で、室町時代の邸宅が壊されマンションになった。古いものをただ守ればよいとは思わないが、さすがに応仁の乱以前の建築は残すべきだったのでは。

歳出の結果、どれだけの効果が上がったかももう一度しっかり分析してもらいたい。

クラウドファンディングも積極的に活用してもらいたい。

京都市が文化・教育都市であるのに、中央図書館が他都市に比べて非常に小さく、驚きを禁じ得ない

税金以外で応援することで、存続できるなら、協力する市民も多いですし、寄付を呼び掛けることで、そのような問題があることも広く周知できると思います

違法駐輪、路上喫煙（歩きたばこ）、路上飲酒に対する取り締まり強化、罰金徴収、増額。

市債発行にかかるシ団の廃止

圧縮できるゴミ箱を、鴨川に置いてはどうか。スポンサーの広告を入れれば経費削減できる。

ゴミ袋の値段を上げては。

ふるさと納税を充実するべき

こども食堂に食材を寄付してほしい

市内の車移動を規制するべき

東山は坂が多いため誰でも座れるベンチを設置すべき。

中学校給食を実施してください。

市民が自由に使える集会所を各学区に1つ欲しい。

4 行財政改革の取組について（2）

投資的事業に対する意見(238件)

意見要旨
投資的経費を100億円程度に抑え、福祉部分の削減を回避すべき。
不要な道路，工事，ホテル等が多い。
投資的な支出は，進行中のもの以外凍結するくらいの方針を出すべき。
命を守る必要な事業は守ってほしい。
もっと大胆に切り込まないと，公共施設の更新に食われるだけになる
雨水幹線などの整備にお金をかけすぎている。ソフト的な取組で大雨の対策はできる。
大規模投資を停廃止し，社会保障にまわすべき
大型工事よりも国保料の値下げの制度存続をとるべき
大型プロジェクトは一旦休止すべき
大規模事業を見直すべき
地下鉄烏丸線のホーム柵の設置等の取組はありがたい
投資事業精査してほしい
独自の開発はしない
財政難で破綻寸前なのに，投資的経費は不要です。
すべての公共事業の計画を見直すべき
必要以上の公共事業の実施見直し
住民が切実に要望していない大型の事業・工事については，常に見直し・計画ストップをしなければならない
堀川地下バイパス整備や北陸新幹線延伸など，市独自としては市立芸術大学の移転整備，西陵・小栗栖中学校小中一貫教育校整備など一旦立ち止まってコロナ禍では延期できる事業ではないか
無駄な投資をしないなど，もっと他に見直しすべきところがあるのでは
公債償還基金の取崩しは直ちにやめるべき。将来世代にツケを回すだけ。大胆な公共事業の中止・延期をしてほしい
投資的経費に市債を充てるのはやめるべき
公共工事を一旦すべて凍結し，必要なものだけに着手する必要があるのではないか。

意見要旨

今提案している公共工事を凍結すべき。

いつまで経っても終わらない道路整備（五条通など）はやめてほしい。

まずは不要不急の大型事業を凍結し、支出を抑えるべき。以前に赤字団体になると騒いだ頃は、支出の大幅な凍結をしたと記憶している。

収入が減るのは仕方ないが、収入が減ったら支出を減らすのが当然。北陸新幹線，五条バイパス…今すぐに必要でない。

高速道路や北陸新幹線など不要不急な大型投資事業を中止すべき

（行財政改革Ⅱについて）必要限のところは仕方ない。

道路工事は本当に必要か見直すべき。

四条通は1車線から2車線に戻す。

投資のうち都市基盤整備事業は5年凍結し、市民の生命にかかわる事業のみ行うこと。

不要不急な公共事業は見直し、市立芸大移転を凍結することを明記すべき。北陸新幹線の延伸に伴う負担はできるのか。

北陸新幹線や堀川バイパス等、大型公共事業を今すぐやめるべき。国にも要望すべき。

京都市の財政の現状は無駄な大型事業と、国のいいなりの財政運営によるものである。

北陸新幹線，油小路通の地下トンネルを中止すべき。

財政難になったのは、無駄な道路整備のせいではありませんか。

堀川通の地下道建設は不要

大型公共工事をすべきではない

東大路の歩道拡幅を早く進めてほしい。

北陸新幹線・堀川地下の道路づくりこそ見直しストップを

大型投資にこれまでと違う視点や経路での外部識者参入の機会を見直すべき

大きな工事は支出も大きいと思う。これからはリサーチして、検証してからにしてほしい。

北陸新幹線の誘致，芸大の移転をはじめとする過大な投資を改善すべき。

年度末の駆け込み公共工事はやめ、翌年度に回すべき。

投資的経費をどのくらい削減しなければならないのか、その影響がどうなのかが分かりにくい

大型事業を止める。

大型工事や望んでもないオリンピックに市税を無駄に使うことを検証してから、収支の試算を出せ。

意見要旨

- 道路を歩行者・自転車・車と色分けするのは大変無駄に感じる。その予算は、薄れている白線の補修に充ててもらいたい。
- 財政危機を招いた原因である大型公共事業を今後も推し進めようとしているのはなぜか。削減すべきは、子育てに関する施策ではなく、こちらではないか。
- 大きな工事を中止してください
- 大きな工事を中止してください
- 大規模事業の実施に反対
- 公共事業の無駄遣いカット
- 堀川・油小路地下バイパストンネル計画はやめるべき
- 大型公共事業への支出はやめるべき
- 投資的経費は最小限にすべき
- 不要不急の大型投資計画を直ちに停止させて、根本的な見直しを
- 無駄な公共投資をやめるべき。厳しい財政状況下で公共投資事業を進めるのは、民間の経営感覚からは信じられない。
- 現市政のつけを市民に押し付けないでほしい。無駄な公共投資にかかる膨大な予算を見直すべき。
- 不要不急・有害な工事が多すぎる。
- 大型事業を推進する現在までの市政を転換してほしい。
- 立体交差事業は国補助があるので、問題は立体交差化に伴う周辺道路整備ではないか
- 不要不急の芸大移転、北陸新幹線計画は中止し、見直しを
- 大規模公共事業の見直しすべき
- 自然に近い水路づくりをして欲しい。
- (行財政改革2について) 見直すことを考えたならぜひ実施を
- 前から赤字になることがわかっているなら、公共事業をやめるべき
- 無駄なダムや道路、ハコモノは作らず、既存施設を活用すること。多すぎる施設を廃止し、経費削減
- 不要不急の大規模投資事業には目を向けない財政収支の試算では納得できない。
- 不必要な公共工事は即刻やめるべき。
- 道路幅を広げるなど、不要なことはしないでほしい。
- 大規模事業計画等ではなく、コロナによる不況の生活支援がまず必要

意見要旨

無駄な工事をやめるべき

四条通歩道の拡幅は必要だったのか

投資的経費とは、株式や投信等で運用しているということか。内訳や運用実績、今後の見込みは。

投資的経費を170億円に抑制とあるが、この部分を半減させるなどの対策により、社会生活を安定させる福祉教育の経費を増やすべき。

中央市場の建て替えは多額の費用がかかるので先送りしてはどうか。

公共事業は増やすべき。

工事の見積より実際の経費が大幅にふえるのはなぜか。杜撰な予算計画だと思う。

公共工事の見直しを求める

財政危機ならまず大型公共事業をやめるべき

財政に見合った公共事業にしてください

不用な公共投資の削減

高速道路、焼却炉、地下鉄延伸、大企業優遇などを見直すべき

予算計上見送った事業は、復活させる必要はない

具体的な内容が記載されないまま、経費抑制が強調されているため、当否を判断できない。

第一市場の再整備は、新水産棟の完成に引き続き、耐震基準を満たしていない青果棟の全面建替えや新関連店舗棟の完成に向け、遅延なく円滑に進めていただくことを強く要望致します。

芸大、市庁舎の移転や整備は不要

投資予算は削減するべきではない。経済成長がなければ衰退するだけ。

第一市場の整備は、滞りなく進めてほしい。

まずは、不要不急の土木工事の中止から始めるべきではないか。

市が関わった建物は、利用者のことを考えずに設計しているように思う。民間の設計事務所に依頼するべき。

R8年まで、崇仁地区将来ビジョンは即時中止すべき。

R8年まで、芸大移転、市役所の増改築増大、高速道路等新設は即時中止すべき。借金を重ねて無駄に使う、金銭感覚がおかしい

大型工事の中止・凍結をすべき。また、公共工事の発注先は、市内企業・業者に限るべき。

不要不急の大型事業を今後も聖域扱いで推進するのが問題

不要不急の大型事業の見直し

意見要旨

都市基盤整備事業は10年間工事を凍結すべき。

市民の生命、財産を守る治山治水事業への投資は緩めないでほしい。

電線類の地中化は10年間事業を凍結すべき。

観光客向けで、地元住民には不便なだけの意味のない道路工事をやめるべき。

これまでの投資的経費の査定の考え方を市民に示したうえで、これからどういう視点で上限を守るのか説明すべき

投資について上限設定など小手先のことをするのではなく、事業をやめる方が効果的ではないか

財政を見直すのは年度末の道路工事とかではないでしょうか

ムダな大型公共事業を見直し、市民の負担を増す施策をやめてください。

新しい道路は要らない。改修が必要なところだけお願いしたい。

投資的経費はしっかりとマネジメントをして抑えてほしい。

着手中の投資事業は全て明日にでも中止すべき。本庁舎の整備も本来なら、更地にしてテントを立てて業務をしたうえで財政危機と言われれば、市民も協力したはず。お金を使い込んでおきながら、新築オフィスから市民に新たな負担を求めるのはあり得ない。

「投資的経費のマネジメント」について、何を言っているか分からない。

公共施設はインフラを除き全て、民間に売却するか委託するかしかない。インフラ以外に、市民にとって欠かせない施設など、今の京都市には見当たらない。

北陸新幹線延伸計画や市立芸大の移転事業、学校統廃合などの大型公共事業の延期や見直し等を行い、これ以上の市民負担の増加は何としても避けていただくことを切に願います

公的機関等の投資的経費の費用対効果をもっと検討すべき

大型事業を止めるべき。学校統合をすべきでない

小中学校の統合に際し、新校舎を建設する必要はない

大型公共事業への投資をやめるべき

大型事業の投資はいまではない

道路工事業者様のお仕事をわざわざ作っておられる、工事のための工事としか思えません。市民の血税である、『お金』の使い方が非常に荒っぽいという印象を受けた次第です。

投資的経費というのは、一体どのようなことに使う経費なのか。

大型投資を見直さずに、過剰福祉を問題視していることはおかしい。

投資的経費170億円の抑制とあるが、もっと圧縮するべきではないか。

投資的経費について、市債の発行はできるだけやめるべきである。

意見要旨

無駄な公共事業はまとめてほしい。

無駄な出費をしないこと，市債を増やさないことは賛成である

大型公共事業は継続することに反対。

投資は下げて良い。

無駄な大型公共事業を見直し

ハコモノなどは造らない。

北山エリアの開発など，自然破壊や集客施設を造らない。

リニアや北陸新幹線，芸大移転など，不用な事業の支出は削減すべき

投資の在り方を考えるのは良いこと

市庁舎整備や大学移転などの大型公共事業に税金を使わないでほしい

開発系，土木系，建設系の事業は見直さないのか。

安全性確保のための投資以外の先行投資を全てやめる。行う場合は成功する根拠をあげよ。

大型公共事業をストップせよ。

大型公共事業を見直すべき。

経常経費の削減によりどれだけの市民生活に影響が出るのか検証が必要

堀川バイパスの推進は許されない。

投資的経費に関しては，身近なところでいうと道路の自転車マーク設置は費用対効果を再検討してほしい

費用対効果の検証は行われる前に良い形で検討してほしい

大型公共事業はストップするべき

見送り可能な工事，事業の見直しが先決

(行財政改革2について)全て実施すべき

堀川～油工事地下バイパストンネル計画も復活しているようだが，ありえない。

北陸新幹線，私立芸大，学校統廃合等の公共事業は大きな負担となる。

大規模事業は廃止

大規模事業はやめるべき

意見要旨

大規模事業はやめるべき

小学校の統合を遅らせることで、公共工事を抑制すべし。

行財政改革の取組2について、見直しを進めるべき

鴨川デルタの公園は無駄な投資では。一定規模の公共投資を行う場合は市民意見を募集する制度を設けてはどうか。

必ずしも必要でない公共事業から見直し、削減するべき。

(行財政改革2について)短かったこともあり、具体的内容がよくわからなかった。

不要な土木工事を削減すべき。

(行財政改革2について)良いと思う。

大規模事業はやめるべき

行財政改革2の取組に賛成。

過去に行われた四条通の歩道拡張工事の反省がない。

見直すべき中心は、大型開発の在り方。

大規模投資事業など不要不急の事業の精査が不十分ではないか。都市格向上のための投資事業は本当に必要か。

なぜこの時期に学校・幼稚園の統廃合を進めようとしているのか。

過去を反省し、無駄な公共事業の見直しを図ったほうが良いのでは。

(行財政改革2について)一定理解できる

大規模投資事業の安易な推進が容易に市の財政悪化に直結しうる

今後の大規模投資事業は、中止を含めて大幅に見直すべきであることは明らかであろう

北山の植物園にアリーナを作る計画も、コロナ禍にあって非常に意味不明だと思いました

大規模事業はやめるべき

大規模事業はやめるべき

大規模事業はやめるべき

いらぬ建物や新幹線誘致に力を入れている場合じゃない。

大型事業を今している場合ではない

長期的な公共事業は後回しにすべき

意見要旨

市民サービスを削減してまで大型開発をすべきでない

市民が望まない公共事業は廃止

大幅な公共事業の削減をもとめる。

必要な投資的経費は必ず維持してください。

投資的経費を改革するにあたっては、委託方法、委託内容、委託先の公正化を図ってほしい。

投資的経費は、不要なものをなくし、必要なものは前進させてほしい。

公共投資事業の予算で不要な点がないか検討すべき

大規模な公共投資は控えていただきたい

芸大移転や市負担もある様々な大型プロジェクトを一旦止める選択肢を示したうえで、複数案提示して欲しい

不要な工事を見直してほしい。お金が貯まってから工事をしては。

学校施設への投資の削減に賛成。

大規模事業はやめるべき

公債償還基金の取崩しは、コロナ禍に始まったことでない。大型事業こそ廃止すべき。

大規模事業を市民のためと言うのは止めてほしい。

福祉、医療、教育、子育て支援などの施策の予算現額の前に、不要不急の公共事業をストップし、財政再生団体にならないように健全化を図ることが必要

インフラ整備を除く公共事業は中止又は延期すべき

大型事業に対しては、夢ばかりおっしゃって、丁寧な説明を欠いている。

SDGsを謳いながら美山・京北の新幹線トンネル工事は矛盾している。

不要不急の大規模開発こそやめるべき

「投資的経費」は、投資の回収の見込みも含めて内訳を詳細に書いてほしい。

行財政改革2（1）の一部を除いて賛成。

大規模事業はやめるべき

道路の無駄な拡幅は不要だが、通学路の安全対策はしっかりやってほしい。

公共事業への支出を見直すべき。

堀川地価バイパス、小中一貫校整備、こころの健康増進センターなどの整備など、不要不急な事業はやめるべき

意見要旨

大型公共事業はこれ以上いらない

収入が減るなら、歳出は過去3年間で下回るものに抑えるべきでは。少なくとも投資的経費をこれまでより増やすべきではなく、市民生活に大きな影響を及ぼさない各局の事業を切り詰めて実行すべき

大規模事業はやめるべき

税金でこれまで支えてきた京都の良い制度が大型公共事業への支出により維持できなくなるのは納得できない。

無駄な大型工事はやめるべき

年度末になると、毎年同じところの道路を工事するのは必要なのか

大規模事業はやめるべき

投資的経費は最小限にとどめた方がよい。

なぜ大型開発の凍結見直しはないのか。

大型公共事業を取りやめるべき

大規模事業は凍結

大規模事業は凍結

大型公共事業より市民の生活を支えることを優先すべき。

まずは大型事業を見直してほしい。

無駄な公共事業はいますぐ中止してほしい。

大型公共事業をやめるべき

大型事業はやめろ

大型事業はやめろ

大型事業はやめろ

大型事業はやめろ

大型事業はやめろ

大型事業はやめろ

大型事業はやめろ

大型事業はやめろ

大型事業はやめろ

意見要旨

大型公共事業はやめてほしい。

大型公共事業の見直しは検討してるのか。

不要不急の大型公共事業を聖域化して住民サービスをカットすることは許せない。

大型公共事業の見直しをもっと考えてもらいたい。

大型公共事業を見直すべき。

大型公共事業を見直すべき。

大型事業には大盤振る舞いをしている。おかしいのではないか。

凍結されている西京極の七条通りの工事を早急に予算化してほしい。

財政難なら大型公共事業はやめてください。

大型事業はやめるべき

大型事業はやめるべき

大型事業はやめるべき

大型事業はやめるべき

大型事業はやめるべき

大型事業はやめろ

災害対策を強化してほしい

若者が魅力的に感じる施設を作っては。

4 行財政改革の取組について（2）

施設の維持補修についての意見(29件)

意見要旨
公共施設を丁寧に長く使うべき。
京都市外から京都市に入ってくると、道が良くなるし、街路樹もある。過剰品質なのではないか。
投資的経費はただ抑制するだけでなく、補修すべき公共施設はきちんと手当する必要がある。
投資抑制はそのとおりだが、最低限の道路整備は行ってほしい
投資的経費については、ランニングコストの高いものは廃止すべき
施設に係るコストの、予防保全の考えには同意する。
公共施設の老朽化に伴う経費は必要な分を使ってください。市民サービスを続けるためには、厳しい財政状況においても必要。長い目で見たら悪くない。
インフラ設備のメンテナンスには、しっかりと取り組んでほしい
「市民の安全を担保するための老朽化対策は確実に実施した上で、施設の総量をゼロベースで検討しながら、経費を抑制する」といった表現にしてはどうか。
学校は避難所にもなるからきちんと管理すべき。
施設の効率的な修繕事業を進めてほしいです
設備投資は凍結。予防保全のみとする。
予防保全の考え方をしているのか疑問。
投資はあくまでも余裕資金とするもの。公共施設の老朽化に伴う投資とは、どれだけの利用が見込まれているものか。不要な施設は取り壊して土地を売却し、資産を現金化してほしい。
街路樹を減らし、メンテナンスにかかる費用を削減してほしい。
施設は使えるならば無駄に更新する必要はない。
予算の範囲内で維持修繕するのは当たり前。これまでどのようにしてきたのか。
予防原則の立場で香害対策を早急に始めてください
公的施設については、メンテナンスして長く使用できるようにしてほしい。
市の施設はすべて完全禁煙にし、職員用の喫煙所も廃止してほしい。
施設の予防保全は極めて重要。
施設の維持管理経費は最低限にするしかない。

意見要旨

老朽化した施設の保守は必要だが、上京区役所のエレベーターのようなお金の掛け方はちょっと考えてほしい

予防保全の考え方は良いと思うが、具体的な方法を記載してほしい

お金がないので、歩道はすべてアスファルトにすればよい。歳入が増えて余裕ができたなら、その時にまた、工事をすればよい

予防保全の考え方は賛成

「施設のライフサイクルコストの最適化」は請け負うのが京都市内の企業又は京都市に法人市民税などを納付している外資系のみ限定するのなら賛成である。

財政難になったのは、無駄な道路整備のせいではありませんか

投資的経費のマネジメントは反対

4 行財政改革の取組について（2）

芸術大学移転整備に対する意見(85件)

意見要旨
芸大整備は市民にとって意味も魅力もない。
京都駅前に芸大を移転する意味がわからない。
市立芸大の移転を取りやめるべき
芸大移転は無駄
芸大の移転による税収効果が、他の都市開発よりも高いというデータを公表してほしい。
芸大移転はやめるべき
なぜ財政難なのに芸大に移転するのか。分かり易く解説してほしい。
芸大移転になぜそこまで肩入れするのか。福祉施策にメスをいれる中で、許されない。
市立芸大は京都芸術大学に売却して、駅前の一等地は民間に売却すべき
芸術大学の移転費用の必要が不明。
寄付など外部資金を取り込み整備費用を集めてほしい。
芸大移転は不要。そもそも民営化すべき。
芸大の移転は今やることではない。
京都市立芸術大学新築工事を即座に、中止
芸大移転反対
芸大移転反対
京都市立芸大の移転中止を検討すべきではないか。
芸大移転に300億円使うこと自体おかしい。
芸大移転を取りやめるべき。
市立芸術大学の存続について見直すべき。
一度本気になり、芸大移転を見直すべき。
京都駅前に芸大を移転することのメリットを再考するべき
市立芸大移転はやめるべき

意見要旨

市立芸大に関する記載がないのはおかしい

国へ働き掛け、市立芸大を国立化するべき

芸大の移転を取りやめ

市立芸大のような大きな公共投資は中止すべき。

芸大移転反対

芸大再整備のような不要な事業は見直すべき。

芸大の移転は凍結してもよいのではないか。

芸大移転は賛成。芸大だけに留まらない活用をしてもらいたい。

芸大移転を見直すべき

芸大の建設費のような都合の悪い所が何も記載されていない。

市立芸大移転の一時凍結が市のやるべき道筋。

市立芸大の移転はやめるべき

芸大移転、堀川地下工事等の新規増設、小中学校統合等の凍結でさらに財源不足を解消できるのでは。

京都市市立芸術大学等地方独立行政法人への運営費交付金のあり方検討を。

京都市市立芸術大学移転整備後の跡地に大学と私立病院を建設し、西京区の活性化を。

市立芸大も国に買ってもらえないのでしょうか。

京都駅の一等地に芸術大学を建設するならその土地を企業に貸すとかして収入にしてください。

芸大は、現在の環境の良い場所のまま継続する方が良いと考える

京都駅前の芸大移転はやめるべき。市民には全く何も関係ない。京都市が潤うことを第一に考えて欲しい。

市立芸大の桂移転は何だったのか。（次の移転が）早すぎるのではないか。

市立芸大の移転は、工事費用が落ち着き、京都市の財政再生団体転落の可能性がなくなってから着手するべき

市立芸術大学の移転を中止し、桂キャンパス校舎の耐震補強工事代金を補てんすべき。

芸大の運営を民間に委ねてはどうか。

芸大整備のような不急な事業の見直しをして支出を抑えられないでしょうか。

市立芸大は市民生活に何の役にも立たない。やめるべき。

市立芸大の移転は当面休止でよいのではないか

意見要旨

市立芸大の移転など不要

市民生活への打撃を考慮してほしい。芸大移転が無くても生活はできる。

今すぐ京都駅前の芸大移転を中止し、京都市民みんなが助かるような施設をつくるべき（例：商業施設、オフィス）

芸術大学の移転をはじめ他に無駄なところで削減できるところが多くあると思う。

市立芸大移転は見直すべき

芸大の移転を遅らせることで、公共工事を抑制すべし。

芸大の移転は今直ちに必要なことではないのでは。優先順位を見直して政策実行してほしい。

芸術大学の移転は止めるべきであった。

芸大の移転には、莫大な無駄なお金が使われている。

芸術大学移転は凍結してください。

市立芸大の移転は今一度ゼロベースで見直すべき。

芸大移転もこの時期なので凍結した方がよい。

京都市立芸術大学の移転は本当に必要なのか

京都市立芸術大学が本当に必要かから見直すべきである

京都市立芸術大学のような移転整備について記載されていない。すぐに凍結すべき。

京都市立芸術大学移転整備などの不要不急な大型公共事業は凍結すべきではないか

市立芸大などの大型工事は減額をするのが筋ではないか

市立芸大移転はするべきではない

芸大の駅前移転に関しては必要性を再度見直してください。

芸大移転辞めるべき

京都市立芸術大学の移転は財政事情が好転したのちに先送り。

芸大の移転反対

京都市の近くに芸大は必要ない。

市立芸大の移転を撤回し、オフィス街にすべき。

なぜ財政難の中、芸大移転を行うのか。愚策。

芸大移転を見直すべき

意見要旨

京都芸大の移転はこの財政の緊急事態にどうしてもすぐに進めなければいけない事業なのか甚だ疑問。

芸大移転は見直すべき。芸大移転以外の活用方法はないのか、芸大移転のメリット、デメリットは何か、厳しい財政状況でも強行すべき納得できる説明がない。

芸大の移転によって、どれだけの歳入増加が見込めるのか。また、芸大跡地の活用について、立地的なデメリットを解消できる材料がどこにあるのか。

京都市立芸大の移転など不要不急な事業はやめるべき

市立芸大は、出資を求めているのか。

芸大移転反対

芸大移転に無駄なお金を使いすぎ。

芸大移転は凍結すべき。

財源不足を見込みながら、昨年に芸大移転の入札を強行したことは説明がつかない。

市立芸大は今すぐ移転する必要はない

4 行財政改革の取組について（2）

市庁舎整備事業に対する意見(19件)

意見要旨
市庁舎整備に係る追加予算を凍結，先延ばしできないのか。
なぜ市役所の改築はできるのか，お金の使い道が納得できません。
京北にプレハブを建てて市役所修繕経費を浮かせるべき
立派な市庁舎に代表される分不相当なお金の使い方を改めるべき
市民にとって無意味なのでやめるべき。
お金がない中，なぜ市役所本庁舎は建替え工事をしているのか。市民なら誰も疑問に思うことを，しっかりホームページに掲載すべき。
市役所を売却して，安い土地でプレハブにすればお金が確保できる。
本当に無駄なものが精査されていない。市庁舎の整備に莫大な費用をかけるのであれば，区役所もきれいにすべき。
市役所本庁舎工事について，どこをどのようにしたのか市民にきちんと示すべき
市庁舎改築中だが，不要不急なもの，無駄なものは今からでも再検討し，経費削減して欲しい
市役所の建て替え工事など，もっと財源をおさえられるところはあったと思う
金がないのに市役所の工事は信じられない。
四条通の歩道をなぜ拡幅しなければならないのか。
市役所の改築には，莫大な無駄なお金が使われている。
市庁舎の大掛かりな増改築は全部必要なのか疑問。耐震工事を主とするもので良かったはず。
役所は華美である必要なく，最低限シンプルでよい。
京都市役所庁舎の工費がどんどんと増えているが，予算よりも足りないのであれば，何か削るなどして，予算額に遭うように勤めるべきである
市庁舎の建設費用は，当初の予定から上がり過ぎている。
市役所の工事は無駄なお金を使いすぎ。

4 行財政改革の取組について（2）

北陸新幹線に対する意見(269件)

意見要旨
北陸新幹線の京都への延伸を中止すべき。
北陸新幹線の延伸工事は一番大きな無駄遣いである。
北陸新幹線延伸事業に取り組むべきでない
北陸新幹線や大型事業を見直しては。地下鉄建設が原因の一つなのに同じようなことを行うのはいかがなものか。
市民負担増を求めるのであれば、北陸新幹線延伸計画を中止すべき
北陸新幹線・リニア誘致は辞めてもいいのではないか
北陸新幹線・リニアは不要。
北陸新幹線京都延伸計画は直ちに中止を
北陸新幹線延伸をやめるなど、政治の方針転換を求める
この財政状況で北陸新幹線を進めるのはなぜか。解説ページを作って欲しい。
北陸新幹線はいりません。
財政再建に関係のない北陸新幹線を持ち出して、反対のための反対をしている人たちに負けないで頑張ってください。
北陸新幹線・リニアの誘致は不要
北陸新幹線を中止するだけで財政はよくなる
北陸新幹線をなくす
北陸新幹線は不要
北陸新幹線は不要
北陸新幹線は不要
北陸新幹線は不要

意見要旨

北陸新幹線やリニア新幹線は不要

北陸新幹線の延伸は今の時代に必要なのか

北陸新幹線が京都の地下を通る案が決まったと聞いたが、こんなに長い地下トンネルを作るのは環境が大きく変わり、水源にも影響が出る可能性があるのではと心配になる。

京都の地下には色々なものがある。北陸新幹線などは不要。

北陸新幹線延伸はやめるべき

北陸新幹線延伸に関する記載がないのはおかしい

北陸新幹線「延伸」計画、地下バイパストンネル計画、京都市の負担の財源はどうするのか。

北陸新幹線は中止。

財政が大変なら北陸新幹線計画は中止して。

北陸新幹線延長工事、リニア誘致などは後回しにし、住民サービスは削らない。

北陸新幹線やリニアなどやっている場合ではないはず。

北陸新幹線やリニアの誘致へのお金より市民生活優先の予算にしてください

今の都市機能維持を優先し、北陸新幹線やリニアを諦めるのも現実的な解決方法では

不要不急な大型事業（北陸新幹線、リニア新幹線、堀川地下バイパストンネル等）を中止すること。

北陸新幹線は不要。

北陸新幹線延伸計画は反対。

これまでの高速道路の建設やこれから進めようとしているリニア新幹線工事等、京都市の財政状況に応じた計画に見直してほしい。

北陸新幹線の延伸問題などをまだ行おうとしているが、大型開発にはお金を出すのが、市民サービスは削減するというのでは、理解は得られない。大型開発には絶対反対。

北陸新幹線・リニアは不要でしょう

北陸新幹線京都延伸計画を中止してください

北陸新幹線延伸の意味が分からない

北陸新幹線（敦賀～新大阪）延伸計画について中止するべき

意見要旨

税金が市民ではなく、北陸新幹線の延伸工事のために使われるのではないか。今本当に必要なのか。

北陸新幹線の地下化などあってはならない。

北陸新幹線延伸など大型開発を見直し、住民の生活や通学手段としての在来線の拡充こそが求められます。

北陸新幹線の推進をすれば未来永劫赤字が続く。堀川通の地下、高架バイパスは不要。土木工事で地球環境をこれ以上破壊して赤字を作ってほしくない。

リニアを誘致している場合ではない。

北陸新幹線延伸計画を見直してください。

北陸新幹線延伸のメリット・デメリットについて、市民に公開すべき

北陸新幹線延伸に伴う費用負担が懸念されるが、それに対する言及がない。

北陸新幹線の延伸など、不要不急の事業に同大な負担をしようとしているのは納得できない。

北陸新幹線に税を投入すべきでない

リニアは京都にいらぬ。

北陸新幹線やリニアの誘致の方針をやめたらいい。

北陸新幹線の推進は許されない

北陸新幹線に関して一切記載がないのは、タブー化する意図が透けて見え、極めて不誠実

堀川バイパス工事、北陸新幹線は不要

北陸新幹線延伸計画について、京都市の負担額が不明な中、この案を通すのはおかしい。どこにそのような資金があるのか。

北陸新幹線の計画なども今絶対必要なことなのか。

リニアや北陸新幹線は不要

北陸新幹線の計画が今必要なのか。

北陸新幹線反対

北陸新幹線は不要

北陸新幹線は不要

意見要旨

北陸新幹線は不要

北陸新幹線延伸等は税金の無駄遣いで要らない。

北陸新幹線はあまりメリットがなくデメリットの方が大きいと思う。

金がないのになぜ収益が見込めない北陸新幹線の計画を進めるのか。即刻見直して。

財政難な中、北陸新幹線事業に関わることに疑問。

北陸新幹線は不要

北陸新幹線は不要

北陸新幹線は不要

北陸新幹線は不要不急の事業かつ市民生活を脅かすもの。赤字自治体に取り組むべき事業に程遠い。中止すべき。

財政改革と言っているのに北陸新幹線を通すのか。辻褄が合わない。

北陸新幹線の延伸などのような無謀な事業には、はっきり反対の意思を示すべき。

北陸新幹線建築は時代遅れで環境破壊。見直すべき。

北陸新幹線延伸計画の凍結・廃止の決断を要望する。

北陸新幹線は自然を破壊する。破綻しそうな予算を割いてまで建設してほしくない。

北陸新幹線の延伸などの大型公共事業より、市民の生活を応援する施策を。

北陸新幹線やリニアは必要ない。

莫大なお金のかかる、北陸新幹線の延伸は見直してほしい

北陸新幹線延伸のために環境破壊を行おうとしている

北陸新幹線延伸のためにボーリング調査が行われ、水質汚染、水源を脅かすようなことをしようとしている

国家的プロジェクトである「北陸新幹線延伸」事業などは、絶対に受け入れることはできない

計画案を見ると今大問題になっている北陸新幹線建設については全く触れられていない

北陸新幹線の延伸工事で、地価を掘る東野は、町の歴史を考えてもやっちはいけないことだと思います

意見要旨

北陸新幹線は不要

北陸新幹線やリニアの侵略は反対。

赤字路線確定の北陸新幹線等はやめるべき。

北陸新幹線の工事反対。自然を壊さないでください。

財政難なら優先してやめるのが北陸新幹線。

北陸新幹線やリニアは必要ないと思います。

北陸新幹線は不要

北陸新幹線は不要

北陸新幹線延伸などを聖域にしているのはおかしい。

北陸新幹線など、自然を破壊するだけの事業を速攻やめること。

北陸新幹線やめろ

北陸新幹線延伸などの今後の財政難を助長する計画がある。大建設大工事で経済を回すのは前時代的。

今最も必要でないものは北陸新幹線延伸計画である。

投資を失敗した市政が北陸新幹線延伸などを放置している現状は矛盾を露呈している。矛盾を是正することを求める。

北陸新幹線は財政と環境を悪化させる

北陸新幹線は中止すべき

リニアの見直し、中止をすべし

北陸新幹線を先行して通すべき。

北陸新幹線京都への乗り入れ、着工中止。

新幹線は不要

財政が厳しいなら北陸新幹線の工事を中止してください。

北陸新幹線延伸は即時撤回すべき。

意見要旨

地下鉄延伸など大規模な公共工事はやめるべき

北陸新幹線は敦賀市民も要らないと言っている。世界の京都。環境保全してこそ値打ちがあがる。

新幹線やリニアの誘致反対

北陸新幹線延伸は、財政負担はできない旨を表明すべき。

リニア・北陸新幹線延伸計画はなぜ検討せず市民サービスからカットするのか。

北陸新幹線をやめて出直してください。

北陸新幹線、リニアはいりません。

北陸新幹線・リニアはいらない。聖域なく検討していただきたい。

北陸新幹線は不要

無駄な北陸新幹線・リニア等よりも市民生活を守れ

北陸新幹線やめてください。自然を守ってください。

福祉の予算を削る前に、新幹線の事業費用を見直すべき。

新幹線やリニアに使う予算を子育てに使ってほしい。

近隣都市との連続性、一体性を考慮した都市計画の見直しという部分には、北陸新幹線のことも入っているのではないかと危惧する。

北陸新幹線延伸計画を見直してほしい。

北陸新幹線の京都延伸整備は一時凍結し、再検することが必要

北陸新幹線やリニアの誘致は断念すべき。

リニアは不要

北陸新幹線を優先するのはおかしい。

北陸新幹線・リニアは不要

北陸新幹線は不要

北陸新幹線は不要

意見要旨

新幹線延伸を受入れ、住民の暮らしを圧迫する財政カットのやり方は市民を追い詰める。

北陸新幹線の工事を直ちに止めてください。

リニアはいらない。

北陸新幹線計画を白紙に戻すことを切に願う。

北陸新幹線反対。

北陸新幹線延伸など不要不急な事業はやめるべき

北陸新幹線の地下ルート建設費は地下鉄工事の比ではありません。果たして採算は合うのでしょうか

北陸新幹線もリニアも京都市には来なくていいです

リニアや新幹線は不要

「北陸新幹線の延伸計画などの公共事業に対する高額な市税投入の見送り」と明記してほしい。

北陸新幹線延伸は凍結すべき。

北陸新幹線反対

リニアや北陸新幹線は不要

北陸新幹線延伸・リニアの予算が何一つ書いていないことに疑念を持つ。

北陸新幹線延伸・リニアの予算が何一つ書いていないことに疑念を持つ。

膨大な建設費を使う北陸新幹線延伸計画は税金の無駄遣い。

膨大な財政負担を招き環境破壊にもつながる北陸新幹線延伸等は不要不急である。

北陸新幹線は不要

北陸新幹線は不要

北陸新幹線の延長はいらない。

北陸新幹線の延伸は財政をさらに圧迫するため止めるべき。

北陸新幹線は不要

意見要旨

北陸新幹線延伸計画反対

北陸新幹線の地下延伸は中止してください。

財政難の時に北陸新幹線延伸は不要。

見直すべきは無駄な北陸新幹線

北陸新幹線の推進よりも災害対策を優先してください。

北陸新幹線は不要

北陸新幹線は不要

北陸新幹線延伸は絶対にしないでください。

北陸新幹線延伸は国の仕事だが分担金が付いて回るので反対。

北陸新幹線等はやめるべき。

北陸新幹線は不要

北陸新幹線は不要

北陸新幹線は不要

北陸新幹線等の無駄遣いを削ってください。

いくらかかるか分からない北陸新幹線は断念してください。

北陸新幹線延伸に着手すれば財政破綻が目の前。絶対にやめてください。

北陸新幹線計画を取りやめると表明してください。

北陸新幹線計画は中止してください。

リニア・北陸新幹線は不要。今なら見直しできるはず。

北陸新幹線は必要ありません。

北陸新幹線延伸計画はストップしてください。

北陸新幹線延伸中止してください。

意見要旨

北陸新幹線は不要

まずリニアや北陸新幹線はやめてください。

リニアや北陸新幹線はいりません。中止してください。

リニア・北陸新幹線の膨大な経費を赤字に回してください。

リニアや北陸新幹線は不要

リニアや北陸新幹線は見直しを。

リニアや北陸新幹線は不要

北陸新幹線は見直しを。

財政難なら自然破壊でしかない北陸新幹線等を止めるべき。

北陸新幹線は不要

北陸新幹線など無駄なものは反対。

北陸新幹線などは見直してください。

北陸新幹線延伸に無駄金を使うべきでない。

リニアや北陸新幹線は不要

北陸新幹線は見直して中止すべき

北陸新幹線は不要

北陸新幹線は不要不急であり反対。

費用負担や残土処理等が明らかでない中で北陸新幹線を推進するのはおかしい。

北陸新幹線の延伸は大反対。

北陸新幹線延伸をやめれば予算は捻出できる。

北陸新幹線延伸はなんとしてもやめてほしい。

北陸新幹線延伸反対

意見要旨

北陸新幹線，リニア新幹線は反対。財政難なら不要不急。

北陸新幹線は不要不急で，さらに財政悪化させることは必至。

北陸新幹線の延長計画について触れられていない。見直すべき。

北陸新幹線等の緊急性のない巨大プロジェクトは中止してください。

北陸新幹線もリニア新幹線もいりません。

リニアや北陸新幹線は不要。必要ないものに大金を使うな。

リニアや北陸新幹線は不要

リニアや北陸新幹線は不要

北陸新幹線は不要

今後予定の北陸新幹線工事は中止されたい。

北陸新幹線やリニアには反対すべき

財政再生団体に陥ると市民をおどしながら，北陸新幹線延伸等を進めるのか。

北陸新幹線などに市民の税金を湯水のように使うことはあってはならない。

北陸新幹線は今必要ではない。

北陸新幹線のトンネル工事について，残土の問題などを広く説明することが必要。

北陸新幹線に税金を使うのはやめるべき。

北陸新幹線などの計画をやめてください。

北陸新幹線はいりません。

北陸新幹線に全く触れておらず聖域にされている。

北陸新幹線延伸はやめてください。

北陸新幹線に使うお金をゼロにしてください。

いくらかかるか分からない北陸新幹線を推進するのはおかしい。

意見要旨

リニアや北陸新幹線は不要

リニアは不要

莫大な負担が予想される北陸新幹線延伸は絶対に取りやめるべき。

北陸新幹線延伸計画に反対。

北陸新幹線延伸計画で京都市の税金を使うのは反対。

北陸新幹線延伸計画をただちに取りやめてください。

北陸新幹線延伸を見直してほしい。

計画中の北陸新幹線延伸などを止めるべき

北陸新幹線に巨額の税金を投入しないでください。

北陸新幹線延伸をやめるべき。

お金がないのに北陸新幹線延伸をすすめるのはおかしい。

お金がないのに北陸新幹線延伸をすすめるのはおかしい。

北陸新幹線延伸計画はやめてほしい。

北陸新幹線延伸計画を中止すれば財源はできる。

北陸新幹線建設反対。その負担金をコロナ対策や市政改革にまわすべき。

北陸新幹線延伸計画を中止すれば財源はできる。

北陸新幹線に巨額の税金を投入しないでください。

北陸新幹線に巨額の税金を投入しないでください。

北陸新幹線に巨額の税金を投入しないでください。

北陸新幹線に巨額の税金を投入しないでください。

北陸新幹線をつくる財源があるのになぜ福祉を削るのか。

北陸新幹線より市民の暮らしを守るべき。

意見要旨

北陸新幹線より市民の暮らしを守るべき。

北陸新幹線延伸は不要。

北陸新幹線延伸は思い切って中止の判断をすべき。

北陸新幹線延伸は中止すべき。

北陸新幹線延伸は無駄な支出。

北陸新幹線延伸はいらない。

北陸新幹線延伸は反対

北陸新幹線延伸は無駄で環境破壊。

北陸新幹線は不要。

北陸新幹線延伸計画を中止してほしい。

北陸新幹線延伸計画を中止してほしい。

北陸新幹線延伸計画を中止してほしい。

リニア新幹線も見直しできるはず。

北陸新幹線延伸は不要不急。その分を他に回してほしい。

リニア・北陸新幹線延伸は見直してほしい。

北陸新幹線延伸の問題にはなぜ触れないのか。絶対反対。

北陸新幹線延伸計画を取り下げてください。

北陸新幹線はいりません。

リニアはやめるべき。

北陸新幹線延伸は絶対反対

北陸新幹線延伸をやめてください。

北陸新幹線延伸やめてください

意見要旨

北陸新幹線延伸は見直してほしい。

北陸新幹線延伸に市税を使うな。

北陸新幹線延伸に市税を使うな。

北陸新幹線延伸に市税を使うな。

北陸新幹線延伸計画は全て中止が当然。

北陸新幹線延伸反対

北陸新幹線は不要

リニアや北陸新幹線は不要

4 行財政改革の取組について（3）

施設保有量の縮減等の意見(99件)

意見要旨
一部のヘビーユーザーしか使わない施設が多いように思う。
無駄なハコモノを完全に廃止すべき。
文化施設は必要性を精査し、稼働率が低い施設は大胆に見直す必要がある。
管理する施設を減らし経費を節減することが重要。
公の施設が多すぎる。
一部の人しか利用しない施設に多額の税金を投入してまで存続すべきか見直してほしい。
似たような施設が多すぎるため、統合してほしい。
延命化・集約化のほかに廃止は考えないのか。不要なものは積極的に廃止すべき
施設は全部廃止すべき
古くて利用者の少ない施設は廃止すべき
公共施設なくすべき
広域的に利用されていない公共施設は廃止すべき
施設は基本的に廃止すべき
必要最低限の公共施設以外はなくしてもいいのではないか。民間の施設でも代用可能
税金を投入しないと維持できないようなところはすべて撤去して欲しい。
なぜ京都市が保有しているのかよくわからない施設もあるはず。民間施設など、代替施設があるなら、当然廃止、縮小すべき。
図書館数を削減すべき。
学校や福祉施設以外は市民生活に不可欠な施設ではない。どんどんスリム化すべき。
老朽化した施設等は廃止や民間払下げをすべき。
公共施設は減らすべきでない。
公共施設を減らすべき。
小さな図書館は廃止すべき。大阪市のような大きな図書館を数か所でよい。

意見要旨

公的文化施設を民営化する動きも納得できない

3施設一体化してどう機能が充実するのか示してほしい

図書館の統合再配置はしてほしくない

幼稚園の統合については反対

全部の施設につき対策が必要か検証が必要

公共施設のマネジメントについては、具体的内容が全くなく評価に値しない。

築20年以上となる主な大規模施設については、建替えありきではなく廃止、統合を検討すべき。

キャンパスプラザ、国際交流会館、ウィングス京都、健康増進センターは利用者数などを検証し、早急に廃止統合すべき。

一度本気になり、無駄な施設を見直すべき。

健康増進センター、環境保全活動センター、文化会館、コンサートホールは不要。

不要な施設をなくし、保全部分を集中させるべき

無駄な施設をやめるべき。

公共施設は削減するだけでなく、営業力を強化するべき

利益が見込まれない施設があるならば、今、利活用や取り壊しを検討すべき。

いきいき市民活動センターは廃止してもいいのではないか。

男女共同参画の施設は不要

小学校を統廃合すべきでない

不要な市保有施設は売却したらよい。

施設の統廃合などをスリム化をすることは大切ですが、真に必要なものまでその対象とならないよう、アンケートなどを行い慎重に進めるべきだと思います

図書館の統合による数削減には反対

駐車場に公的関与の必要性はない

図書館は今のまま、地域市民が借りやすいようにしてほしい。

3施設一体化はどのように検討するのか具体的に書いてほしい

公共建築物で、命に関わらないものは民間に移管すべき。

公営住宅はいらない。図書館の合併を検討すべき

意見要旨

京都市民防災センターはいりません。

学校の統廃合を進めるべき

市民の知識の場である図書館。それを削るような環境にはして欲しくない。再配置等、改善することは大いに良いと思う。

図書館は統廃合するべき。本館，右京区，西京区，山科区，伏見区の5か所で良いのでは。

不要な公共施設から手を引き，リソースをインフラに集約すべき。ここが維持できない行政など存在しないのと同じ。

類似の施設の統廃合を

コロナ禍に際し，市民生活に支障のない施設を順次整理すべき

戦略的な活用とは、一体どのような活用も仕方を想定しているのか。
可能な限りの民営化を推進するなど、可能な限り削減される施設の数減らすことは可能か。

統廃合や民営化をするにあたっては住民合意が大前提。

施設の集約化・民間移管を進めすぎると，サービスの低下を招くため，慎重な姿勢が必要

健康増進センターのような安心して利用できる施設を増やしてほしい。

公共施設の見直しには賛成

無駄な公共施設はまとめてほしい。

公共施設の合理化は賛成

福祉施設など他都市並みにするか，メリハリをつけて他都市を下回る施策があってもよい。

公共図書館は統合ではなく，むしろ増やすべき

利用者が極端に少ない施設，サービスは統廃合が検討されるべき。ただし，短絡的視野に基づく安易なコストカットで事足りれりと慢心しないでいただきたい。

市立幼稚園統廃合

図書館の統合・再配置は慎重に行ってほしい。

図書館の統合は反対

図書館は統合すべきでない。図書館を中心とした教育に力を入れる施策は，長い目で見れば必ず京都市の発展につながる。

図書館は生涯学習に重要な施設。今より増やすべき。多少使い勝手が低下しても現在の図書館は維持。他都市で行われている民間委託はすべきではない。

図書館は今後要らなくなると思う。

統廃合や集約する考え方は良いが，統合した結果，かかるコストは同じでした，もしくは，1割削減など微々たるコスト効果は絶対にやってほしくない

収益性の悪い施設に関しては廃止や民間委託を進めるべき。

意見要旨

マネジメントにゼロベースとあるが、廃止を意味するのか。どのように検証するのか分かりやすく進めるべき

図書館なので統廃合は賛成

青少年活動センターは残してほしい。

施設の存続ありきではなく、必要性を検討してほしい。

主にハード面の再整備が語られているが、ソフト面もセットで考えるべき

左京区役所岩倉出張所は非常に暇そう。昔のような出張所は不要

市営住宅は数削減するべき

公共施設の新築や建替えは原則中止。維持管理や修繕も命を守る最小限でいい。

学校統合は柔軟な学区再編で従来の学区を前提とする必要はない。適正規模の学校とし、教育の充実と不要な学校減少、売却による収入確保を。

施設総量の削減は反対

図書館は減らさないでほしい

図書館はこれ以上減らすべきでない

施設をゼロベースで見直すべき

施設のマネジメントの具体的手法がない

三施設合築反対

公共施設の総数減は反対

男女共同参画センターは不要

施設は減らさないでほしい

上京区の集会所を増やしてほしい

上京区に図書館を作ってほしい

上京区の集会所を増やしてほしい

上京区の集会所を増やしてほしい

上京区の集会所を増やしてほしい

上京区の集会所を増やしてほしい

図書館の統廃合はやめてほしい

意見要旨

施設送料の縮減は賛成

施設数の削減は反対

4 行財政改革の取組について（3）

管理コストについての意見(27件)

意見要旨
収入につながる制度の運用を見直し、維持管理の管理方法を見直し
東洞院の公園の北にある女性センターの会議室では、英会話教室やヨガが多い。どれぐらいの税金が使われているのか。
国際的に持続可能な環境先進都市、災害を乗り越える都市になるために、高断熱システム、太陽光蓄電池システム、HEMSの普及を目指すべき。具体的には、家新築に対する断熱システム、太陽光蓄電池システムの設置義務化、ホテル・公共施設に対する断熱システム、太陽光蓄電池システムへのレベルの高いZEH+基準適用、HEMS付加義務を課す。
公園・文化財改修等には、今後クラウドファイディングを募ってみてはどうでしょうか
公園等の施設について、ボランティア等を募り、掃除や手入れ等の管理をすればよい。
施設のライフサイクルを長く考え、予防保全して継続利用していくのがよいと思う
利用実態や時代の潮流に応じた開館時間の短縮や閉館日の増加も必要
施設のライフサイクルコストについては、耐震構造など安全に関わる部分については十分にお金をかけるべき。
動物園や美術館の直営をやめるべき
京都【京セラ】美術館、京都【芸術大学】の名称はおかしい。
施設やライフラインなど減価償却的な発想はできないのか
市民に認知されていない京都市運営施設・管理施設に財源を回す必要は無い。
民間活力の前に、今管理している施設をしっかりと管理すべき。
「多文化ネットワークセンター」という施設が地域住民のために機能していない。見直しを。
公共施設のマネジメントによって市民負担が増えるなら反対。
受益者負担の見直し、施設の独自収入確保等による管理運営に係る市負担の縮減は必要である。
必要な施設の維持管理費用は必要なものであり、しっかりと確保すべき。
保育所の民間移管は反対
児童福祉センターは今でも十分ではないから、機能と人材を厚くしてほしい。

意見要旨

施設はランニングコストを抑え、初期投資分を回収することが重要

施設が無駄なく利用されているのかどうかを点検するべき

施設への予防保全の考え方は必要と考える

施設の老朽化対策は優先すべき施策である。

市民による施設の自主運営を可能とするよう規制緩和すべき。

施設維持費に莫大な費用がかかっているため、利益を上げていかなければならない。

施設の維持修繕は必要な範囲で行うべき

二条城は、完全指定管理に移行するか（職員ゼロ）、国又は府への譲渡を検討すべき。

4 行財政改革の取組について（3）

健康増進センターについての意見(14件)

意見要旨
健康増進センターの民間丸投げはやめてほしい。少しの値上げは仕方ないが、民間施設並みの利用料金なら、これから利用できなくなる
ヘルスパia21を存続させてほしい。施設も新しくしてほしい。
ヘルスパia21の存続。
ヘルスパiaの勝手な廃止に大反対
ヘルスパiaのジムに通っています。受付の人数、あんなに沢山いらなと思います。人件費削減されたらどうですか。
ヘルスパiaは廃止すべき。
p 39に掲載の施設は大半は必要。健康増進センターは民間にたくさんあるため、公立は不要。
健康増進センター、ヘルスパiaは市民の健康維持のために必要。
ヘルスパia21に通うようになって、運動を通して友人ができた。今の楽しみはヘルスパiaに行くことなので、施設を維持して欲しい。
健康増進センターは民間のスポーツ施設と異なり当日利用が可能であり有意義な施設である。もう少し値上げしても利用状況に影響は少ないと思う。
ヘルスパia廃止
はやくヘルスパiaを廃止して欲しい。
ヘルスパia21について。介護予防に大変有効な活動であり、当所の職員に常に指導アドバイスを頂いている。存続を強く望む。
ヘルスパiaは廃止

4 行財政改革の取組について（3）

市営住宅についての意見(19件)

意見要旨
市営住宅をリノベーションして利用価値をあげるべき。
市営住宅の団地再生は不要。そもそも市営住宅が不要。
市営住宅は段階的に廃止すべき
洛西NTの市営住宅を早く改装して貸し出してほしい。シャワー設備の自己負担はあり得ない。市営住宅を集約して特養を作るなら賛成
市営住宅は廃止すべき。生活に困窮する世帯は生活保護で対応すればよく、市が建物を持つ必要はない。
公営住宅にどれくらいの費用がかかっているのか。民間に売却できないか。
市営住宅は作ってほしくないし、民間に任せてどんどん廃止してほしい。運営も民間に任せた法がしっかり運営してくれるし、安上がり。
市営住宅について、全面改修をしなくても、一部改修で貸し、家賃収入をとり、町の活性化につなげるべきである
市営住宅は京都に暮らすための重要な住まい。適正に住戸を増やし新規募集を進めるべき。
市営住宅の間取りは狭いのではないか。また、一部の人ではなく、広く入居者を募集するべき。
市営住宅に関しては、利便性の高いところにむしろ増やした方が効率的な循環型社会が形成されると思う。
市営住宅にデイサービスなどが入って、元気なお年寄りがお手伝いしていただけたらいいのと思います
市営住宅はもっと統合を進めて数を減らしていくべき。
市営住宅廃止
若年層が京都市内で生活を始める際の足掛かりになるような住宅を建築して欲しい
市営住宅の入居率を上げる
市営住宅の数を減らすべき
民間を利用して、土地売却も視野に入れ、なるべく財政負担の少ない方式をとるべき。
市営住宅をきれいにしてほしい

4 行財政改革の取組について（3）

資産の売却・貸付等の有効活用についての意見(106件)

意見要旨
無駄な施設が多すぎる。命に関わらない施設は全て売却すべき。
採算の取れない施設における職員の解雇や物件売却をするべき
未利用地の売却，貸付を行う際，内容と業者は間違いなく市民ファーストで選定してほしい。
未使用の市有地の積極活用はとても大事。
市の関連施設は民間に売却すべき
市営住宅を民間に売却するべき
埋蔵文化財の保管場所として，廃校となった小中学校を利用するのはどうか。
都市計画道路について再検討し，不用なものは廃止。用地買収や整備・管理にかかる費用を節減するべき。
みさきの家は売却で良い
街路樹も積極的に活用する資産として位置付けてはどうか。
土地売却は，本質的な財源不足の解消ではない。定期借地とするなど，大切に活用してほしい
公共施設・保有資産などの売却
廃校跡地を活用するなどして収益を出すべき。
キャンパスプラザやウィングスは民間へ譲渡すべき。
未利用地は早急に売却または利用できるようにすべき。
科学センターなど，公共性の高い施設を厚遇すべき。
ネーミングライツをもっと活用することで，収入の増加を狙いながら企業支援を行うべき
有効に活用されていない施設は見直しが必要。
市有地を有効活用すべき。塔南高等学校跡地は，もともと公園用地だった部分を除いて，売却が良い。
市有地の売却を進めるべき。
市所有地は積極的に売却もしくは50年間の貸与に。
市有地はもっと活用すべきで，統括部署自らマネジメントすべき。

意見要旨

京都市所有の土地はすべて売却。

箱モノはもっと大胆に人的動きのある場に変えていくべきです。

施設を廃止し、余剰地を売却するべき

京都駅前をきちんと活用してほしい。

ウイングス京都など、公共施設の縮減や売却ではなく充実拡充を

千北の市営住宅跡に公園（幼児，学童，中高生各々に合わせた施設（雨の時に遊べるように））

キャンパスプラザ京都，kokoca，京都アスニーの3施設のセンスを感じない在り方や運営実績はわざわざ市保有で運営し，好立地でこれを維持する意義を感じない。

水族館の土地賃料の割引を取り消すべき。営利企業が営利目的で作った施設。

資産の戦略的活用については都心部学校跡地のホテル，マンション用地への利用は行うべきではない。

公共施設も不要なものが多い

市の所有地を例外なく全て民間企業に売却すればいい。

ネーミングライツや広告事業の導入はいいアイデアだと思う。

本市施設を活用した撮影料は低く抑え，撮影に使われる機会を増やしてアピールに繋げてはどうか。

市立芸大の名称にネーミングライツを導入すべき。

公共施設は，使わない人からしたら無駄に見えるため，どんな施設がどんなときに使うのかを具体的に示すべき

保有資産を売却するのであれば，売却額が向上するよう努力すべき。

図書館統合について，民間委託を視野に数を増やせないか

ラクトみたいな，民間で同じような機能があるものは廃止すべき。

使っていない土地や施設を子育て施設等に活用してほしい

保有資産の活用であげられている施設は魅力が薄い。

市有地をもっと有効活用すべき。一元的な管理を行い，市民や企業が活発に柔軟に使用できるよう体制を整えてはどうか。

どこまで国民の財産を切り売りするのでしょうかその買われた財産は外国人の手に収益は国民に回らず海外へいつまでたっても豊かにはなれません

ウイングス京都など好立地な施設は，コアワーキングスペースや起業家の小規模オフィスなどの市内事業所不足に活用するなど，お金を生む活用をすべきと考えます。

公園の利活用など自然保全とイコールになる案は大変魅力的。

左京区にある障害者スポーツセンターを廃止・縮小を検討すべき

意見要旨

「資産の積極的且つ戦略的な活用」は何を指すのかよく分からない

多くの市民が利用していないような施設（健康増進センター、野外施設など）は売却すべき。

老朽化した施設を放置することのないように。

宝が池国際会議場の効率的運用を。

西京極総合運動公園の効率的運用を。

P40「施設の複合化・集約化」や「時代に即した新たなサービス提供形態や複合化・集約化によるサービス充実」については賛成。

図書館に関して、京大のポスドク等を生かした、半官半民のスタートアップ支援、福祉・知的活動サポートチの拠点のような在り方を望む。

図書館やその他の公共施設は市民にとって必要な場所。運営を強化しさらなる発展をさせるべき。

学校跡地の活用や未利用地の活用も民間利用させるのではなく、地域にとって必要な場として公的活用すべき。

男女共同参画という取組は即刻止めるべき。ウイングス京都はせっきくの施設なので別の事業に使用してはどうか。

弱者を切り捨てて、資産活用などもってのほか

京都アスニーは税金の無駄

いわば「京都」というブランドを食い散らかすような資本の導入をするようなことがあってはならない結果的には京都の自殺行為である。

今ある公共施設を大切に使うことが大事である。これ以上の施設の集約化はやめ、民間への用地の売却や貸付はやめるべき。京都の町並みや景観を守るべきと考える。マネジメントの進め方を変更するべき。

市有地を民間に払い下げず、市民生活に活用すべき。

市民の利用が少ない施設の閉鎖売却、民間委託。塩漬け施設の売却

公共施設の老朽化対策については、そもそも公でなければならぬかという根本的なところから見直しを行うべき。

公共施設の有効活用をもっと検討すべき。キャンパスプラザやウイングス京都など、一等地であることを考慮すれば一部テナントを導入するなどもっと収益化が図れるのでは。

眠っている資産を有効に活用してほしい。

緑地帯の要・不要の選択を行いメリハリのある緑地行政をお願いします

民間活力の活用、民営化の更なる推進に頼りすぎるべきではない。手抜き、ごまかしを生まないよう連携してほしい

教育や芸術、健康づくりに責任をもてるよう、施設のマネジメントをしてほしい。後期高齢者になっても、自立していけるように健康づくりに取り組む意義を行政が示してほしい

公共施設も合併や削減で良い。

現存する公共施設をうまく利用して欲しい

施設マネジメントについては、受益者負担を徹底させるべき

意見要旨

京都市の特徴や今後のまちづくりや日本の世情を先取りした施策の中でその「機能」が検討されるべきだと思う。

跡地活用や空きスペース有効活用は結構だが、市職員主体の審議会ではなく民間ベースの検討を期待したい。

保有資産の有効活用の中で、学校跡地などの地域住民が大切にしてきた場所についてはとくに、計画早期の段階から住民参画し、市民の視点を取り入れた計画にすべき。歳入増目当ての切り売りになってはならない。

市所有施設・運営の統一化

公共施設の見直しは、老朽化した学校の統合から進めていけばいい。

古い市営施設について、建替えやリニューアルでないアプローチは本当はないのか。京都市を担う若者のための教育や人材育成のための施設が廃止になるということがあれば、未来に向けた施策にならない。

青少年科学センターについて、耐震や雨漏り等の老朽化は修繕すべきと思うが、施設自体を建て替える必要性は感じない。古くても、耐震や設備保持に差支えがないなら、建て替えやリニューアルを安易に行う必要はないのではないか。

廃校を見直して活用計画を導入する。

閑地を売って少しでも財源収入になればよい。

市が保有する土地建物はもっと使うべき。

使う見込みがない資産はスピード重視で売却していくべき。

市が所有する施設で民間で設置運営している施設については、積極的に民間に売却するべき。

統廃合小学校跡地等の箱物は、無理に活用するのではなく売却。

施設の維持ありきではなく、民間が購入してくれるのなら、売却も視野に入れ、財政の改善に努めるべき。

身近にあった公共施設がなくなると、近場で集う場所がなくなりこまてしまう。

コンサートホールなど、大きな箱ものの施設は民間に売却すればよい。

保有資産は、場所・土地の有効活用も含めて稼げる施設にしたほうが良い、

土地などの売却は一時的な収入を生むだけである。

市民の財産である植物園を商業施設に変えようとしている

効率的な資産の切り売りは大事だと思います

今ある施設を活用できるよう市民アイデアによる利用枠を拡大していくべき。

河原町の地下道の活用を

近隣住民に不利益にならないような形で、跡地利用を進めるべき

京都コンサートホール・西京極のアリーナは民間に譲渡、京都市体育館・青少年科学センター・中央図書館は維持,その他は廃止。

公共施設のリノベーションを検討してほしい。

意見要旨

市有資産の売却は、●人の雇用と●円の経済効果があったというところまで示してほしい。

大切な市の財産を企業に売り飛ばさないでほしい。

市民の生存権保障に不可欠な行政サービスを真っ先に削減しようとしているのでは。財政難を口実に市長と癒着した特定の私企業に公共財を売り払おうとしているのでは、

人口減少の中、全施設の維持が無理なことは明らか。民間で類似のスポーツ施設などは真っ先に廃棄もしくは売却すべき。

コンサートホールも民間が維持運営すればよい。経営が厳しいのなら、京都市交響楽団のニーズ無いか、経営が下手ということ。それを自覚させ、早く解散させるべき。

施設の総量削減は民間への売却により達成し、売却収入をあげることに。貸館は全て売却。民間に運営させるべき。

施設の保全は不要。とにかく売却し、コスト要因を手放すべき。どうしても必要な施設・機能は学校の空き教室などを有効活用すればいい。

廃校舎は原則売却。自然体の財産なのだから、地域の要望を過度に受け入れてはいけない。

就労・関係人口の増加に資する資産活用を検討してほしい。

4 行財政改革の取組について（3）

その他の個別施設に対する意見(30件)

意見要旨
行政改革3について、徹底した取り組みをしてほしい
青少年科学センターは必要。全体的に市の施設は更新が不十分。
健康増進センターや京都アクアリーナを維持してほしい。
青少年科学センターは必要だが、市内南部に立地するため、リニューアルする場合は、市内中心部の小学校跡地に移転させるべき。
吉祥院処理場を廃止することが必要。
市の事務所は御池通等の一等地ではなく、廃校などを使うべき。
今現在、学校跡地を自治活動の拠点ではないホテルとしているのはどういうことか。
市議員は議会開催中のみ1日1万円の日当とし、退職金や政務活動費などを廃止すれば、市民は納得する。
廃校になった小学校は地域の所有物ではない。誰もが利用できる活用を考えなくてはならない。
山科ラクトスポーツ施設を一日も早く開館してもらいたい。
経済的な観点は大切であるが、これまで地域において一定の役割を果たしてきた施設であるから、地域住民に対する十分な説明を含む情報公開が必要である。
今ある施設を大切に、予防保全してほしい
施設に関しては、安全性が大切であるため、予防保全を徹底するという考えを評価する
(行財政改革3について)全て実施すべき
老朽化する公共施設の見直しはよい。
公共施設のマネジメントは見直すべき
施設のあり方を見直すといっても、いつもでも維持費を支払うのも不適切なもので、時期を決めて取り組んで欲しい。不要な施設は速やかに売却すべき。
もっと運用していくべきだと思う。
人口約13万人の山科区に同6万人の伏見区醍醐支所を編入すれば醍醐支所が不要になる。施設の維持費節約、売却、跡地活用などメリットがある、
健康増進センター・図書館といった市民の文化的暮らしを支えるものを切り崩す姿勢には納得できない。
施設を保有してサービスを提供する、という固定観念から脱却し、施設は原則廃止でよほど必要性のあるもののみ存続させるくらいの意思をトップが示すべき。

意見要旨

京都市が施設を運営する必要はない。民間に売却してはどうか

市有施設の時代にあった整理，統合，売却を進めるべき。計画に書かれている方針でぜひ進めてもらいたい。

大型プロジェクトごとに事務事業評価を示して，インパクトマップで事業効果を検討して欲しい

各公共施設の持つ専門性を見極め，「公共」だからできること，京都のサイズ感だからできる事業の展開を検討してほしい。

利用が少なそうな施設は作らないように

三位一体化は跡地活用になっていて，以前の説明と異なる。

利用しづらく，特定の人しか使わないような施設を精査すべき。公共い施設ありきでなく，神流の拠点となるような機能を期待したい。

公共施設は受益者負担の見直しを行い，次に統合・再配置を行った方が良い。

公共施設は大切にすべき

4 行財政改革の取組について（4）

市バス・地下鉄の経営に対する意見(164件)

意見要旨
地下鉄は民営化できるようにすべき。
市バス等の一日乗車券の値上げを検討すべき
山科から今出川を往復するだけで元が取れてしまう一日乗車券の価格設定を見直すべき。一律に価格を引き上げるのではなく、30歳未満と70歳以上を対象とした福祉パスを導入する等を検討してほしい。
地下鉄の運賃値上げはやめてほしい
地下鉄の増客に向け、初乗り運賃の値下げを検討すべき
地下鉄の東西線を活性化すべき。
過疎地域の市バス路線は赤字でも維持すべきだが、黒字路線や地下鉄事業は民営化すべき。
市バス地下鉄料金の値上げは逆効果ではないか、トラフィカカードや乗継割引廃止も反対。
バス・地下鉄の見直しは、選挙争点として有権者に判断を委ねるべき。
市電を復活すべき。
地下鉄を民営化すべき
地下鉄東西線の試算や阪急・JR西日本からの鉄道の運賃試算や線路の使用料試算。
バス利用が多い観光客には専用の乗り放題2000円～券を発行して、提示すれば飲食店や観光所で特典を受けられる（50円引きなど）ような仕組みを、市内のあらゆる大小含めた事業者とコラボして、観光客からもっと観光税にかわる収入を得ればよい
地下鉄駅構内の賃貸店舗の増大。
市バス・地下鉄の本数・給与体系・人員は民間企業と比較して高過ぎでないか。
市バス運行ダイヤを改定し、乗務員数を減らし、給与額の削減を実施すべき。
烏丸通りはバスではなく、地下鉄に乗ってもらえばよい
地下鉄・バスの乗換割引を拡充すべき
市バス地下鉄について、市民等の利用と、インバウンドによる利用を分けて勘案し、「市民の足」として路線改編や料金見直しを行うべき
地下鉄を民営化するべき

意見要旨

市バス・地下鉄は苦しそう

地下鉄は民営化すべき

交通局を民営化してはどうか。

市バスは路線が多すぎて非効率的。

地下鉄御池線周辺の開発，見直。

地下鉄のダイヤを見直し，減便する等の取組を行うべき

地下鉄やバス運賃の値上げすべき

一般会計からの繰出を減らすと値上げや安全性の低下につながるので，しっかり援助すべき

車両がいっぱいあるのに京都市は入れ替えが早すぎる

市バスの一律料金を410円に上げる，又は距離に応じた料金制にするべき

市バスの運行本数の見直し，東西線の運行本数の見直し

地下鉄民営化

市バス（地下鉄や京阪）の南北線減少

市営交通は，大阪メトロのように民営化すべき。

市バス地下鉄を民間企業に売却すべき。

地下鉄の運賃アップが必要。

交通局の職員数を減らすべき。

交通インフラは減便し，運賃を見直し。

市バス・地下鉄を民間企業に売却。

地下鉄・市バスの初乗り料金を値上げすべき。市民証を発行し，京都市民は300円，市民以外は500円とすべき。

交通の場合，地下鉄は，南北線と東西線。交わる所は烏丸御池のみ。市バスはある程度貢献しているが，「市電」として環状線が必要。

5～6人しか乗っていない市バス，地下鉄の昼間の便を減らすべき

交通局は，民間の事務所と比べて時間の流れがゆっくりとしている。

意見要旨

市営地下鉄の民営化！地下鉄職員が一ヶ月10日しか働いていない現状を踏まえ、勤務シフトの見直しや民営化しないことには運賃の引き上げばかりで市民が納得しない。

交通局は、元々赤字経営である事実を受け入れるべき。市バスについては、もはや「市民の足」ではなく、「観光客の足」であり、普段は市民を無視しているにも関わらず、市民を強調しないでいただきたい。

市バスの不採算路線を廃止すべき

交通局、上下水道局でネーミングライツを実施すべき。バス停、地下鉄駅は可能ではないか。

市営地下鉄の経営改善や方針について何ら記載がないのは驚きであり、姿勢を疑う。

地下鉄職員の人員削減

地下鉄の無理な延伸と利用者増加への努力不足を改善すべき。

市バス・地下鉄を経営健全化団体にすること、及び民営化も視野に入れるべき。

地下鉄の利用者の増加

市バスを廃止して各営業所ごとに競争入札で民間に売却することが一番。

地下鉄は京阪と近鉄に売却したらいいと思う。

地下鉄の運賃を値上げして収入増を見込む素人経営の破綻が見える。

市バスの運行と運賃の見直しをお願いしたい。

地下鉄事業を売却すべき。

市バスについては、京都バスへの移管をさらに進め、一本化を目指すべきではないか。

地下鉄は民間事業者とコラボすることで、収益改善を図るべき

市バス、地下鉄は早急に民営化すべき

バスの本数を減らすべき。

一度本気になり、地下鉄（に係る経費）を見直すべき。

地下鉄東西線を廃止し、跡地を歩行者・自転車の専用道路として活用する。

市バスのサイズ見直し。

市営地下鉄の民営化を急ぐべき。

市バスの台数を減らす、バス停の案内係の精査など、交通インフラを見直すべき。

意見要旨

交通料金の値上げは反対

地下鉄に自転車を持ち込めるように

高い運賃を値上げすれば破綻が見える。

京都市営地下鉄の経営は、地元有力企業の資金と知恵をもらい解決するべきです。

40周年の地下鉄の減価償却について、償却後は大阪のように民間に売却し、市はその株主となって配当金を得る。

地下鉄や市バスを民営化するべき

市バスは営業所ごとに競争入札で売却。地下鉄も京阪近鉄阪急に売却すれば良い。

市バス地下鉄の民間企業に売却

市バスと地下鉄の民営化

市バスは民営化すべき。

トラフィカ京カード廃止による乗客減もある。考えがなさすぎる。

地下鉄東西線の収支改善が必要（むしろ東西線は不要）

市バス・地下鉄の料金は全国的にも高い方。これ以上の値上げは市民の足を奪われることにつながる。

高速鉄道事業（東西線）の赤字が膨大化していると聞く。東西線経路の市バスの運行を廃止し、地下鉄利用を促せばいい。

地下鉄東西線は廃止してもいいのではないかと。

京都市の職員は地下鉄・市バスが全て無料なのが赤字の原因。知り合いが何か市からもらっている定期を見せて、お金を払わずに乗っていた。

地下鉄及び市バスの民営化

思い切った改革をするなら西5/西6系統を廃止し、代替はすでにあるヤサカバス・京阪京都交通で十分。

地下鉄は民営化すべき。

市バス・地下鉄について、京都市民は従来通りの料金とし、観光客は高く徴収すべき。

地下鉄はコロナ禍前までは黒字に転換していたはずであり、元に戻ることは予想できる。

地下鉄東西線を廃止し、市バスも収益が上がらない路線の減便や廃止は賛成

地下鉄東西線の運賃値上げを

意見要旨

地下鉄事業については、国にもう少し理解を求めてもいいのではないかと。

1日乗車券に関して、700円では安すぎる。1,000円以上が妥当。

市バス、地下鉄は完全に京都市の運営にすべき。市民の足を民営化するなど言語道断。こういうものは赤字など関係ない。

市バスや地下鉄の値上げならだれでもできる。

地下鉄の高齢者パスを70歳から75歳へ引き上げることは絶対に反対です。裕福な高齢者は対象から外すべきです

バス地下鉄の割引廃止・値上げに反対します

バスプールを三哲操車場のよう、違う形で活用すべき

地下鉄、バス料金の値上げに反対です。せめて京都市民だけでも料金据え置きを希望します。

バスと地下鉄の値上げ反対。一日乗車券の値上げなど、観光客に対する値上げを検討すべき

交通事業は民営化すべき

新型コロナの流行による市バス・地下鉄の収入減は、災害と同じであり、それを理由に市民の生活にとって大切なダイヤや運賃の見直しをするべきでない。市の財政支援をするべき。

市バスの運賃値上げなどで補おうしているが、益々市民が住みにくくなると思う。

地下鉄、市バスの民営化。

地下鉄・市バスの交通費は年金生活者にとってはとても負担。

連なって走る同一系統の市バス本数の見直し。地下鉄値上げではなく、値下げで利用者の増加をねらう。

地下鉄の京阪乗入れで多額のお金を払っていると聞いた。逆に恩恵を受けているの京阪なのだから、支払ってもらうべき。

市営地下鉄運営が課題であるなら、福祉や教育を削るのではなく、国に支援を求めるべき。

市財政のひっ迫は東西線の赤字によるもの。入札制度に問題があるのでは

地下鉄の自動運転化を

地下鉄値上げやめて

市バス地下鉄の料金システムを変えて利用を増やしてほしい。市内道路にバスレーンを明確に設けてほしい。

市バスの補助を出す年齢を上げるのは賛成

市バス地下鉄について、観光客向けのパスを作るべき

意見要旨

地下鉄民営化くらい思い切ったことが必要

地下鉄・バスについては、さらなる値上げ余地がある。一層の値上げに取り組んでもらいたい。

市バス一日乗車券を値上げするべき

交通運賃値上げ反対

国内旅行者に地下鉄一日乗車券を広報するべき

乗車率の低い市バス路線は見直し、コミュニティバスを増設するべき

市内の交通手段を電動バス、電動自動車に変える。

大阪市のように、交通局を民営化してはどうか。

市バス地下鉄については、経営努力だけでは限界があり、国に交付金等の支援強化をお願いしたい。料金値上げもやむなし。

ホームドアの設置など、市民の安全過大への対応は最優先に取り組んでもらいたい。

観光客が減っているのであれば市バスの本数の見直しなど、無駄を減らすことがまだまだある。

何十年も赤字で採算のとれない市バス・地下鉄は民間に売却すべき

市営地下鉄、市バスは民営化すべき。特に東西線は空いているので閉鎖すべき。

市バス、地下鉄については、市街観光客から収入を得るべきであり、一日乗車件はもっと値上げすればよい。

観光客の市バス1日乗車券費用をもっと徴収すべき。また、大きな荷物を持った場合、別途費用の徴収や地下鉄の利用を促進するなどすれば良い。

東西線を強引に作ったことが諸悪の根源なのではないか。

市バスは営業所ごとではなく、全体で考えてほしい。市民や観光客に不便を強いている。

地下鉄東西線が問題と言われるが、開通しているのだからどうしようもない。

市バス臨南5系統は単独で収支が発表されたことがなく、また住民の通勤通学、生活同線と一致していない。単独収支を公表のうえ、精査する必要がある。

市バス・地下鉄の利用料について、市民と観光客を差別化してほしい。
観光客向けのバスも作っては。

四条通のバス案内員は不要。

民間の協力を得るのは良い考えであり、例えば、京都市市営地下鉄や市バスの民営化を考えるべきである

京都市市営地下鉄や市バスの民営化を考えるべきである

意見要旨

運賃の値上げをする前に、こういった不正乗車をなくすために、定期券のIC化の徹底を進めるなど先にやるべきことがあると思います

公営企業として交通局があるが、積極的なグッズ販売などで鉄道やバスのファン、萌えキャラ活用によるアニメ好きからも多大な支持を得ているので、これを継続していくべき

市バスの観光客料金を値上げしてほしい。

地下鉄は費用対効果が低い事業であり、建設費が財政赤字の原因になっている。今後も収益増が困難な事業ではないか。

地下鉄市バスの一円券の値上げをするべき。

市バス地下鉄は京都の魅力の一つなので、積極的な路線拡大や営業を続けてほしい

地下鉄については完全民営化も含めて動くべき

市バスは地元住民の足となっている路線に集約し、観光客が多く利用する路線は廃止でよいと思う。

市バス料金や一日乗車券の値上げを検討してみてもよいのではないか。

交通局の民営化、地下鉄沿線のバス路線廃止、バス料金及び一日乗車券値上げ、前乗り後ろ降りで大きな荷物乗車不可又は付加料金

大赤字運営の地下鉄を民営化するべき。

地下鉄、市バスを完全民営化するべき

市バス事業、地下鉄事業を民営化すべき。

会計を連結的に考えることは当然。単年度決算を改め、長期的な展望でのまちづくりを考えるべき。

市バスを走らせすぎ。

地下鉄は借金含めて民間に売却してはどうか。

行財政改革4について、地下鉄以外は賛成。

烏丸線について、土日ダイヤの一定の利便性を確保してほしい。また、平日朝ラッシュ時間帯は明らかに密が発生しており、できるだけ改善してほしい。

お寺や神社に行く観光客のせいで出勤時に市バスに乗れないことがあった。観光路線と生活路線を分けて、市民はバス代が安くなるな制度にできないでしょうか。

京カードと回数券は意思は看過できない。全ての人が電子機器などを利用できるわけではない。

地下鉄を民営化しましょう

市バスや地下鉄の民営化は検討していないのか。

COVID-19直前は観光客があまりに多く、市民が市バスを利用しにくかった。同じ状況が繰り返されることは望まないので、ただの増客ではない解決法も模索してほしい

意見要旨

バスや地下鉄運賃について、観光客から多く取るべき

市バス地下鉄などの運賃を市民と観光客で分けるべき

地下鉄、市バスの民営化。

地下鉄の累積赤字を解消する明確な道筋を示してほしい。

地下鉄や市バスを民営化すれば、すぐに財源をつくれるはず。

地下鉄・市バスの経営健全化とは、具体的に何をするのか、健全化は可能なのか。

4 行財政改革の取組について（4）

上下水道事業に対する意見（公営企業全般含む）（58件）

意見要旨
公営交通，水道の民営化はやめた方がよい
水道料金を値上げすべき
水道局が行っているポスターやシール等での広報は税金の無駄遣いだ。
水道代は2～3割の値上げが必要。
水道の工事をまとめて実施して経費節減できないのか
水道事業の黒字も見せかけではないか。本来はもっとメンテナンス費用等が必要なはずであり，水道事業もはやめに大改革に着手を。
水道の広報，イベントは廃止し，水道料金の値下げを。水道事業こそ徹底した職員削減が必要である。
水道事業は大部分を委託できるはずであり，職員削減を徹底してほしい。
公共下水道事業への繰出の220億円も大きいので減額する必要がある。
下水道事業への出資金の休止は賛成
上下水道局の職員数を減らすべき。
交通局や水道局はもっと独立採算を進めるべき。
下水道料金がなぜ高いのか不思議
水道局はもっと簡素化すべき
水道と交通は一体となった計画をたてるべき

意見要旨

水道は人員をもっと削減すべき。委託できる業務も多いだろう。

水道・下水道事業についても、ハード系は、20年、30年を視野に入れて計画を立てるべき。

市バス、地下鉄、清掃、上下水道、給食などは、早急に民間に任せるべき。

水道の民営化はやめるべき

水道料金の値上げは仕方ないが、民間委託はしないでほしい

水道局を抜本的に見直すべき。無駄なことをやりすぎ。

全会計連結の視点であれば、下水道事業への繰入金を休止する必要もないのではないか。

下水道事業が他都市以上なのは、町が古く、メンテナンスが必要なため仕方ない

水道は公共事業であるべき

水道事業は市民の命を守ることを優先すべきで儲かる必要はない

一般会計から下水道事業への繰出金を廃止するとはどういうことか

京都市に住んでいない場合のみ、水道代の基本料金も使用料も10倍徴収

水道の民営化はしてほしくないが、するとしたら外資等が入らないようにしていただきたい。

水道以外の特別会計は自立化できるなら民営化したらどうか。

下水道事業への繰入金休止は有効な手立てだと思います

水道事業について、安易な切売りにならないよう

水道事業、公共下水道事業など、社会インフラに関わる費用は、無駄は良くないが、減らし過ぎない方がよいと思う

京都市は他の都市に比べて水道代が高い。

意見要旨

地域への補助金バラマキはやめるべし

他都市で水道の民営化を進めているところがあるが、絶対に検討すらしないでほしい。イギリス等の他国では民営化で大問題になり、再公営化されている。

水道局も職員数を大幅にカットできるはず。

下水道の修理が必要な状況は続いている。一般会計からの繰入金を休止することで、整備事業費が抑制されないよう、繰入金の継続を

下水道事業への繰入をしないことで、市民にどう影響するのか具体的に教えて欲しい

インフラの水道事業は、生活を支える重要なライフラインで引き続き検討いただきたい。

これは、ゴミの収集事業、水道事業などにおいても同様と考えます。民間委託化を推進することは反対します。

下水道への拠出金がこんなに国基準を上回るのはなぜか。

水道は公営ですべき

交通、水道共に今後も市民サービスの低下がないように努力して欲しい

水道がおいしい、市バスが便利、地下鉄の本数が多いなど、公営企業そのものが街の魅力。公営企業は廃止せず、将来にわたってサービスを確保して欲しい。

上下水道はインフラであり必要経費。削減せず予算を増やし、排水溝の清掃適用範囲を広げて欲しい。

公営事業、特に水道の民営化だけはすべきではない。

下水道事業への繰出し金はいらぬ。公営企業自ら改革が必要。上下水道局の人員削減を。

水道が民営化し、水道代がアップしては、市民の負担が増え、消費が停滞する。

相変わらず水道工事など、中途半端で工事が何年たっても完了しない

上下水道事業は公営で当たり前。

市バス水道は市の事業として運営してほしい。

意見要旨

公営企業の民営化について、議論してもらいたい。

赤字の中でも公営企業は運営を継続させてほしい。

公共下水道事業への繰出金は削減すべき。

交通や水道事業を凍結するべきではない

水道事業への繰出金はやめるべきではない

水道事業への繰出金はやめるべきではない

下水道事業への出資金休止はやめて

4 行財政改革の取組について（4）

国民健康保険事業・医療費に対する意見（98件）

意見要旨
医療費値上げ反対
国民健康保険事業は廃止すべき
国民健康保険事業は廃止すべき
国民健康保険事業は残すべき
国民健康保険への繰出しについても、全国的な基準を超える部分は、受益者の保険料だけで賄うべきである
国保料の値上げ反対
国民健康保険の減免制度を廃止か見直ししてほしい。
国民健康保険の被保険者の負担軽減には反対。財政状況が悪いのに、この人たちを必要以上に守る必要はない。
国民健康保険事業等への繰出金の見直しは即刻すべき。
公費負担の健康保険の人達の薬品に対してもジェネリック医薬品にする
国保料は値上げ必須。
国保料の支払いは限界
国民健康保険料は家庭が辛くてもたくさん支払っている方もいる。
国保の市独自基準の廃止
国保について、外国人が使うことによって支出が多くなっているなら見直しが必要
国民健康保険の負担額の少なさに驚いた。会社勤めの人間は、年間国民健康保険の人たちよりも自己負担額が高い。所得によって、もっと細分化してとれるところから取ったほうがいいのではないか？と思う。
国保への繰出金を大胆に圧縮すべきではないでしょうか
国民健康保険への市民の負担が増えるような見直しは困る。
国保の値上げはすべきでない
国保事業への繰出金を継続すべき。今でも高い国保料の値上げはやめるように。

意見要旨

国保特別会計への一般会計からの支援縮減はせず、維持することが新型コロナ禍で市民の生活と健康を守るために必要。

北陸新幹線計画を中止すべき。

財政改革のために、国保料の値上げ等、観光とは関係ない市民の負担が増加しないように要望する。

国の負担金を増やすように求め、国保料は上げないで。

国民健康保険事業への繰出金の削減がされると保険金の引き上げにつながることは明らかなです。保険料が払えなくなる人が増え、受診抑制、健康悪化による医療費の増加の悪循環に陥るのではないのでしょうか

保険料が上がるのは不安

国保保険料の負担限度額は、負担能力に応じて、限度額撤廃か国基準の限度額で検討願いたい。

国保料の値上げ反対

国民健康保険事業に対する繰入は引き続き必要。

国民保険料値上げ反対

国民健康保険特会への繰り出し見直しは反対

団塊の世代が75歳になっていくため、国保加入者は減少し、後期高齢者医療保険への加入者が増えるはずだが、支出の金額が連動していないのはおかしい。

国保への繰り出しをやめるべき

国民健康保険料は実際に利用する方が負担すればよい。

国民健康保険を使っていない多くの社会保険加入者からすれば、そこに多額の税金を投入されるのは不公平感が強い

国民健康保険は今でも高い。保険料の引き上げはやめてほしい

国保保険料に関して、医療費が本来の医療以上に濫用されていると常に感じています。

国保は安くしなければならない。

国民健康保険は国制度の減免措置があるので、独自の支援は不要では。

国民健康保険料は安くしてほしい

国保料値上げ反対

国民健康保険料の見直しは反対

国民健康保険料の見直しは反対

意見要旨

国民健康保険料の見直しは反対

意見要旨

国民健康保険料の見直しは反対

意見要旨

国民健康保険料の見直しは反対

国民健康保険料の見直しは反対

国民健康保険料の見直しは反対

国民健康保険料の見直しは反対

国民健康保険料の見直しは反対

国民健康保険料の見直しは反対

国民健康保険料の見直しは反対

国民健康保険料の見直しは反対

国民健康保険料の見直しは反対

4 行財政改革の取組について（4）

外郭団体や特別会計全般に対する意見（74件）

意見要旨
外郭団体の切り離し
外郭団体は廃止すべき
外郭団体について、天下りなどないよう、あり方の検討を進めてほしい
行財政改革4について、内容が分かりづらい。
公営企業の民営化を求める。
外郭団体は、不用なものは大胆に整理したり非営利組織に吸収したりする必要がある。
外郭団体の在り方を検討されるようですが、天下りのような人事で運営されている団体が散見される。
外郭団体は自走化すべき
交響楽団など、外郭団体の支援に税金を投入するべきではない。
外郭団体を独立させるべき
外郭団体の見直しは控えめなのか
市立病院の医療体制整備、スタッフの処遇改善が必要。
公営企業・特別会計について、必要な場合は一般会計から繰り入れるべき。
外郭団体についての自立促進には大きく賛成する。市政の補完的役割が薄れている事業について、統廃合を進めるべきと思う。
年次表記に西暦も併記していただけるとありがたい。
外郭団体については、必要最低限に整理すべき。
特別会計のネーミングライツはできないか
外郭団体の整理も急務

意見要旨

公共施設はいつも閑散としている。廃止や値上げするのはあるべき姿だと思う。

全会計連結について、「会計上の操作はしない」といった記載があるとよりわかりやすく安心できる。

市民に膨大な資料の言い訳。うんざりしました。

外郭団体の自立は重要。

外郭団体の職員派遣，天下りはやめるべき。

特会も含めて自治体であるとして書いてあるが，実際に何をやるのかがあまり書いていない

外郭団体は設置の必要性を洗いなおす必要がある，職員派遣は役人の天下りにしか見えない。再就職も禁止すべき。

外郭団体については，収益性や生産性だけでは評価しづらい集団を適正に評価し，出資の割合や存在意義を検討すべき

市場の必要性が分からない。

ろくでもない外郭団体があるのであれば是正する本当に出来るのならこれは評価したい。

外郭団体…これほど一部の人間の利権に配慮した不要な存在は無いと思うので、すぐにも廃止し民間に委託すべきでは。職員もやる気がない、覇気もない、一部の人間が金銭を搾取するためにやってるものと認識している

外郭団体による財政及び行政体制のチェック体制を。

事実上の利権団体になっている外郭団体は減らしてもよい

外郭団体については、その存在意義までさかのぼって検討することが急務だと考える。民間に移転したほうが経済的、効率的に運営される業務も多々あるのではないか。

京都市立病院も外郭団体の対象か。コロナ禍で市民の健康を守ってくれているが、病院への支援などが減ることはあってはならない。機能が維持できるよう支援を行うべき。

外郭団体は即停止するべき。外郭団体の名称と職員数，代表者の経歴を公表してほしい。

外郭団体の見直しを含めていないのはなぜか。民間活力を導入するのであれば，外郭団体に補助金や委託を行う必要はない。

計画どおり進めてほしい。外郭団体は市の関与を早期に無くすべき。まさか市からの天下りなどないように。逆に無くすと成り立たない事業は公的側面が強く市が関与すべき。

これまでの債権中心の運用を改め，先進国株式等を組み込んだポートフォリオで基金を運用すべき。

全会計の凍結が必要

全会計連結による改革は賛成

意見要旨

外郭団体の数を縮小すべき

不要な特別会計もあるのではないか。

外郭団体は民間企業に任せておけばいい。

(行革4について) 賛成する。

外郭団体は例外なく自律的な経営を推進する方向でないといけない。

外郭団体の整理

(行財政改革4について) 全て実施すべき

現在実施中の市場整備をしっかりと完遂させ、そのために必要な財政支援を行うこと。

市場について、現在実施中の整備を完遂させ、必要な財政支援を行うべき。

外郭団体の在り方は、しがらみにとられることなく検討してほしい。

外郭団体は切り離せ

外郭団体は形骸化しているなら解体すべき

外郭団体は財政緊急時にはいったん廃止にすべき。

公営・特別事業ともに、値上げと経費削減は当然。

外郭団体はそもそも不要な団体。

外郭団体について歯切れが悪い。ここにメスを入れられるかどうか、改革の本気度を示すと思う。

良いと思う。

外郭団体について見直すことで、「自分の金は自分で稼げ」論で労働環境の悪化が生まれないか危惧している。

外郭団体の自律的な経営の推進とあるが、まずは、京都市自体が団体離れすることが肝要。

外郭団体については本当に必要かを議論し、不要なら削減することを徹底すべきである

一定理解できる

意見要旨

外郭団体は必要ない

外郭団体の在り方検討でどれくらい支出が浮くのか見えない

(行財政改革4について) 現状でいい。

外郭団体については精査し、厳しい選択も取るべき

不合理な天下りや外郭団体を一掃するべき

外郭団体の自律的な経営を進めるのであれば、京都市の下請けにならないような事業運営面での自律も進めていくべき。

外郭団体の財政健全化の徹底を望む。

行政区ごとに保健所を復活させてほしい。

外郭団体の見直しは推進するべき

外郭団体の見直しは推進するべき

外郭団体には市のOBが多数再就職している。見直すべき。

外郭団体にこそ隠れた無駄が大量に潜んでいると思います

中央卸売市場への繰出金は不要

税金のかかる外郭団体は不要

4 行財政改革の取組について（5）

人件費全般についての意見（35件）

意見要旨
市の組織，人員，人件費の削減を第一に掲げるべき。
公務員の人件費を削減するべき
給与，余剰人員の多さなど，努力が足りていない。
人件費にもっとメスを入れてください。
人件費は大幅に削減すべき
人件費再検討すべき
市職員数及び人件費の削減
非常に危険な財政状況であるとわかった。コロナ不況を受けて，税収減に拍車がかかっていると思われるため，多方面からの歳出抑制が必要。人件費カットをまず実施すべき。
人件費は据え置きではなく減額を目標とする必要がある。
他府県に倣い，人件費を見直す
人件費が他都市に比べて人口換算で171億円も多い結果，このような事態になったのではないか。
歳出の人件費の割合に対して，削減率が低すぎる。5年で74億円（4.8%）のみの削減では，真剣さが全く伝わらない。
人件費をもっと削ってはどうか。
一度本気になり，人件費を見直す。
財政破綻する役所の人件費が高いのは信じられない。
市長，職員の人件費を大幅カットしてほしい。
職員も，中小零細企業のことを思って，我慢，辛抱をお願いしたい。

意見要旨

まだ人件費削減しますか。

特に人件費は他都市並みを目指すのではなく、政令市トップの低さとなるくらいでなければ厳しいと思います

一般職員の人員削減，給与減額

行財政改革5について，徹底的に行うべき

これ以上，人件費を削減できるのか。

(行革5について) 大いに賛成する。

財政改革において人件費削減は最終手段である。にも関わらず，市長は改革の第一歩として人件費削減を打ち出している。この手法は誤りであり，今後も幾度となく行財政改革をやらざるをえないだろう。

民間委託化OK，人件費の見直し

(行財政改革5について) 全て実施すべき

人件費を抑制すべき

他都市と比べて人件費が多いので，もっと削減したらいい。

人件費の削減は間違いなく必要だ。

50歳以上の特例退職制度を，40歳以上から適用できるようにするなど，人件費全体を見直す必要がある。

収入に見合った人件費設計を怠ってきたことを反省してほしい

人員削減より人件費抑制が大切。

他都市との人件費乖離について0を目指さないのはなぜか。

人件費がかかりすぎている。

人権hに関して，市職員の方が作成している資料に，人件費が他都市平均より多く，削減対象と書かれていることに感心しつつ，本当に必要な人件費が削減されないよう，望む

4 行財政改革の取組について（5）

組織についての意見（9件）

意見要旨
組織の在り方を補職者全員で再検討し、組みなおすべき
各部署に計理担当がいるようだが、抜本的に組織体系を変えるべき
人件費については、職員総数を減らすだけでなく、役職者と平職員とのバランスを見直してほしい。
新しい役職ができては数年で消えるパターンが見受けられるが無駄である。
補助金について、他都市に比べて処理が遅い。その決裁にはどれ程の人がかかわっているのか。民間企業では多額の支出であっても決裁は3人程度である。
局・部・課の統合を図り、サービスと膨れ上がった組織を整理することで、人件費を削減すべき。
どうした組織であるべきなのか？という哲学を市民に見せてほしい。
組織は人なり。部局の整理が必要。
市の意思決定プロセスを改善しないのであれば、今後も同じ課題が発生することになる。

4 行財政改革の取組について（5）

保健所についての意見（2件）

意見要旨
コロナの教訓を踏まえ、かつ、大規模災害に備え、各区役所に保健所を復活すべき。
区の保健所を復活してほしい。

4 行財政改革の取組について（5）

職員数総数の削減についての意見（256件）

意見要旨
どの部門でどのくらいの職員を削減するのかしっかり公表してほしい。
特に危機管理を担う部門の職員削減はすべきでない。
市職員は正規雇用を増やし、職員の能力向上を図ることで、無駄な外部調査を内製化し、人件費ではなく委託料を減少させることも可能。
職員数を削減については、京都市の事業が縮小していくのであれば、問題はないが、維持・拡大していくのであれば、時代の逆をいくのではないかと危惧している
区役所に行ったら職員が暇そうにしていた
適材適所。世の中の動向に合致するような改革であってほしい
人件費を減らすために、職員数を減らすことによって、市民の利便性の低下につながらないか心配
公務員の人数が多いとあるが、市独自のサービスをやめれば減らせると思う。
安易に人員を削減するべきではない。
職員数の削減をすべき。
人員削減は賛成。
市職員の再任用コスト削減が第一。
希望退職者を募るべき。
人員削減や給料の削減を行うのも良いが、その影響で作業の遅れや職員の業務への気力の低下が起こり、結果としてサービスが低下するのは納得がいかない。
職員550名削減は賛成。もっと削減して良い。
職員数削減は1000人を目指すべき。人件費抑制のため、早期退職者を募り、若い職員の採用を増やすべき。
近所の区役所の職員が忙しそうには見えない。もっと減らせるはず
府、市は人員整理と削減すべき。
技能労務職員など民間委託できる部門は減らすべき。

意見要旨

職員は減らすべきでない。

職員が多すぎる。

市営で行っている全ての業務を見直して民営化すべきである。

不用な作業を減らせば、もっと職員は減らせる。早期退職を募るべき。

真に支援が必要な方にとっての制度がよりきめ細やかに届くような人事改革が必要だと感じる。

市政からの一方的な人員削減要請だけでなく、抜打ちでの人員精査など、きめ細かな人員削減が重要だと思う。

職員数については、消防・教育の職員数は削減すべきではなく、総務・企画・税務・労働・議会の部門は削減数を増やすべき。民生部門については、削減すべきではなく、衛生部門については削減数を増やすべき。

暇そうな職員がいる反面、過労死レベルの残業をしている職員がいる。こういったアンバランスを改めるべき。

職員数を減らすだけでは過労働が発生する可能性がある。不足分の補てんを議論・実行すべき。

他都市よりも職員は多い印象。とはいえ、やみくもに減らすのではなく未来も考えて削減なりを行ってほしい

人件費について、級間の給料月額の重なりを見直すとともに職員数削減を行うべき。

職員のデジタル力向上については、自主勉強すべきものであり、業務時間を使って実施すべきではないし、必要としていない職員にやらせるのは無駄である。データを効率化したい場合でも、担当者の能力や時間が無い場合もあるので、そこはデジタルに強い職員に改修してもらう方が有効である。

TVを見たり新聞を読んだりする公務員がいる一方、トイレに行く暇もない公務員もいる。職員の適正配置をすぐに実施すべき。

職員はどんどん削減して、民間、アルバイトを活用したほうが絶対良い役所になる。

職員数の削減は反対です。

職員削減しなくてもいい案があるのでは。

人件費を削減するのではなく、市が雇用者となるべきだ

職員を減らすべき

市の職員は増やすべき

職員数の適正化

職員の数も減らして下さい。

人員削減！

意見要旨

市長や副市長の取り巻きをしている職員を減らすべき

市役所職員の大幅削減

バイトの多さ、副市長が3人もいる、人件費の無駄が多い

550人の職員削減で十分なのか

人員の削減に関しては賛成であるが、都市間で職員数に差が出るのは当然。まず不要不急の業務を中止、縮小したうえで削減すべき

財政出動なくして成長なし。まだ民間に切り売り？能力のある正規公務員を増やせ！

絞りきった雑巾からまだ絞る。見てられません。

コロナで職員の仕事量は増えていないのか。これ以上削減して大丈夫なのか。

繁忙期と閑散期での使い分けを適切に行えるとよいと思います

消防署の縮減反対

職員の削減をするのであれば、派遣社員でも生活ができる仕組みを

市職員の削減については、安全管理なども踏まえ、再度検討いただきたい。

教育委員会的人员を削減し、現場の教員の数を増やすべき

職員を減らすことは市民サービスの低下につながるのではないかと危惧している。

人件費について、コロナ対応で必要にもかかわらず、衛生部門を減らすのはありえない。

市幹部職員の削減と部署の統合を行うべき

人員配置を考えた方が良い。

他都市の平均との比較という動機で職員数適正化を図ることは困る。

消防音楽隊の廃止は困る。

教育分野での「技能労務職員の退職不補充」は、内容いかんによっては困る。

5年で職員550名の削減について、正規・非正規の割合を示してほしい

外郭団体への市職員派遣等の市の関与を減らすのは賛成。

意見要旨

民生・教育の職員数の少なさは、公営保育所の少なさや公立学校の力のなさが問題。公立であることの豊かさをもっと作っていくべき。

消防は職員を減らすことは安全が保てない。減らすべきではない。

職員数が他都市より多いとあるが、そもそも少なくないといけないのか。日本は他国より公務員が少なく、有事の際の職員負担が大きい。増やすなら分かるが減らすことは不要。派遣職員という形態も間違っているし、収支を均衡させる必要はない。

職員の削減はやめるべき。また、派遣職員を使っているのであれば全て正規にすべき。コンサルに渡す京都市のお金が無駄なのでやめるべき。

公務員の人数を減らせば良いかのような考えは、コロナ禍の保健所の有様を見れば、いかに間違っていたか明白である

まだ人を減らすということは、今までは適正ではなかったのか。人的資源が一番大切であり、給与を減らすだけでは優秀な人材は集まらない

なぜさらに公務員数カットの話が出せるのですか

職員の半減、給与の削減

市役所のパート職員削減

暇を持て余す職員は税金から給料を出さず削減するべき

職員総数を減らすことは反対

期間雇用の利用でのコスト削減に反対

消防の人員削減反対

職員問題を人員削減による経費削減という観点からのみ論じることはかえって重要なものを失いかねない。

人員を削減すると、市民サービスが低下してしまう。

消防局の人員削減反対

職員は適正人数しっかりと見定めを

これ以上の職員数削減はすべきではない。コロナ対策の状況をみても保健所や病院、区役所等の職員を正規で増員するべきである。

新型コロナの流行により、働く場を失った市民が増えている中、職員数の削減を実施するべきでない。市民の生活を支えるため、働く職員を増やすべき。

今の時点でも、いざという時、公が市民を守る体制が取れていないように思う。今以上人員をカットする必要性があるのか。逆に体制の強化をしていただきたい。

人員削減について、発想が非常に短絡的。市職員の業務をどのように見て来たのか。

消防職員の削減について、大火災、大災害が起こった時の対処は考えているのか。むしろ、府と同じようなことをしている教育委員会のほうが人員削減できるのではないのか。

意見要旨

消防団員を削減すべき

余剰分の技術者は他の自治体に出向，移籍を進めるべき。

京都市の職員は派遣労働をなくし，正社員化すべき。

消防職員の削減はすべきでない

職員数を見直すべき。財政難に陥ったのは観光業にしか目を向けていなかった市長の責任は明らかであり，自身の給与を見直すべき。

職員数は大いに減らしてもらいたい。人の手がなくても物事が進められる時代にアナログな対応しかできない方に税金を使ってほしくない。

以前は毎年のようにあった建物の検査や町内の消火訓練等は，消防職員の削減が影響しているのか。

消防職員の削減は適切か。

働いていない職員を削減すべき

職員数を5年で500人の削減という計画は甘すぎる。採用を極力抑え，1,000人以上削減すべき。

過去10年に渡り財政難が続いているにもかかわらず，この10年間で800人の削減しかできなかったのは怠慢。

消防職員の削減に反対

消防職員や保健センターの職員を削減しないでください。

中央図書館のスタッフが多すぎる。人員削減が必要

市職員が多いと聞く。スリム化を

職員削減より，むしろ余裕のある業務体制を取るべき。名誉職は不要で，職員数や給与体系をどうするか示すべき

職員数を増やすべき

市民サービスの基準を下げるなら，全市職員の給与7%以上のカットを行い，職員削減も計画以上に行うべき

公務員を減らすべき

市立保育園の民営化，職員の削減を中止し，市民が求める京都市行政にしてほしい。

全国各地で災害が多発している時代に市が率先して消防職員を減らすとは，やっていることの意味が分からない。消防団こそ不要であるため，税金を使っているのであれば即刻止めるべき

職員人件費が高い。人数が多い。

意見要旨

退職や異動後に補充しなければいい。

消防士の削減は反対，むしろ増やすべき

消防職員の削減に反対

職員の削減に努めているのは評価できる

職員数削減・人件費削減が，職員の非正規化につながり，正規職員の負担増や非正規職員の生活不安定化を引き起こさないか心配。

職員数削減反対

公的機関で働く人々の指揮を下げないためにも，職員の安易な削減には反対する

消防職員削減反対

人員配置の見直し

職員を減らして，サービスが低下してしまつては意味がない。

市教職員の人員削減に強く反対

市職員の人数見直しについて，減らし過ぎて業務に差支えが出ないようにしてほしい。

消防職員の削減について疑問。

安心安全のために消防にまで改革のメスを入れるのは勇気がいる。手抜きしないでほしい。

救急を担う消防職員を削減するのは心配。

消防職員を大幅に削減することに大反対。

消防局の人員削減する件に断固反対。

職員数削減は得策ではない

京都市の財政難を理由に消防職員を大幅に削減することに大反対。

消防局の人員について，150人の削減は必ず市民に負担がかかるため，断固反対。

担当部署に本当に必要な人員数を配置してもらいたい。

市民のいのちと暮らしを守るための行政サービスの維持に必要な執行体制を強化とあるが，それならむしろ一層の消防力の強化が必要ではないか。

意見要旨

木造家屋の多い京都市において消防職員の削減は防火・防災面で問題である。消防音楽隊の廃止も残念。

職員数削減によって人件費に手を付けるべきではない。

職員数削減は反対

職員数削減は反対

職員数は減らすべき

職員数の削減は反対

市職員数の削減反対

消防職員の削減は、災害から命と暮らしを守るための人員が減り、命を落とす市民が増えるのではないか。

安易な人員削減は反対

職員削減の数字も、民間なら新規採用を数年間ほぼゼロにするのも当たり前である。

必要な人員まで削り込まないことを願う。

消防局員を減らすのは言語道断。

職員数の削減は必ずサービスの低下や非正規雇用の増大につながる。

市役所に行くと人が多すぎると感じる。

市職員を削減するべき

職員数適正化を進めるべき。これまでの負債は職員だけでなく市長にも責任がある。

過去9年で1523人の正職員を削減してきたとのことだが、団塊世代の自然退職、独立行政法人への転属等で実際は削っているように見えない。今後の削減目標550人も職員数の1%程度。市議員は何をチェックしてきたのか。

職員削減、厳しいことだ。

消防職員数を削減すると知ったが、異常気象が続く中、災害の最前線で活動する消防職員を削減することは考えられない。

民生・衛生・消防など市民の安心安全を担う部門の人員削減は止めていただきたい。

衛生部門、消防部門の職員は削減するべき。技能労務職員は全部門で廃止して民間へ委託すればよい。

職員も市民であり、人件費削減により市政を快く思わない職員が増えれば、市政には逆風となる。

意見要旨

職員削減してサービス低下、では困るので、同時に職員の稼働率を上げる必要がある。様々な休暇制度があるようだが、有給の休暇は法定のものだけにするなど。

職員を削減してもサービス低下しないようにしてほしい

職員は今でも不足気味だと聞いている。消防人員の大幅な削減など危険なサービスの切捨てだと思う

市民のいのちとくらしを守るため120人増員と言いながら、消防局は150人の削減となっているこれで市民の命と財産を守れるのか

人件費削減のために、正職員を減らし続けることには反対です

消防局の人員を減らすとあるが、人を減らすのであれば当然であるので市民サービスは低下する旨をしっかりと説明すべきである

経費削減には人を減らしがち（即効性があるので）ですが、やはり人は力であり式や生活にも関わりますので可能な限り底へ着手するのは最後の手段にしてもらえたら

職員を減らすだけでなく、適正数の配置に努めるべき

職員は減らすべきではない

市職員を減らすべきではない

人材を減らすべきではない

二重行政やめて、人員減らしてください。

職員削減で人件費を削るべきでない。

むやみやたらに職員数を減らしたり、非正規化するものではないと思っています。

公務員を減らすな。本来の仕事をさせろ。

若手職員は安いので、民間委託より、民間に近い給与水準で市職員を雇うべき

市民サービスを悪化せずに人件費を削減すべき

職員削減反対

市役所に来るたび、適切な人員管理ができていないように感じる

市職員の削減反対

消防士減らすのも反対

市職員の人為削減は賛成。

意見要旨

不要な役職・ポジションが無いかを精査いただき、公共サービスの質低下につながらない努力をお願いしたいです。

消防署員を減らさないでください。

これ以上の職員削減をやめてください。人は砦です。人員を大幅に増やし市民の生活を十分に守れるようにしてください。

消防士の人員を削減するのであれば、今後の災害件数や現場までの到着時間など、あらゆるシミュレーション予測を示すべき

現在でも職員数は足りているとは言えない。削減には反対する。

職員数の削減は賛成

消防士の人員削減に関する説明が不足している。

消防士の人員は減らすべきではない。

3000人以上の職員を既に削減したと聞いた。危機対応が出来ない体制になっており、これ以上コロナ禍の時に削減すべきでない。

消防の削減はしない

消防職員の削減は反対。

民間にできることを委託し、区役所や環境局の職員を減らすべき。

京都市の施設の事務職員は、民間企業なら1人で処理するものを3人で処理し、しかも責任の所在があいまいなシステムになっている。これらの人件費は半減できるのではないか。

市職員削減反対

職員数を削るのではなく、業務量に応じて、適数を配置する必要がある

消防士や市職員を減らすことは避けた方がよいのではないか。

消防士を削減して、まちを守れるのか。

他都市も職員削減を進めるため、8~10%を目標にすべき。

消防士を減らすのは論外

必要以上の人員体制の適正化、非正規化は、災害時等への対応を困難にするのではないか。

他都市と比較を基準ではなく、市民との関係で必要な人員かどうか考えてほしい。

消防局の人員削減は反対。

意見要旨

市職員数を減らせ

特別定額給付金の際、京都市は周辺都市よりも支給が1か月程度遅れていたが、人員の削減がこういったところにも影響を及ぼすのではないかと。

正職員の公務員が必要なことがわかりました。安易に民間に委託するのは止めてください。

非正規職域を増やし、待遇に格差を付け、若者の官製ワーキングプアを生み出すようなやり方は許されない。

「技能労務職員の退職不補充」が若干心配でもある。勇気職員又は派遣職員の待遇が十分であることを望む

コロナ禍の影響が今後さらに大きくなるこの時期に、人数を減らすことがよいとは思えない

職員は削減するべきではない

職員数削減による人件費の削減反対

教職員は削減しないでほしい

職員を削減するべき

災害等に対する人員を削減すべきでない

職員削減はいいけど、削減すべき人達を間違えてはないですか？量より質の充実に注力すべきだと思います。

職員数だけで比較しても不十分。

消防音楽隊、消防カラーガード隊の廃止

市職員や議員が身を切るべき

人員を削減した結果、人材派遣会社などの一部の民間企業が得をするような事態にはならないでほしい。

人件費は削減するべきではない

無計画な人員削減は危険。

職員数削減は得策ではない

職員数削減は得策ではない

職員数削減は得策ではない

職員数削減は得策ではない

意見要旨

職員数削減は得策ではない

職員数削減は得策ではない

職員数削減は得策ではない

職員数削減は得策ではない

職員数削減は得策ではない

まずは職員が身を切る改革を。

職員削減は得策ではない

市職員を減らすべき

市職員を減らすべき

市職員数削減は反対

市職員数削減は反対

市職員数削減は反対

市職員数削減は反対

職員数削減は得策ではない

市職員数削減は反対

職員数削減は得策ではない

職員数削減で人件費を削減すべき

職員数削減は得策ではない

職員数削減は得策ではない

職員数削減は得策ではない

職員数を減らすべき

職員数削減は得策ではない

意見要旨

職員数削減は得策ではない

市職員削減はサービス低下につながるのでよく検討すべき。

市職員数削減は反対

職員数削減は得策ではない

職員数削減は得策ではない

職員数削減は得策ではない

職員数削減は得策ではない

職員数を削減するべき

職員数削減は得策ではない

職員数の削減は得策ではない

職員数の削減は得策ではない

職員数の削減は得策ではない

職員減らして人件費をもっと削減しろ

職員の数減らすべきではない

職員数削減は得策ではない

職員数削減は得策ではない

職員を削除することにより、関係団体等への補助が増えることにつながらないか。

4 行財政改革の取組について（5）

多様な人材の確保についての意見（23件）

意見要旨
京都橘大学には救命士育成の学科がある。自前で救命士の育成に多額のお金をかけるより、救命士卒の採用を行い、橘大学に採用活動を行えば、経費節減できるのではないか
I C Tに詳しい人材ではなく、「I C Tをどう行政業務に親和させられるか提案できる人材」を求めるべき。
女性をもっと登用
職員数を減らすと若者の雇用機会が失われてしまう。
人件費カットは良いが、安い人件費にするために外国人雇用などはしないでほしい。
若い人材を積極的に登用して平均年齢を下げるべき。
副市長は外部から登用すべき
市職員を単に削減するのではなく、成長戦略を考える部署を作り積極採用すべき。
市職員のデジタル化をもっと取り組むべき。
財政危機の中で新卒採用していることに失望
職員採用試験において、職務に関連した資格や経験がある者は、採用試験時に加点し、それを試験案内に明示しては。
人件費の削減について、人数減だけで議論するのではなく、高いスキルを持っている人材を手放さないよう配慮することも必要
定年退職した有能暇人を無休、有効活用してはどうか。
現在の職員の平均年齢が高いとあるが、その人件費を削減してはどうか。
職員数削減が退職不補充によるものであれば、職員の年齢構成が歪にならないか。
財政事情が厳しく住民に負担を求める一方、市はする仕事もないOB職員を参与などで雇っている。その分で敬老乗車証も保育士の給与も維持できるかもしれない。一方、現役職員は給料カットされ、仕事は増え、若手職員が入ってこない。
職員の専門性が低く、ガラパゴス化している。専門性を確保する方法を検討すべき。
人件費について、ベテランなど給与が高すぎる職員は、給料表の見直しによる人件費削減は必要かもしれないが、若者に京都市内で働いてもらう機会を作るためにも職員の新規採用は止めるべきではない
毎年の採用など雇用は維持していくべき

意見要旨

学歴ではなく，良い人材を採用すべき。

市民との間の不公平感をなくすべきだが，プロパーの優秀な職員を育てる必要がある。

職員の削減はわかりやすい指標だが，組織力の低下を招いていないかが不透明。より社会情勢をとらえたニーズの高い職員がされるようにすべき。

職員の能力を向上させるべき

4 行財政改革の取組について（5）

民間との人事交流等についての意見（6件）

意見要旨
民間の人材を積極的に登用し，行政にない発想をどんどん入れてほしい。
専門的職種については，他自治体や民間団体との定期的な交流といった，人材の流動化について検討が必要。
トップマネジメントに民間人を招かないとデジタル化は進まない。
職員に経営感覚を持ってほしい
業務のスリム化で余った職員は市内民間企業や他自治体（福島・夕張など）へ出向。
副市長は外部から登用すべき

4 行財政改革の取組について（5）

働き方改革についての意見（49件）

意見要旨
異動の内示発表を余裕をもって行うことで、引継事務の時間外勤務を削減できる。
職員数は削減せず、業務を廃止することが先決である。
職員の無駄な残業を減らす働き方改革をし、業務の効率化と生産性の向上につながるとよい。
職員の労働時間の上限を決め、残業を禁止すればよい。労働時間内に収まるだけの業務量に変えてください。
人を減らす以上に仕事を減らすことができるのか不明である
業務改善，働き方改革に本腰を入れるべき
働き方改革とは、何をいつまでにどうやってやるのか、具体的に書いてこそ計画でないか。
パソコンの強制シャットダウンを導入しなければ残業が減らないなんて小学生のようだ。
働き方改革をしてから職員数の削減をすべき
日々の業務で多忙な職員も多い。むしろ全職員に1時間残業させて改革できることを考えさせては。
働き方改革の観点から、職員は自宅から近い部署で勤務させたらどうか。通勤手当の削減にもつながる。
人件費を抑えるためには仕事量が減らないと一人当たりの負担が大きくなり、残業が増えるだけ。無駄な事務を減らし、業務の効率化に努めて欲しい。
職員数を減らすには、業務量も減らさないといけない。他都市へのヒアリングなどを行い、少々お金がかかっても、効率的なシステムを導入してはどうか。
なぜ働き方改革で削れるとおもっているのかが意味不明。特に「定時退庁日の拡大、定時退庁日及び深夜の時間外勤務の原則禁止の徹底等」「勤務時間外における社会・地域貢献活動への参加促進」について、定時退庁日を増やせば非効率な働き方になるうえ、勤務外にしっかり休ませず、地域貢献活動を進めるのは理解できない。仕事量の減・技術革新なしに、労働量は減らない。
職員数削減もよいが、仕事をもっと減らすべき
AI等の活用による、業務改善に取り組むべき
人件費について、総額と職員数しか出されないが、超過勤務はどの部署にどれくらいあるのか、なぜ必要なのか、そこに無駄はないのか、詳しく確認しないと納得できない。
職員の残業時間を簡単に減らすことが明白なのに進んでいない。
職員を減らすために法定外の仕事はやめるべき。
費用対効果を考えて不要な業務は減らすべき。オーバークオリティにならないようにすべき
若手職員の意見取込みは重要。匿名で業務改善できる案を募集し、若手（30代以下）職員の一定数の理解が得られた案は強制的に実施するなどの改革を実施してはどうか。

意見要旨

業務の合理化

残業時間の削減は必須。業務の効率化に加え、事業の見直しを進めるべき

生産性を高める働き方を身につけるべき

業務を見直すだけで、人員の削減ができるのではないか。

ICT、インターネット環境の活用は、職員の労働環境・職務効率の改善、ひいては時間外勤務の削減になります。

人件費は削減しやすいところだが、サービス低下や地域の停滞などにつながる。実態調査を行い、残業削減などを行うことから始めるべきでは。

業務効率化、無駄な業務をなくすなど、残業0を目指して仕事を見直してはどうか

職員数や人件費の削減は実行するか否かだけで簡単。もっとDXによる作業効率化を考える必要がある。

働き方改革は、責任と権限のセット。責任者と呼ばれる人が、事業を直接見ていないということも、無しでお願いしたい。

削減するのであれば、業務内容も軽減しなければ、皆過労死になる

今の執行体制では、不十分であり、職員が過労死基準を遥かに超えて働いている。職員が大切にされていないのがよくわかる。

550人も職員を削減するならば、それに見合った業務削減もしなければならない

同じ内容を少ない職員で出来るなら、同人数でもっと生産的な作業をできるはず。

減員のみにとらわれず、職員が専門性を高めて優れた仕事をするようにしてほしい

働き方改革の徹底に努め、行政の無駄をなくし効率的な運営を行ってほしい。

働き方改革が進まないと職員削減は難しい。

働き方改革による残業の削減などがまず必要だと思う。

人件費削減とあるが、人がいないとできない業務を減らすことは本末転倒だ

業務効率という点では、京都市職員のパソコンの自動シャットダウンシステムなどは意識改革のきっかけは担うかもしれないが、仕事は存在するわけで目的と手段がごちゃ混ぜになってはいないだろうか

各種計画の在り方を見直すことで長時間労働を是正し、職員の人件費を削減するよう求める。

職員をスキルアップさせ、効率化と市民サービスの向上を目指すべき

事務効率化のための多部門の事務連携と人員削減

働く時間をカットし、給与削減するべき。

時間外勤務の禁止について、強制シャットダウンはただのジタハラだ。

週休を増やす、一日の労働時間を増減する、副業を認めるなど、自由な働き方を認めてはどうか。

意見要旨

時間外労働について、その必要性を今一度総点検しては、

市長以下、全員の意識改革が必要ではないか。

市のサービス向上を考えると、職員の減給よりも、仕事の効率化等に力を入れるべき。

4 行財政改革の取組について（5）

職員の意識・意欲についての意見（7件）

意見要旨
公務員のモチベーション低下につながらない範囲で組織・人員体制の適正化を図ってほしい。
公務員が率先して町内会に入るべきではないか。
昔と比べ、職員の士気が落ちている
職員数を減らすことで職員にかかる負担が増え、労働条件悪化が懸念される。
職員の士気や、有能な人材の確保なども課題の一つだと思いますので、同課行へ移管・納得感の得られるような施策を取ってければ
若い世代の離職を招く人件費削減にならないようにすべき
週休を増やす、一日の労働時間を増減する、副業を認めるなど、自由な働き方を認めてはどうか。

4 行財政改革の取組について（5）

職員の給与についての意見（171件）

意見要旨
市民サービスを落とす前に職員の給料をカットすべき。
職員の給料20%カット程度は当然。身を切る行動をせずに市民に負担を強いることは間違い。
市民サービスの見直しは永続的である一方、人件費の見直しを「短期的」と明言するのはなぜか。
全国に比して高額である職員の給与を削減すべき。
職員も給与を3割以上カットすべき。
管理職の給与を削減・返上すべき。
一般職員の給与カットはやりすぎではないか。
職員給与を下げると優秀な人材を逃すことになる。
職員の給与を大幅カットすべき。
職員の給料は下げるべき。
職員の給料が高いのは市民にとっては良いことではない。
市民サービスを見直す前にまず高すぎる職員給与を落とすべき
給与カットについては大きく扱うべき
全職員給与3割カットすべき
市民サービスを下げる前に職員の給与カット等の自助努力で何とかしてもらいたい。
公務員，議員給与のさらなる低下
3と4をわざわざ分けているのは意図的なのか。一緒にできないのか。
職員の給与削減が不十分であり、また、なぜ3年に区切っているのか。
公債償還基金の計画外の取崩しが始まった平成17年度以降の部長級以上の職員が給与の自主返還をすべき。

意見要旨

人員削減は行政サービスの低下につながるので、局長が給料を半分カットで対応すべき。

職員給与の削減は人材流出は避けられない

幹部職員の報酬を大幅に下げるべき

財政再生団体になる前に職員の給与カットで調整するべき

職員の給与・退職金は大幅カットすべき

職員の給与カットについて、財政が厳しいなら少なくとも10%はカットするべき。

職員給与が他都市よりも高いのは問題。

市民サービスを削る前に全国トップレベルの職員給与を削るべき

まずは給与削減をしてほしい。

コロナ禍でも一生懸命働いている市職員には感謝しかない。だからこそ、むやみやたらな給料カットはやめてあげて欲しい。そのためにも無駄を見直し、市民にとっても職員にとっても魅力ある京都市を作り直してください。

公務員は高給すぎます。

単純な給与カットは、職員の質の低下を招く。

550人削減するというが、若手の雇用機会を減らして、ダラダラした働かない、生産性の低い中堅～高齢職員はほったらかしにしないこと。時限措置であってもいいが、賞与も給与も全面カットすべき。

賞与カットが妥当である。

市民の痛みを押し付けるなら、職員の給料を5割カットするべき

労働意欲を下げるような賃下げはすべきでない

職員の給料カットをすべき

市職員も大きな痛み（集中改革期間中のボーナス半減など）を受けるべき。市民にばかりサービス見直しを行っているように見えてしまい、役所が守られている印象を受ける。人件費の見直し（550人削減、給与最大△6%）は、非常に限定的だと感じる。

人員削減が可能な根拠が不明。職員の給与カットは、長い目で見たときに得策ではないと思う。

市職員の給与の見直しは絶対にしてはならない。

賃金カットをすべき。

給与、賞与カットを実行したりすべき。

意見要旨

職員の給与を下げればよい

退職金も2回に分けて支払うなど、一時的な財源負担を和らげる必要がある。

若手ではなく、50歳以上の職員の給与削減を実施してほしい。

職員の給与減額が足りない。生活費最低限の給料が良いのでは。

市職員は10%給与カットすべき。

高い給料の職員は給与カットすべき。

人件費は減らすべきでない。

本当に改革する気持ちがあるなら職員の給与も大幅に削減すべき。

市職員の削減や給与カットというより、しっかり働いてもらうために、給与はむしろ上げて成果をあげてもらいたい。

幹部職員の退職金カットを

職員の給料を落とし、退職金もなしに

支払われる給料が高すぎる。財政難の中、高水準を維持しているのはおかしい。

職員の給料を減らすべき

市職員の給料を下げるのは当たり前

職員の平均給与換算は年間630万円となり、危機感が全く伝わってこない。

幹部の給料をもっと減らせないか。

高額な職員給与・賞与を改善すべき。

市職員の給与を下げ、賞与を全額カット

公務員のボーナス、退職金の削減。

職員が身を切る思いをせず市民に負担を強いるのは責任放棄。

正当な労働には正当な対価が支払われるべきであり、軽々しく削減するべきでない。

職員の給与高過ぎ。

意見要旨

市職員の給与をカットし努力していることを広報すべき。

職員の給料をカットし、ボーナスも半分にすべき。

短期的な人件費抑制はすべきでない

他都市より170億円も高い給料を支払っておいて財政破綻だなんておかしい。覚悟が足りない。

給与カットは反対です。

職員の給与カットがあまりに見せかけでカット率が低い。

職員の給料を下げれば簡単な話

何も生産性が無く、利益供与の意味も知らずにボーナスと名売ってばら撒いていたら、赤字になるのは馬鹿でも分かる事、ボーナスは無し！

付随する幹部は給料1/2、公務員30%カットでまず京都市職員から襟を正して住民に示してほしい。

市長、職員の人件費を大幅カットしてほしい。

市職員幹部の報酬大幅カットを徹底してください。

財政破綻しそうだというのに、職員の給料が高いのは腹が立つ。

給与カットは反対。分限免職で職員を切っていくべき。

短期的な人件費抑制は財政再建が目的ではないのか

市職員の給与カットは逆効果。

公務員の給与は人事院の勧告に定められた法律に基づいて決められているものであることから、カットなど言語道断

「財政再生団体になるから給与をカットする」ということを本気で言っているならやばい

市職員給与△20%

市職員の給料削減は反対。京都の安全を守る人たちにしわ寄せがきて、待遇を悪くすることは疑問を感じる。

特に本庁の職員さんは夜遅くまで頑張ってお仕事をされているように思う。給料を下げるとモチベーションの低下に繋がらないか。

市幹部の給与カット

京都市職員の数削減ではなく、給与削減をまずは行うべき

意見要旨

保育士の少ない給与を下げる前に、自分達の給与をゼロにしてはどうか。

給与制度について、他都市との比較を行い公表してほしい。十分な対応を後回しにして今日に至ったことへの責任を組織としてはっきりさせ、身を削る姿勢を見せるべき。過去に退職した職員への、任意の寄付要請を検討してほしい。

給与減額も含めた財源捻出には反対。

市職員にアルバイトを推奨、アルバイトをせざるを得ないような賃金水準にするのは市民にとってもサービス低下につながり、困る。

職員の給与の大半を自主返納し、身を切る改革をすべき。

職員の報酬を削減すべき

市職員の給料を減らすべきという意見に反対する。高齢の平職員の給料を減らすべき

給与カットは、職員のモチベーション低下による市民サービスの低下につながる。安易な引き下げは反対です。

人件費削減という使い古された方法はむしろ市民の首を絞めている。賃金が払われなければ消費もできない。

本年度もボーナスが出されたようだが、それほど財政に余裕があるのか。本来、財政赤字の役所であれば、ボーナス支給は見送るべき。

市長・市幹部の大幅な給与削減が早急になされるべき。

歳出削減のためにまず実施すべきは職員人件費の大幅な削減。人件費の削減に当たっては、職員の生活基礎となる月給ではなく、臨時的収入であるボーナスをカットすべき。とは言え人事委員会勧告の趣旨からは、給料・ボーナスのカットは例外的措置であり、勧告には直接関係しない退職金を恒常的にカットすべき。

なぜさらに給与カットの話が出せるのですか

職員の給与を減額することは意欲の減退につながる

職員給与を政令市の最低ラインにしてほしい

職員数の適正化は大賛成だが、給与カットはいただけない

市が業績悪化なんだから市の職員も業績に合わせてボーナスの減額や支給なしにしないとイケない。

財政難と言いつつ、職員はしっかりボーナスを受け取っている。普通の会社ではありえない。これこそ見直すべき。

市職員の給与が高すぎる。

給与カットについて、削減率は役職に応じて決めてはどうか。

給与減額

過去10年で今の状況を打開できなかった責任として、管理者の賞与等の減額を実施すべき。

意見要旨

人件費をかけず、全員が無償で労働すればよい。人員削減されて消えるよりも、まずは無償で働いて弁償すべき。もし人員削減をするなら、退職金は論外。これまで不当に支払われた給与も返還すべき。

正規職員全員が1人当たり1000万円を金融機関から借入れ、将来の給与から返済すればよい。そのうえで職員を一人も削減しない、というのはどうか。

公務員だからボーナスは当たり前という状況はおかしい

市職員の減給と誠意を見せてもらおうと、市民も理解してくれる。

短期的な人件費のカットにとどめず、手当のカット。

職員の給与カットを計画以上に進めてほしい。

幹部のボーナスをカットして、保育士の給料に充ててほしい。

市民サービスの基準を下げるなら、全市職員の給与7%以上のカットを行い、職員削減も計画以上に行うべき

ボーナスカットするべき

給料が高い。

職員の人件費が高い。最初に大幅な給与カットを行うべき。

財政危機と言いながら職員は他都市より高い給料をもらっている。給料を下げるべき。

給料が下がるのが不安

職員の人件費削減は基本的に賛成。市街に住んでいる職員は給与カットはもっとした方が効果的では。

職員の給料20%カット

職員の給与削減、住宅手当削減

給与見直し反対

公的機関で働く人々の指揮を下げないためにも、給与の安易な削減には反対する

給与を増額することで、優秀な人材を確保する方向を検討していただきたい。

市職員の報酬削減に取り組むべき。

市役所の職員全員を給料を一律半減させるべき

公務員の給与削減はしないでほしい。意欲低下し、行政の質が落ちるため。

意見要旨

市教職員への給与減額に強く反対

職員の給与，ボーナス減や手当の見直しを行うという，身を切る姿勢をもう少し記載してはどうか。

賞与を0にした場合，支払わなくて済む費用を明示してほしい。

給与を一律10%カットとした場合の費用を示してほしい。

賞与が出ているなど，現状踏まえると市民感覚としてあり得ない。

職員の給料を減らさないでほしい。

保育士補助金を見直すよりも先に市職員の給料を削減すべき。

高額給与の公務員の給与カットは理解できるが，給与の低いものまで一律でカットするのはおかしい

保育士の前に，市職員の給与に手をつけた方がよいのではないか。

安全性や京都の雇用のためにもこれ以上の民間委託には反対。民間と同じ給与水準で直営の職員を雇えば，委託に係る中間経費を浮かせる。

給与カットは上位役職の方から優先的に行い，下の人達の給与はカットしないであげてほしい

職員数の抑制，給与削減だけでなく，これまで甘い汁を吸ってきた逃げ切るように見える世帯の職員の退職金の削減も必要。

公務員の給与の削減から始めてほしい。

給与は当然見直すべき。

市職員の給与を見直すべき

一律の給与カットはモチベーションを下げるだけ。

短期の人件費カットではなく，長期の人件費カットに踏み込むべきである

職員の給与はラスパイレス指数に基づき国基準に沿って定められているものである。こちらをカットするなど言語道断である

3年間の給与カットという短期的な人件費抑制ではなく，中長期的に全国レベル以下の給与水準が本来だと思う。

職員の給与が他都市と比較して高いのかがわからない。

職員の人件費カットは，傾斜をつけて行うべき

職員の給料を下げしてほしい。

意見要旨

教職員の給与削減に賛成。

市職員全員、市会議員を対象とした賃金および賞与の3割カットをするべき

なぜ歳入より多い歳出を前提とするのか。管理職の人件費を減らせば一気に歳出を減らせるのではないか。

管理職の給与カット

職員の給与カットについて、最大6%で良いと思った理由がわからない。

なぜ職員数の議論しか記載がないのか。単価の議論をすべき。民間の平社員は京都市ほどもらっていない。仕事ができない、しない職員の給料カットをすべき

市役所が魅力的な職場であり、有能な人材が集まり続ける場であるためにも、市職員の方々の報酬・待遇は落とさないでほしいと考えている

公務員の給料を削減するべき

公務員の特権的な手当をなくすべき

のうのうとボーナスを支給しているなどありえない。

職員の短期的な人件費抑制は最小限にとどめた方が良い。

ボーナスや手当も削減対象とし、総額で80億円は最低ねん出すべき。

給与カットで人件費を削減するべき

市職員の給与を減らすべき

職員の給与を減らすべき

職員は減給すべき

職員の給料を減らせ

給料を減らしたら、職員のモチベーションが下がり、仕事の質が下がる可能性がある。

職員の給料を下げるのは、サービスの質が下がってしまうので、よくないと思う。

職員の給与をカットすべき。

4 行財政改革の取組について（5）

市長の給与についての意見（108件）

意見要旨
市長の給料50%カットは当然。身を切る行動をせずに市民に負担を強いることは間違い。
市長の給与をカットすべき。
市長が進退や給与カットを考えるべき。倒産会社の社長は普通辞任する。
市長の退職金削減が必要。
市長は給与を5割カット、退職金も全額か5割カットすべき。
市長の給与を削減・返上すべき。
市長の給与をもっとカットすべき。
市長は退職金を返納し、給料を70%カットすべき。
市長の給料は下げるべき。
市長が率先して身銭を切るべき
市民サービスを下げる前に市長の給与カット等の自助努力で何とかしてもらいたい。
人員削減は行政サービスの低下につながるので、市長が給料を半分カットで対応すべき。
市長の報酬を大幅に下げるべき
財政再生団体になる前に市長の給与カットで調整するべき
市長の給与・退職金は大幅カットすべき
市長が先頭に立って改革するというメッセージを発信するため、改革案に市長の報酬削減を明記すべき。
市長の給料をカットして欲しい
今の市長はこれまでいくら退職金をもらっているのか。もらっているなら、それを全て返還し、これからの報酬も半分以上はカットしてから話を始めるべきだ。
市長自身給与を削減していることなど、言われっぱなしではなく、もっと発信をするべき
市民の痛みを押し付けるなら、市長の給料を5割カットするべき
市長大幅給料カット
市長の給料をもっと減らす
市長の給与をカットをすべき。
市長の給料を最低賃金で計算した月給にすべき。
京都市も財政再建に取り組むことは当たり前であるが、市長自ら給与の大幅なカットをしようとならないのは許せない。
市長の給与を下げればよい
市長は50%給与カットすべき。
市長の給与を時給制（最低賃金）とし、退職金は廃止。
東京都の小池都知事は給与を半額カットしている。京都市長も半額カットにすべき。
市長の給与削減、退職金廃止、返還すべき。
職員の処遇改善見直す前に長の給与見直してみては
市長が何もしないせいで市民に負担を要請するのは間違い、まずは身を切れ
市長の退職金カットを
市長の給料を落とし、退職金もなしに

意見要旨

大阪市のよう、まずは市長が身を切るべき。

市長の給料を下げるべき

市長の退職金の見直しを図るべき。これまで問題を対処しなかったツケを市民が支払う前にすべきことがあるはず。

市長の退職金を廃止すべき。一般職員の退職金と比べても高すぎ。

市長の給与を時給制にし、単価は最低賃金とすればコスト削減になる。

市長が身を切る思いをせず市民に負担を強いるのは責任放棄。

市長の給与は90%カットで覚悟を見せて下さい。

市長の給与高過ぎ。

財政危機に陥ったことに対する市長の責任は大きい、市長の給与カットを行うべき。

門川市長の給与カットをしてから行財政改革を進めるべき。

市長の給料を下げれば簡単な話

市長の給与削減を期待している。

先ずはトップの給料カットを始め、身を切る改革が必要

市長給料1/2カットでまず京都市職員から襟を正して住民に示してほしい。

市長、職員の人件費を大幅カットしてほしい。

市長の給与を最低賃金で計算した時給制にすれば良い。

市長の報酬を最低賃金で計算した時給制または、最低賃金の月給制にして、退職金は任期期間に関係なく300万にすれば良い。

市長の報酬大幅カットを徹底してください。

市長の給料を削減すべき。

市長、副市長の給与を削減すべき

市長の報酬を年収240万円くらいにして退職金を廃止すべき。

市幹部の給与カット

市長は最低賃金で働き賞与も返還すべき

京都市長さんのお給料の見直しをしていただければ、少しでも財政は潤うのではないのでしょうか？

財政が厳しいなら市長や市会議員の給料を減らすべき。市民のために自分の身を先に切るべき。

市長は給与カットするのか

職員だけでなく市長の給与と賞与とのカットを行わないと、市民は納得しない。

市長の給与が高すぎる。

市長のボーナス廃止

市長の大半を自主返納し、身を切る改革をすべき。

市長の報酬を削減すべき

市長の給与1割減らすとともに、副市長を3名から2名に減らす。

特別職の減給をすべき

市長・市幹部の大幅な給与削減が早急になされるべき。

トップである門川市長自らの待遇をまず先に見直すべき

市長報酬、退職金の見直し

京都市職員の給料を削減する事はもちろんですが、京都市長の責任なので、市長には最大限の報酬カットで対応してください。

意見要旨

市長の給与が高過ぎる。

市長の給与カット

間違った経営をしてきて市民の生活に痛みを与えるのはいかなものか。市長の給料カットが先。

市長は無給に

市長が給与の50%以上の大幅なカットすべき。市長の責任は非常に重い。

財政的に問題があるなら、市長がもっと負担すべき。

給与見直し等はまず市長からはじめるべき。

市長が先頭に立って大胆な報酬削減しないのに、現場で真面目に取り組む職員や子育て世代へ負担を強いるのは明らかにおかしい。

過去10年で今の状況を打開できなかった責任として、トップの賞与等の減額を実施すべき。

門川市長には過去に受け取った退職金の全額返還、現任期の退職金の事態は最低限認めさせるべき。

市長のボーナスをカットして、保育士の給料に充ててほしい。

市長の給料70%カット。

市長の給与は大幅削減、退職金は返金すべき

市長は給料も退職金もカットしてください。

市長の報酬削減に取り組むべき。

市長の給料を一律半減させるべき

市長の給与を自らカットしてほしい

市長を筆頭に給与、ボーナス減や手当の見直しを行うという、身を切る姿勢をもう少し記載してほしい。

門川さんの給料をさげたらどうか

職員の士気を下げないためにも、特別職も自らの身を削っている姿を見せてほしい。

給与カットは上位役職の方から優先的に行い、下の人達の給与はカットしないであげてほしい

市長の給与、退職金をカットしてください。

市長の給与の削減から始めてほしい。

市長の給与や賞与を減らしてからにしてほしい。

市長の退職金はなし

市長が自分の身を削って誠意を見せてほしい。

市長の給料を減らしてください。

市政、市長自ら給与の大幅な減額を。

市長がさらに身を切ることを考えるべき。

市長の給料や退職金を減らすと、公の仕事に専念できなくなり、市民が迷惑します。

市長や議員の給料を下げるべき

市長の賃金および賞与の3割カット（退職金ゼロ）をするべき

市長の給与をカットすべき。

市長のボーナスカット

市長の退職金はなし

市長・副市長は50%減給、退職金無しとすべき。

市長の給与をカットしろ

4 行財政改革の取組について（5）

行政委員の報酬に対する意見（1件）

意見要旨

行政委員会委員の報酬は月額ではなく、活動報酬（実績払い）毎とすることが適切だと考えます

4 行財政改革の取組について（5）

非常勤職員の給与についての意見（2件）

意見要旨
非常勤の市職員への支払いを減額する必要がある。
非常勤特別職の報酬を削減しろ

4 行財政改革の取組について（5）

人事給与制度についての意見（70件）

意見要旨
出世しようとしなない職員の給料は上げず、出世する人の給料は上げるなどしないと、優秀な人材が確保できない。
成果主義を導入し、利益を出した職員にはボーナス支給。何もアイデアを出さない職員は昇級、出世、採用すべきでない。
組織が大きすぎる。主任や係長がそれほど必要なのか。
働かない職員の給料を止めたらどうか。また役職が挙げれば昇給するが、それ以外では昇給しないようにすれば、もっと職員が本気で働くのではないか。
大阪市のように人事評価による分限処分をすべき
チャレンジした職員を評価するといった人事評価制度を導入すべき
3と4をわざわざ分けているのは意図的なのか。一緒にできないのか。
給与体系の見直しと給与水準の調査を行う必要がある。また、ボーナスも点検と見直しをすべき。
長期的に悪影響が出る給与削減は慎重に取組むべき。一定以上の年齢の職員の年齢加算は廃止すべき。例えば40歳以上の役職がない者は昇給停止するなど、給与改革を断行すべき。
やる気のない職員は辞めさせてほしい。
待遇を悪化させるのではなく、仕事の範囲を狭めるべき。
職員の数重視したあまりに、質が悪くなっている。
職員の給料制度を見直すべき
公務員の管理職手当の廃止。
公務員だからという理由で解雇できないのは時代遅れ。適性のないものは解雇するなどの方法も模索すべき。
管理職手当の撤廃。
若手ではなく、50歳以上の職員の給与制度見直しを実施してほしい。
役職手当は全面カットすべき。
給料制度が高すぎる。財政難の中、高水準を維持しているのはおかしい。
年齢給は撤廃して能力に応じて給与を決定するという方式に移行すべき
幹部の給料制度をもっと減らせないか。

意見要旨

市長の給与を下げ、賞与を全額カット

働きに応じて給料が上がるのであればモチベーションは上がる。実現するのは難しいと思うが、チャレンジしていくべき。

職員給与について、若年層や優秀な人勢への給与は手厚く、万年係員のようなパラサイトに果敢な対応を望む。

仕事をしなくても同じ給料がもらえる役所の仕組み自体が変わればもう少しマシになる気がするが、そういうことに挑戦するのも役所の人間では難しいだろう。

職員の残業は金銭での給付ではなく全て休暇にすべきである。

人事考課を行い、働く人のモチベーションを支えられる体系づくりを

不必要な人件費を削減するため、職員の休日勤務は原則休日振替命令とするべき。

使えない職員をクビにするべき

ただ人件費をカットするのではなく、優秀な人には残ってもらえるようにしないといけない。

大手企業と同じような人事制度や評価制度を採り入れ、仕事をこなした人間には支払うべき賃金を払うべきだと考える。なんでも削除では、未来が無い。そんなところにいいアイデアは生まれにくい、いい仕事はできない。

給与制度について、他都市との比較を行い公表してほしい。十分な対応を後回しにして今日に至ったことへの責任を組織としてはっきりさせ、身を削る姿勢を見せるべき。過去に退職した職員への、任意の寄付要請を検討してほしい。

能力や成果に応じた給与制度を導入すべき

向上心の無い者や、役職付になれない評価の者（能力の低い者）には昇給停止やむしろ減額が必要。

権限や責任のない若手の給料までカットして何がしたいのか。仕事をしない管理職はその上位職を事務取扱をすればよい。仕事をしない管理職は昇任試験の合格者も少なくしている。

（人事制度について）行動科学に基づく制度の導入。評価制度を見直し、市民からも含めて360度評価の導入。年功序列・学歴型ポストの廃止。能力主義の導入。責任と権限のセット。責任者が人事権を握ること。給与査定を導入し、業務の取り組み態度によって、給与のアップダウンが起こりうる組織の導入。デジタル化の導入と正職員のITリテラシーを高めるための教育の実施が必要。

職員削減の内容を精査すべし
やる気のない高齢係員を辞めさせ、やる気のあふれる人材を確保すべし

毎年の昇給を45歳くらいで止めるべき。

人件費削減のため課長補佐級を廃止して係長に統合してはどうか。

職員の副業を認めるべき

給与について、評価制度等の見直しを行い、年功序列で給与が決まることがないようにしてほしい。

上級採用であるにも関わらず、昇任しない職員からは給与を減額する。中級職員以下の業務遂行能力しかないなら、分限免職させ、新たに能力のある市民のために頑張る職員を採用する。

職員の評価を適切に行ってほしい。職員数減は現場の指揮が低下する。無能で仕事をしない職員を適切に削減できる仕組みを整えるべき。

職員の年功序列の給与体系を見直していただきたい、活力・意力ある若手職員が報われるような給与体系とすべき。

意見要旨

人件費は対価を基準に見直すべき。

職員は厚遇されている。退職した職員の関係機関への天下りが許せない

新規職員の採用の抑制や職員数を減らすではなく、職能に見合った給与制度の設定。年功序列型の賃金制度の見直し

定年退職した有能暇人を無休、有効活用してはどうか。

職員数を削減するのではなく給料ベースの見直しがまず必要だと思う。

今いる実力不測の職員への対策。

給与を増額することで、優秀な人材を確保する方向を検討していただきたい。

職員については、人数削減は極力避け、成果主義を取り入れる。幹部職員の給与総額を50～60%、一般職員を70～80%として、成果のあった職員に優遇して支給する。

市職員及び関係者等の給与体系について対象者の種別や人数等のデータを表示してほしい

市独自の給与体系に変更すると仮定した場合、できない理由を示してほしい。

給与制度は当然見直すべき。

市職員の給与制度を見直すべき

京都市職員の質に合わせ、メリハリのついた給与支給を。

50歳以上の特例退職制度を、40歳以上から適用できるよう拡大するなど人件費の削減に努めるべき

特定の部門ばかり異動している職員がいることは、行政運営の硬直化を招く。

職員のデジタル力向上は、昇進の一要素とすべきではないか。

給与の見直しがなぜ今までできなかったのか。職員減をして有能な職員を消耗させるより、内部の無駄に対するスリム化を

定期的に全職員の能力検査、職務遂行能力検査を実施し、基準に満たない職員との契約を解除

建設局土木管理事務所は勤怠管理を怠っているに等しい。

人員削減だけに焦点が当たっていると思うが、職員の専門性の向上のため、担当部署の移動を減らすことも考えて欲しい

特に役職に就かず定年までいるような主任級の給料水準を下げるべき。

優秀でやる気のある職員が活躍できる制度改革を期待する。

仕事ができない、しない職員の給料は給与制度でもっと単価を落とすべきだ。

若年層を除く係員の給料が高すぎる。高齢職員の給料が上がりすぎないように歯止めをかけるべき。逆に責任ある役職は能力実績に応じて今より上げて良い。

意見要旨

階級ごとにもっと差をつけるなど、メリハリのある給料体系にすべき。

公務員全般の一般論として、在職期間がただ長いだけの人が高給になるイメージがある。職務に合わせて適切な給料体系になるのであれば納得する。

4 行財政改革の取組について（5）

職員の市内居住の促進についての意見（6件）

意見要旨
職員を市内に住ませ、自ら地域を知り、よりよい京都にすべき。
市職員を京都市内に居住させるべき。
市内居住者には住居手当を支給し、市街居住者には住居手当を不支給とすべし。
市内に職員が住むよう、誘導するのはどうか。
市外から通勤している市職員の交通費はカットするべき
職員削減等の前に、職員の市内在住を促進し、採用方針を見直すべき。

5 都市の成長戦略について

都市の成長戦略全般に関する意見（184件）

意見要旨
計画期間において何にチャレンジし、期間終了時点でどこまでのことをやろうとしているのか、その計画がわからない。
知らない言葉ばかりで内容に付いていけない。もう少し平易な言葉を使った方が良いのではないか。
景観条例の遵守度に合わせて宿泊税の税率を変える等、政策間・部署間を超えた横断的な政策を期待する。
場所によっては高さ規制を緩和しても良いのではないか。
京都の風情、歴史が収入に結び付くよう努力すべき。
危機感が希薄である。
成長戦略は時間がかかるので、まずは合理化をすべき。
景観規制を緩和すべき
都市の成長が目に見えてわかるよう取り組んでほしい。
部分的でも良いので、具体的に目指す自治体や都市名をあげた方が、イメージしやすい。
徹底的に事業を廃止することからはじめるべき。成長戦略を考える段階にない。
高さ規制と看板規制を緩和し、税込増加につなげる施策が必要
記載内容が実現されるまでの具体的な施策が見えない
よくわからない理想論である。戦略でない。
回収できないのに都市の成長戦略に対して支出すべきでない
成長と言葉を濁すべきではない
成長戦略の推進、活力あるまちづくりに注力してほしい。
京都市の成長による税込増を狙ってほしい。
「未来志向」「SDGs」など、見栄を張りすぎ
V 都市の成長戦略について、実行するのみ。

意見要旨

都市の成長戦略に関して、お金をかけず、確実にリターンを得られることにチャレンジすべき。

成長戦略は、出来ることできないことを明確にすべき。軽い発想で予算計上し、見通しの甘さから、長年予算が積み上げられていくことがないようにすべき

計画と都市デザインのつながりが分からない

今ある観光資源だけにとらわれずに大胆な挑戦をしなければ、娯楽が多様化する現代では先が見通せない。新たな魅力を作り出せるようにしてほしい。

(「V都市の成長戦略」について) よく分からない。

行き過ぎた規制はやめるべき

チャレンジという表現はいかがなものか。取組内容と目標を明記すべき。今取り組むべきは理想論ではなく、地に足を付けた改革。

それぞれ経費はいくらかかるのか。投資は必要だが、コストとリターンを見込んだうえでチャレンジする必要がある。

都市の成長戦略については、単なる思いつきでなく、信念を持って提案又は部下の意見を採用し、実行段階では各方面に丁寧な信念の表明をしてほしい。

成長戦略は重要だが、他都市との競争なので必ずしも成果が出るものではない。まずは現在の歳入の中でやりくりすることが重要。

成長戦略にかけるお金は？

景気の動向が最も影響がある。無駄なことはやるべきではない。ただし、規制緩和は重要。

「人も企業も誘致できるような魅力ある都市づくり」と言いたいところでしょうが、ここに至るまでの内容でよくこんな事を書けるな…と素直に思ってしまった。何よりも、「情報発信（特に財政状況）を強力に行う街づくり」でしょう。「なりたい自分像」も大事なものは否定しませんが、「弱みをしっかり発信して、どうやったら改善できるか共汗する街」でしょう。

京都にマンションが多く建つなど、景観が悪くなっていると感じる

都市が成長して、市民の暮らしがどうなるのかを書いてほしい

都市の成長戦略の費用対効果の検証は十分なのか。予算の掛からない施策を講じるべき。

チャレンジする人に入口分かりやすく。

観光 健康長寿のまちをもっと強くアピール。

若い市職員を台湾やシンガポールへ視察に行かせれば、良い意見があがってくるのではないかな。

成長戦略などと言っている状況では無い。まずは財政再建の目途を立てるべき。

東西線でしか行けない場所で定期的にイベント開催するなど、人が集まるコミュニティづくり。

京都は観光で成長するとして良いが、自然の中の京都の素晴らしさで勝負すべき。

意見要旨

建物高さ制限を撤廃すべき。

行財政が破綻している時に夢を語るのは無意味。

成長戦略の基本はしみのくらしと福祉の増進，歴史と文化・環境を守ること。

都市の成長戦略について，意味が分からない。

意味不明です

夢物語を読まされているように感じざるを得ない。革靴を脱いで素足でドブをさらう仕事を令和7年までする覚悟を。

京都や京都市でお金を循環させていくようにすれば，京都で働く人に給料が回ってくるのでは

もう少しやることを絞るべき

古都が古都でなくなる政策。

あれもこれも大事という方針だと感じた。絞って集中してもいいのではないか。中途半端にならないように取り組んでほしい。

見込甘すぎ。情けない。

外観だけの町屋ではなく，文化的価値のある町家や景観づくりに注力すべき

理想は分かったが，それを目指す財政負担や，どの程度の税収増が見込めるのか分からない

長期目標は必要であるが，最初から各方面へ手を伸ばしすぎである。財政再建団体から脱却できるめどがたつまでは改革に全力投球すべき。

これ以上成長せんでよい。
壊れた街を元どおりにしろ。

京都ならではの強みを生かした取り組み方をすべき。

京都らしさを最大限発揮して，大阪や神戸に負けないような取り組みを進めてほしい

成長戦略は夢物語

都市の成長戦略について，ポイントを書かないと意味不明である

どんな都市にしたいのか方針をたてた上で，とるべき手段をもっと掘り下げるべき。

「チャレンジ」に非常に違和感を覚える。前向きであることは大事であると思うが，行財政改革計画に敢えて書くものなのか。

民間が発表している住みやすい街ランキングの上位をとるなど，住みやすさが市民や市外の人に見える化するような取り組みが必要と思います。

京都らしい町並みを守りながら，歴史都市として成長してほしい。

意見要旨

ホテル誘致はもう結構。世界遺産としての京都、景観を守り、インバウンドは期待し過ぎず、住民サービスに力も予算も使うべき。

伝統や文化で収入を得るのは難しい。収入に見合った生活をするしかないのでは。行政がなんでもやるべきではない。

都市の成長戦略について、外向けの施策ではなく、市民に寄り添った市政にしてほしい。

高さ規制や容積率を緩和するべき。

2年以内に京都からの転出を考えている。今回の成長戦略を見て、それを思いとどまるに足るビジョンはなかった。

寺社仏閣が多く、景観条例もあり、観光やサービス業を除けば大変商売がし辛い街である。文化的な価値を生かした成長と、そうでない成長の両立は無理である。

望洋とした話ばかりで反対も賛成もできない。ターゲットとする世代を決め、具体的な計画を出してほしい。

ある程度知見と実績がある人による文化伝統。現代にあった街並み保存が必要。杓子定規で、明示的な内容だけでなく、人依存の暗黙知を生かすシステムの構築をお願いします。

ここは日本なのでチャレンジだのコアオフィスだのコンサルの受け売りの横文字でごまかすのはやめてほしい。

また失敗して何年か後には、同じような「戦略」を出すだけ

具体的なことが成長戦略が記載されていない

成長戦略は、新しいものを作るのではなく、今あるものを保守することが大事。

「そうだ、京都いこう。」のような明確なコンセプトが必要だ

北の方ももう少し高さ規制を緩めてもいいのでは。

都市デザインは必要かと思いますが今の財政危機の京都には必要なし。

見栄をはって、身の丈に合わないことをやっているだけ。

食べることに困る市民や学生が増えている。現実合わない戦略ではないか。安心して暮らせるまちづくりが必要。偏ったデジタル化では市民の生活が救えない。

「チャレンジ」について、取組内容がわからないし、言葉のセンスは最悪だし、何がしたいのか。

新税でいくら確保するのか、企業をどれだけ誘致するのかなど、税収効果をどうするのか具体的に示すべき

都市の成長戦略について、キープポイントは不要、チャレンジという表現も不適當。この取組でこれだけ税収をあげると書いてこそ戦略と言える。これでは案にすらなっていない。

京都の街は高層ビルも少なく、大空が今でも望める数少ない大都市。高さ制限があって守られてきたものであり、これからも守るべき。

今の京都市に都市デザイン云々している余裕はないはず。またいらぬコストがかかり、損失が出るのが懸念される。

成長戦略は大切なことだと考えます。人も予算も限られると思いますので。選択と集中が必要だと考えています

意見要旨

これだけの世界で評価されている京都の価値やポテンシャルを活かせないのがもどかしい

都市の成長戦略に同意します

都市の成長戦略で収入を増やす取り組みをすべき

チャレンジすることは戦略ではない

どのあたりに成長の余地があると考えているのかを明らかにしてほしい。

環境保護や文化、芸術、デジタル化に十分投資しないといけないと思う。

今回の5つの都市デザインをどのようにして表現するのか、チャレンジ例はわかりにくく、市民すべてに利するものになっていないように思う。

市が取り組むべきは、あるべき姿となるよう規制緩和等で誘導すること。自前で新たな事業を立ち上げたり、外郭団体を活用して実行することが多いと思うが、いかに民間がこぞって参入するか仕組みを整えるのが市の役割。

市民は景観をそれほど気にしていない。一度壊すぐらいの覚悟でやる方が良い。

どれも絵に書いた餅にしか見えない。ここまで来たら、プライドを捨てて粛々と歳出削減するのがあるべき姿では。

(都市の成長戦略について) 具体策を記載するべき。

(都市の成長戦略について) 良いと思う。

アイデアも財産であり、チャレンジと称してアイデアをタダどりすべきでない

持続可能な財源の確保として、高さ規制の見直しによる企業誘致が必要ではないか。

誰をターゲットに何をどのようにするのか書かれていない。

危機を脱却するにはスケジュールが必要ではないか。

年次ごとの戦略が必要で先の目標はこれでよいとしてステップが示されていない。

街並み保全なしに高さ規制の緩和を行えば魅力が下がり観光収入も落ちる。
市民へ負担をなるべくかけない収入確保、収益化を見込んだ計画を。

都市の成長戦略が抽象的すぎ、とりわけ高齢者には理解できない。

近年のトレンドキーワードを羅列しているだけで具体性に乏しく、正直あれこれ書いているだけで何を目標にしているのか全く伝わってこない

「旅行」、「働く」、「暮らす」をミックスしたワーケーション都市を目指すべき

手を広げすぎない戦略を！

建築物の看板や高さ制限等の規制を、少なくとも他都市と同程度に緩和すべきである。

意見要旨

観光都市から商業都市を目指すべき。

オフィス環境づくりは行政の仕事でない。特区制度などを活用して各種規制を緩和して差別化を図り、参入しやすくなることが行政の仕事であると思う。

増収策は確実性に劣る場合が多いと思うので、将来の収支を試算するときは抑制的に扱ってほしい。

国や府の計画と合っているのか。京都市の自己満足にしか見えない。

都市の成長戦略に関して、夢物語を書きすぎ。事業計画や効果額を示せないものばかり。歳出抑制で道筋をつけるべきで、成長戦略による増収はプラスαで取って置けばよい。

京都が持つブランド力、逆の見方をするとお高くとまっている。これを意識した行政では判断を誤る。

成長戦略にカタカナ横文字が多すぎる。

地元重視の街づくりをし、京都ブランドを安売りしないでください。

京都に住んでよかったと思える施策にしてほしい。全国と比べて、悪い方に合わせるのではなく、英知を結集して全国を代表する京都市になってほしい。

都市の成長戦略は、現状の分析により京都市の強みと弱みを正確に把握することが出発点。現案は魅力的な言葉や流行の言葉がちりばめられているが、現状分析、資源の把握、プロセスの構築どれをとっても今後詰めていく課題が大きい。

この章は削除するか記載するとしても、短期的に効果が出るものに絞るべき。

キラキラすぎてついていけない。

良いと思う。

新しい考え方で困難を乗り越えてほしい。「お役所仕事」を一掃、職員の刷新を。

都市の成長戦略には賛成する。

成長戦略という言葉があるのが驚き。

都市の格など意味不明なことを言わず、地道に市民生活を大切にしてほしい

都市計画は重要だが、まずは財政健全化することを優先すべきである

「すべての世代が暮らしやすい魅力や活力あるまちづくり」と題を打たれていますが、内容は市民への負債押付けであり、活力をそぐものであります

都市の成長の前に、無駄な支出をなくすことが先決だ

成長戦略について、具体性を感じられない

自然を守り、古い伝統を活かした京都ならではのやさしく人間らしいことが一番の魅力。それを成長戦略にすべし。

京都アイデンティティを基本に捉えた成長戦略が日本国民や世界の人々からも支持されるものと確信します。

意見要旨

京都におけるサステナビリティとは、文化・伝統・先進性ある市民力の有効活用にある。

成長戦略という発想が、生活や暮らしを豊かにしていくものからズレている。疲弊しているところを何とかすることが必要

成長戦略についてはお金をかけず、既得権益や制限をゆるめ、民間の力を使うべき。行政は評価を行っていくべき

インフラ整備についてのビジョンも成長戦略に入れてほしい

多額のお金を使ってまでまちづくりを推進すべきでないのではないかと

成長戦略については、今の施策を見直し、実を結んだもの以外は中止するべき。実施主体には補助ではなく貸付とすべき

どの項目も抽象的です。地に足のついた計画にすべきです。

収入を増やすための施策を考えるべき

京都を応援したい、大切にしたいと思ってもらえるようなアイデアが必要

「選ばれる」「魅力ある」都市を目指しているはずである。それは財政的安定にも繋がる。そう考えると、相対的にサービスの低下は食い止める必要があることは必須

京都に強みはない。京都の文化を強みと考えることで、逆に弱みになる。プライドは捨てるべき。

成長戦略はお金をかけずに行うべき

具体的な政策と予算組みを少なくとも向こう20年にわたって示すべき。

成長戦略について、公害が無い街づくりにも取り組んでほしい。

都市デザインとキーポイントの意味が不明。基本計画で示した未来像とどう違うのか。

今既に新たな価値を創造していなければならなくて、それができていないことの反省と原因を究明すれば自ずと道は開ける。

今後より具体的なプランの策定をお願いしたい。

成長戦略について、全体的にふんわりしすぎ。

成長戦略は廃案にしる

成長戦略について、具体性がない

都市の成長戦略は実現に向けた論理的な道筋が記載されておらず、取って付けた感が否めない。

薄っぺらいスローガンばかりで、本気で成長戦略を考えていると感じられない。このような広告代理店のようなやり方は慎むべき。

成長戦略は「これだけはやり切る」というものに絞った方が良い。また、いくら財源を生み出すのか、数字を根拠と共に示し、私たち市民を安心させてほしい。

意見要旨

何が書かれているのか、何度読んでも入ってこない。中学生の子どもも同意見。今必要なのは抽象的なことではなく、もっと具体的なこと。

先人の建築の在り方に学び、循環性を高め、自然の循環を改善し、健康的で安全な生活を支える仕組みづくりが必要。

成長などという幻想を謳い文句にせず、今ある自然を残す方向しか生きる道はない。都市は飽和状態である。

町のブランディング・都市格の向上に関することはあえて非常事態にしなくてよいと考えます

ホテルや民泊を乱立させるのはやめてほしい。投資で買われるマンション建設をやめてほしい。京都に住む人に温かいまちづくりをしてほしい。

これらの改革が実行されれば全世代に魅了のない京都市になる

日本全体で人口が減少している中、都市の成長戦略を描くとすると以下の3つしかない。

1 市民の所得を増やす 2 企業の数を増やす 3 企業の収入を増やす

どのような都市を目指すのか見えてこない。

やる気を感じない。

成長戦略は、外から呼び込むことに力点を置かれているが、市民を真ん中に置く視点を置くべきではないか。

景観規制をなくすべき

成長戦略の失敗を恐れない挑戦と改革とはどういうことか。失敗して税金を無駄にされては困る。

成長を求めず、市民が暮らしやすいまちを目指すべき

景観規制を緩和し、まちを活性化させるべき

金儲けは民間に任せるべき。

取れるところを増やさないと、切り詰めるだけでは持続不可能

更なる収入の増大。

どの分野に投資をして、どれだけの成果（税収）をあげるのか。そのための優先順位は。これを明示すべき。

商売ができる人主体で改革することで税収を増やし、市民への還元を。

近所に畑が欲しい。観光だけに頼らず、全世代に優しい町を

市民本位の改革を。市民の懐を温めて市税収入を増やすべき

歳入増に向けた計画が示されていない

京都の街並みや景観が京都の文化を支えている。ホテル建設や駐車場化では、京都の文化を破壊するのみ。

意見要旨

京都は商業施設、文化施設、自然がコンパクトにまとまっていて、とても住みやすい街です。いいところは壊さないようにお願いします。

京都市の為に観光や他からの力に頼らず、京都発信の改革をお願いします。

世界に誇れる寺社仏閣を有する都市として、そのメリットを生かすべき

成長戦略にお金を使わず、現有職員のマンパワーで実施すべき

5 都市の成長戦略について

都市デザイン「若い世代に選ばれる千年都市」に関する意見（224件）

意見要旨
「京都に住みたい」と思われるような政策を期待する
企業とタッグを組んで大規模開発を進めるべき。京都駅より南はタワーマンション建設をどんどん行っても良い。
規制緩和を進め、民間企業が進出しやすい環境を整備してほしい。
今までインバウンドを見直し、中・韓ではない東南アジアの企業への誘致を進めるべき
土産物屋を減らし、京都市民の生活に即した企業を誘致すべき。
大学を市内へ誘致するべき
目標は、子育てし稼ぎ出す20～40歳代の若い人たち、家族が住みたい街と目に映る街に切り替えること。そして、将来任天堂や京セラのように化けるかもしれない新しい企業が世界から引っ越してきたい町とすることが、大変重要。
古都・和風を前面に出した企業誘致等を行うべきである
収入を確保するには、企業と人の呼び込みが重要
財政収支の根本的な改善のためには高齢化の阻止と若年・中年層の流出阻止が必要である。子育て支援の優先、企業に対する規制緩和、住宅や企業の誘致をお願いしたい。
税収UPの策で京都市へ移住したいと思えるアピールを考えてほしい
観光都市に未来はない。コンパクトシティを推進し、効率的なまちづくりをすべき
コンパクトシティと路面電車復活とがカギ
選択と集中、コンパクトシティを目指す都市計画を
規制緩和が重要。特に京都駅以南はもっと開発すべき
子どもを増やすため、住民の憩いの場が必要
外からの観光客や、別荘としての人を増やすのではなく、その地に根付いた社会をつくるため、居住する人を増やすべきだ
将来、破綻するかもしれない都市に住みたい、働きたいと思う若者はいない

意見要旨

都市が成長するためには「人」が必要です。そのためにはどうすべきか今一度考えてください。

街を整備し、納税者に住んでもらえるようにすべき。狭い道、古い町並みでは住みたいと思わない。無駄に高い土地代もなんとかすべき。

市民が安心して子育てし、安心して老後を暮らせる京都市に

市税をどう増やすか、どう若い住民を増やすか考えるべき。キャパを超える観光客、宿泊所は必要ない

成長戦略として子育てしやすいまちを目指してほしい。

都市の成長戦略について、若年層の住民増加を目指すことが指示できる

低所得・中所得層の若い単身者や子育て世代の定住を誘導すべき。

若年層が済みたくなる魅力あるまちにしてほしい。

税金を上げるには企業を誘致するしかない。

学生ベンチャーや産学連携の手助け、空き家を利用した海外のITベンチャー企業誘致など、学生や外国人が住みたい街づくりが必要。

学生に京都に根付いてもらう努力を早急にすべき。

ホテルばかり誘致するのではなく、企業や産業を誘致し、住みやすい環境を整備する都市計画が必要。

人は住む町を福祉施策や保育料で決めるわけではなく、通勤が可能か、家を買うのにローンが組めるかが重要だ。家を購入可能な住環境をどうやって整備するかが課題。

学生が京都市に住んでも住民票を移さないケースについては、大学と協力して、京都市に転入・行政に関心を持つような誘導施策が必要。

このために、学生への給付やサービスに、ふるさと納税を活用することも考えられる。

中所得者層が逃げない戦略がいます

市南部の広大な田畑地域をクリアランスし、新たなブランドエリアを作るべき

中心地の発展に力を入れすぎ

高齢者がまちの活力となるような政策を考えるべき

憧れて憧れて高校や大学進学で関西に来た学生が社会人になる際に京都には残らず出て行ってしまふ。これは非常にもったいない。

若い世代が住むには、土地・住居の費用が高すぎる。永住するにはハードルが高い

市民と企業が現実的に買える家・土地を用意することが税金増加の本質ではないか

意見要旨

各大学とのジョイントに若者層を取り組んだ取り組みを行う。

人口増加政策が必要ではないか。滋賀県が参考になるのではないか。

学生や企業を最大限誘致して改革を起こせる街づくりをするべき。

開発型ではなく地域に見合った戦略が必要。

若い世代が住み続けたいまちづくりをして欲しい。現役世代へのサービスに注力してはどうか。どの年齢層を呼び込まないといけないかと考えて、思い切った改革を。

今、作り過ぎたホテルがつぶれているので、その跡地に企業を呼び込み、働き手を増やして欲しい。

若者が住めるまちにするため、市営住宅を拡充すべき

なぜ、学生が京都に就職しないのか。京都に魅力的な企業を誘致するにはどうすべきなのか。

移住促進のポテンシャルを有する所に、集中的に力を注ぐべき

格安の旅館をつくらない、場所を決めて高層マンションの建築を許可する

地下鉄主要駅周辺に商業地区推進計画を行うべき。また、阪急電鉄や京阪電鉄との連携、洛西地域へのリンクなど、新設駅や新路線敷設計画を要する。若い世代が市内に交流しやすい魅力あるアクセスと、駅周辺に商業施設等の誘致が必要。

京都市内に気軽に住めるところを増やして、家賃を低くできるようにしなくてはならないのではないか。居住区を細かく指定し、若者が一人暮らしでも生きていける環境を作るべき。

平均的な給与の若者が一人暮らし、または結婚して、普通の生活が送れるような都市を目指して会議をしてほしい。

宿泊施設ばかりで子育て世代が住める場所がなく、土地価格も上昇傾向にあり、将来的に若者が住めない都市になるのではないかと危惧している。市内に子育て世代が戻ってくるような仕組み作りを希望します。

地下鉄東西線付近の市街地化を進める。

田園地域を都市化せず、既存の市街地の再開発に力を注ぐべき。

子育てしやすい環境を維持してほしい。

若い人にとって魅力ある京都市にすべき。

子育てに積極でないにもかかわらず、若い世代に選ばれる千年都市など夢物語。書面上の待機児童ゼロ・中身のない学童事業など、幼い子を持つ世帯の実態は市の理解と乖離している。市内には老朽した遊具と自然にあふれない公園しかなく、同世帯への金銭的な補助も少ない。周辺への流出をむしろ推進しているのかと感じる。

義務教育年代、高等教育年代にとっても魅力的に映るビジョンは全くない。私立中学や私立大学が、市内から周辺都市へキャンパスを移設していることはその証左。U・I・Jターン等はきたいすべくもない。

今後インバウンドで建設したホテルが破綻する。居住できるように改修すべき

意見要旨

市営住宅に企業誘致してはどうか。

現京都市長がホテルをたくさん誘致してしまったので、半分に減らす。空いた半分に企業誘致や学生寮、社員寮に作り替え職住を近くする。

未来の子ども、子育て支援は充実させて、若い働き手にとって暮らしやすい、子育てしやすい京都市をアピールしてほしい。

雇用を生み出すために、障がい者雇用、高齢者雇用の推進を効果的に進めてほしい。

住みたい街づくりにおいて、景観や歴史に頼りすぎている。

公団住宅を建設し、若い人達が安心して住めるようにしてほしい。

他都市を参考にし、若い世代に住んでもらえるように取り組むべき

土地を整備し、企業誘致するべき

学生がいるので、京都在住のまま働ける環境整備と、通勤圏に子育て世帯が安心安全に住める住まいの提供を

若い世代に選ばれる都市は大切だが、明石市を参考に具体化すべき

京都に来た学生がそのまま仕事があり、残りたくなるような都市にするよう財政を使ってほしい。

魅力のない街にならないよう、これ以上、まとまった住宅地をつくる必要はないのではないか。

土地の価格が非常に高く住宅を購入できないのも子育て世代の流出につながっている

生活の場や就職先として魅力が無ければ、住み続けることは難しい。

周辺都市のおいしいところを持っていかれているようでは未来はない。若手が逃げられないような政策を打ち、残すべき。

子育てに関する費用は全て無料にすべき。そうしたら若い子育て世代は絶対に居残るし、他府県からも移住も増える。民泊も排除すべき。子育て世代に力を入れるべき

子育て世代、障害者が暮らしやすい、働きやすいまちづくりをしてほしい

若い世代を定着させていかないととんでもないことになるのではないか

大企業の誘致すべき。

京都の地場産業を守る。中小企業を守る。

「国内外からの投資、支援を呼び込む仕組みを構築」は積極的に推進してほしい。事業を拡大したい企業に対して、証券取引所への上場を含めて事業戦略を策定するよう支援してはどうか。

意見要旨

観光客が溢れている京都市に住みたいと思わない。税金を払う市民がたくさん住む街にしなければならない。リモートワークなど、京都市に住みながら収入が得られるような企業を誘致してほしい。

インバウンド頼みの観光政策の誤りが明らか。市民の暮らしや中小企業零細業者をしっかり守る道筋が見えない。

企業の社員宿舎や安価なファミリー向け集合住宅への補助・誘致・土地貸付など具体的な施策を。

人口を増やすことへのスイッチ、「京都での新生活」がイメージできる施策を。

京都市のすみづらさを再度認識し、若者が住み続けられる京都市に

若い世代に選ばれる施策をどんどん実施すべき

お金のかけ方が間違っている。納税する若年層を大事にしてほしい。

空き家を安い賃料で貸し出すなど、企業が進出しやすい環境を整えるべき

石川県加賀市を見習って、住みたくなる町を造るべき

地価が高すぎて若い世代はみな、京都市外に出て行ってしまっている。

サービス業接客業ばかりで、きちんとした企業が少ない。なぜ駅前にはホテルばかりか。企業誘致をしないのか。

若い世代に選ばれることを目標にしているが、非常に費用対効果が悪いように思う。外国企業の受け口を広げる方が国内企業を誘致するよりも効果があると思う。

若い世代に選ばれる都市にするには、まずインバウンドや関東資本に食い荒らされた地価を適正に戻すことが必要なのは。あわせて、空き家対策として、引っ越してくる若い世代に対して補助金を出す、または企業と連携して安くで生活できる集合住宅に作り替えるなど、そういった工夫が必要なのでは。

市営住宅を保育所など子育て支援サービス付き集合住宅として整備するなど、子育て世帯の移住・定住を促進する取り組みに重点を置くことが重要だと思います。

就職を考えると、大企業の有無で京都に留まるかが左右される。また、いい就職先があっても家賃が高くて他府県に住んでしまう。シェアハウスを推進してはどうか。

人材流出を防ぎ、税収増を図るならば、市内に大企業を増やすことから逆算して都市計画し、政策を進めるべき。

京都に住み、子育てしたいと思う街を目指して欲しい。

子どもを持つことがリスク・負担と思うような街に新たに人は住もうと思わない。

悪い意味の古都京都から、若い世代をメインとした新しいまちづくりに変化して欲しい。前例がないことにどんどん挑戦する街になったら良い。

企業と学生を結ぶ活動は積極的に行うべき。魅力的な企業の情報を発信し、古都の企業ゆへのマイナスイメージを払しょくすることが大切だと思います

意見要旨

収入が少ないのは、工業地帯が少ないことが原因と思う。土地を整備し、他都市からの会社の勧誘を強化しては。

“若い世代に選ばれる千年都市”は難しいのでは。30代後半以降の人で、他都市も知った人が京都の文化や街に魅力を感じて移ると思う。それを主眼においてはどうか。

学生が京都の中小企業にスムーズに就職できるよう、市内の青年団体と連携し、マッチングできるような場を設けてほしい。

町家や学校跡地を活用し、京都の伝統的な住まいで暮らしてみたい人たちのニーズに応える。

オフィスよりもリモートワークのスペースを提供すべき

若い世代に選ばれる都市を目指すのは良いこと。

「外国人等が京都で就労・定着している」には賛成できない。

都市の成長戦略について、ホテルがありあまり、廃墟村にならないようにしてほしい。

子育て環境日本一になれば人が集まるのではないか

地域産業の推進と活性化を

子育てにおいても安心と充実した施設やこの街で子育てをしたいと思わせる事がないと子育て世帯が他府県に流出してしまうのではないか。京都って住みやすい！と誰もが感じられる街にしてほしい

若い子育て世代に住んでもらえるよう戦略的な施策が必要

京都市内の魅力的な中小企業に学生時代からインターンなどを通じて就職を斡旋していくことも必要。

京都市に拠点を置く企業を呼び込むなど

立地の良い銀行の上層階をマンションにするなど、若い世代への住宅を提供するシステムが必要

若者が住みたくなくなる、住めるようにしなければ税収は増えない

土地が高く若い世代が住みにくい。若者世代が住みやすい街を作るべき。

若い世代に選ばれる街になるためには、若者、子育て世代へのサービスの充実が不可欠

学生と京都の企業を繋げて、将来も住み続け働き続ける環境づくりはとて素晴らしいと思う。

若い世代に選ばれる都市を目指すと言っているが、子育て世代からすると、土地代も高く、子育てに対するサービスも減るような都市であれば、何も魅力は感じられない。市外へ引っ越すことになると思う。

ぜひ家族で住みやすい街づくりをお願いしたい。今の京都市は住みにくい、子育てしにくい街と感じる。

意見要旨

京都駅以南に住宅マンションを増やし、若い住民を増やしてはどうか

「1 若い世代に選ばれる千年都市」に書かれた理念、6つのキーポイントは、京都市の神聖な聖域を脅かす。

いつもでも古いものにこだわらず、もっと規制緩和して企業を誘致すべき。学生も楽しめ、京都に残りたいと思わせる魅力ある都市を考えるべき

インバウンド頼み・インバウンド関連の企業、業種からの税収頼みの体質を変えていかなくてはいけないのではないだろうか。そういった、企業をもっと京都に呼び込むべきではないのだろうか

低所得者への支援を厚くするという事は、低所得者を呼び込むという行政の意志であり、税収増加とは相反する。高所得者を呼び込む施策もやらないとバランスが取れない。中小企業支援では税収は増加しない。大企業の支援も自治体経営には必要。高所得者を優遇する施策こそが税収増加につながる。

伏見区油小路沿いにもっと大企業を誘致すべき

子育て世代が住みやすい町づくりを行ってほしい

空き家の活用として、若者の起業家に京町家の貸出促進

高速インター近くに工業団地誘致し、安定した税収を

暮らしたいと思いき京都に来たが不安

都市の成長には、住民や企業の定着が不可欠である。その土台となる住環境や企業立地環境の整備も進めてほしい

国の交付税などに頼れない現状であれば企業誘致による法人税アップはとても重要な課題だとは思っているのだが、そのような政策は必要ないのだろうか

観光に依存しない、若い人を呼び込むことでの税収の確保を

京都で子育てしたいと思えるような市政を

乳幼児～大学生までが学びやすい町に

子育てしやすい町、環境整備をお願いします。

景観を保全する地区とデザインに優れた建築を制作する特区を設立してほしい。

京都市の成長は洛東、洛南地域の発展が必須と思われる

子育てしやすい街にする事は未来の京都市にとっても豊かな先行投資ではないか

市内中心部は景観を保全しつつも、容積率を有効活用できる程度に建築規制を緩和し、集合住宅の建設など促す。固定資産税の収入増加を図ると共に、市内の若年層の人口増加を図る。

意見要旨

若者への補助金を充実すべき。税金を納める人を大事にする政策が必要。他県への流出を防ぐべき。

高校や大学が多いため、他県の学生が一時的に京都に流入しているだけではないか。これまで若者に向けたサービス等が充実していたとはあまり思わない。

洛西部を開発し、健康に配慮した都市にする。

子育て支援策を削って、若い世代に選ばれるというのは難しい。

市民や民間企業が市の建物や土地を気軽に活用できる環境を整えてほしい。新たな取組をスタートさせるのも良いが、今ある資源を最大限に生かした成長戦略も進めてほしい。

地元や京都の街で働こうとする人材を育てることも大切ではないか。

地方から来る学生も大事だが、市内で育てる若者も大切。

若者層が定着しやすい環境をつくる。

コンパクトシティを目指して取組を進めてほしい。

京都で暮らしたいと思う子育て世帯を多くすることが京都にとって必要である。観光客ばかりではダメ。

若い世代が住み続けたいと思える街づくりへの投資は賛成。

成長戦略について、乳幼児も対象とするべき

若い世代につながる乳幼児期から成長戦略に入れるべき

滋賀県への転出が多いのはなぜか。子育て世代は転出している。

高齢化が進展すると、長い目で見ても今の厳しい状況からの脱却が難しくなる。「子育て支援」は今まで以上にアピールし続け、若い人や現役世代に住んでもらうようにすべき。それが税収にもつながる。

大学だけでなく、企業を京都に呼び込み、京都で結婚や子育てをしてもらえるように最大限の取組をして欲しい。

都市デザイン1が何よりも重要。企業誘致も税収増につながるのではないか。デザイン2, 5あたりもぜひ頑張ってもらいたい。

SDGsや伝統と先端の融合と謳っても絵に描いた餅。具体的に住みたくなる施策を打たないと、若い世代は滋賀県に流出し始めている。

若い人が暮らしやすいよう家賃補助等が必要だ。

25歳以上の世帯が定住しやすい街づくりをするべき

高齢所得層が住みたくなる観点も重視するべき。税収増だけでなく市内消費増が期待できる。

意見要旨

子育て世代，若者の市外流出を防ぐため，住宅確保への補助を求める。

団地再生，保育園，リハビリ施設など，移り住みたい魅力ある都市にしておくことに焦点を絞るべき。

過疎地域に大学を誘致してください。

大学部門と産業労働部門が連携して学生時から卒業後まで京都への関心を持ち続けてもらい，京都の成長や税収につながる取組をしてはどうか

若者や子育て世代が暮らしやすい街づくりを考えてみてはどうか

子どもの遊び場を充実させてほしい

京都市に住みたい・住めるという人を増やして，市税収入を増やすことも必要と考える。

不要不急の大型開発をやめ，住民本位の行政をするべき。千年の都京都にふさわしい行政を望みます。

古い家屋の空き家が多い。若い人が住めるように，市でリフォームを推進してほしい。

若者や学生，働く世代や子育て世代を応援する街を目指してほしい

積極的な都市開発は必要（東西線延伸など）

製菓業を誘致すべき

若い人に選ばれるためには交通の利便性の強化が必要

学生が働きたくなる企業を誘致してほしい。

若者に住んでもらえる，京都が好かれるような施策を実施してほしい。

住環境を整え，住みやすいまちを目指してほしい。

若い世帯が移り住みたくなる街に

宿泊施設一辺倒だったこれまでの対応を見直し，住環境も整備しなければ，収入源の一旦ともなりうる住民を十分確保できないことに繋がる

これから新しい家庭を築こうとする京都市の大学新卒者が，保育が充実していない京都市には住まない。

「若者に選ばれる」などというならば，子育て関連予算は削るべきではない。

子育てしやすいまちにすることは将来の京都にとっての先行投資となる。住民サービスを継続すべき。

意見要旨

子育てに影響する悲嘆を大きくしておいて、若い世代に選ばれる千年都市は矛盾している。

子どもにかかわる施策が大きく削減される中、ここで子育てをしていこうという気持ちは持てないのではないか。

若い世代をもっと呼び込む必要があるが、ビジョンが感じられない。

中小零細企業を応援する施策をすれば、税収も増えるのではないか。

ヨーロッパにはアーティストがデザインしたビルが立ち並ぶ都市がある聞く。京都市も南に広がる街を目指すのであれば、そういったエリアを積極的に創り出してはどうか。

自身が京都に住んでいるのは、単身なら住みやすく、京都の自然や文化が好きだからだが、キーポイントに書かれていた評価が事実かは疑問。若い世代には住みにくいと思う。

市内に世界に通用する企業は数社あるが、そこへの就職のハードルは高く、主に中小企業が多い中、「働きたい、京都で住み続けたい学生」を掴むのはかなりの戦略が必要。

京都ではいろんな団体が子ども・若者支援をしていて選択肢も多く恵まれた環境だと思う。

若者が家族を持って住みよいまちづくりについて、具体的にどのように考えているのかとても聞きたい。

学生がまとまって就職できるような頭脳労働系の企業の積極的な誘致が必要

若い世代に選ばれる都市とあるが、一方で保育園への補助金の見直しをはじめとする子育て支援策を削減するとあり、計画の中で大きな矛盾がある。

成長戦略について「全ての世代が暮らしやすい」は無理。若い世代に手厚くしないと京都は滅びる。

「若い世代に選ばれる千年都市」を積極的に実現してほしい。

「子育て先進都市」をさんざんアピールしてきた京都市において、また、都市の成長戦略としてなお「若い世代に選ばれる千年都市」を掲げる覚悟なら、「国や他都市の水準を上回って実施している施策等の見直し」に掲げられる保育施策の切り捨ては断固反対

市民サービスの施設跡地をホテルにするようなことは今後一切やめてください

保育園への補助金カットや保育料の見直しなど保育サービスを切り捨てるなら、「子供や保護者に寄り添った子育て環境など、「暮らすまち」、「子供をはぐくむまち」として若い世代に選ばれる千年都市を実現します」は全部カットしてください

充実した子育て環境となっていますが、6年前、私が市外から転入してきたときに若いお母さん方から聞いたのは、子育てしにくい、ということでした

免税店が多くまちなかにあるのは財政不足だからか。若い世代としては、京都で住む・暮らすという体験が搾取されている気がする。

経済の話ばかりで暮らしの話がない。若い人が住みたいとおもうのでしょうか。

学生のまちである京都は、大学生が大学に行きやすいように、対策する必要がある。

京都で住み・働く特徴をもった企業の合同説明会みたいなイベントがあると、京都に住み続ける+税収確保につながる。

意見要旨

若者が京都市で学び、京都市で仕事をして子育てをしていける環境づくりを

若者が結婚しても暮らしやすく子育てしやすい街を目指す必要がある

都市デザインで若い人に選ばれるが一番にきているのは矛盾を感じる。

民間企業間の連携を強めるべき

若者が定住する街を作してほしい

市と大学の共同で、市内の企業と大学生をつなぐ就活機会（インターン、企業説明会）を実施すれば、学生の市内への定着率が向上するのではないか。

地元企業と学生の結びつきを強めることは特に大切。「中小企業」「古都」のマイナスイメージを払拭するべき。

若者にもっと重点を置いた行政を行うべき。

持続可能な行財政をつくるには、都市に若者をとどめることが不可欠。

これ以上ホテルは不要。まず地元の個人店や市民に直接つながるものを考えてほしい。

中心部の市の施設は全てマンションしてはどうか。

移住者を募ること

南部への副都心，高層ビル。

御所を撤廃し，跡地に大企業や工場棟の参入すべき。

旅館ホテル等本当に必要か見直し

伝統職人，若い世代の力を発揮できるように。ホテル民泊がむやみに増えては困る

ゼスト御池全面を地下アウトレットモールに改装

納税人口を増やす施策が必要

町の債性として，空き家の京町家の再生を行い，民間との共同でリノベーションを行い，若者に魅力的な賃貸住宅や分譲住宅を作り，若者を町中に引き寄せることにより，世代を超えたコミュニティができると考える

5 都市の成長戦略について

都市デザイン「文化と経済の好循環を創出する都市」に関する意見（41件）

意見要旨
観光頼りではない税収増加施策の検討
この数年京都市は観光産業にシフトしすぎているのではないか。京都市民が置いてきぼりにならないか。
インバウンドに頼らず京都市独自で経済回復を目指すべき。
下手にインバウンドに頼るべきでない。
インバウンドに力を入れるべき
インバウンドと成長戦略は分けて考えるべき。本来の京都のあるべき姿へ成長する市政を考えてほしい。
コロナ禍もあり、観光客に頼らないまちづくり、お金の使い方を考える必要がある。
息が付けた後、再度観光経済にするのは反対。大学都市としての活性化などを望む
観光客だけが増え、住みにくい街づくりはやめてほしい
インバウンドをアテにした成長戦略ではいけないことがなぜわからないか
あらゆる層の人たちから意見を聞く場を設け、京都観光の益々の発展を図るべき。
プレミアム感を出して人数制限を行い、質のいい観光・安全な観光を
市として観光客をどれだけ受け入れられるか。都市工学上、限界受入許容客数を計算する。
芸大移転による税収効果が、他の都市開発よりも高いというデータを公表してほしい。
観光のことに触れられていないのはおかしいのではないか。
文化と経済の好循環を目指すのであれば、芸大キャンパスにオフィスビルを同居させるといった政策が必要
伝統が改革を圧迫させることのない柔軟かつ堅牢な文化醸成をお願いしたい。
京都の伝統文化などを守るためにも、しっかりとお金を集めて欲しい。

意見要旨

e スポーツにもっと力を入れるべき

e スポーツに取り組まないのでしょうか。

京都の特産品を増やす

大きな世界に誇れる企業があるので、その強みを生かす。伝統工芸のなり手が少なく絶滅寸前なのももったいない

観光客を呼び込むのはもちろん大事であるが、そこから市の財政にプラスになるような枠組みが必要

町屋を安くでアーティストに貸す、伝統産業の後継者をサポートするなどであれば、京都らしさが残ると思う

京都の民間企業からアドバイスをもらい、観光業で京都にさらに人を呼び込むための長期的な戦略を練る必要がある。奈良市の取組も参考になる。

観光について、近隣府県を対象とする戦略と海外観光客を対象とする戦略とは異なる。

観光産業等を生かし世界からお金がもらえる新たな発想が必要

国内の観光客を大切にすべき。

観光に頼らない街を作れ

便利な街になるほど、観光客と市民の距離は大きくなり、結果的にはマイナスとなる。

京都のウリは文化。
概ね賛成。

文化資源を生かした新たな経済的価値が創造されているとしたら何故財政危機なのか。

観光客ではなく市民に目を向けたまちづくりをしてほしい

アートや創造の文化は世界でも注目されている。文化や教育や子ども若者の体験活動機会は削減せず、子どもの発想を豊かにし、自分を表現できる活動を重点項目として進めてほしい

成長戦略について、アート、文化への支援介入はやめるべき。民間の担い手に任せ、駄目なものは淘汰されるべき。文化はそんなにやわではない。

文化と経済を融合させて、都市の成長を目指すべき

観光に力を入れることは、市民の住みやすさにはつながらない。正直、京都市に住み続けるとは思っていない。

観光への需要が高まるはずなので、観光事業に力を入れてほしい。

伝統工芸や文化、文化財の施策にどのように民間資金を活用するのか。この計画に含めるか別途策定するのか

意見要旨

市民と共生できる観光施策への転換を。これ以上のホテル建設は不要

観光産業を振興し、財政再建の柱にしてほしい。
より印象に残る文化的な街になるためには、街の電信柱をなくす必要があると思う。

5 都市の成長戦略について

都市デザイン「持続可能性を追求する環境・グローバル都市」に関する意見（29件）

意見要旨
洛西NTに地下鉄を通すべき。地下鉄が無理なら、せめてLRTを
他地域とのアクセスを良くすることで、人口流入も増やすことができる。
洛西ニュータウンの街づくりを推進するため、西京区と伏見区を結ぶ鉄道網の整備を。
脱炭素化の都市である京都市が日本の目標より早く脱炭素化を確立するのは当然のことである。三洋化成や村田機械など、名だたる企業と連携し先導して欲しい。
京都議定書を大切にして、率先して地球温暖化防止に舵を切った政策をすべきだ
久多、静原、京北など、市内であっても過疎化が進む地域がある。こうした地域に住みながら収入を得られる企業の誘致はできないか。
環境に関する取組は現状では儲けにつながらない。
高層建築は原則木材の大幅な活用を義務付けることによって、環境に配慮したモデル都市とするのはどうか。最先端の木造技術が集積され、ESG投資を呼び込むことにつながる。
スギ、ヒノキの伐採と花粉アレルギー対策の実施、伐採後は動物が豊かに暮らせる森林づくりを行うのはどうか。
木の文化・森林政策推進室には特に期待している。
過疎地域に企業や大学を誘致してほしい
環境対策を謳っているが、やっている感を出すだけならやらなくて良い。
（V都市の成長戦略について）グローバリズムは間違いだ。
パイを大きくする成長はもうやめないと人類社会は滅亡を早めるだけ。
脱成長で成立するというのがこれからのグローバルスタンダードです。
いつまでバブル期のようなことを考えているのか。いつまでインバウンドや外資系のホテルに市民の資産である土地を売りさばき、京都市を貧困化させるつもりか。
市電を導入すべき。環状線にすべき。
成長戦略について、観光も含めて市電を導入すべき。
都市デザイン3に掲げる持続可能。環境都市について、水田は風景に貢献し、気温を下げ、CO2を減らし、水害を軽減する。これらを管理できない所有者から市が買い取り、農地として運営してはどうか。
東西線は延伸すべき

意見要旨

京都市が行うべき事は、地下鉄を延長し、現在の京都芸大へ地下鉄で行けるようにすることです。

市郊外に駐車場を作り，市内は公共交通を利用するようにする

成長戦略についてCO2，温暖化は市でどうこうできる問題ではない。環境先進都市という見栄をはずす，潔くやめること。

地産地消を推進し農家の支援を行うとよい。

地域の脱炭素化を先導した方がよい。

建物高さ規制緩和，社寺からの税徴収，山間部地域の活用などにより税収を増やすべき

地産地消，地消地産を推進するための施策も考えてほしい。

京都に市電形式の環状線が必要。

有機農家、有機農推進はこれから持続可能社会にむけて必要不可欠です。住民の健康、また新たな移住者が増えることで、市財政状況の回復にも繋がります。

5 都市の成長戦略について

都市デザイン「「知」が集うオープン・イノベーション都市」に関する意見（31件）

意見要旨
実際に20代～30代の意見をランダムに聞いて、どうしたら京都市に住みたいか声を集めるべき。
企業が京都市でどのようなことをしたいのか、提案を広く募集し、実現にどのような規制解除が必要かなど、行政として何ができるのか考えてみては。
企業からアイデアを募るべき
<チャレンジのアイデア> 寺社と学生のコラボで古都の新しい魅力創出。
<チャレンジのアイデア> 大学・専門学生を対象とする「京野菜を原料とした新しい漬物・保存食の開発コンクール」
西京区において、遊園地設置による活性化、ベンチャー企業の育成、農業産業近代化を。
大学生・専門学生・高校生の若い知恵を活用すべき
市民自らがイノベーションを起こしたり、市の魅力を理解しているからこそ、色々な発信ができる。市民も成長の担い手として位置付け、市民のニーズや市民のアイデアから成長戦略を立てられないものか。
バーベキュー場を作り、まちの活性化につなげるべき
地元民だけで成長できる仕組みを作るべき
成長戦略について、企業だけを対象とした意見募集をしてはどうか。
地元企業や各分野の有識者から意見をもらい、成長戦略を考えるべき
植物園や動物園などの観光資源について、海外の観光客がもっと入園するよう、再整備すると良い。宝ヶ池周辺はもっと魅力ある観光地として利用できるのではないかなと思う。
大阪、滋賀にアクセスしやすい区を子育て世代向けに公園、施設整備。 伝統工芸を保護、給与体制の援助をし、若年層の伝統工芸定着を狙う。高齢者の雇用を創出も兼ねる。
企業とのタイアップを色々計画してみてもどうか。
高度な研究からベンチャー企業が生まれ育つところのサポート、助成をしてほしい。
任天堂と連携して事業実施できないのか
高架下の壁面や柱間を1箇所ずつ民間へスペース貸ししてはどうか。アート、スポーツ、民間、京都市が一丸となって、新しい魅力を生み出すモデルケースとしてチャレンジしてみたり、民間と行政とで連携して稼ぐことを積極的にアピールしてはどうか。
現状認識の厳しさに対して成長戦略には現実味が無く、またビジネス的視点に偏っているように見える。 住民自治組織と行政とがパートナーとして施策を作る、という視点が見受けられず残念。

意見要旨

梅小路公園などの大きな公園に集中した整備を進め、お寺の一角に遊び場を作るなどし、海外の方や若い世代にアピールできるまちづくりをしてはどうか。

京都の都市課題解決のために委託研究を大学が連携して進めるのはどうか

もっと若者からの意見を聞くべき

伝統工芸体験、人気宿泊ホテルの滞在、正解遺産巡りツアー、任天堂等の京都市内の会社とコラボ企画等

将来の姿を議論するためには、将来まちを支えることになる世代の意見を十分に聞いて、それを反映させることが必要

若者にデザインしてもらった、京都市公式のお土産系アメニティを販売して収入を得るのはどうか。

チャレンジに多くの「知」を生かすデザインが考えられないか。「文化」や「伝統」が生活と結び付くような戦略になっていない。「暮らす」視点、納税者を増やす視点で書かれているのか。

伝統工芸や大学などと協力し、新しい産業を市が率先して取り組んで、京都ブランドを世界に発信していかなくてはならない。

大阪の中之島に京大のIPS研が拠点を置くというニュースがあったが、このように最先端技術の研究・開発が活発に行われる都市を目指してほしい。

京都には京都大学やノーベル賞受賞者も数多くおり「知」において誇るべき。任天堂をはじめとする世界において功績をあげている企業も多く、市の施策においてもそういった企業の方々の知恵を借りながら進めてほしい。

付加価値を高める施策を民間と連動して実施し、収入を増やしてほしい。

全国各地のアイデア発想や若い世代の意見も取り入れて下さい。帰化された外国人や在住外国人の意見も取り入れて下さい。

5 都市の成長戦略について

都市デザイン「伝統と先端が融合するデジタル創造都市」に関する意見（27件）

意見要旨
高額な市民税を収めている市民にも、公共施設への割引制度・市民優先予約などそういった特典をつくって、京都の市内で経済が回るようにしていただきたい。
京都の真の強みはシビックプライドの高さだと思う。市・区・学区・町内それぞれの範囲で地域愛が強い。この強みを成長戦略に落とし込めていないのではないかと感じる。地域での儲けを地域内で再投資する循環を構築する方向性を開拓すべき。
市内に在住しなくても市内経済に貢献する提案するチャレンジがあってもいい
ふるさと納税を他都市にするよう広報しているのではないか。
ふるさと納税は間違った税金の使い方であり、力を入れるのではなく、廃止するよう国に訴えるべき。
ふるさと納税を獲得することに力を入れたらどうか。行政が神社仏閣と手を組んで御朱印帳を特典にするなど。
ふるさと納税で寄附を集める。魅力あるものと公告で発信する
京都カードは反対。行うとしても既存のカードを活用すべき。
京都カードのメリットが見えない
未来型京都市戦略をすること、VRやQRコードを活かした観光案内
ふるさと納税のセンスが無さ過ぎた。京都で出していたものは誰が欲しいと言うんだらうと疑問に持つようなものばかり。
海外の観光客が気軽に安い費用で観光が楽しめるよう、台湾・シンガポール・ハワイなどを参考にして検討すべき
京都は芸術の街、ぜひ伝統と先端を融合した面白い街にしていきたい。やってみたいことにチャレンジできるよう、京都市と京都のお金持ちでパトロン的な財団みたいなのを作ってベンチャー企業や芸術家を育てて欲しい。
京都市でアニメキャラとコラボして物販する
京都市内で使える地域通貨を導入し、京都ポイントや電子感謝券といったチャレンジ施策との一本化を図ってはどうか。
オタクは好きなものに惜しみなく投資するので、そのような観点でコラボを進めることをおススメする。
京都カードは不要

意見要旨

海外版クラウドファンディング型ふるさと納税の創設など、外資の資本も取り込める仕組みを作ることができるかといいたくないでしょうか。

京都カードについて、何のために行うのか。本質的な魅力や仕組みがないと、ただの手間のかかる無駄作業になる。

京都カードの中身がよくわからない。民間のカードやポイントサービスなら全国で使えるのに、京都でしか使えないカードやポイントを作ってもあまり利用されないのではないか。

京都カード、京都ポイントとは、京都の中で使うことにこだわりすぎることで広がりが生まれえないのではないか。

働く世代のための施策削減（保育料見直し、学童利用費見直し等）はできるだけ避けたほうがよく、また「京都カード・京都ポイント」「電子感謝券」は必要ない。

（京都カードなど）新たにカードを作ることにお金を使わないでほしい。既に普及しているアプリ等を提供している企業に協力してもらっては。

デジタル技術が進んだ今、高層オフィスビルではなく、既存の町屋の光景は守りつつ、内部はIoT化することも可能で、それこそが今世紀の京都の姿、観光都市でありつつも、世界最先端の研究都市、そして町衆というビジネスマンが力を持つ京都の姿と思う

民間から寄付を集める際は、一般人が入れない神社に入れる権利や伝統工芸品などの見返りが必要。

市民税、固定資産税の納税額に応じて、市民に商品券を発行するなど、経済を回す仕組みが必要

若い方が働くデジタル施設を充実して貸し出す。

6 改革の推進体制について

外部の意見・第三者チェックを取り入れるべきとする意見（76件）

意見要旨
民間企業や有識者による諮問機関の創設
行財政改革推進本部のトップは外部から招へいすべき。
改革の推進は、外部人材を登用しなければ無理。
市長がトップで推進するのはおかしい。
市民や、市外でも財政問題の専門知識や経験を持つ人材を、参加者・参画者として扱う必要がある。
民間の専門家などからも意見を取り入れるべき
ここまで何もできなかった市長がトップでよいのか
外部から人材を登用すべき
すべての研修やイベントで、参加者から意見を聞く
トップの人たちは定年で逃げるだけ。第三者機関に監視してもらうべき
専門家による提案や提言を活かすこと
地方再生や創生に詳しい専門家や文化人による第三者委員会の設置
市だけで考えず、ありとあらゆる人の案から実践してほしい
改革の推進をだれがチェックするのか。推進状況を随時公表してもらえるのか
外部の専門家を登用し、一から計画をしないべき。
チェック機構を正しく設けてほしい。
公営企業は外部からプロの経営者を雇うべき
改革の本部長が市長で、庁内だけの構成されては改革は進まない
改革の進捗をチェックする第三者機関が必要。
行政改革推進本部は必要か。こんなことに人件費を使うくらいなら、会社の経営立て直しのプロにお金を払って、本気の再生計画を立ててください。

意見要旨

今回の改革が市長主導で行われるのであれば、失敗に終わると思う。

第三者の監査が必要

所得の低い層や、主婦層、20代など、様々な意見を反映させるため、会議に呼ぶべき。

若者が行政と直接意見を交わせる場があればいいと思う。

職員や議員以外の第三者コンサルティング機関を改革体制にすべし。

市長以外のリーダーが必要。

もっと一般市民、子供たちの意見を吸い上げる体制になってほしい。

全く京都につながるの無い人の登用が必要。

「第三者の視点も取り入れながら」といった趣旨の記載は入れるべき。外部の目を入れるという視点は必要。

市民による第三者委員会を立ち上げて意見を聞くべき。

縦割り専門性の確保もできる。行政の組織構造を理解したうえで、各々の強みや専門性を持ち寄った会議体になることを期待したい

市民が無駄遣いを判定する仕組みが必要

外部からのモニタリングの視点が欠けている

今までの体制で現状があるわけで、知恵を絞っても大幅な変更は無理。改革できる人材を外部から呼ぶべき

議論の場に様々な立場、職業、年齢、ジェンダーの者が意見を上げれる場を作れる体制を願う。

もっと若者の意見を取り入れるべき

民間の知恵を借りるべき

職員、大学、学生に意見を募るべき

推進体制から年寄りを排除すること。

これまで既得権益を守ってきた政治家がトップであり続ける限り抜本的な改革は進められない。

市民参加がない。ボランティアや、学生の力、タウンミーティングなどで行政サービスの至らないところを補完するなど有効。

東日本大震災の被災地の女川町では、若い町民が中心となった復興チームが【100年先の子どもたちが誇れるまち】を目指して、まちづくりを担い、復興スピードは早かったようだ。このような方々がいればもっと京都市はよくなる。

情報発信にはスキルが必要なため、プロの力を借りるべき

意見要旨

利害関係のない第三者の眼を入れることが必要ではないか。

市民の代表や中小企業等の意見の入る組織体制に改善するべき。

諮問会議等を組織する場合、構成メンバーには、必ず女性団体、労働団体、市民団体、学術団体から複数名を選ぶことを求める。

オムロンや島津、任天堂、大学教授など、経営のプロの方々に会議に参画してもらうなどすればよい

改革の推進体制について、プロの外部コンサルを入れて徹底的にすべき

行政改革推進本部長に市長を置くことは考えられない。優れた人材を県内外から募集してはどうか。

諸悪の根源である門川市長の下で再建計画を推進するとは、理解できない。

財政立て直しの偉人を雇う。

有識者メンバーに幅広い層から選任するべき

本部長は市長でなく、プロの経営者を

民間の知恵を活用するのであれば、京都市内の会社、京都市外で働く会社員の方々にも届くようなパブリックコメント募集システムが必要です。

市民や外部監査の意見を取り入れながら状況に応じて柔軟に対応できる組織体制が望ましい。

市長が本部長ではなく、第三者に任せるべき。

京都の歴史を進める為に、今を活かし、必要な所にしっかりと援助し、ムダは何か若者の意見もしっかりと反映できる改革を行ってください。

行政と市民感覚のずれを是正するためにも学識経験者や市民代表が参加できる仕組みをお願いしたい。

改革を進めるための各種会合には市と利害関係のない外部の第三者が必要。

市議員が市民の声をあつめ、監査する必要がある。

各チームに外部有識者や大学院生に参加していただくなど、オープンな組織とすべき。

市長、幹事会、各チームと関係のない第三者委員会を設置し、本当に進め方は正しいのかを判断し、強制力のある部門を設置し、確実に実りのある施策を実施していくことが重要である

若者や子育て世代、地域企業の意見にもっと耳を傾けるべき

情報発信をいまさらしても議論の余地はなく、今まで対応してこなかった市長や行政の人をトップにした推進体制で何ができるのか懐疑的。民間の知恵を借りるべき

京都市に近い関係団体の声だけを聞くのではなく、該当施設の利用者や当事者からの意見聴取の機会を持つことを強く望む。

取組を検討するチームには、市民目線、事業者目線も含まれるのが望ましい。また、提言が当初の目的に沿っているかを第三者機関がチェックすることも必要では。

意見要旨

改革の評価基準や方法を明確に組み入れるべき。外部の評価機関を作り、オープンな情報公開の場を設けるべき。

外部の風を取り入れなければ改革はできない。

他の学識者や専門家に助けを求め、多くの色々な部門の力を得て、根本を立て直すことを本気で考えるきっかけになればいい

推進体制の中に、金融や経営の専門家で組織された機関を入れるべきではないか。

何も分かっていない素人を集めてチームを作って片手間でやらせても駄目。プロや真に能力を持った者を集めたタスクフォースを作り、大きな権限を与えて、集中的にやらせるべき。

外部の関係者も必要ではないか。

第三者をトップとした体制とすべき。

外部監査員を導入するべき

外部有識者を取り入れるべき

外部有識者を取り入れるべき

6 改革の推進体制について

市民への周知や発信に対する意見（市長・議会の発信等を含む）（93件）

意見要旨
PRや啓発活動は効果が感じられないため、やり方を考えた方がよい
成案が出来てから、再度、意見募集や意見交換会の開催を行うべき。
全戸配布する等、市民への周知徹底を望む。
ホームページのどこに記載されているか分かりにくい。
市長が積極的に市民に説明すべき。京都市情報館に動画を掲載してはどうか。
市長がもっと積極的に市民に説明すべき。ホームページに市長の説明動画を掲載してはどうか。
パブリックコメントをもっと周知してほしい。
門川市長は自らの声で、市民に説明する責任がある。
不都合な真実も市民公開すべき
市長・議会のメッセージが少なすぎる。事務的である。
市民ひとり一人が、財政についてもっと考えて危機感を感じるよう広く伝え、訴えることも必要
市長が責任の所在を含めて、誠意をもって財政難の理由を説明すべき
市民を巻き込んだ改革は重要であり、賛成
説明会を開いてください
ユーチューバーに取材されれば話題に
市民の意識改革が必要
事業の実施には財源が必要だが、その財源は別の市民が払っているということをしっかりと周知してほしい。
赤字決算を出し、市民に京都市が危ないことを知ってもらう必要がある。
市長が将来の財政破綻の可能性を発表してから既に10日余り経過しているにもかかわらず、HPのトップページにはその事が全く書かれていないのはどうか。

意見要旨

財政が厳しいのは京都市だけではないと思いますが、その根本的な原因はサービスを受ける側が原資を他人のお金だと思っていること。市民が負担して市民がサービスを受けてる。このことを市民に訴えないといけない。

市民の興味は自分が受けているサービスのことだけ。そのサービスにいくら税金がかかっているかしっかり伝えることが必要。

区を回って説明会をすべき。せめて動画くらいは上げるべき。

若い人に財政状況に関心を持ってもらえるよう、啓発に取り組んでほしい

YouTubeやインスタのCMや、関西圏放映のテレビでの特集などで取り扱ってもらおうなど、アピールの仕方を変えなければならないと思う。

計画案をわざわざ区役所に行ってもらおうとする市民は僅少。

市長がこれまでの市政運営をどう考えているのか会見してほしい。

保育料の値上げなど、ニュースになっているものは特集ページを作って解説してはどうか。計画に書いていることだけでは良し悪しが判断できない。

見直しとは削減だけではなく増加（増員）も含まれる必要がる。
見直しを前提としているのでなければ、施策等の補助金の削減とすべきではないか。
情報を的確にわかりやすく伝える到達主義の情報発信をしていただかないと市政不信になるのではないか。

これまでの予算決算の発表の仕方に問題があったのではないか。

本当に市民の声を聞いてくれるのか

広報活動が一概に悪いとはいわないが、放置している議会の車内広告や、内容がそのままの市民ニュースの掲示は止めてほしい。これだけでも財源は変わる。

市長、市議会議員全員に本人によるSNSを利用した情報発信を義務付けることが必要。

「財政運営の市民への情報発信ができていなかった」という点は必要なのか。まずは自治体がしっかりと役割を果たすべき。

もっと市民に分かりやすい資料にしてほしい。

膨大な資料がありすぎ、分かりにくい。

収入があつての支出。市民サービスを充実させるなら、市民は払う覚悟もしなければいけない。これを広く市民に御理解いただけるよう論じてほしい。

市長が危機的な状況を市民に説明するべき

（保育園の経営者の方から）
年々、保育士確保が難しくなっている。そんな中で、京都市の補助や助成が削られると、益々保育士の確保が難しくなり、子どもを受け入れられなくなる。

もっと市民の現状の、現場の声を拾うべき

市職員から改革と都市計画マスタープランについて説明を聞いて興味を持った。市職員と直接話す機会があれば市政に関心を持つ人が増えるのではないか。

市民の立場からも市政に参加し、ともに行財政改革を進めることが大切

意見要旨

大阪府知事や大阪市長のように、積極的にメディアに出て話しをしてはいかがでしょうか。あのよう、日常的にトップの顔が見えるだけで、「大阪、動いているな！頑張ってるな！」という印象が持てます。

市民の声をしっかり聞くため、地域に出かけて懇談会や各団体との懇談など、旺盛に開催いただきたい。

毎年、試算と経過を報告してほしい。

236億円の財源不足を広く市民に知らせ、歳出削減へ理解を求めるときだと思えます

門川市長の言葉でわれわれ市民に直接の説明を求めます。

市民新聞等、広報印刷物も不用。結局HP等で探している。必要最低限にさせていただき、「お金がない」のであれば、モノクロで十分。

広報において、市民感情に配慮しながらバランス取りに苦慮しているように見受けられる。だが、その中途半端な情報共有が、市民一人一人が考える機会を促すことにつながっていないのではないか。是非を問う姿勢を強く打ち出すべき。

情報発信のさらなる透明化、市民に向けた踏み込んだ提案とその説明を十分に果たしていただきたい。

説明がまったくわからない。何にどれだけ使っているのか、市民とともに検証するか、説明会を開いてほしい。

これでは理解できない。詳しく説明してほしい。

これでは理解できない。詳しく説明してほしい。

現状ですら何をされているのか不明。市民が推進本部の内容や進捗に興味を持っていただけるような努力が必要

市民負担をお願いする前に、改革案の費用対効果を事前に市民に公開すべき

数字の算出根拠、案の詳細、ぼんやりとしたイメージの羅列が続く文章で、計画の骨子がわからない。また、文字ばかりの記載でわかりにくい。図表を使うなど、市民に伝えるための情報発信をお願いしたい。

市民との連携が弱い。計画は金儲けする人に向けて考えられている。仕組み作りからやり直すべき。

文書が簡潔でなくわかりにくい。徹底という言葉は緩すぎるし、曖昧で意味不明。

住民が行財政改革にもっと参加できる仕組みを作ってほしい

市長が説明すべき

Youtubeには反対派の動画しかない。京都市が解説動画を作るべきではないか。

もっと市民に対して問題の所在を分かりやすく説明することが大切であり必要なことであるとする。

声を上げたくても上げられない、どうして声を挙げればいいのかわからない市民たちの声をどのように聞き、政策に生かしていくのか、という発想をもっと持ってほしい。

改革計画書を町内会の回覧板で回して欲しい。

意見要旨

節約を心掛けるよう市民へ働きかけるべき

持続可能な行財政への道筋が、どの程度信ぴょう性があるのか説明すべき

オープン化にお金をかけすぎ。現状をきちんと説明すべき

取組はすべてオープンに公開していただきたい。

収支報告をきめ細かく市民へ。PDCAをしっかり回すこと。

市民への情報発信だけでなく、市民の声を聴いてほしい

財政危機に至った原因について明快な説明になっていません。この原因を明らかにしなくては正しい財政再建はありえないと考えます。

実際に現在どのような状況に陥っているのか、それをこれまでであった税金・地方交付税交付金の用途を詳しく上げながら、説明していただきたい。

日頃から市長への手紙など、市民からの建設的な意見に耳を傾けてほしい。

計画案の内容について、手紙を送付するなど、確実に全市民が知って、多くの人から意見をもらえる場を設けてください。

計画案の政策への賛成反対も住民投票すべき。

選挙で市民受けを気にしすぎの市長や市議員にも大きな責任がある。

市長がSNSなどでこの案を市民に説明してください。

パブコメの市民周知が足りない

何年か先には赤字再建団体になると宣伝されているが大嘘と確信している。やり方が卑怯。市民にわかりやすく徹底的に説明すべき

推進体制はしっかり作り、市民への情報公開を

改革内容の実践について、成果をリアルタイムに公開すべき

情報公開にもっと積極的に取り組むべき

市民への情報開示と市民の参画が必要不可欠

京都市が過剰にサービスしてきたものの一覧を市民に開示するべき

このような財政状況となった責任をとってほしい。

財政状況が悪化した経緯と責任を示してほしい。

意見要旨

財政を開示し，意見を集ってくれる京都市は最高。

市民への情報発信を正しく行うべき。

パブコメだけでなく，説明会を開く等が必要。誠意ある対応をすべき

市長が前に出て説明責任を果たすべき。

京都市政が市民生活の足を引っ張っているようなイメージを払拭してほしい。

課題を市民へ周知するべき

市民に市政を考えてほしいなら，全市民に計画冊子を配布すべき。

市民が現状を学ぶ機会を増やしてほしい。

6 改革の推進体制について

分かりにくいという意見や詳しい解説を求める意見（63件）

意見要旨
財政破綻時の市民への負担についてわかりやすく説明するべき
冊子がカタカナばかりで理解が難しい
冊子（本冊版）が白黒で見づらい
用語が難しく読む気にならない。
全体的に専門用語が多く、理解しにくい。
何を書いているのかよくわかりません
金額が大きすぎて想像できない
お金がないようにはとても見えません。
額が大きすぎて実感がわからない
分かりやすい言葉で書いてほしい
（「Ⅲ持続可能な行財政への道筋」について）とても分かりづらい。
改革案が見づらく意見を募集する気が感じられない。
何を書いてあるかさっぱりわからない。
内容が分かりづらい
細かい部分まで明らかにする努力が足りない。国基準を上回る事業，京都市独自の事業について，事業名と必要額億円単位だけしかなく，その中身を詳しく説明しないからわからない。
財政のことは勉強不足で良く分かりません。
より説得力のある計画が求められる。
市民が読解しやすい資料を出してください。
パブリックコメントのフォームや，計画案，読みにくいし，わかりにくい

意見要旨

数字だけ説明しても住民には分かりづらい

もっと万人が読めば分かる文章の冊子にしてほしい。

情報発信が不十分であった原因を解決しなければ同じことの繰り返しになるのではないか。

大半の市民は計画の是非を判断できるほどの前提知識がないのではないか。概要版ではなく、解説版をつくるべきでは。

記載の社会福祉関連経費がどれだけ増加しているのか見える化することで、今後の財政改革で見直すべき事業等を市民が判断できる材料になると思います。

改革案はもっと見やすく、理解しやすく工夫すべき。

文章を分かりにくくしてうやむやにしている

行財政改革の中身について、文言はもっとわかりやすく、イラストを多く用いてPRすべき。

行革について、市長が変わるとどのようになるか。推進本部も異動でメンバーが変わるとどのようになるか。

決算書が分かりにくい

公債費を利払いと元本返済に分けて示さないと財政収支が理解できません。
的確な政策立案に向けた財政状態の正確な把握には、目的に合った計数概念整理が必要ではないでしょうか。

これまでの報道によると黒字であったと記憶しており、この現状に驚いている。

この意見公募では多量・難解すぎて意見を出しにくい。

いきなり「破産します。予算について意見を。」と言われても、市民は分からない。まずは何がこの失態を招いたのかをきちんと示すべき。

こんな体制は今までにすでに整っている

非常に網羅的また総花的であり、個々の項目について具体的な道筋が分からないので意見が述べにくい内容である。

これまでも計画を立てられていたが、赤字体質なのはなぜか

市の決算書は理解できない

全体的に、どのような姿勢で改革を行おうと考えているのがわからない。

改革の推進体制がよくわからない。もっと情報を公開してほしい。

施設、制度の見直しは、市民の納得いくものにしてほしい

(改革の推進体制について) この体制で実行力が伴うのか否かわからない。

意見要旨

他都市との比較が数値のみで、判断が難しい。中央値や最頻値も知りたい。

資料がわかりにくい

資産の詳細はわからない。

計画の内容がわかりにくい。意見が出ないように作っているのか。

自治体職員の仕事は、市民の合意を得られるような取り組みをすることだと思う。わかりにくい改革の計画はそもそもおかしい。

計画案は表現が難しく殆どの市民にとって理解することは困難と思われる。難しい内容をやさしく説明するのが本当のプロである。

給与カットの明確な数字を出してほしい。

なぜこのような財政状況になったのかを深く分析し、市民に明らかにすべき。

内容が難しい。小学生が読んでもわかるような説明がほしい。

情報発信が下手。情報を見つけやすい京都市になってほしい、

事業やイベントの評価を数字だけでは本質が見えない

全体的にわかりにくい

全てにおいて表現が回りくどい。わかりやすく記載してほしい。

若い世代でも理解しやすい表現を用いるべき

情報発信に紙媒体を増やし過ぎても混乱して読まれず、無駄なコストになるが、無くしすぎても情報発信の低下になる。増減偏りのない体制を視野に進める必要がある。

計画案の内容がわかりにくい

大きなくくりでしか削減計画が示されておらず、よくわからない。

冊子が見づらい

内容が難しい

市民の税金を何に使っているのか。財政の情報開示をしてください。

内容が難しい

内容が難しい。財政難ということは分かった。

6 改革の推進体制について

庁内の意識改革についての意見（30件）

意見要旨
改革の推進体制について、上手く連携をして改革を進めてほしい
記載内容は同意するが、実行力がどれだけあるかが重要。
区役所の職員に計画のことを聞いたら何も答えられなかった。こんなことでは改革ができるはずがない。
全所属で取り組むべき
5年間を目安に書かれているが、その後どうするのか、途中のチェック体制はどうするのかを強調してみたい。
3年の集中期間と5年の計画期間そのものが見通し甘い。計画案を5年ではなく最低10年は必要で、増収に転じるまで3年毎に改革の見直しを含めて検討しながら繰り返し3年ずつ政策を集中して増収に転じるよう定めるのが良い
集中的にやるのは構わないが、その後をどのように判定していくのか
財政再建のため、職員には上の意向に沿わないことでも提言、諫言する気概を持ってほしい。市長や議員にも、自由に議論できる環境を作してほしい。
Ⅱ及びⅢ、行政の取り組みについて点検と見直しが必要。
審議会等の委員は定期的に入れ替えるべき
改革推進体制の本部長は市長と市会議員の共同とし、市会にも責任を持たせたい。財政立て直し経験のある者を迎えて、改革を実質的に任せるほうが良いのでは。
市長が勝手に不必要な事業を始められないよう、職員の投票で過半数の賛成が得られれば実施できるなど、仕組みを作してほしい。
区役所や末端の職員にまでしっかりと危機感を持ってほしい。
真剣に、胸に刻んで欲しい。市民感情を身につけて欲しい。
職員に危機意識が共有できているかどうか非常に疑わしく、再教育が必要。
市長・議員の意識改革をすべき。
危機感を持ってもらいたい。
区役所に行財政改革計画の冊子を取りに行ったが、近くにいた職員にありかを聞いたら何のことも知らないようであった。市長・議員・職員すべてが痛みの伴う改革を覚悟して臨んで欲しい。
市長は、実務を行っている職員から直接意見を聞いてもみてはいいのではないか。
これまでから「特別の財源対策」を実施し、財政が黒字であるかのように見せかけていた「外見ばかり気にする姿勢がいただけない。市全体として姿勢を変えなければならない。

意見要旨

時代の変化に対応するための、新しい施策を考えられる人材はいるのか不安だ。

危機感が足りていない

意欲的に職員が財政問題や仕事に向かえる体制にしてほしい

行財政改革タスクフォースを発足して、現場主義で取り組む人を抽出する必要がある。本当にやる気と能力がある人間を選ぶ必要がある。

証明書発行事務は、業務量比して人員が増えていたり、派遣の職員は安い給料で必死になって働いているが、高額な正職員は無駄話をしていたり、憤りを感じる。

改革の推進体制について、本当にやる気のある人をスクリーニングする仕組みが必要。言い逃れ、言い訳のための仕組みはやめてほしい。

市長や幹部が本気でやる気を見せてほしい。

市長、幹事会、各チームが自分がよければという考えではなく、真摯に市民のことを思ってやり遂げてください

もっと危機感を持つべき

「これまで通りがいい」と考えている職制の考えを変えていってほしい。

6 改革の推進体制について

その他 (38件)

意見要旨
計画が試算どおりにならない場合の対応策や責任を説明するべき
市長は市民の方を向いていない。
達成できなかった際の責任の所存を明確化すべき
達成できなかった場合の責任も明記すべき
泥臭く取り組める人間を充ててほしい
計画どおりにいかなかった場合はどうするのか。数年後「計画どおりにいかなかったので、これからはこうします」という計画を新たに作るのが目に見える。
改革の推進にあたり、毎年チェックする仕組みが必要
現場感を大切にし、職員が過度なストレスを感じることなく働ける環境を作れる人がリーダーになるべき。
改革の推進体制について、市民を主体とした体制にすべき。
内政でできる気がしない。
ピンチを改革のチャンスと捉え真摯に向き合ってくれる方がチームに編成されていることを願う。
(改革の推進体制について) 大事だと思う。そういうところは大阪を真似てもいいと思う。
行財政改革本部長が今の市長。全く改革に期待できない。
収支がプラスになる改革が完了するまでは、現市長が責任を持って対応すべき。
改革の推進体制に意見なし
推進体制はどうでもよく、中身が大事。
トップがしっかり責任を取る体制にすべき。
成長戦略でIT/ICTが重要とするならば、それを推進するための局を設置し、職員10%程度を充てて取り組むべき。
計画の体制ばかりに力が入らないよう、スケジュールを定めて進めて行ってほしい

意見要旨

マネジメントができない人たちが改革してもまた失敗する

橋下徹のような強烈なキャラクターが必要

同意します

改革の推進体制はよく考えられている。各セクションが縦割りになることなく連携して取り組んでほしい

特命副市長あたりの専任改革担当はおかないのだろうか。

禁じ手を使っていた市長がトップというはどうか。

指揮ができる人が上（市長の下）について、その指示を実行する精鋭部隊が必要。

良いと思う。

改革の推進体制には賛成する。

議会改革チームを作ったほうが良いのではないか。

本部長に市長はふさわしいのか。市長が改革できるなら、この状態にはならなかったはず。

この立派な体制が無駄にならないように、いろいろ言う団体や議員などもあるでしょうが、やり遂げてください

行政改革推進部長は市長は間違いではないか

改革のリーダーは、大企業の言いなりではなく、住民本位の行政を行う人、長期的な見通しのできる人がふさわしい。

市長の責任は大きい。自らの責任をどうとるか示して、きめ細かい説明をするべき。報酬カットや辞任も考えるべき

大手ゼネコンしがらみの市長では改革できない。

行政は自らの汚点を全て開示し、新しい組織として生まれ変わる必要がある。

「各チームは、局横断的に関連部局が参画する全庁体制」で、3チームがどれだけ横の連携が取れるのかが気がりではある

財政を悪化させた張本人が改革推進本部長を務めるのは笑い話。

7 その他

パブリックコメントの手法に対する意見（59件）

意見要旨
市民生活がどうなるのかをイメージできない。敬老乗車証等の個別の市民サービスごとの計画案を作り、パブリックコメントしてはどうか。
この計画案を読んで意見を出せる市民は少ないのではないか。この取組を廃止しようと考えている等、段階を踏んで、市民意見を募集した方が良い。
意見項目が難しい。簡略化を望む。
PDFファイルが文字検索できないのは不便。
今回のパブコメはPDFのページも多く、項目ごとに書く、という作業が大変だった。選択式のものをつくるなど工夫があればよかった。
パブコメの依頼の仕方を考えるべき
パブコメでは、どの事業を見直すべきか意見募集すべき
公開いただいているPDFデータはフォントの埋め込み処理ができていない。
入力フォームと同時に閲覧できるようリンクを貼るべき
アンケート形態すら書きにくく、気軽に意見を言えないフォーマット。
このような膨大な情報を見る人がどれくらいいるのかを想定してください。声の集め方の工夫が必要。
反映するつもりのないパブリックコメントは不要。腹を括って計画を出し、批判をしっかり受けるべき。パブリックコメントをやめることから改革すべき。
どのような意見が寄せられているのか。よくある質問と回答を掲載してほしい。
大きな改革を挙げて、それぞれについての意見を募集すべき。
パブコメ募集期間があまりにも短すぎるし、周知も不十分。忙しい市民がこの計画案をどこまで理解できるのか。意見募集の方法を見直し、今すぐ改革を行ってほしい。
自治会の集会等に来ていただければ、パブコメを集められるように協力したい

意見要旨

パブコメについて、意見を聞く機会を設けることは素晴らしい

市民意見募集以前にちゃんと意見を反映させてほしい

どこの場所に意見を記入したらよいのかわからないアンケートです

パブリックコメントなら誰でも簡単に意見できる方がいい。

入力フォームが入力しにくい。

意見入力フォームが一般市民向けではないので、もっと意見が言いやすい簡単なフォームにしてほしい。

パブコメはあらゆる意見を隠さず全文公開するよう要望する。

こんなアンケートを取って、責任転換の道具にしてほしくないです。

このようなパブリックコメントはどんどんやってほしい

このアンケートがボリュームありすぎて、途中から応える気にならなくなった。広くアンケートを取りたいなら項目を減らして答えやすくすべき。

入力フォームが分かりにくく、本気で市民の声を聞こうとしているように感じない。

パブリックコメントについて、敷居が高いように感じた。

スマートフォンでパブリックコメントを入力すると入力欄が小さくやりづらかった。

パブリックコメントを行ったところで意見を反映するつもりはないのでは？その人件費こそ無駄である。

どこに何を書いたらいいかわからない書式でパブコメを上げにくくするのは作戦なのか。

少し入力を中断したら「接続がタイムアウトしました」と表示されイラついた

とても回答がしにくいアンケートで、本気で市民の意見を聞きたいのか、市民の意見を取り入れる気があるのか、疑問を抱いた。

意見入力フォームから送信する際、一定時間経過によりタイムアウトしてしまった。いろいろ考えながら打つと時間を要する。

パブリックコメントは改革案を読み込んでいないと記入しづらい。入力フォームも使いにくく、そもそも市民の声を聴く耳を持っているのか。

意見要旨

配布されている御意見記入用紙が書きにくい

市民が意見を言えるフォームを設けるべき

パブコメを尊重し、無視せず、取り上げない理由を説明するように

京都市に都合の悪いコメントでも公正に取り扱われるのか。

パブコメについて、意見を書く欄が多すぎる。最低限の項目にすべき。

「何が不要か」, 「住み続けるにはどんな街になってほしいか」等の項目で意見を求めたほうが答えやすい。

パブコメがまともに読んでもらえるのかという不信感があるので、集計や意見のまとめをしてほしい。

全文読みながらコメントを書き込んでいたらタイムアウトされた。2時間近くかけて読んで書いてきたことが反映されず、がっかりした。

それぞれの見直し内容について、意見を募集するべき

パブコメは接続タイムアウトまでの時間が短すぎる。このような多岐にわたるパブコメでは記入に時間がかかる。早急に改善してほしい。

市民投票のような制度を作って市民の声を反映させてほしい。

1000字以内で意見を書けというのはおかしい。真っ向から意見を受け入れようとする姿が見えない。

もっと誠実に市民の意見を聞く姿勢の、意見を書きやすいパブコメにしてほしい

市民の意見に対して納得のいく回答を必ずしてほしい

パブリックコメントは批判的なものも隠さずに公開してほしい

今回だけでなく継続的に市民からの声を拾うべき。

パブリックコメントのコメントが分かれ過ぎていて入力しにくい。

計画が令和3年度から開始しているが、もっと早く募集するべきではなかったのか。

内容が多いので、入力フォームから行財政改革計画案の各項目にリンクできるようにしてほしい。

意見要旨

「集中改革期間令和3～5年度（3年間）ということについてのパブコメを，令和3年度7月に募集していることの意義がよくわからない

パブコメの意見とりまとめ結果は原文のまますべて公表しろ

パブコメ記入フォームが面倒なつくりである

パブコメの意見をしっかりと聞いてほしい

意見をもっときちんと聞いてほしい

7 その他

その他（43件）

意見要旨
市長は着物で公の場に出ないでほしい。
本気で市民意見を募集するなら、市長が説明会を開くべき。
市街化調整区域並の固定資産税となる生産緑地制度を改めるべき
コロナの予約券を早く発注してほしい
コロナ禍で支給されている給付金や時短協力金は、本当に困っている人に使ってほしい。
市債残高等を見て、市内に住みたいと思う若者や企業がいるわけがない
共産党が強い、つまり組合が強いところは人件費が高い。共産党が強いことが京都を蝕んでいる。
美術館の改修に200億円かけて京セラの寄付金が100億円。寄付金を集めようという意識が低い。
スパイの隠れ蓑となっている孔子学院を京都から無くしてほしい。
京都市の土地を外国・多国籍企業に売り渡さない事を約束できる日本国籍の日本人にのみ売買できるような条例やスパイ防止法のような条例を設定すべき。
二輪車へ安全再指導すべき。
京都市職員は誠実で優秀。職員の皆さまが再び市役所や新天地で輝くことを祈る。
公務員のすべての目線が、甘い。気配りが不足。大いに不足。公務員と民間会社、特に京都は中小企業が多いが、改革を問うなら、公務員組織そのものが甘い。
自国の民を守るべき
市長と業者の癒着を改善してほしい。

意見要旨

京都市が破綻したら、優秀な人材が外に流出したり、入ってこなかったりするのではないかと心配。

府立植物園の民間委託はやめてほしい

複式簿記のバランスシート等で会計を見やすくすべき

府との重複を移管したり、周辺自治体と事務組合をつくるなど、大胆な見直しが必要

意見なし

国が国債発行して赤字国債を買い取れば消えませんか？

京都は害虫・害獣が多いと思う。綺麗なまちづくりをお願いしたい。

ツイッターでアカウントを持っているので気づいたことがあればツイートしています。

土地価格が高い

病院経営ができなくなる

弱い立場の人たちでも働いて納税できる政策を進めるべき。生活保護の人たちの自立を促す政策をするべき。不正自給もなんとかするべき。

給料が今以上に少なくなるなら他の町で働く

一部の職員が相当態度が悪い。人を不愉快にさせるような態度は改めるべき。

コロナ対策を万全にしてほしい

京都へのアクセスは、中部国際空港からのほうが早いですか？

意見なし

意見無し。

空いている土地は、温暖化対策も兼ね、植林してはどうか。

意見要旨

年寄りの年寄りによる年寄りのための京都市

貸付金の評価額を貸付額の5割程度に下げる。

意見なし

意見なし

植物園の敷地内にゴーカートを作る。

意見内

環境定期券(?)は廃止すべき

京都を中国に売らないでほしい

コロナの支援をしっかりしてほしい

原発をやめるべき